



Copyright © 2006 FUJIFILM Corporation All rights reserved.
and its licensors. All rights reserved.
Copyright © 1994 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe PostScript, the PostScript logo and Clearly Adobe Imaging are
trademarks of Adobe Systems Incorporated or subsidiaries and may be
registered in certain jurisdictions.



i-ColorQC C-Fit

ユーザーガイド

はじめに

このたびは i-ColorQC C-Fit をご購入いただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は i-ColorQC C-Fit の操作方法を説明したものです。本書をよくお読みになり、内容を十分理解した後で本製品をご使用ください。
また、操作の途中でわからないことが発生したときに、この取扱説明書を取り出せるように、本製品の近くに保管してください。

商標および登録商標

- Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。
- Mac および Macintosh はアップルコンピュータ社の登録商標です。
- Windows 2000 Professional、Windows 2000 Server、Windows 2003 Server、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows 7 は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- その他記載の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願いとお断り

- 取扱説明書の内容と異なった使用方法や誤った操作による事故・故障については、当社の責任を外れたものとします。
- 本書の内容の一部または全部を許可なく複製・使用することを禁じます。
- 誤字、脱字などについては、ご容赦ください。
- 本書に記載されている内容は、本書作成時のデータに基づいており、ご購入時における最新データと異なる場合があります。ご不明な点は、当社までお問い合わせください。

Image Intelligence 搭載

本製品には画像処理ソフトウェア Image Intelligence を搭載しています。



Image Intelligence (イメージインテリジェンス) とは _____
富士フイルムが開発した「デジタル画像処理ソフトウェア」の総称です。
「より画像を美しく、よりお客さまが望む仕上がり品質で」というポリシーを実現するためのファジーオートセットアップなどの高度な画像処理技術が投入されています。

この本の読み方

本書では i-ColorQC C-Fit の取り扱い方法を下記の手順で説明しています。

第 1 章	ご使用になる前に.....	8
第 2 章	i-ColorQC C-Fit の起動と終了	43
第 3 章	ジョブチケットの作成.....	64
第 4 章	テンプレート作成.....	215
第 5 章	出力ジョブの操作.....	266
第 6 章	サービス・メンテナンス.....	315
第 7 章	制限事項・トラブル対応.....	331

1

2

3

4

5

6

7

目次

はじめに.....	2
商標および登録商標.....	2
お願いとお断り.....	2
Image Intelligence 搭載.....	2
この本の読み方.....	3
目次.....	4
第1章 ご使用になる前に.....	8
① パッケージ内容を確認する.....	9
② フリーソフトウェアのライセンス.....	10
③ 推奨する環境.....	12
④ インストール方法.....	13
1 サーバーへのインストール (Windows).....	13
2 ライセンスの設定.....	22
3 クライアント (Windows) インストール.....	25
4 クライアント (MacOSX) インストール.....	31
5 WebDAV の設定.....	33
6 WebDAV フォルダへのアクセス.....	37
⑤ アンインストール方法.....	41
第2章 i-ColorQC C-Fit の起動と終了.....	43
① 起動手順.....	44
② 終了手順.....	49
1 終了方法.....	49
③ メニューについて.....	51
1 スタートメニュー.....	51
2 Fujifilm Applications.....	52
3 メイン画面.....	53
4 Fujifilm Applications の環境設定.....	63
第3章 ジョブチケットの作成.....	64
① ジョブチケットとは.....	65
② ジョブチケットウィンドウの表示.....	67
③ ジョブチケットの新規作成.....	70

4	モノクロ画像出力の場合のジョブチケット編集.....	79
1	入カタブ.....	84
2	美肌処理タブ.....	89
3	RGB → R' G' B' 変換タブ.....	90
4	色かぶり補正タブ.....	91
5	RGB 最適化タブ.....	93
6	レンジ補正タブ.....	94
7	RGB →モノクロ変換タブ.....	95
8	色調補正.....	97
9	リサイズ・回転タブ.....	100
10	画像出力フォーマットタブ.....	104
11	出カタブ.....	106
12	設定終了.....	109
5	RGB 画像出力の場合のジョブチケット編集.....	110
1	入カタブ.....	115
2	美肌処理タブ.....	120
3	RGB → R' G' B' 変換タブ.....	121
4	色かぶり補正タブ.....	123
5	レンジ補正タブ.....	124
6	RGB 最適化タブ.....	125
7	CMYK → RGB 変換タブ.....	126
8	ゲイン調整タブ.....	128
9	色調補正.....	130
10	リサイズ・回転タブ.....	135
11	画像出力フォーマットタブ.....	139
12	出カタブ.....	141
13	設定終了.....	144
6	CMYK 画像出力の場合のジョブチケット編集.....	145
1	入カタブ.....	150
2	美肌処理タブ.....	155
3	色かぶり補正タブ.....	156
4	レンジ補正タブ.....	157
5	RGB 最適化タブ.....	158
6	RGB → CMYK 変換タブ.....	159
7	CMYK → C' M' Y' K' 変換タブ.....	164
8	ゲイン調整タブ.....	168
9	色調補正.....	170
10	リサイズ・回転タブ.....	175
11	画像出力フォーマットタブ.....	179
12	出カタブ.....	181
13	設定終了.....	184
7	CMYK ページ出力の場合のジョブチケット編集.....	185
1	入カタブ.....	188

2	レンジ補正タブ.....	193
3	RGB → CMYK 変換タブ.....	194
4	CMYK → C' M' Y' K' 変換タブ.....	200
5	ゲイン調整タブ.....	189
6	ページ出力フォーマットタブ.....	207
7	出力タブ.....	211
8	設定終了.....	214
第4章 テンプレート作成.....		215
①	ファイル名テンプレート.....	216
②	ICC プロファイル管理.....	221
③	スポットカラー管理.....	226
④	PDF セキュリティテンプレート.....	230
⑤	RGB 最適化テンプレート.....	236
⑥	レンジ補正テンプレート.....	242
⑦	C-K カーブテンプレート.....	246
⑧	モノクロトーンカーブテンプレート.....	251
⑨	トーンカーブ管理.....	255
第5章 出力ジョブの操作.....		266
①	i-Color QC C-Fit の画面構成.....	267
②	ツールバーによる操作.....	268
③	ジョブキュー表示.....	272
1	ジョブリスト表示.....	273
2	サムネイル表示.....	273
3	その他の表示.....	274
4	ジョブチケット変更.....	275
5	ジョブログ表示.....	277
6	画像比較表示.....	279
④	検索.....	280
⑤	ステータス.....	282
⑥	環境設定.....	284
1	表示設定.....	285
2	パスワード設定.....	286
3	Viewer 設定.....	287
4	クライアント設定.....	289

5	ページ設定	290
6	ファイル名	291
7	システムログ	292
8	ジョブ保存・呼び出し	294
1	メニューバー	295
2	ツールバー	298
3	データの保存	299
4	既存のアーカイブフォルダ・ファイルに追加してアーカイブする場合	302
5	データのリストア方法	305
6	新規予約アーカイブ	308
7	新規予約リストア	312

第6章 サービス・メンテナンス.....315

1	FTP 転送先設定	316
2	環境バックアップ	318
3	DOS Console	319
4	ログ保存	322
5	ジョブ確認	323
6	保存領域管理	326
7	環境設定保存・呼び出し	330

第7章 制限事項・トラブル対応.....331

1	制限事項	332
2	トラブル対応	333

第1章

ご使用になる前に

1

パッケージ内容を確認する

本製品には以下のツールが同梱されています。
操作を始める前にご確認ください。

同梱されているツール	数量
CD-ROM	1枚
ハードウェアキー (USBドングル)	1個

⑨

本ソフトを使用の際は、ライセンスが必要です。
販売元へお問い合わせください。

1

ご使用になる前に

① Apache、Tomcat、Xerces、WebDAV

"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."

② Info-ZIP

Copyright (c) 1990-2003 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Christian Spieler, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, and dynamic, shared, or static library versions--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" with-

out the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or of the Info-ZIP URL(s).

4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

③ IJG

IJG software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G.Lane.

The IJG distribution formerly included code and read and write GIF files.

The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated.

④ SGI TIFF Library

TIFF Software

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

⑤ LEADTOOLS

LEADTOOLS

Copyright (C) 2002 LEAD Technologies Inc.

⑥ mod_encoding

This product includes software developed by Internet Initiative Japan Inc. for use in the mod_encoding module for Apache (<http://www.apache.org>).

推奨する環境

インストールを始める前に、コンピュータの環境を確認してください。

■ クライアント用 Windows の場合

平成 22 年 1 月現在

	動作環境	推奨環境
基本ソフトウェア (OS)	Windows XP Professional、Windows Vista、Windows 7、Windows 2000 Server、Windows 2000 Professional、Windows 2003 Server	
CPU	Pentium 4 以上	
メモリ	256MB 以上	1GB 以上
ハードディスクの空き容量	1GB 以上	10GB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル 1670 万色以上の表示ができる事	1280 × 960 ピクセル 1670 万色

※ 同一の PC に PD System Pro シリーズを同居させることはできません。

※ 同一の PC に C-Fit V2 を同居させることはできません。

■ サーバー用 Windows の場合

平成 22 年 1 月現在

	動作環境	推奨環境
基本ソフトウェア (OS)	Windows XP Professional、Windows Vista、Windows 7、Windows 2000 Server、Windows 2000 Professional、Windows 2003 Server	
CPU	Pentium 4 以上	
メモリ	256MB 以上	1GB 以上
ハードディスクの空き容量	1GB 以上	10GB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル 1670 万色以上の表示ができる事	1280 × 960 ピクセル 1670 万色

■ クライアント用 Macintosh の場合

平成 22 年 1 月現在

	動作環境	推奨環境
コンピュータ本体	アップルコンピュータ社製 PowerPC G5 以上、もしくは Intel CPU	
基本ソフトウェア (OS)	OS10.3.9 以上	
メモリ	256MB 以上	512MB 以上
	注：仮想メモリの設定は「切」で使用してください。	
ハードディスクの空き容量	1GB 以上	10GB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル 1670 万色以上の表示ができる事	1280 × 960 ピクセル 1670 万色

1 サーバーへのインストール (Windows)

以下の手順に従って、サーバーへのインストールを行ないます。なお使用する OS によってインストール方法が違います。

注

インストールが完了するまで USB ドングルを PC に接続しないでください。

注

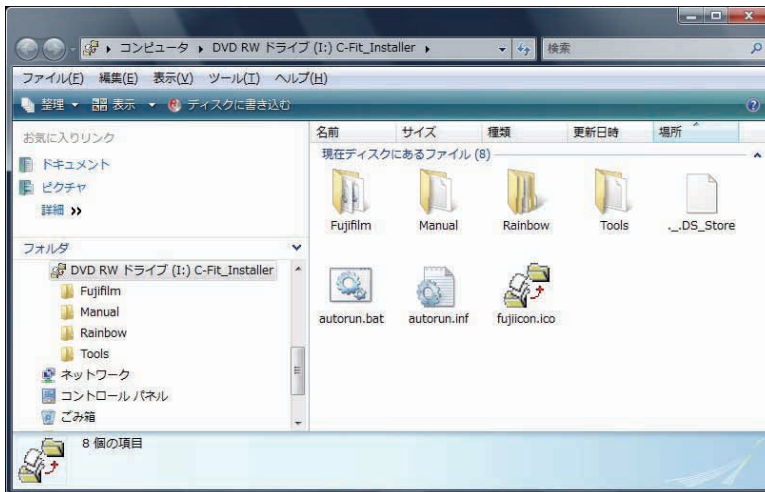
Windows Vista/Windows 7 を使用している場合は、UAC (User Account Control) を OFF にすることをお勧めします。UAC を ON にした場合は、補足手順を実行する必要があります。

1 C-Fit の CD-ROM をパソコンの CD ドライブに装填します。

Windows Vista/Windows 7 補足手順：

① インストーラが自動的に起動したら、「キャンセル」ボタンをクリックして、インストーラを停止します。

② エクスプローラを使用して、C-Fit の CD-ROM を開きます。

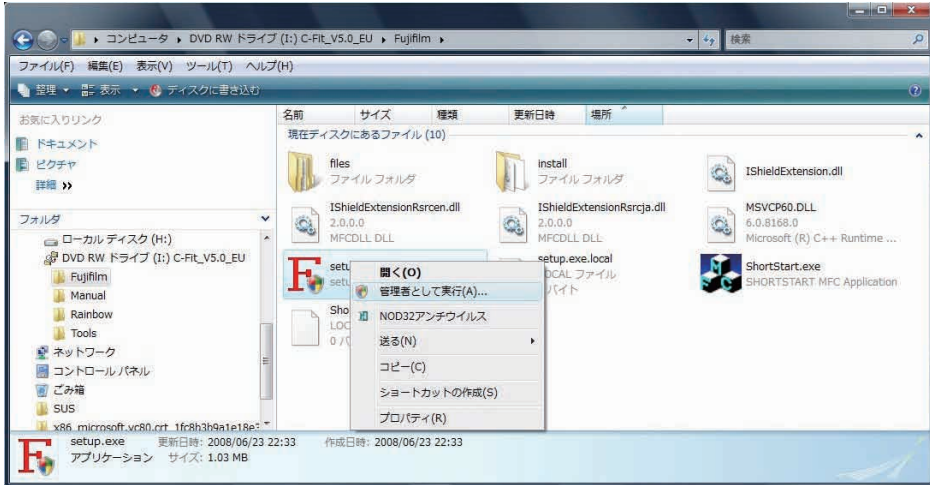


注

オートプレイウィンドウが開いた場合は、「フォルダを開く」を選択してください。

③ Fujifilm フォルダを開いて、Setup アイコンを選択し、マウスの右ボタンをクリックします。

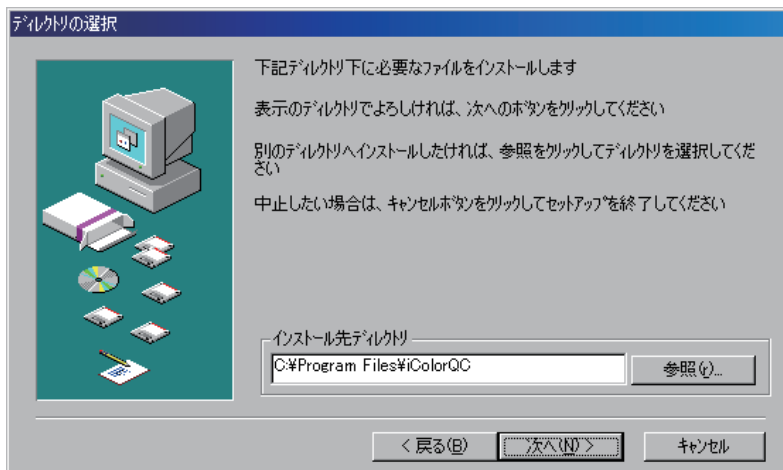
④表示されたメニューから、「管理者として実行」を選択します。



2 自動的に以下の「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

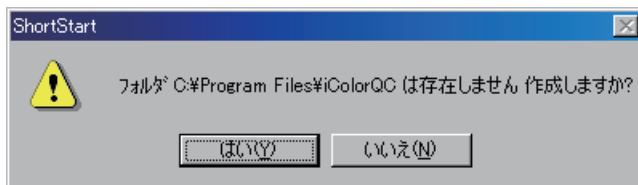


- 3 「次へ」 をクリックすると「ディレクトリの選択」ウィンドウが表示されます。



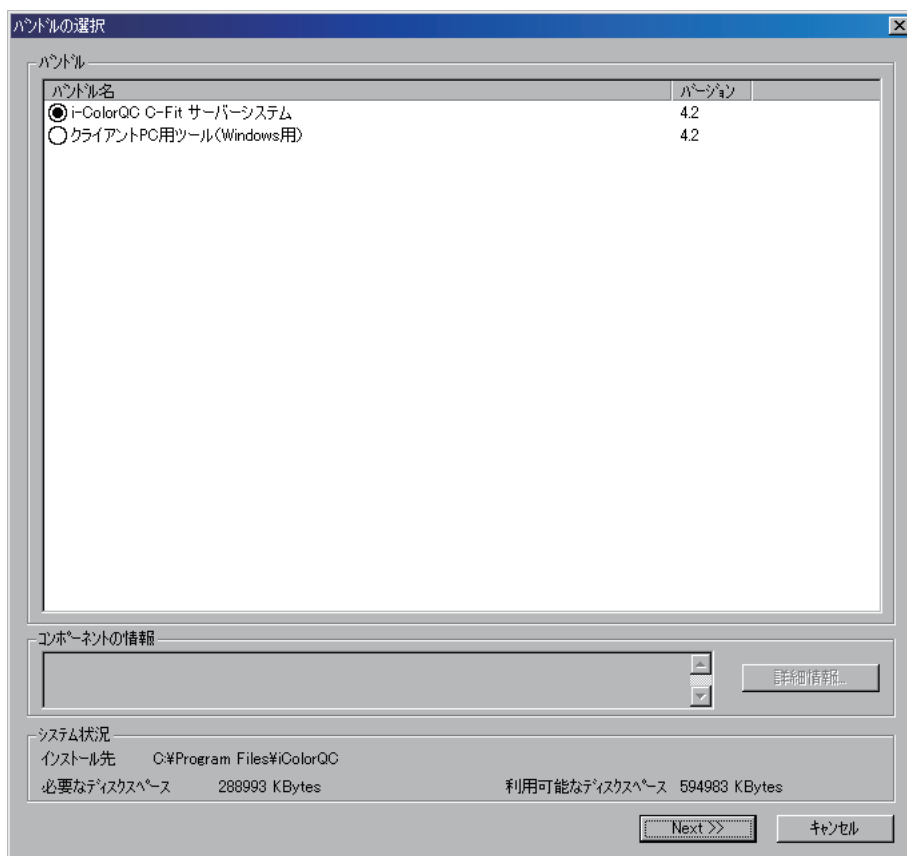
インストール先のディレクトリには「Program Files」フォルダ内の「iColorQC」フォルダが設定されています。インストール先のディレクトリを変更したい場合は、「参照」をクリックしてインストール先ディレクトリを変更します。

- 4 「次へ」 をクリックすると、「iColorQC」フォルダが存在しない場合、以下のメッセージが表示されます。

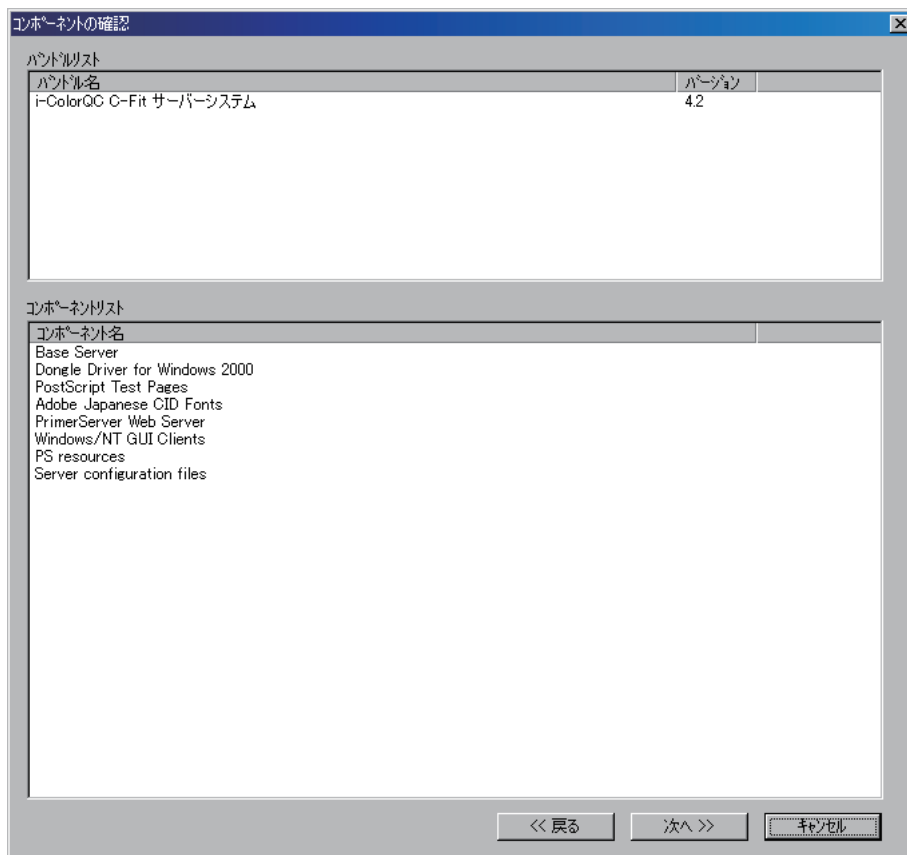


- はい自動的にフォルダを作成します。
- いいえ..... 「ディレクトリの選択」ウィンドウに戻ります。「参照」をクリックしてインストール先のディレクトリを変更することができます。

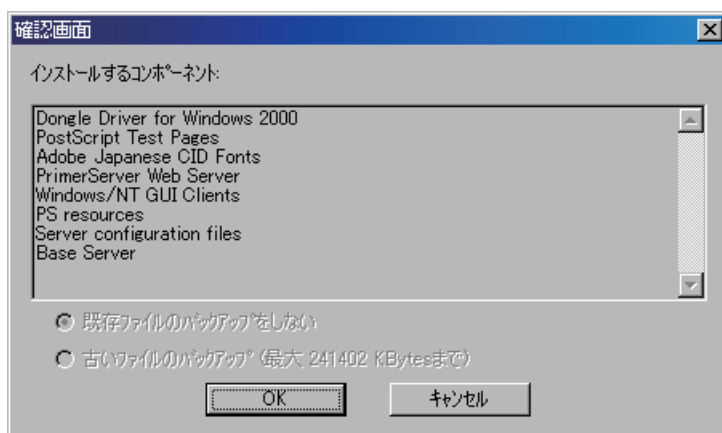
- 5 「はい」 をクリックすると「バンドルの選択」ウィンドウが表示されます。
「i-ColorQC C-Fit サーバーシステム」を選択します。



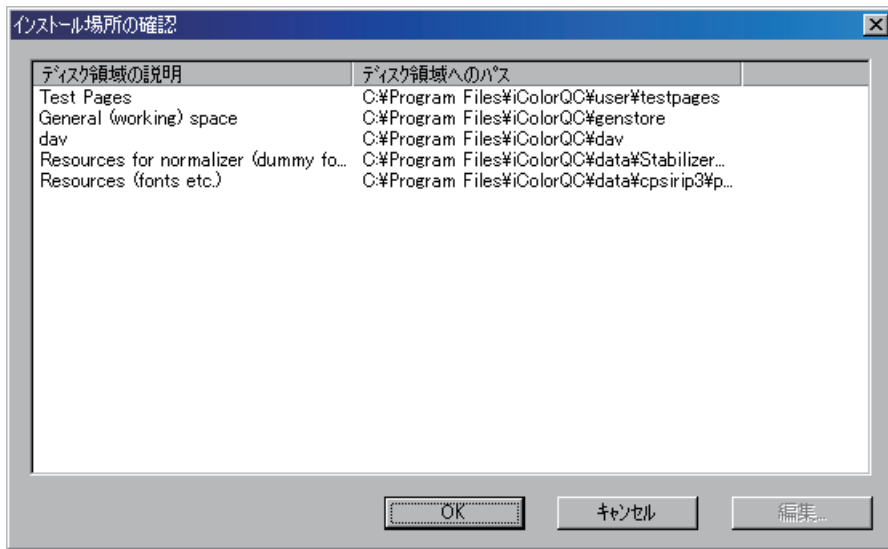
- 6 「Next」をクリックすると、「コンポーネントの確認」ウィンドウが表示されます。



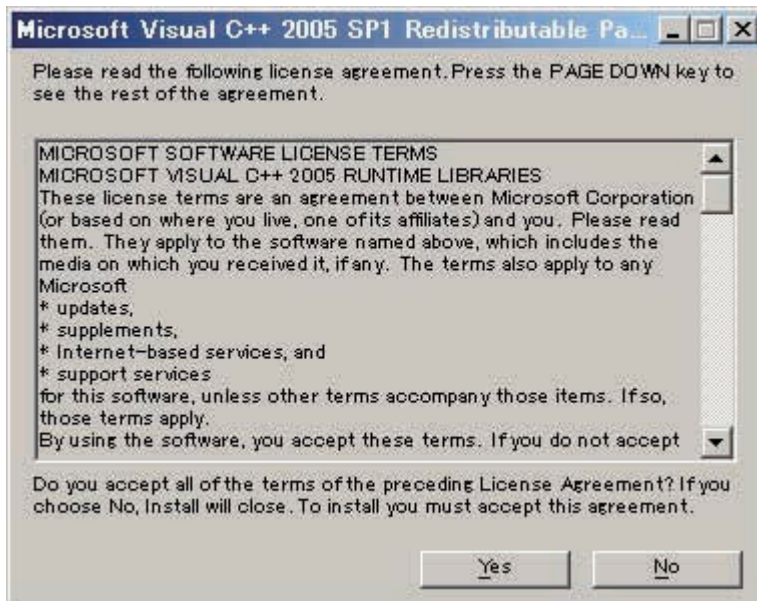
- 7 「次へ」をクリックすると、「確認画面」ウィンドウが表示されます。



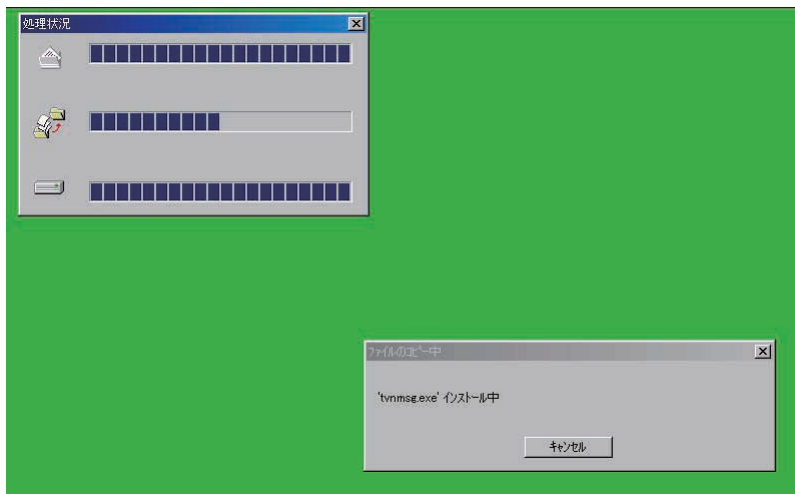
- 8 「OK」 をクリックすると、「インストールの場所の確認」ウィンドウが表示されます。



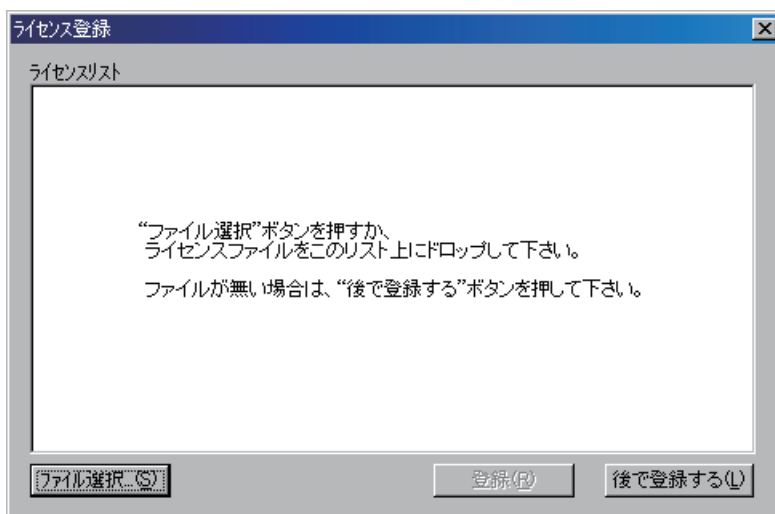
- 9 「OK」 をクリックすると、Microsoft Visual C++2005 SP1 の使用許諾契約画面が表示されます。



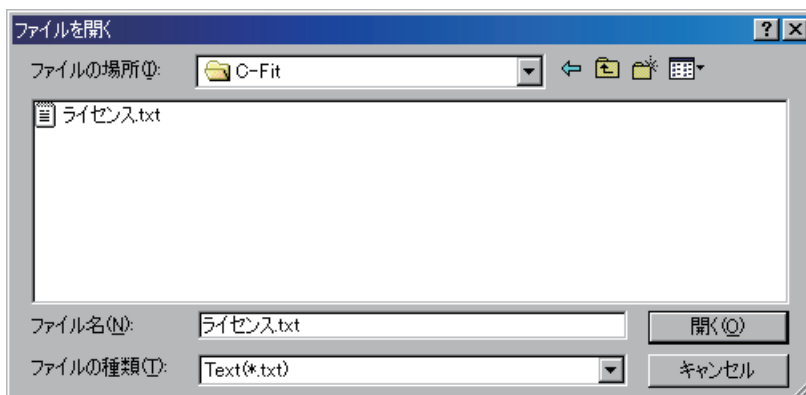
- 10 「Yes」 をクリックすると、インストールが開始されます。



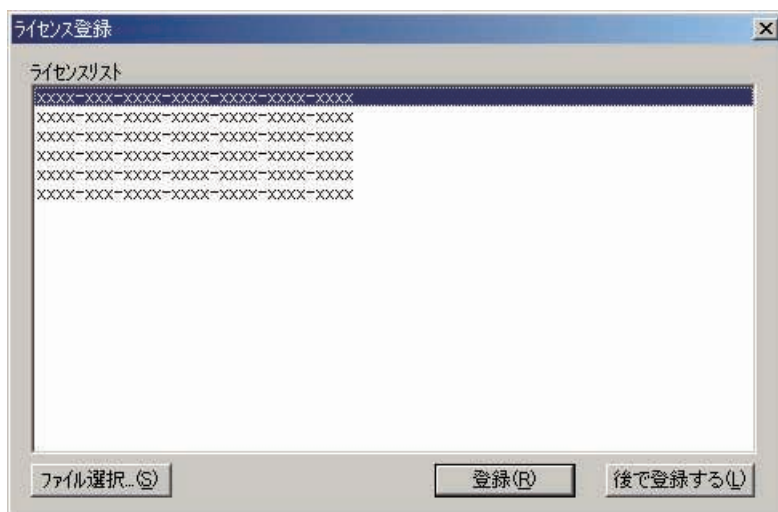
- 11 「ライセンス登録」 ウィンドウが表示されます。
「後で登録する」を選択すると「インストール完了」ウィンドウが表示されます。



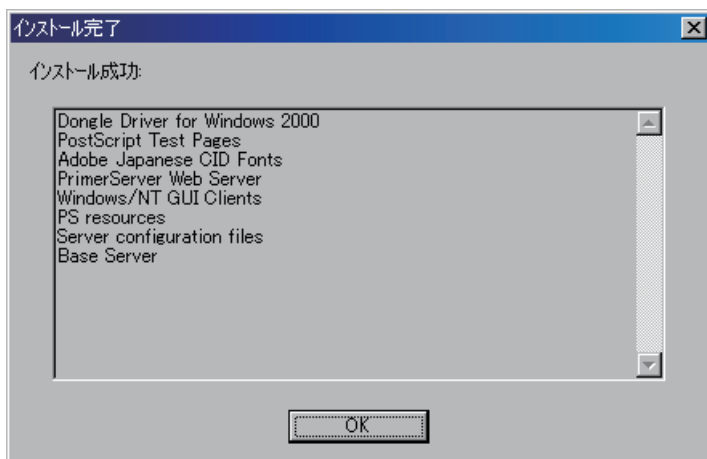
- 12 「ファイル選択」をクリックし、登録するファイルを選択します。



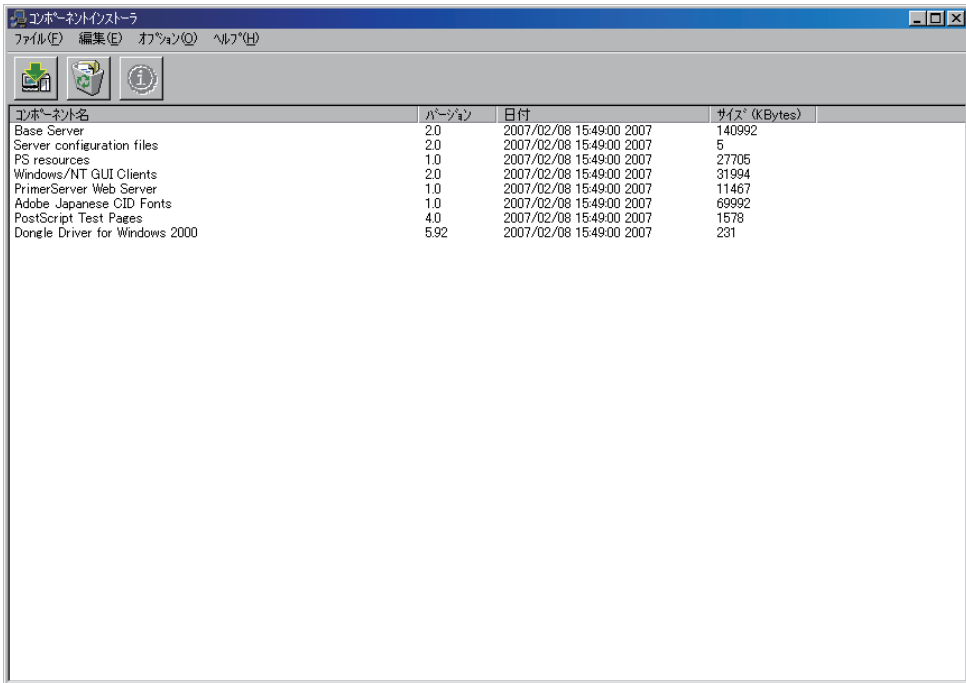
- 13 ライセンスファイルが正しい場合は、「ライセンス登録」ウィンドウのライセンスリストにライセンスが表示されます。
「後で登録する」を選択すると、ライセンス登録されずに「インストール完了」ウィンドウが表示されます。



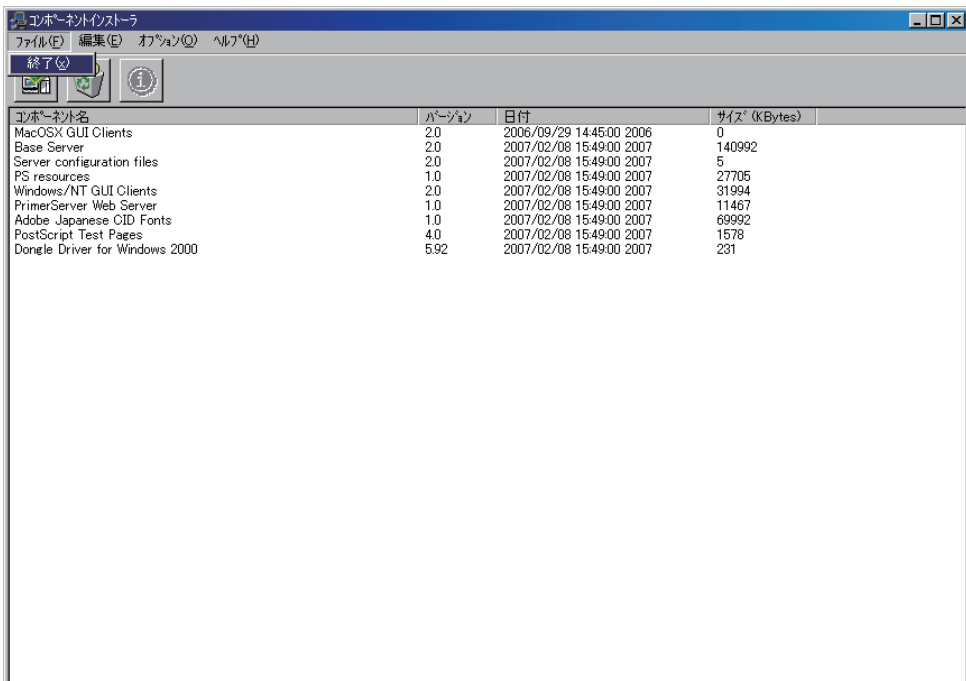
- 14 「登録」をクリックすると「インストール完了」ウィンドウが表示されます。



- 15 「OK」をクリックすると、「コンポーネントインストーラ」ウィンドウが表示されます。



- 16 「ファイル」メニューより「終了」を選択して、コンポーネントインストーラを終了します。



以上でインストールは完了です。

2 ライセンスの設定

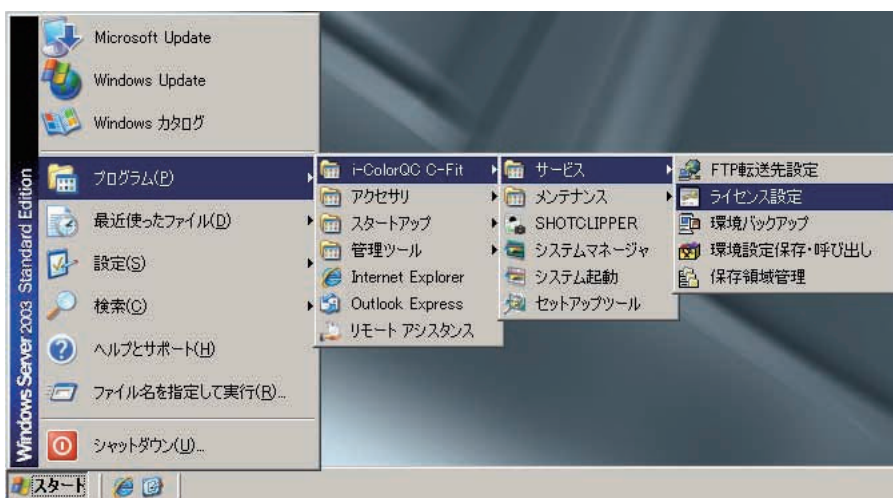
i-ColorQC C-Fit に関するライセンスの設定を行います。
ライセンス設定は、i-ColorQC C-Fit のライセンス設定画面にて行います。

1 USB ドングルを PC に接続します。

2 ライセンス設定画面は、以下の操作にて表示します。

- ① 「スタート」メニューの「プログラム」より、「i-ColorQC C-Fit」を選択します。
- ② i-ColorQC C-Fit」の「サービス」を選択し、「ライセンス設定」を選択します。

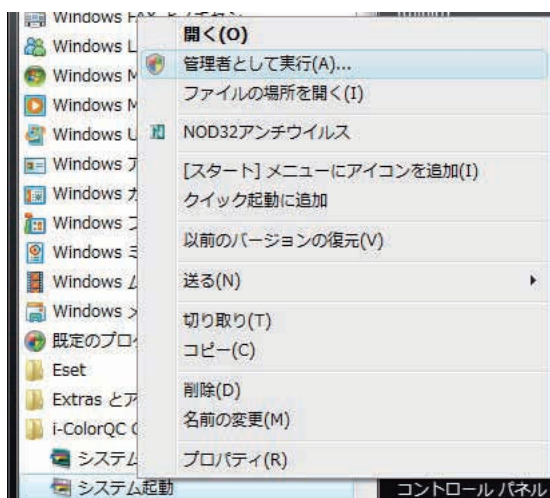
Windows Vista/Windows 7 を使用している場合は、UAC が OFF であるか確認してください。



《UAC が ON の場合》

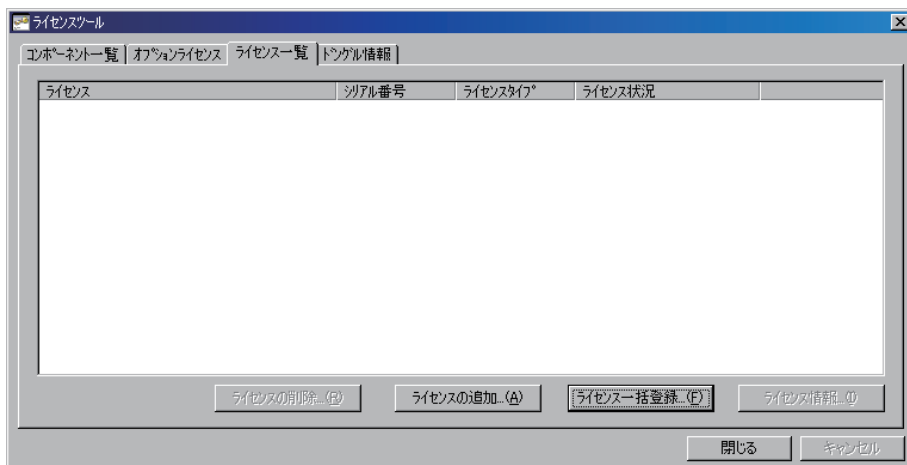
UAC が ON の場合は、以下の補足手順を実行する必要があります。

補足手順: 「スタート」メニューから「i-Color QC C-Fit」を開き、「システム起動」をマウスで右クリックして、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。



3 ライセンス設定

「ライセンス設定」を選択することにより、以下の画面が表示されます。



4 ライセンスの追加

「ライセンス一覧」の画面にて、登録を行います。

● ライセンスを個別に登録する場合

「ライセンス一覧」の画面にて、「ライセンスの追加」をクリックします。
以下の画面が表示されます。



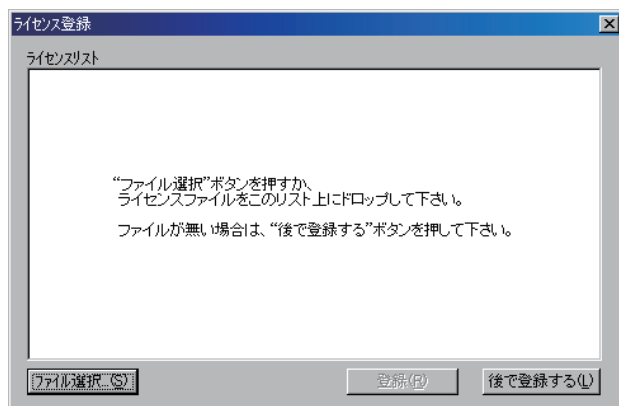
指定ライセンスを入力し「OK」をクリックします。

「OK」をクリックすることにより、「ライセンス一覧」の画面に戻ります。

複数のライセンスを追加する場合は、この「ライセンスを個別に登録する場合」の手順を繰り返します。（ライセンスは複数個で管理されています）

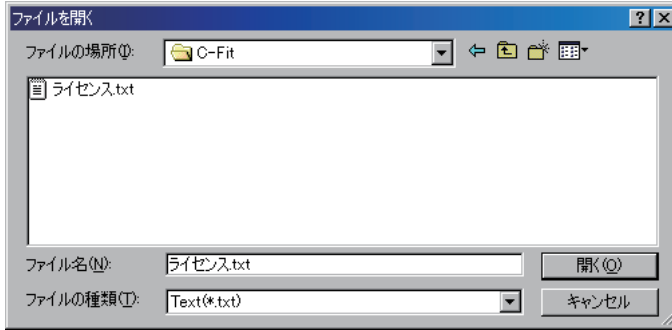
● ライセンスを一括登録する場合

「ライセンス一覧」の画面にて、「ライセンス一括登録」をクリックします。
以下の画面が表示されます。



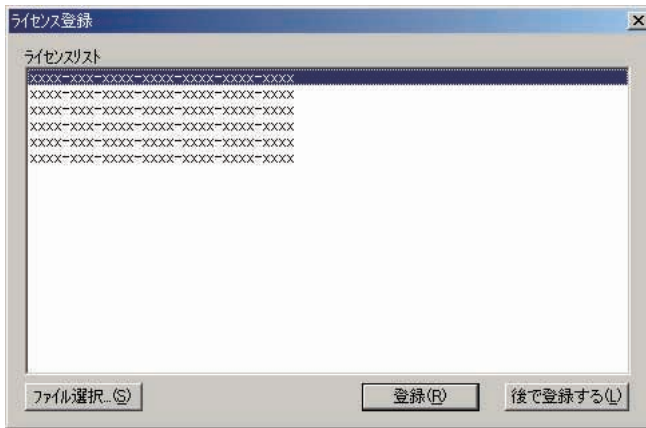
ウィンドウの指示に従って、「ファイル選択」をクリックしてファイルを選択するか、ライセンスファイルをリスト上にドロップしてください。

③ ファイル選択をクリックした場合



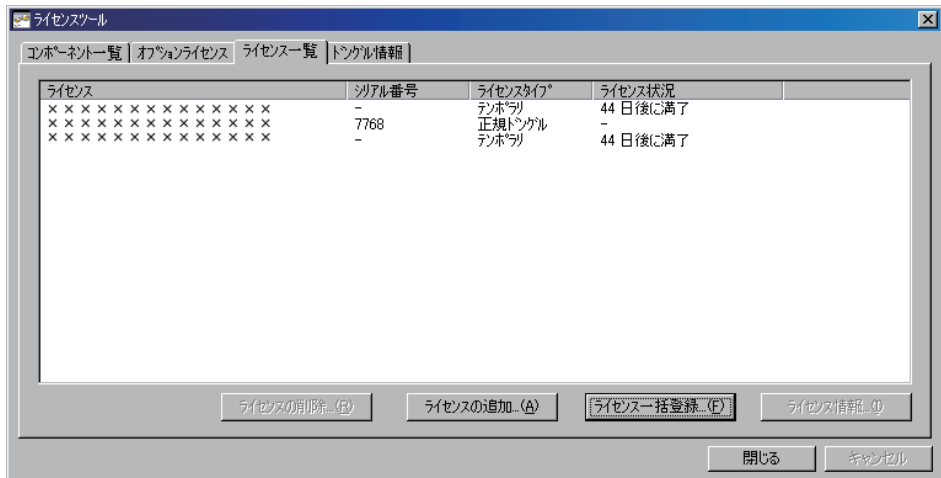
ライセンス登録するファイルを選択し、「開く」をクリックします。

④ 「ライセンス登録」の画面に、選択したファイルのライセンスリストが表示されます。



「登録」をクリックしてください。

⑤ ライセンス登録の終了



ライセンス登録が完了した時点で、「閉じる」をクリックします。
 以上で、ライセンス登録が完了となります。

3 クライアント (Windows) インストール

以下の手順に従って、クライアントへのインストールを行ないます。なお使用する OS によってインストール方法が違います。

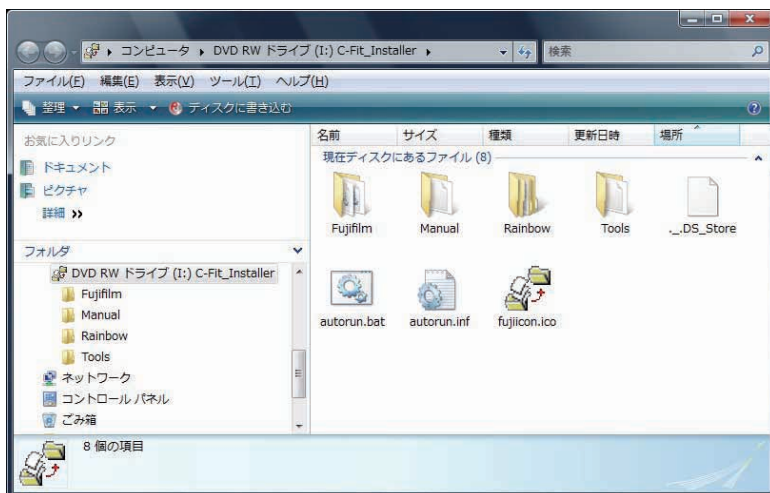
注

Windows Vista/Windows 7 を使用している場合は、UAC (User Account Control) を OFF にすることをお勧めします。UAC を ON にした場合は、補足手順を実行する必要があります。

1 C-Fit の CD-ROM をパソコンの CD ドライブに装填します。

Windows Vista/Windows 7 補足手順：

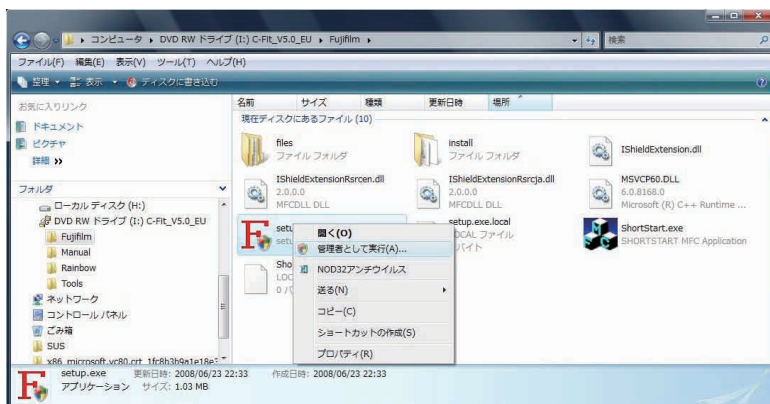
- ① インストーラが自動的に起動したら、「キャンセル」ボタンをクリックして、インストーラを停止します。
- ② エクスプローラを使用して、C-Fit の CD-ROM を開きます。



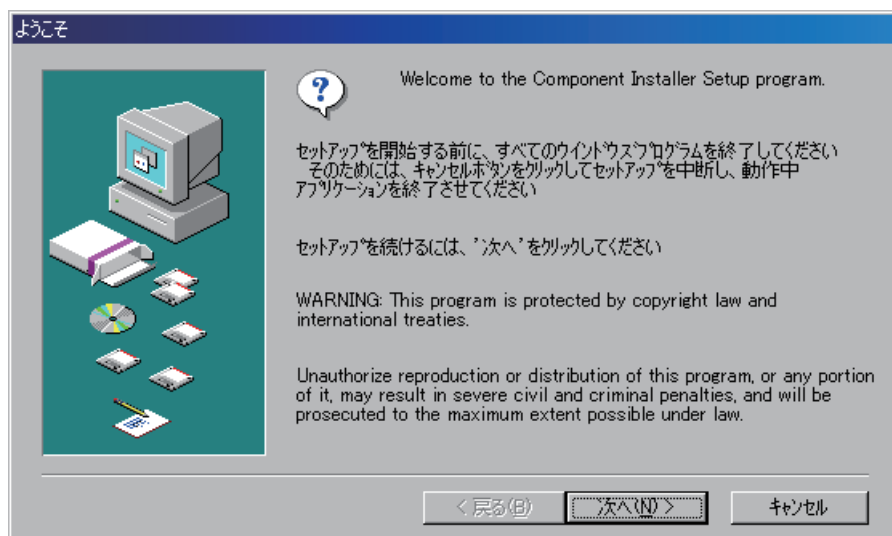
注

オートプレイウィンドウが開いた場合は、「フォルダを開く」を選択してください。

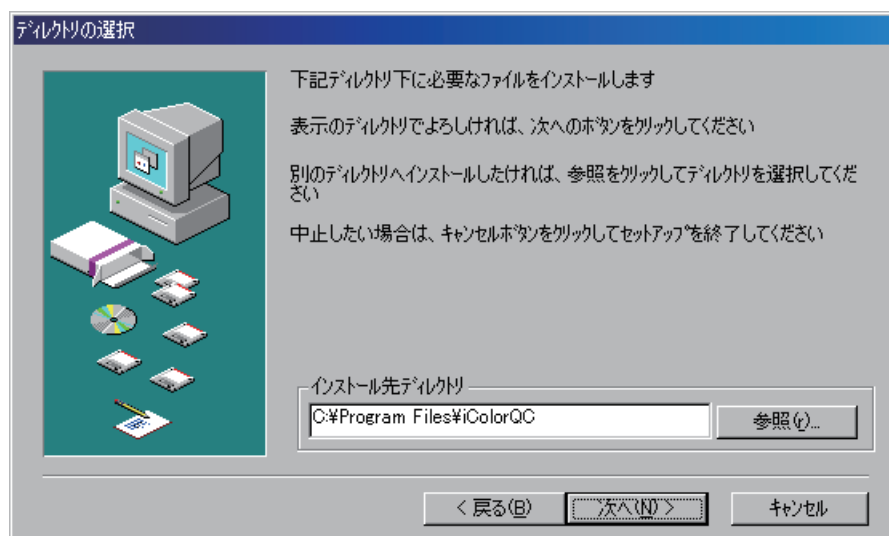
- ③ Fujifilm フォルダを開いて、Setup アイコンを選択し、マウスの右ボタンをクリックします。
- ④ 表示されたメニューから、「管理者として実行」を選択します。



2 自動的に以下の「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

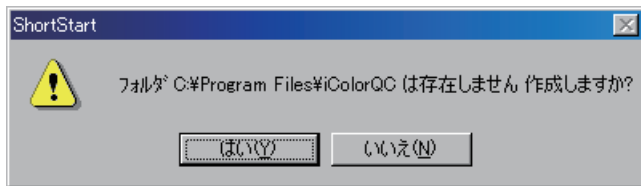


3 「次へ」をクリックすると「ディレクトリの選択」ウィンドウが表示されます。



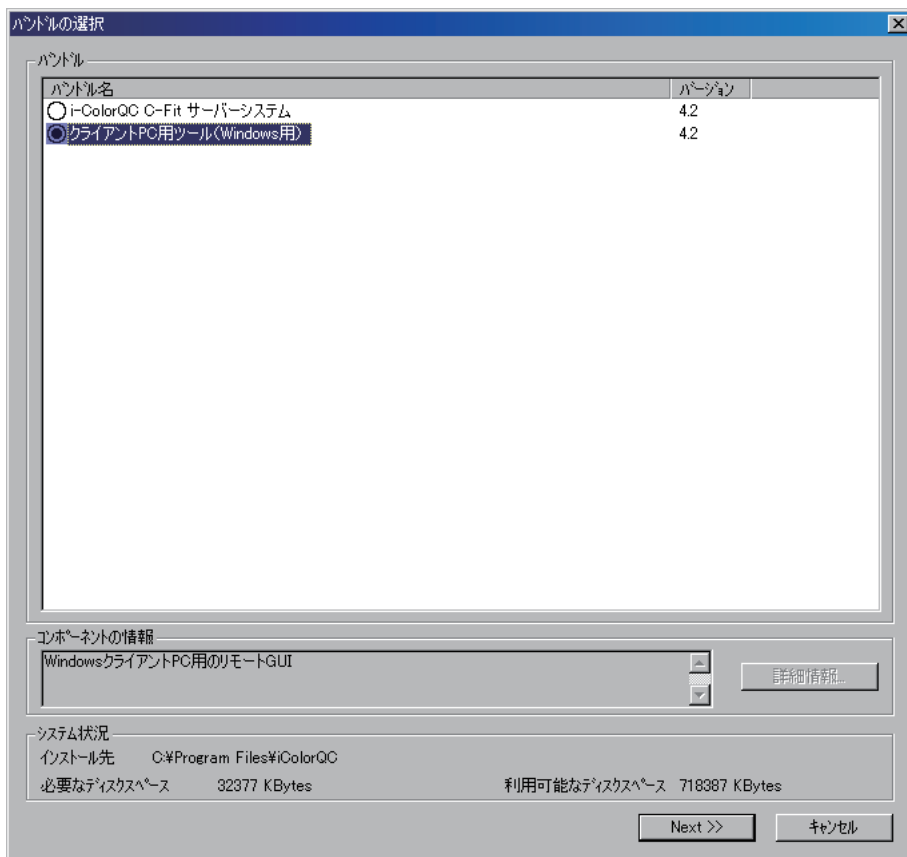
インストール先のディレクトリを変更したい場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先ディレクトリを変更します。

- 4 「次へ」 をクリックすると、「iColorQC」フォルダが存在しない場合、以下のメッセージが表示されます。

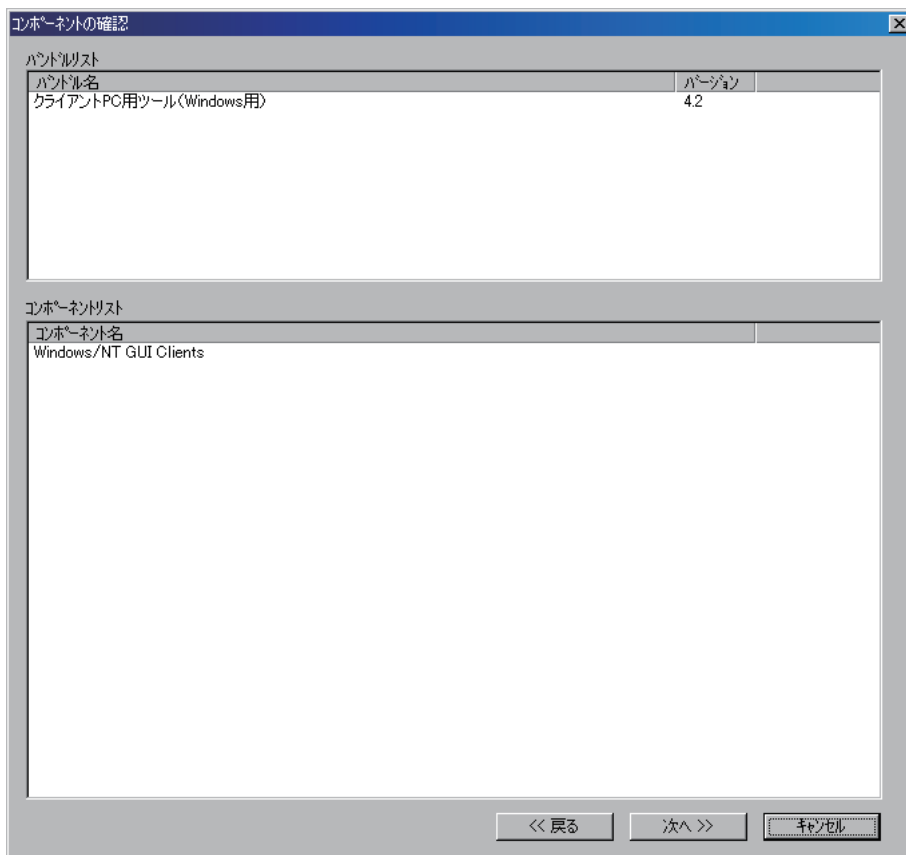


- はい自動的にフォルダを作成します。
- いいえ 「ディレクトリの選択」 ウィンドウに戻ります。「参照」をクリックしてインストール先のディレクトリを変更することができます。

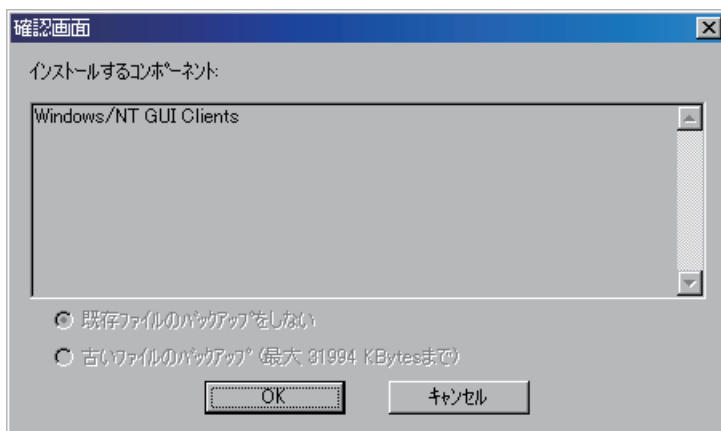
- 5 「はい」 をクリックすると「バンドルの選択」 ウィンドウが表示されます。「クライアント PC 用ツール (Windows 用)」を選択します。



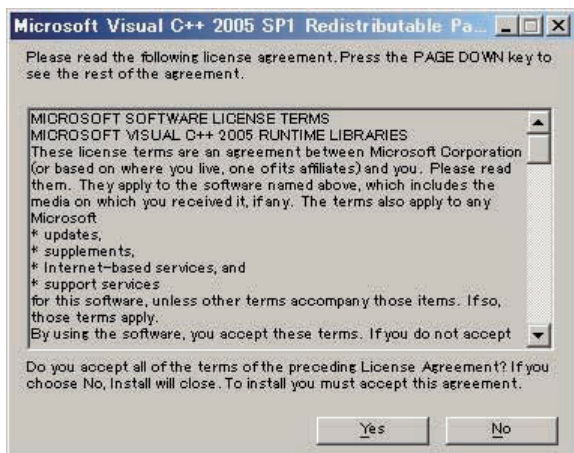
6 「Next」 をクリックすると、「コンポーネントの確認」 ウィンドウが表示されます。



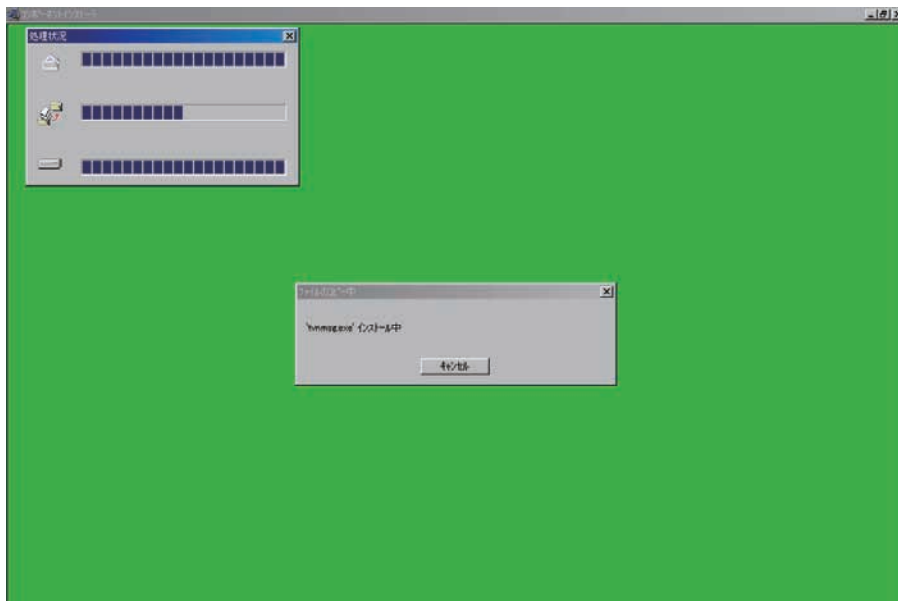
7 「次へ」 をクリックすると、「確認画面」 ウィンドウが表示されます。



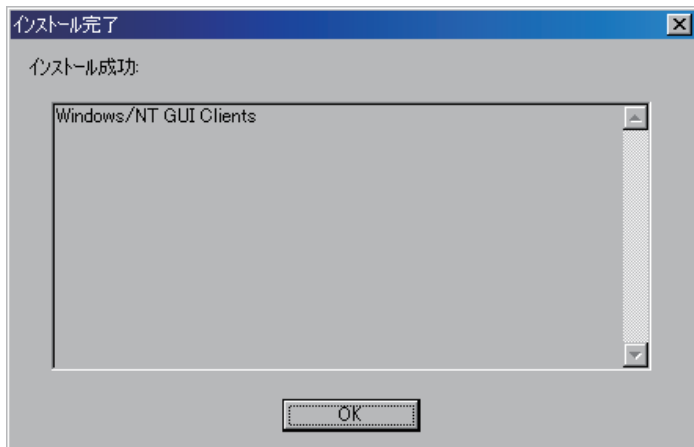
- 8 「OK」 をクリックすると、Microsoft Visual C++2005 SP1 の使用許諾契約画面が表示されます。



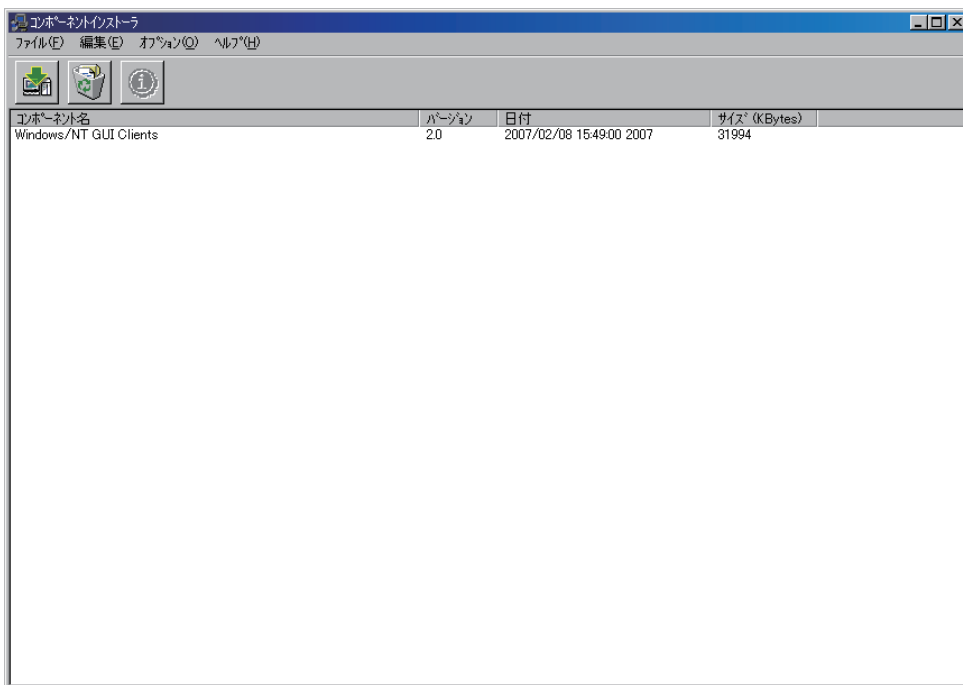
- 9 「Yes」 をクリックすると、インストールが開始されます。



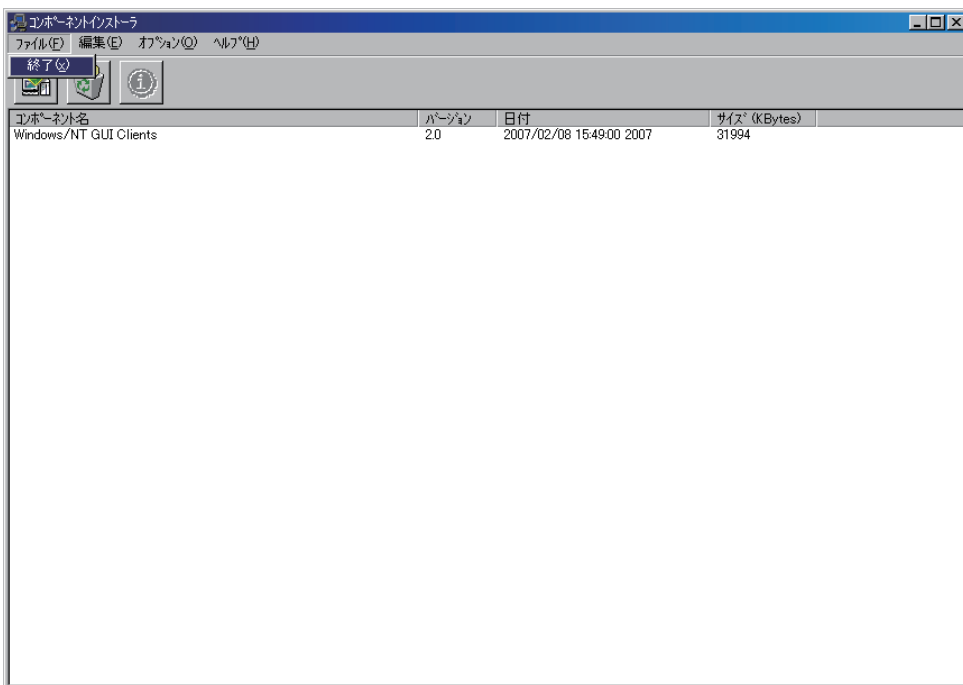
- 10 「インストール完了」 ウィンドウが表示されます。



- 11 「OK」をクリックすると、「コンポーネントインストーラ」ウィンドウが表示されます。



- 12 「ファイル」メニューより「終了」を選択して、コンポーネントインストーラを終了します。



以上でインストールは完了です。

4 クライアント (MacOSX) インストール

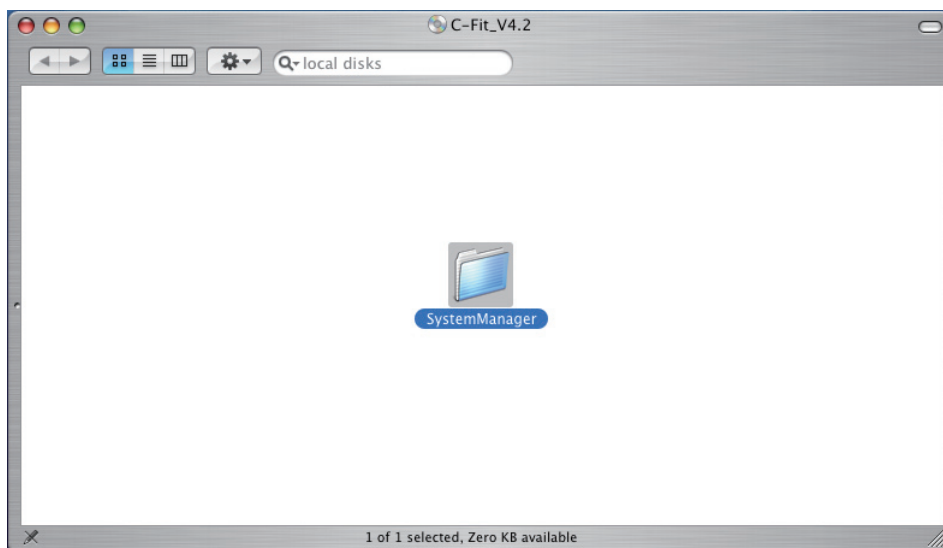
注

インストールが完了するまで USB ドングルを PC に接続しないでください。

- 1 C-Fit CD-ROM を Macintosh の CD ドライブに装填します。
自動的に以下の CD-ROM のアイコンが表示されます。



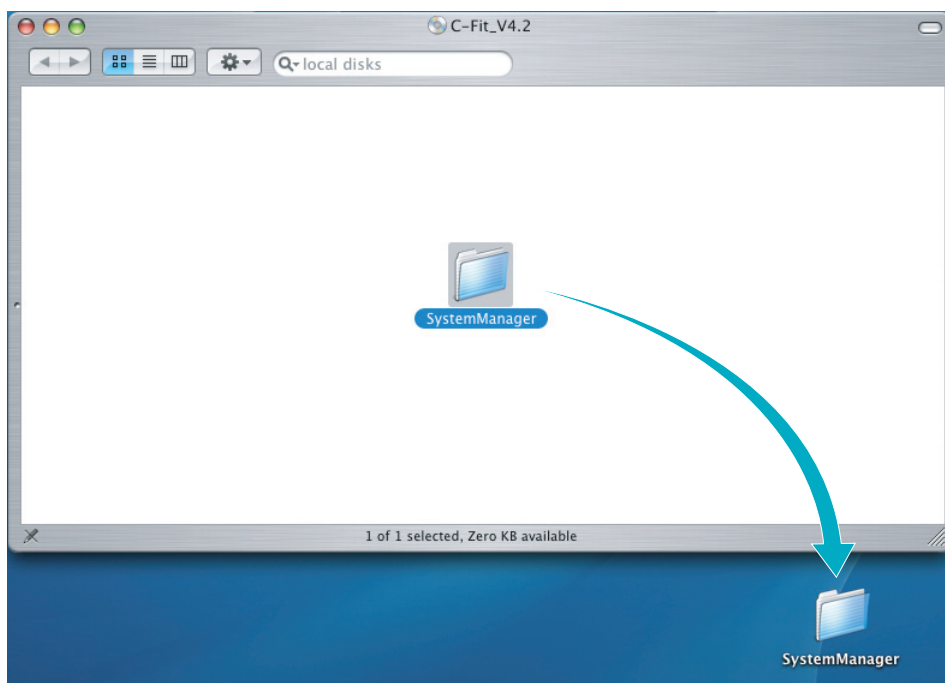
- 2 CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてウィンドウを表示させます。



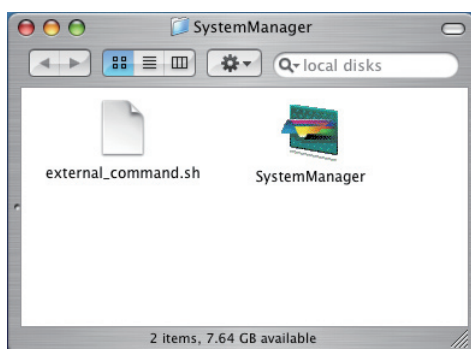
1

ご使用になる前に

- ③ 「System Manager」フォルダをドラッグし、Macintosh のデスクトップまたはハードディスクにドロップします。



- ④ ドロップしたフォルダを開き、以下の内容を確認します。



以上でインストールは完了です。
使用する際、「System Manager」フォルダは Macintosh 上のどこにあっても使用できます。
ただし、「System Manager」フォルダ内に「external_command」ファイルと「System Manager ツール」が存在していることが必須条件となります。

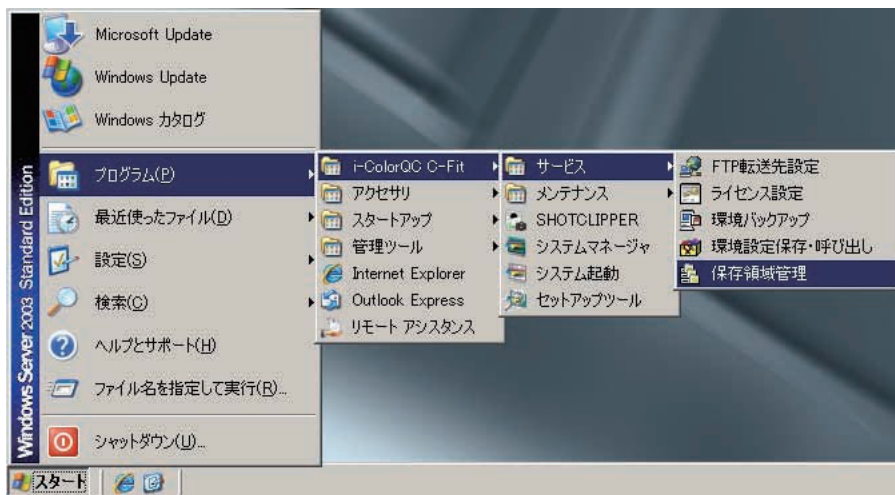
5 WebDAV の設定

i-ColorQC C-Fit クライアント GUI 機能を使用するには、WebDAV*¹ の設定が必要です。

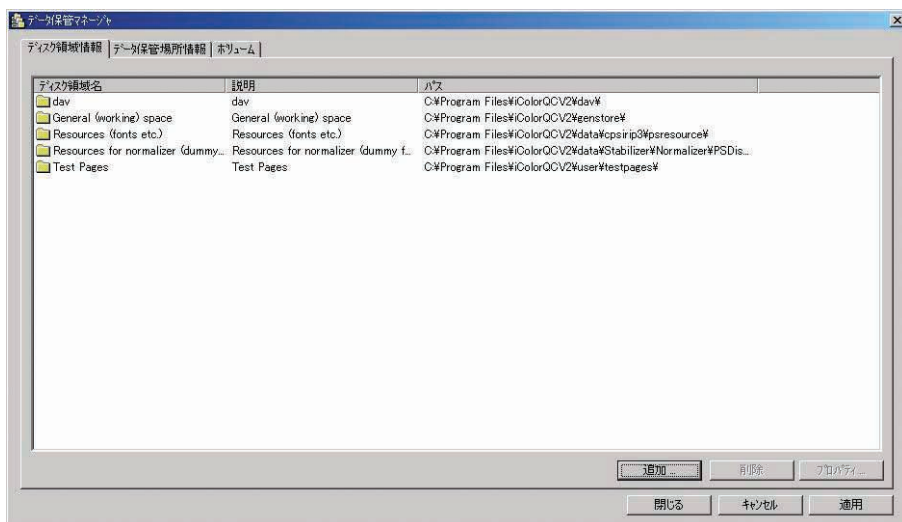
*1 WebDAV とは、HTTP を拡張して、クライアント PC から、Web サーバー上のファイルやフォルダを管理できるようにしたプロトコルです。

WebDAV 用のディスク領域をサーバー PC で設定します。

- 1 「スタート」メニューの「プログラム」より「i-ColorQC C-Fit」→「サービス」→「保存領域管理」を選択します。

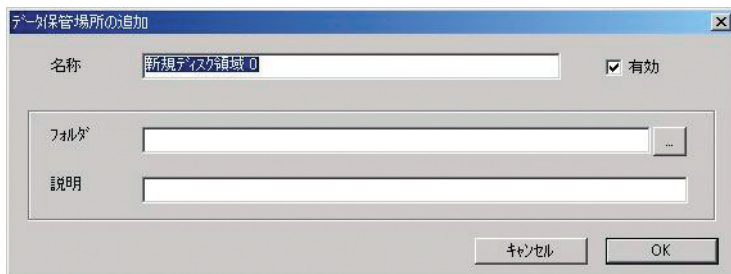



- 2 「データ保管マネージャ」ウィンドウが表示されます。「データ保管マネージャ」の「ディスク領域情報」タブを選択します。



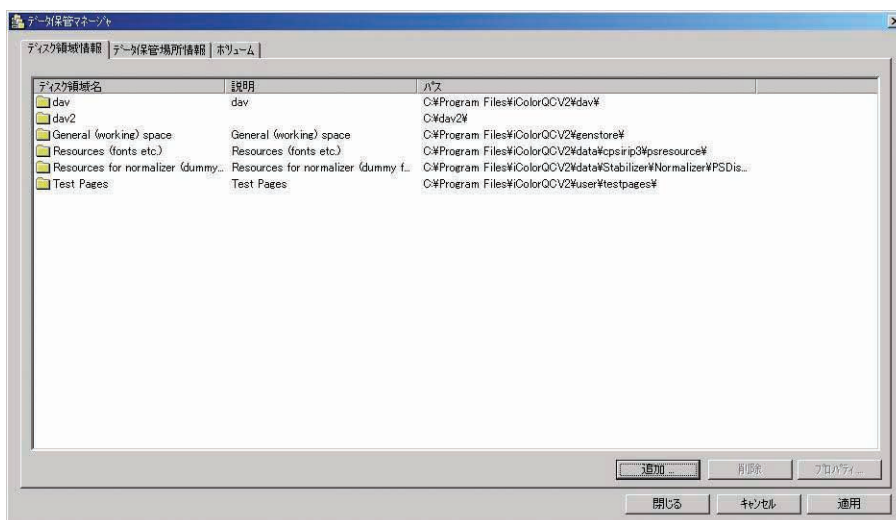
デフォルトで WebDAV 用のディスク領域は、dav というディスク領域名でパスが指定されています。

3 「追加」をクリックし、領域名を追加します。



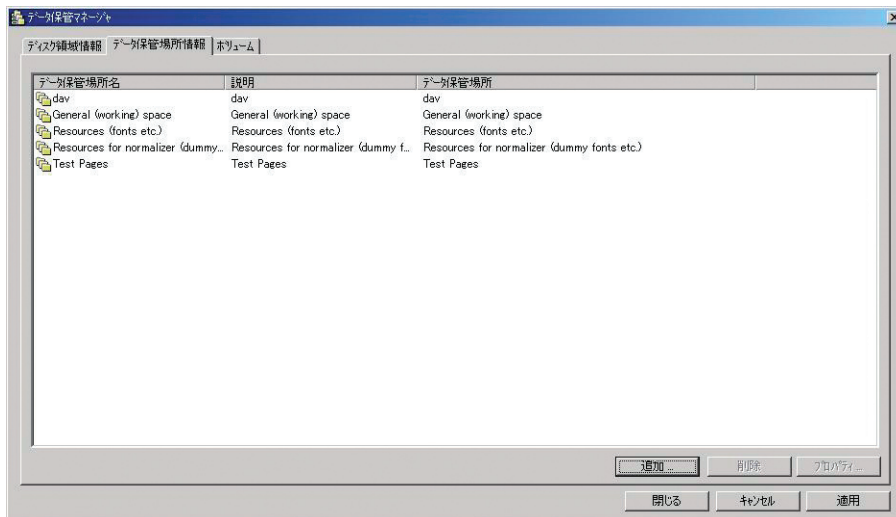
4 「名称」に任意の名称を指定します。
フォルダの  ボタンをクリックして任意のディレクトリを指定し、「OK」をクリックします。

説明：任意のコメントを入力します。



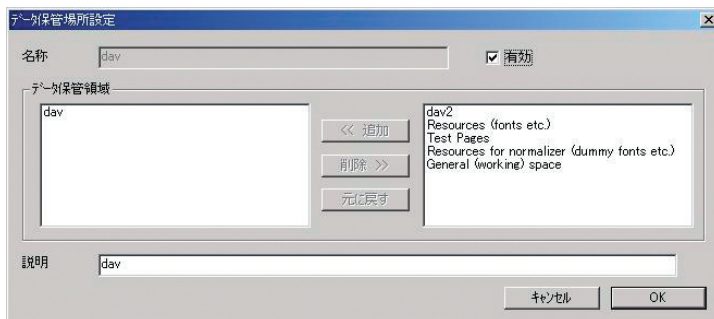
- * この追加だけでは、WebDAV 領域としての使用はできません。
引き続き次ページからのデータ保管場所情報の追加を行ってください。

- 5 「データ保管マネージャ」の「データ保管場所情報」タブを選択します。

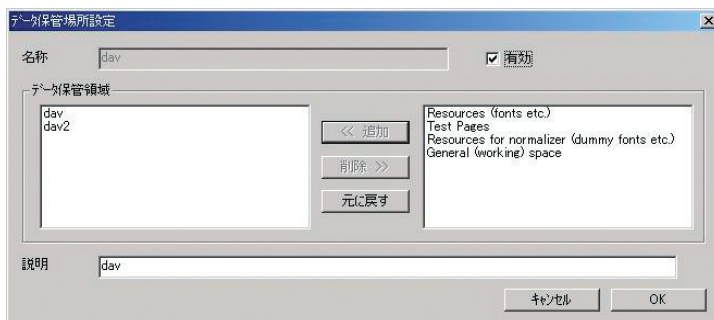


WebDAVは、デフォルトでdavという名称で登録されており、ディスク領域情報でdavとして登録されたフォルダが有効となっています。

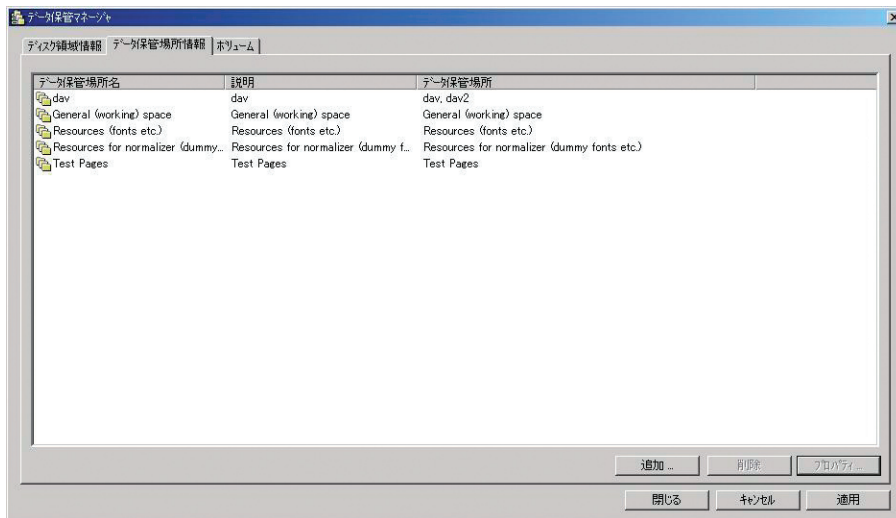
- 6 davを選択し、「プロパティ」をダブルクリックして、「データ保管場所設定」ウィンドウを表示します。
- 7 右リスト欄にディスク領域情報で追加した名称が表示されます。ここでは、dav2を選択し「追加」をクリックします。



- 8 左リスト欄に選択したディスク領域情報が表示されます。



9 「OK」 をクリックすると dav にディスク領域情報が追加されます。



10 「適用」 または 「閉じる」 をクリックし、DAV の設定を完了します。

StartSystem が起動していた場合は、再起動を行ってください。
再起動しないと、設定した領域への DAV アクセスはできません。

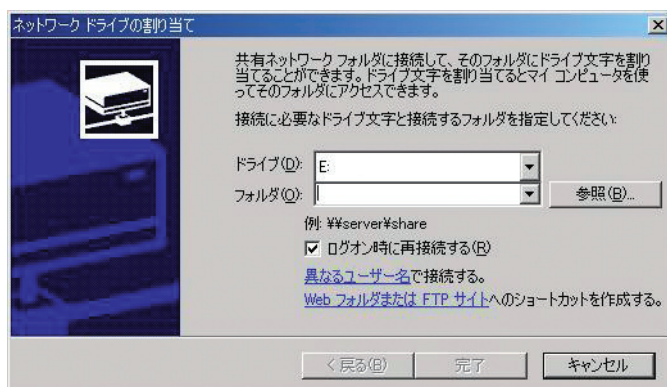
6 WebDAV フォルダへのアクセス



ここでは、クライアント PC で WebDAV フォルダへのアクセスを可能とするための手順を紹介します。
サーバー PC で StartSystem が起動している場合のみ、WebDAV アクセスが可能です。

■ Windows の場合

- 1 エクスプローラのツールメニューから「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。
「Web フォルダまたは FTP サイト」を選択します。

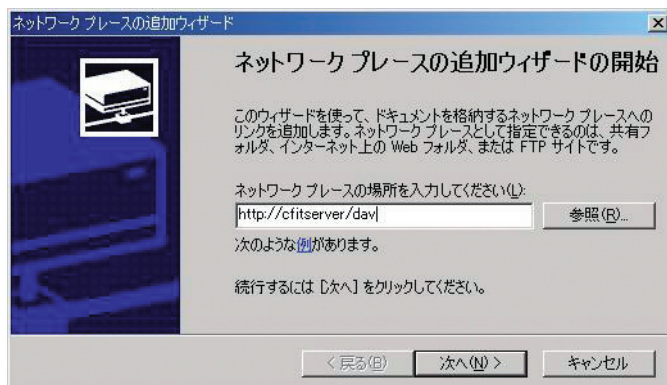


- 2 ネットワークプレースの場所として以下の名前を入力し、「次へ」をクリックします。

http://サーバー PC のホスト名 /7070/dav として設定されているディスク領域情報名

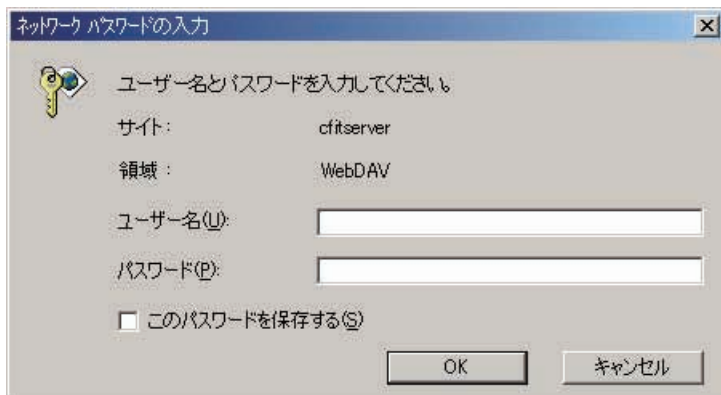
例：サーバーホスト名 : cfitserver
 ディスク領域情報名 : dav2
 ネットワークプレース : http://cfitserver/dav2

- * ディスク領域情報名にスペースを入れた場合は、スペースを__（アンダースコア 2 文字）に置き換え場所を指定してください。
 ディスク領域情報名が“dav 2”の場合、http://cfitserver/dav __ 2 とします。

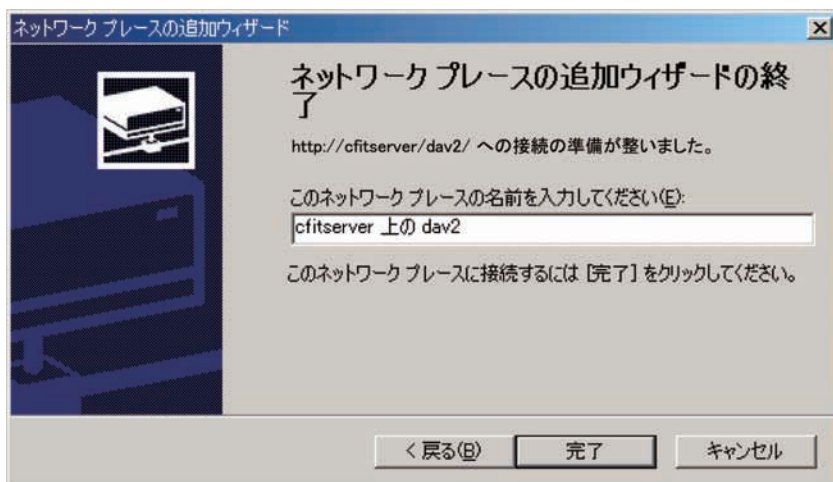


- ③ パスワード入力画面で以下を入力し「OK」をクリックします。

ユーザー名 : cfit_user
パスワード : icolorqc

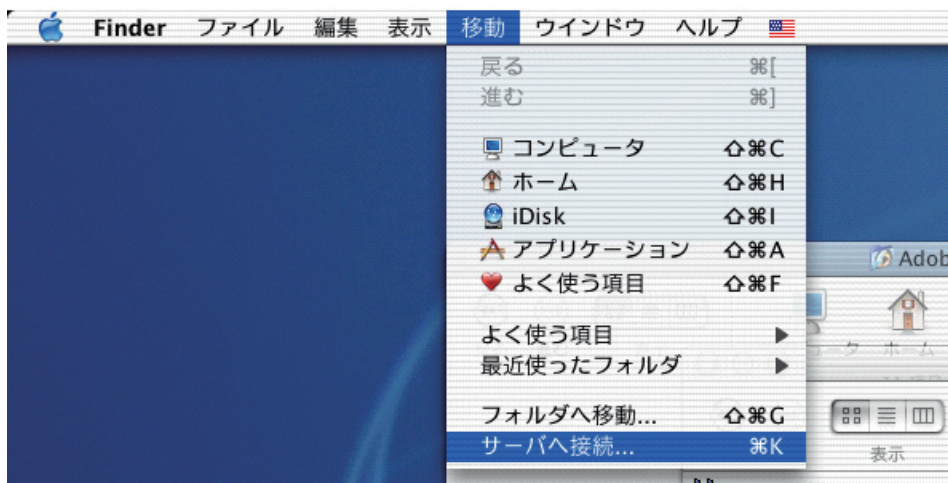


- ④ 「完了」をクリックすると DAV へのアクセスが可能となります。



■ MacOS の場合

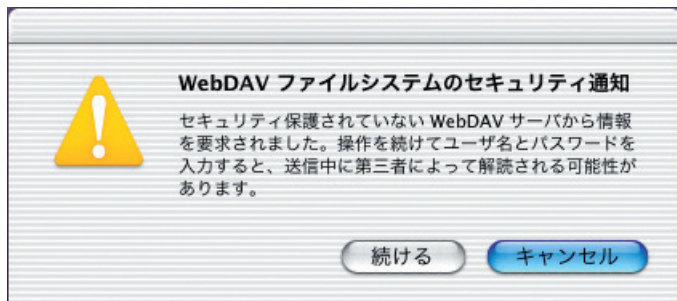
1 メニューの「移動」 → 「サーバへ接続」を選択します。



2 サーバーへの接続ダイアログが開きます。
アドレスとして `http://サーバー PC のホスト名 /7070/dav` として設定されているディスク領域情報名を入力して「接続」をクリックします。



- 3 セキュリティ画面で「続ける」をクリックします。



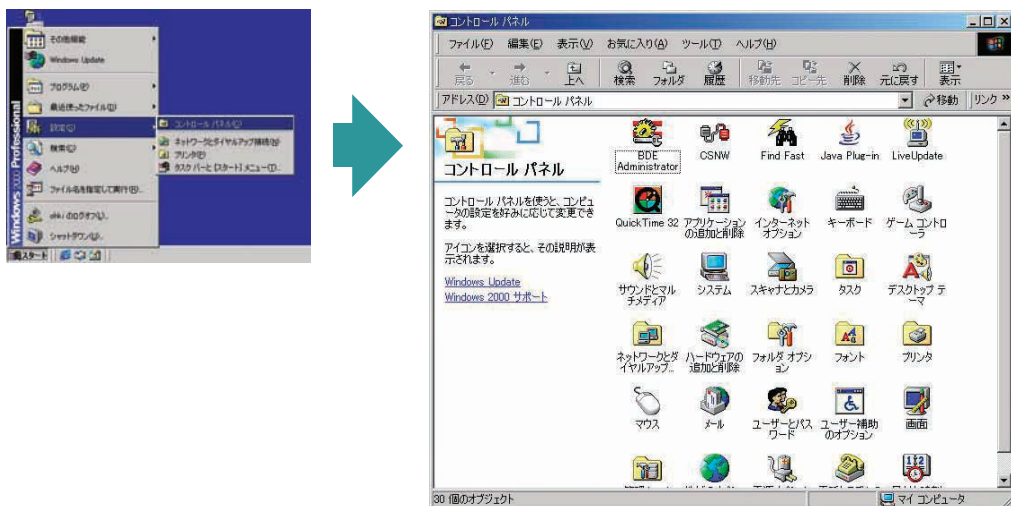
- 4 WebDAV ファイルシステムの認証の画面で以下を入力し「OK」をクリックします。

ユーザ名 : cfit_user
パスワード : icolorqc



■ Windows のアンインストール手順

- 1 「スタート」 → 「設定」 → 「コントロールパネル」 を選択してコントロールパネルを開きます。



- 2 「アプリケーションの追加と削除」 をダブルクリックし、アプリケーションの追加と削除ダイアログを開きます。



- * Windows XP では、「プログラムの追加と削除」となります。
- * Windows Vista/Windows 7 では、「プログラムのアンインストールまたは変更」となります。

- 3 アプリケーションの変更と削除の現在インストールされているプログラムで、表示されるリスト中の Fujifilm Applications を選択します。



- 4 「変更と削除」 をクリックします。



- 5 「本当に全ての Fujifilm Applications をこのマシンから削除しますか？」 という確認ダイアログで「はい」 をクリックします。

■ MacOS のアンインストール手順

- 1 インストール先の「System Manager」フォルダをゴミ箱に入れます。



第2章

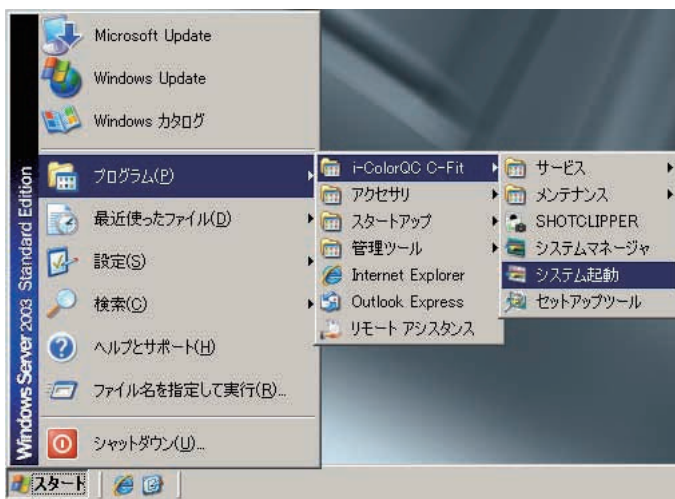
i-ColorQC C-Fit の起動と終了

■ Windows の場合（サーバー／クライアント共通）

- 1 サーバー PC で「i-ColorQC C-Fit」を起動します。
起動手順は、クライアント PC の場合と同じです。
- 2 クライアント PC で「i-ColorQC C-Fit」を起動します。

「スタート」メニューから「プログラム」を選択し、続けて「i-ColorQC C-Fit」、「システム起動」と選択します。

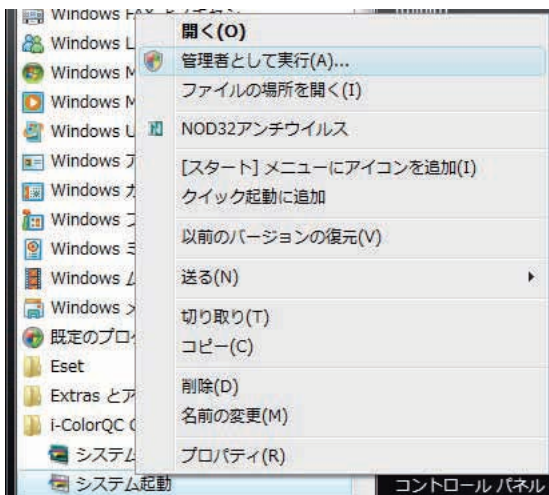
Windows Vista/Windows 7 を使用している場合は、UAC が OFF であるか確認してください。



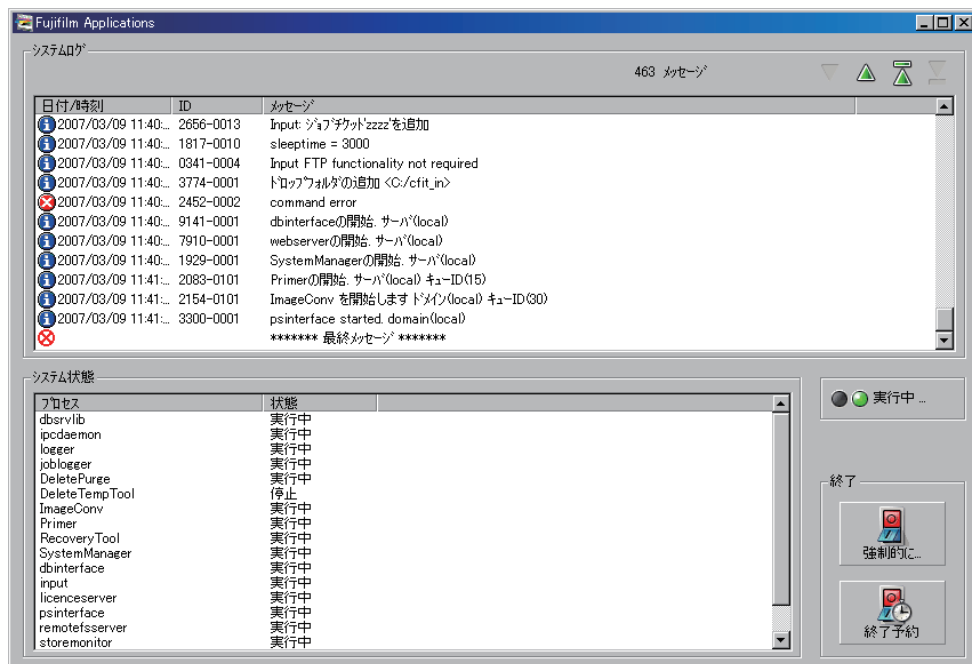
《UAC が ON の場合》

UAC が ON の場合は、以下の補足手順を実行する必要があります。

補足手順：「スタート」メニューから「i-Color QC C-Fit」を開き、「システム起動」をマウスで右クリックして、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。



3 「Fujifilm Applications」の画面が表示されます。



4 「システム状態」の各「プロセス」の「状態」がすべて「実行中」になると、「SystemManager ログイン画面」が表示されます。



● サーバー選択

C-Fit システムを起動しているパソコンのホスト名が表示されます。スタートメニューで「システムマネージャ」を指示した場合には、対象となるパソコンのホスト名をキーボードで入力する必要があります。ただし、一旦ログインが成功したホスト名はコンボボックスに登録されます。

● アクセスレベル

SystemManager 利用時のログインレベルを設定します。アクセスレベルは、以下の3段階です。

- ① システム管理者 : すべての機能を使用することができます。
- ② 一般ユーザ : ジョブキュー内のジョブについて編集処理の実行指示が行えます。
- ③ 閲覧ユーザ : ジョブキューを閲覧することができます。

●パスワード

「システム管理者」または、「一般ユーザ」のログインでパスワードが設定されている場合は、ここで入力します。
「閲覧ユーザ」の場合は、パスワード不要です。

●OK

ログインを開始します。

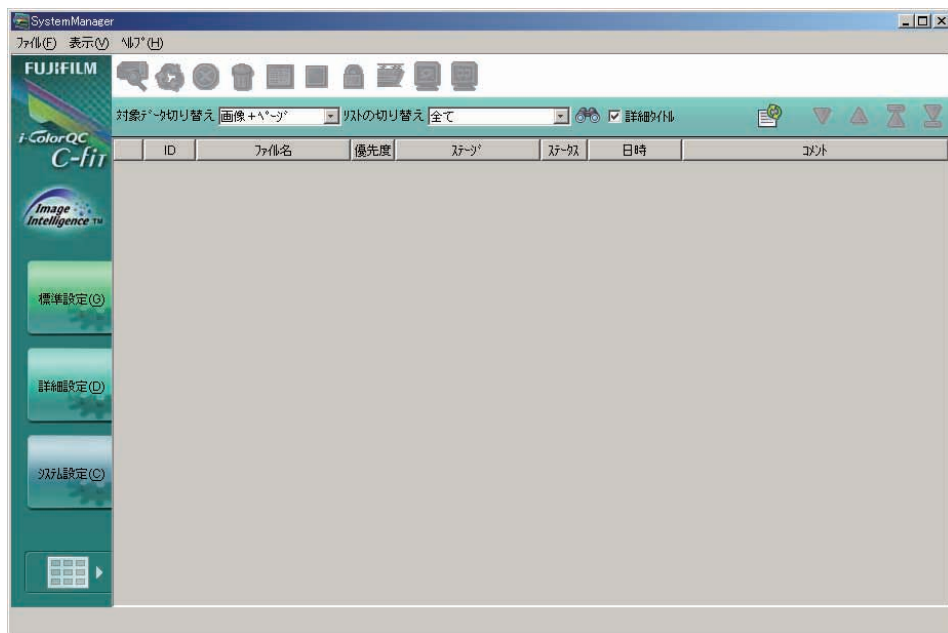
●終了

ログインせずに、SystemManager を終了します。

5 「パスワード」にパスワードを入力し「OK」をクリックします。
ただし、次の場合はエラーとなり、そのエラーメッセージが表示されます。

- 指定したサーバのシステムが起動していない場合
- 異なったパスワードが入力された場合

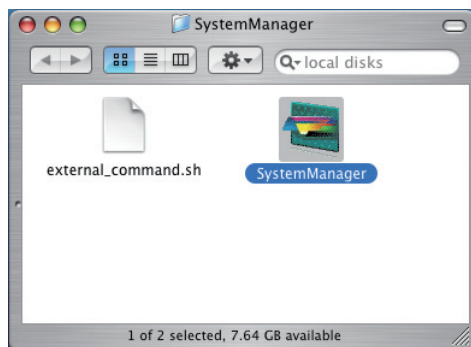
6 「i-ColorQC C-Fit」が起動し「SystemManager」ウィンドウが表示されます。



7 クライアントPCの「スタート」メニューから「プログラム」を選択し、続けて「i-ColorQC C-Fit」、「システムマネージャー」を選択します。
その後のログイン手順はサーバーPCと同じです。

■ Macintosh OS X クライアントの場合

- 1 サーバー PC で i-ColorQC C-Fit を起動します。
- 2 Macintosh にインストールした「System Manager」フォルダ内の「System Manager ツール」アイコンをダブルクリックします。



- 3 「ログイン」ウィンドウが表示されます。

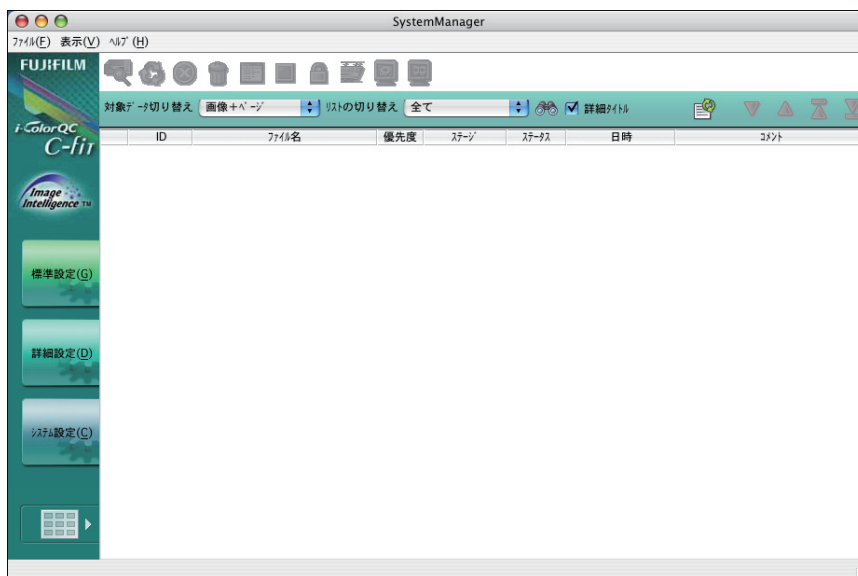


- 4 「サーバ選択」に C-Fit システムが起動しているサーバーの IP アドレスを入力します。



5 「OK」 ボタンをクリックすると、システムマネージャーが起動します。
以下の場合、「OK」 ボタンをクリックするとエラーとなります。

- サーバーが選択されていない場合
- 一致するサーバー名が無かった場合



2

終了手順

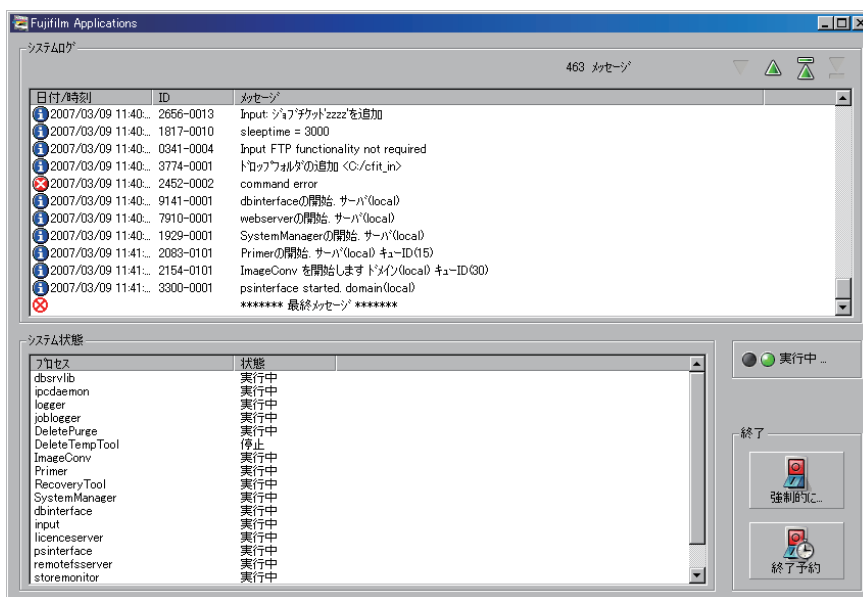
ここでは、サーバー PC でのシステム終了手順について説明します。
クライアントの終了方法は、「SystemManager」の「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

1 終了方法

- 1 ツールバーより、「Fujifilm Applications」をクリックします。



- 2 「FujiFilm Applications」ウィンドウが表示されます。

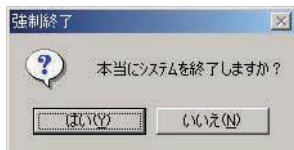


ここで、「強制的に  」ボタンをクリックします。

または、ツールバーより「Fujifilm Applications」をマウス右クリックし、「閉じる」を選択します。



3 システム終了の確認ウィンドウが表示されます。

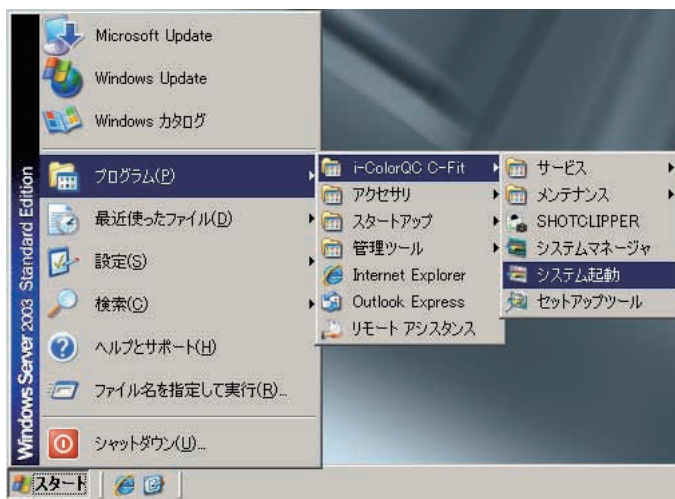


「はい」をクリックして、終了します。
「i-ColorQC C-Fit」が自動的に終了します。

■ Windows の場合（サーバーの場合）

1 スタートメニュー

「スタート」メニューは、以下のようになります。



● サービス

このメニューの下層で「FTP 転送先設定」、「ライセンス設定」、「環境バックアップ」、「環境設定保存・呼び出し」、「保存領域管理」のアプリケーションを選択できます。

- FTP 転送先設定 : データを FTP ネットワークへ転送するための設定を行います。
- ライセンス設定 : ライセンス登録に使用します。
- 環境バックアップ : データをバックアップ／リストアするためのユーティリティツールです。
- 環境設定保存・呼び出し : ジョブチケットの保存および読み込みツールを起動します。詳細については、「C-Fit リストアツールユーザーガイド」を参照してください。
- 保存領域管理 : 保存領域の設定 / 変更を行いません。

● メンテナンス

このメニューの下層で「Dos Console」、「ジョブ確認」、「ログ保存」のアプリケーションを選択できます。

- Dos Console : 選択すると DOS のコマンドウィンドウが開きます。
- ジョブ確認 : ジョブ確認ツールを起動します。
- ログ保存 : システムのログを保存する機能です。

● SHOTCLIPPER

SHOTCLIPPER が起動します。詳細については、「SHOTCLIPPER ソフトユーザーガイド」を参照してください。

● システムマネージャ

システムマネージャが起動します。(クライアント PC でも選択可能です)

● システム起動

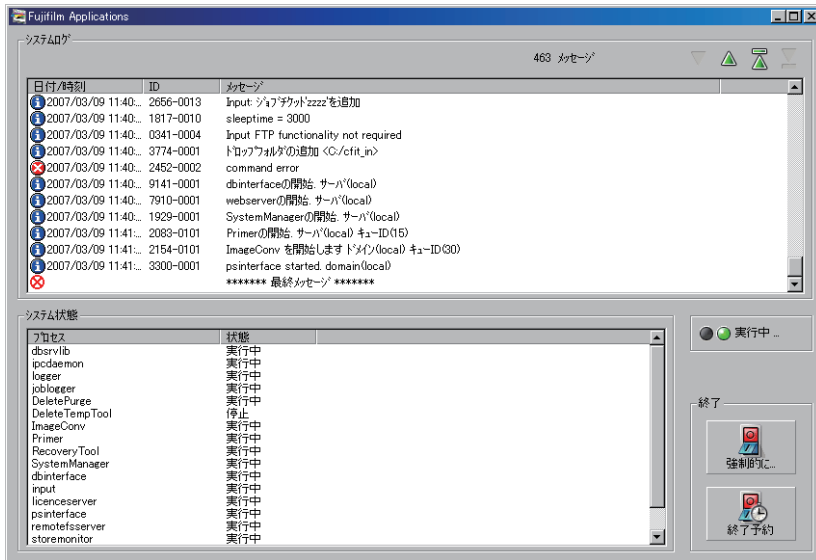
システムが起動し、システムマネージャが起動します。

● セットアップツール





セットアップツールが起動します。(クライアント PC でも選択可能です) 詳細については、「C-Fit セットアップツールユーザーガイド」を参照してください。

2 Fujifilm Applications

「Fujifilm Applications」の画面は、以下のような構成になります。



● システムログ.....システムの動作履歴を表示します。

- ○○○メッセージ メッセージの行数が表示されます。
-  一行下のメッセージへ表示をスクロールします。
最下行のメッセージを表示しているときは、使用できません。
-  一行上のメッセージへ表示をスクロールします。
最上行のメッセージを表示しているときは、使用できません。
-  最上行のメッセージを表示します。
-  最下行のメッセージを表示します。
- 日付/時刻 システムの各部が動作した日付、時刻が表示されます。
- ID 動作したシステムの ID が表示されます。
- メッセージ 動作の内容がメッセージ表示されます。



● システム状態.....システムの各プロセスの状態を表示します。

- プロセス システムのプロセス名が表示されます。
- 状態 各プロセスの状態を「停止」、「起動中」、「実行中」で表示します。

●  システムが実行中であることを表示します。

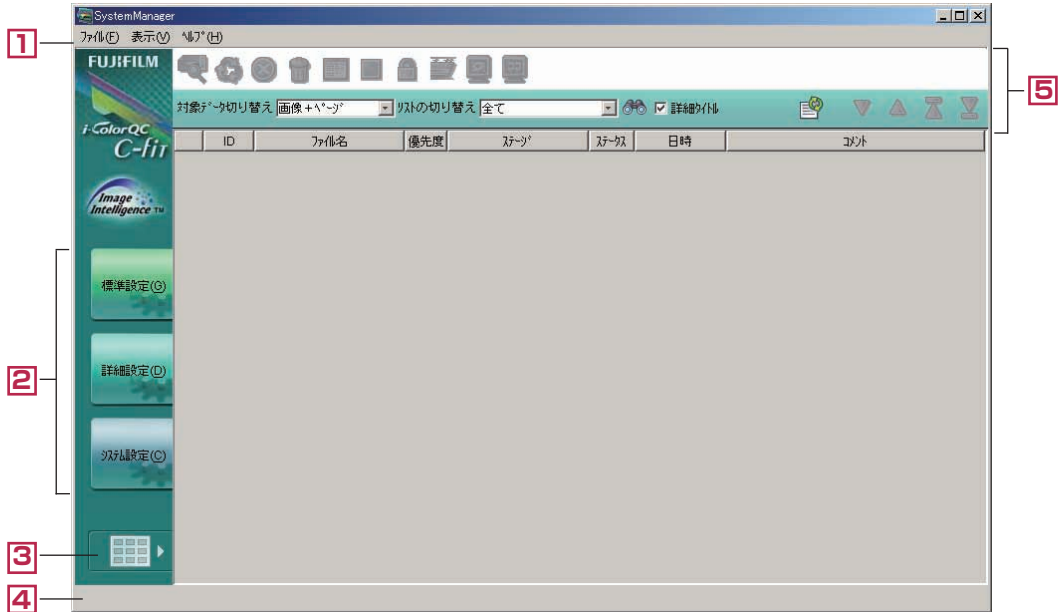
●  システムが終了中であることを表示します。

● 終了.....終了操作を行います。

-  直ちにシステムを終了します。
-  時刻を予約して、システムを終了します。

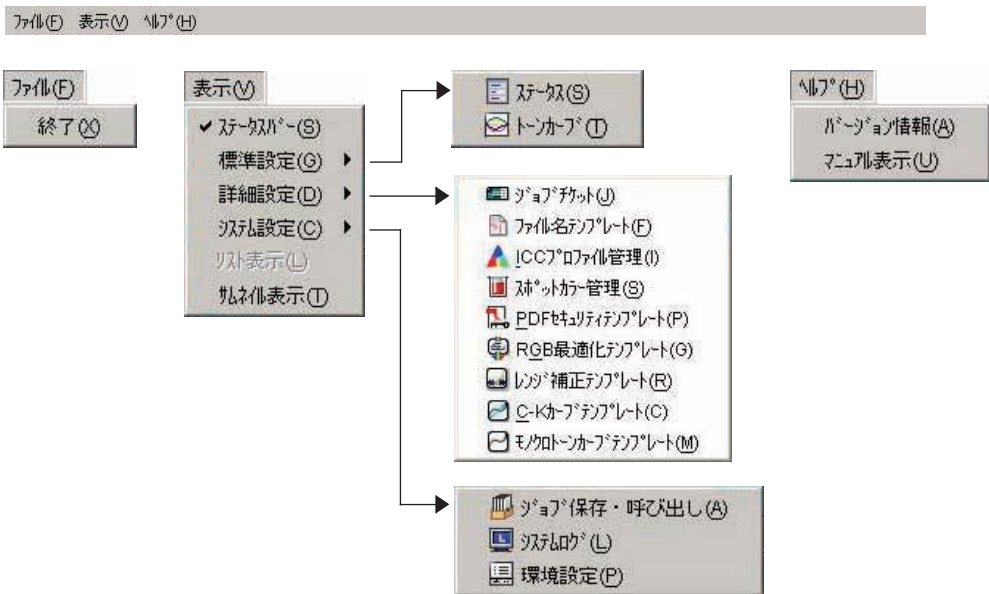
3 メイン画面

メイン画面は大きく分けて、**1** メニューバー、**2** 設定メニュー起動アイコンボタン、**3** 表示切替アイコンボタン、**4** ステータスバー、**5** ジョブ操作ツールバー、ジョブキュー表示ウィンドウで構成されています。

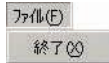


1 メニューバー

メニューを指示することにより、システムマネージャ全ての機能設定をここから指示することができます。

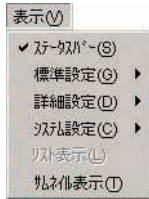


● ファイルメニュー



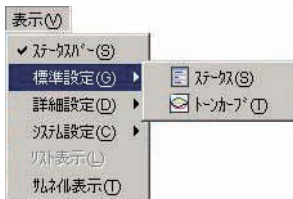
- 終了 (X).....SystemManager を終了します。

● 表示メニュー



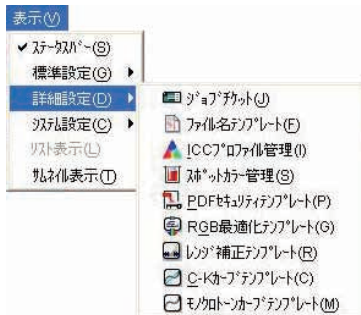
- ステータスバー (S)ウィンドウ下端のステータスバー表示 ON/OFF 切り替えを行います。
表示されている場合は、サブメニュー項目上にチェックマークが追加されます。

● 標準設定 (G)



- ステータス (S)
ステータス画面を表示します。
表示されている場合は、サブメニュー項目上にチェックマークが追加されます。
- トーンカーブ (T)
トーンカーブ管理画面を表示します。

● 詳細設定 (D)



注：ライセンスにより表示される項目が異なります。

- ジョブチケット (J)
ジョブチケット編集画面を表示します。
- ファイル名テンプレート (F)
ファイル名テンプレート画面を表示します。
- ICC プロファイル管理 (I)
ICC プロファイル管理画面を表示します。
- スポットカラー管理 (S)
特色データ管理画面を表示します。
- PDF セキュリティテンプレート (P)
PDF セキュリティテンプレート画面を表示します。
- RGB 最適化テンプレート (G)
RGB 最適化テンプレート画面を表示します。
- レンジ補正テンプレート (R)
レンジ補正テンプレート画面を表示します。
- C-K カーブテンプレート (C)
C-K カーブテンプレート画面を表示します。
- モノクロトーンカーブテンプレート (M)
モノクロトーンカーブテンプレート画面を表示します。

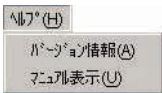
● システム設定 (C)



- ジョブ保存・呼び出し (A)
ジョブのアーカイブ管理画面を表示します。
- システムログ (L)
システムログ情報画面を表示します。
- 環境設定 (P)
環境設定画面を表示します。

- リスト (L) ジョブキュー表示がサムネイル表示時に、リスト表示に切り替えます。
リスト表示時には、選択できません。
- サムネイル (V) ジョブキュー表示がリスト表示時に、サムネイル表示に切り替えます。
サムネイル表示時には、選択できません。

● ヘルプメニュー



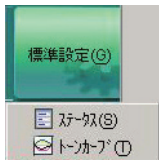
- バージョン情報 (A) バージョン情報画面を表示します。
- マニュアル表示 (U) 使い方マニュアルを表示します。
環境設定の Viewer 設定で PDF に対し、Acrobat を指定してください。
第 5 章 ⑥「4 Viewer 設定」(287 ページ) を参照してください。

2 設定メニュー起動ボタン



各種サブウィンドウ起動用のアイコンボタンがあります。
設定メニュー起動ボタンは、「標準設定」、「詳細設定」、「システム設定」の3つのカテゴリから構成されます。
各設定メニュー起動ボタンを選択して表示される内容は、メニューバーの「表示」から「標準設定」、「詳細設定」、「システム設定」を指示した場合と同じです。

● 標準設定ボタン



- ステータス (S) ステータス画面を表示します。
- トーンカーブ (T) トーンカーブ管理画面を表示します。

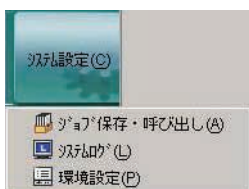
● 詳細設定ボタン



注：ライセンスにより表示される項目が異なります。

- ジョブチケット (J) ジョブチケット編集画面を表示します。
- ファイル名テンプレート (F) ファイル名テンプレート画面を表示します。
- ICC プロファイル管理 (I) ICC プロファイル管理画面を表示します。
- スポットカラー管理 (S) 特色データ管理画面を表示します。
- PDF セキュリティテンプレート (P) PDF セキュリティテンプレート画面を表示します。
- RGB 最適化テンプレート (G) RGB 最適化テンプレート画面を表示します。
- レンジ補正テンプレート (R) レンジ補正テンプレート画面を表示します。
- C-K カーブテンプレート (C) C-K カーブテンプレート画面を表示します。
- モノクロトーンカーブテンプレート (M) ... モノクロトーンカーブテンプレート画面を表示します。

● システム設定ボタン



- ジョブ保存・呼び出し (A) ジョブのアーカイブ管理画面を表示します。
- システムログ (L) システムログ情報画面を表示します。
- 環境設定 (P) 環境設定画面を表示します。
※ 一部、クライアント側で使えない機能あり。

3 表示切替

ジョブキューウィンドウの表示をジョブリスト表示、またはサムネイル表示への切り替えを行います。



表示切替アイコンボタン  /  を選択すると、ジョブキューウィンドウがジョブリスト表示または、サムネイル表示に切り替わります。

※ SystemManager 起動直後のジョブキューウィンドウは、リスト表示となっています。

表示切替アイコンは、表示状況に応じて切り替わり、クリックするごとに表示の切り替えを行います。

4 ステータスバー

選択したジョブの詳細表示を、下図のようにステータスバーに表示します。表示項目は、[ソースタイプ]、[ファイルサイズ]、[ジョブチケット] です。

<単画像の場合>

[ID]: 24 [サイズ]: TIFF-RGB [容量]: 0.08MB [ジョブチケット名]: test-1

<ページデータの場合>

[ID]: 24 [サイズ]: PDF [容量]: 0.08MB [ジョブチケット名]: test-1

5 ジョブ操作ツールバー

ジョブキューウィンドウの上部に、ジョブ操作ツールバーが配置されます。ジョブ操作ツールバーには、下図のようにジョブの制御を行うためのアイコンボタンと、ステータスごとの表示の切り替え、データによる表示切り替え、ジョブ検索ボタン、ページ切り替えアイコンボタンなどで構成されます。各アイコンボタンは、指示不可能な場合はグレー表示になり、選択することができません。



● ジョブチケット

1 つのみ選択したジョブに対するジョブチケット変更画面を表示します。

● 再実行

ステータスが完了・失敗状態の1つ以上のジョブに対して再実行指示をします。

● 中止

ステータスが処理中・待機中の1つ以上のジョブに対して、処理の中止指示をします。

● 削除

ステータスが完了・失敗状態の1つ以上のジョブに対して、ジョブの削除指示をします。

● ジョブログ

1つのみ選択したジョブのジョブログ画面を表示します。

● 一時停止 / 停止解除

1つ以上の待機中のジョブに対して、停止 / 解除指示をします。

● ロック設定 / ロック解除

1つ以上のジョブに対して、ロック設定 / ロック解除指示をします。

● エクスプレス / 通常

1つ以上の処理待ちジョブに対して、エクスプレス / 通常を指示をします。エクスプレス指定されたジョブは、優先して処理が行われます。

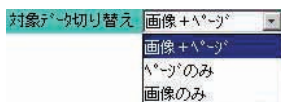
● 画像表示

1つのみ選択した処理完了ジョブに対して、画像表示の指示をします。画像表示には、環境設定の Viewer 設定で指定したアプリケーションが使用されます。

● 画像比較表示

1つのみ選択した処理完了ジョブに対して、処理前と処理後の比較表示の指示をします。画像表示には、環境設定の Viewer 設定で指定したアプリケーションが使用されます。

● 対象データ切り替え コンボボックス



表示する対象データを切り替えます。選択肢は、以下のとおりです。

画像+ページ / ページのみ / 画像のみ

ただし、ライセンスによって以下の様にコンボの中身は切り替わります。

< C-Fit ドキュメントライセンスのみ >

・ ページのみ

< C-Fit イメージライセンスのみ、または C-Fit33Image ライセンスのみ >

・ 画像のみ

< C-Fit ドキュメントライセンス + C-Fit イメージライセンス >

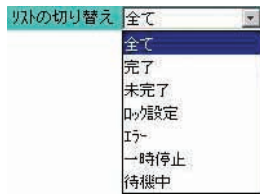
または、C-Fit ドキュメントライセンス + C-Fit33Image ライセンス >

・ 画像+ページ

・ ページのみ

・ 画像のみ

● リストの切り替え コンボボックス



リスト表示するジョブの種類を表示します。選択肢は、以下のとおりです。

全て / 完了 / 未完了 (失敗・一時停止・処理待ち・処理中) / ロック設定 / エラー / 一時停止 / 待機中

● 検索ボタン

ジョブの検索画面を起動します。

検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックすることで該当ジョブのみを表示することができます。

● 詳細タイトル



リスト表示において、リスト項目を切り替えます。

- 詳細タイトル全項目を表示します。
- 詳細タイトルID、ファイル名、優先度のみを表示します。

● 更新

データベースへ表示データの更新を行います。

● 次ページ

次ページを表示します。

1 ページしかない場合または、最終ページを表示していた場合、指示できません。

● 前ページ

前ページを表示します。

1 ページしかない場合または、先頭ページを表示していた場合、指示できません。

● 先頭ページ

先頭ページを表示します。

1 ページしかない場合または、先頭ページを表示していた場合、指示できません。

● 最終ページ

最終ページを表示します。

1 ページしかない場合または、最終ページを表示していた場合、指示できません。


6 ジョブキューウィンドウ

C-Fit 変換指示されたジョブが表示されるエリアです。
表示切替ボタンでリスト表示とサムネイル表示との切り替えができます。

① リスト表示

ジョブキューをリスト表示します。

	ID	ファイル名	優先度	ステータス	スレーブ	日時	コメント
	36	test-6....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	35	test-5....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
🔒	34	test-4....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	33	test-3....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	32	test-2....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
🔒	31	test-1....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	30	test-6....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	29	test-5....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	28	test-4....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	27	test-3....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	26	test-2....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
🔒	25	test-1....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	24	test-6....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	23	test-5....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	22	test-4....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	21	test-3....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
🔒	20	test-2....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	19	test-1....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	18	test-6....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	17	test-5....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	16	test-4....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	15	test-3....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	14	test-2....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	13	test-1....	●	Docum... 完了		2004/02/28 14:...	
	12	test-6....	●	Docum... 完了		2004/02/28 13:...	

1 ページにリスト表示されるジョブ件数は、環境設定の第 5 章 ⑥ 「1 表示設定」(267 ページ参照) で変更できます。表示件数を超過した場合は、ページが追加され、ジョブ操作ツールバーのページ切り替え  で表示するページを切り替えることができます。

リスト中のジョブを選択するには、ジョブをマウスでクリックします。複数のジョブを選択するには以下のようにします。

Windows の場合

「Shift」キーまたは、「Ctrl」キーを押しながら、クリックします。

Macintosh の場合

「Apple」キーまたは、「Shift」キーを押しながら、クリックします。

複数選択を解除するには、各キー (Windows の場合は「Control」キー、Macintosh の場合は「Alt」キー) を押しながらリストをクリックします。

※ ページをまたがった複数選択はできません。

※ 各項目をクリックすると、その項目でソートされます。(昇順 / 降順のトグルとなります。)

ソートを実行した場合、ソートしている項目右上に「*」が付加されます。

ロックされているジョブに対しては、ロック設定情報アイコン  がリスト上に表示されます。

● ID

ジョブ ID が表示されます。入力されたジョブに、自動的に付けられる ID 番号です。

● ファイル名

ファイル名は、変換前のファイル名で表示されます。

● 優先度

ジョブの処理優先度を表示します。

異なる色の丸印で、2 段階のレベル（優先度）を表示します。

緑 : エクスプレス（優先）

グレー : 通常

● ステージ

処理の段階（Color, Magnify, Convert, Export, PDF-Embed, PDF-Export）を表示します。

● ステータス

処理状況を表示します。

表示内容は、（待機中 | 実行中 | 完了 | 失敗 | パージ）の 6 種類です。

ステータスによって、リストの表示色が異なります。

< 待機中 > : 水色

< 処理中 > : 水色

< 完了 > : 白

< 失敗 > : ピンク

< 停止 > : オレンジ

< パージ > : グレー

● 日時

ジョブが生成された日時。ジョブが削除されるまで不変です。

表示形式 : 2003/04/04 14:13

● コメント

ジョブログのコメント欄に入力された情報が表示されます。


② サムネイル表示

ジョブキューをサムネイル表示します。



処理済のジョブのみサムネイル表示され、それ以外のジョブはステータスに色分け表示されます。

待機中：水色
処理中：水色
失敗：ピンク
停止：オレンジ
パージ：グレー

サムネイル表示の一画面に表示される件数は、リスト表示で設定された件数と同じです。一列に表示される件数は「環境設定」で任意の数に変更できます。サムネイル画像とジョブ名称が表示され、ロック設定されたジョブは、ロック設定情報  がジョブ名称の先頭に表示されます。ジョブが選択されている場合は、背景が青色になります。

- ※ ページをまたがった選択はできません。
- ※ 複数選択する方法は、リスト表示時と同様です。

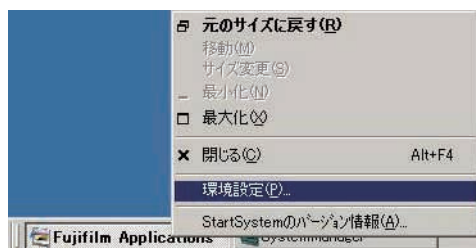
4 Fujifilm Applications の環境設定

サーバー PC で i-ColorQC C-Fit 起動中、「Fujifilm Applications」が常時稼動しています。「Fujifilm Applications」の環境設定で ログの表示と i-ColorQC C-Fit 起動後のウィンドウの処理を設定することができます。

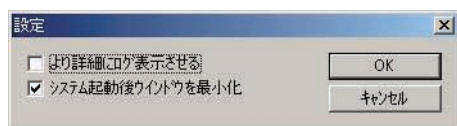
- 1 ツールバーより「Fujifilm Applications」を選択して、マウスの右ボタンをクリックします。下のようなメニューが表示されます。



- 2 メニューより「環境設定」を選択します。



- 3 「設定」ウィンドウが表示されます。



初期設定では、どちらの項目も選択されています。
通常、変更する必要はありません。

- 「より詳細にログ表示させる」

選択されていると、「System Log」の情報が詳しく表示されます。

- 「システム起動後ウィンドウを最小化」

選択されていると、i-ColorQC C-Fit 起動後、「Fujifilm Applications」ウィンドウを最小化した状態にします。

- 4 設定後、「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

第3章
ジョブチケット
の作成

ジョブチケットとは

ジョブチケットとはジョブの入力条件、色変換条件、出力条件およびドロップフォルダ、出力フォルダを設定するためのものです。
処理条件ごとに設定・登録しておくことが必要です。

設定できる項目は、以下のとおりです。

注：ライセンスによって、設定できる項目、内容が異なります。

● 入力

ジョブの入力方法を設定します。

- ・ジョブのプライオリティ（優先度）
- ・ドロップフォルダ

● 美肌処理

美肌処理を設定します。

- ・強度設定
- ・閾値（1, 2）設定

● RGB → R' G' B' 変換

RGB 入力プロファイルと RGB 出力プロファイルを設定します。

- ・RGB 入力
- ・RGB 出力

● 色かぶり補正

入力画像の色かぶり補正を設定します。

- ・強度

● RGB → モノクロ変換

RGB データをモノクロへ変換する設定をします。

- ・シャープネス
- ・色フィルタ
- ・トーンカーブ（シャドー部のみ）

● CMYK → RGB 変換

CMYK データを RGB データへ変換する入出力プロファイルを設定します。

- ・CMYK 入力
- ・RGB 出力

● RGB → CMYK 変換

RGB データを CMYK データへ変換する入出力プロファイルを設定します。

- ・イラスト分類
- ・シャープネス
- ・RGB 入力
- ・大差異ガマット
- ・C-K カーブ
- ・黒点補正
- ・インク総量
- ・CMYK 出力

● CMYK → C' M' Y' K' 変換

CMYK データを C' M' Y' K' データへ変換する入出力プロファイルを設定します。

- ・イラスト分類
- ・CMYK 入力
- ・大差異ガマット
- ・インク総量
- ・特色マッチ (ページのみ)
- ・CMYK 出力

● RGB 最適化

RGB 画像の最適化を設定します。

- ・RGB 最適化

● レンジ補正

レンジ補正を設定します。

- ・レンジ補正

● ゲイン調整

ゲイン調整のための入出力プロファイルを設定します。

- ・RGB ソース入出力プロファイル
- ・CMYK ソース入出力プロファイル

● 色調補正

トーンカーブおよびカラーコレクションを設定します。

● リサイズ・回転

リサイズ・回転を設定します。

- ・リサイズ
- ・回転
- ・bit 数

● 画像出力フォーマット

画像出力のフォーマットを設定します。

- ・フォーマット変換
- ・ICC プロファイルの埋め込み
- ・ファイル情報の対応

● ページ出力フォーマット

PDF 出力フォーマットを設定します。

- ・PDF 出力設定
- ・ICC プロファイル埋め込み

● 出力設定

出力データのファイル名および保存を設定します。

- ・出力先設定

《ジョブチケットの連結について》

複数のジョブチケットの入力フォルダと出力フォルダを連結することで、続けて処理を行なうことができます。以下の2つのパターンで連結可能です。

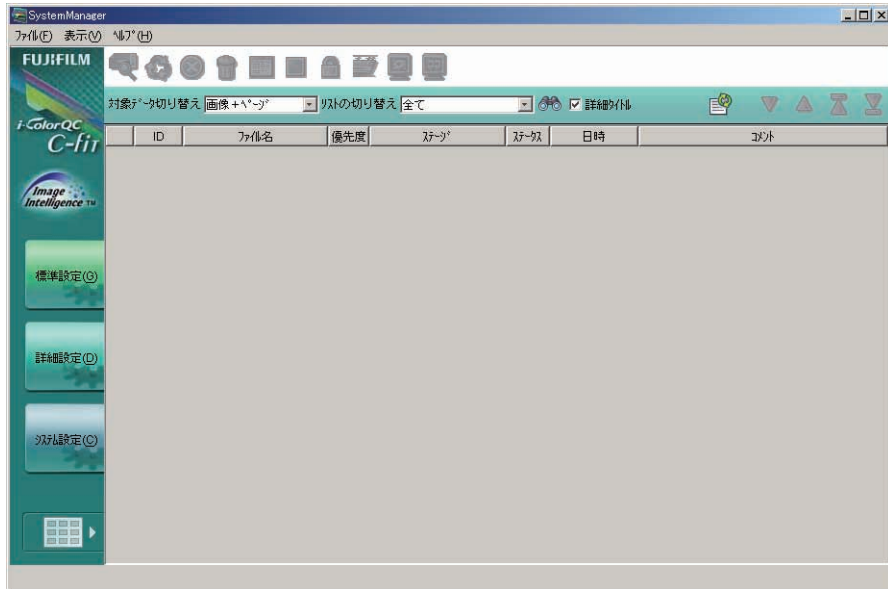
[パターン 1] ジョブチケットの出力フォルダを、別のジョブチケットの入力フォルダにする

[パターン 2] ジョブチケットの入力フォルダを、別のジョブチケットの出力フォルダにする
どちらの場合も、ジョブチケットを設定後、OK ボタンをクリックすると、確認画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。

2

ジョブチケットウィンドウの表示

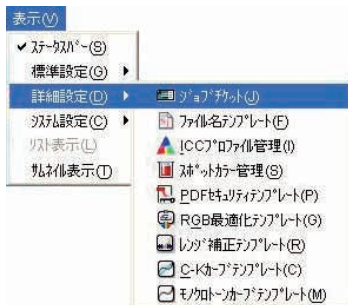
1 「SystemManager」 ウィンドウを起動します。



3

ジョブチケットの作成

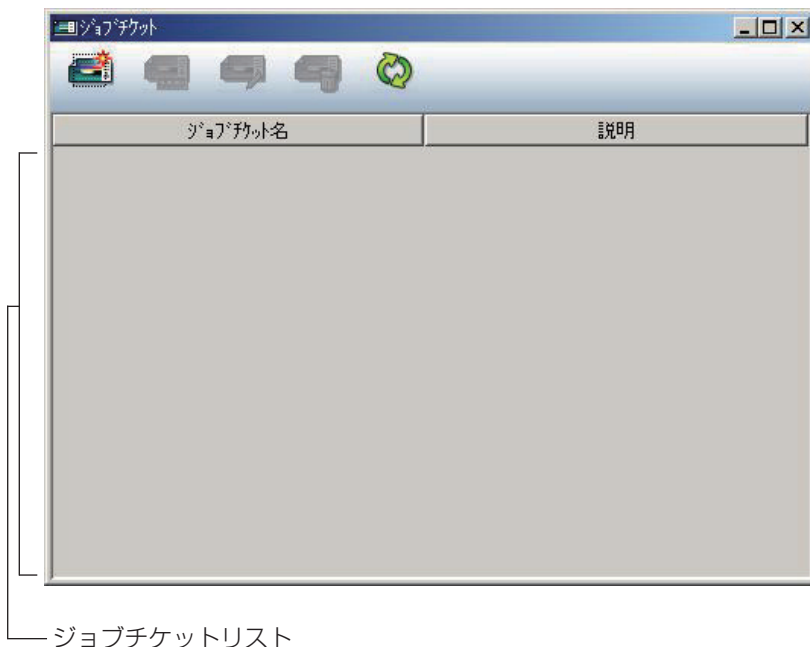
2 「表示」メニューの「詳細設定」より「ジョブチケット」を選択します。



または「詳細設定」ボタンより「ジョブチケット」を選択します。



3 「ジョブチケット」ウィンドウが表示されます。



3

● ジョブチケットリスト

すでに登録されているジョブチケットをリスト表示します。

● ジョブチケット名

すでに登録されているジョブチケットの登録名称を表示します。

● 説明

すでに登録されているジョブチケットに付加された説明を表示します。

● 新規作成



新しくジョブチケットを作成する場合に、このアイコンボタンをクリックします。すでに登録されているジョブチケットを選択しながら、新規作成アイコンボタンをクリックすると、選択したジョブチケットの情報を持った「新規ジョブチケット」ウィンドウが表示されます。

ただし、複数のジョブチケットが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 名称変更



すでに登録されているジョブチケットの名称を変更する場合に、リスト表示よりジョブチケットを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

ただし、複数のジョブチケットが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集



すでに登録されているジョブチケットの内容を変更したい場合に、リスト表示よりジョブチケットを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

ただし、複数のジョブチケットが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 削除 

すでに登録されているジョブチケットを削除する場合に、リスト表示より 1 つ以上のジョブチケットを選択し、このアイコンボタンをクリックします。ジョブチケットが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

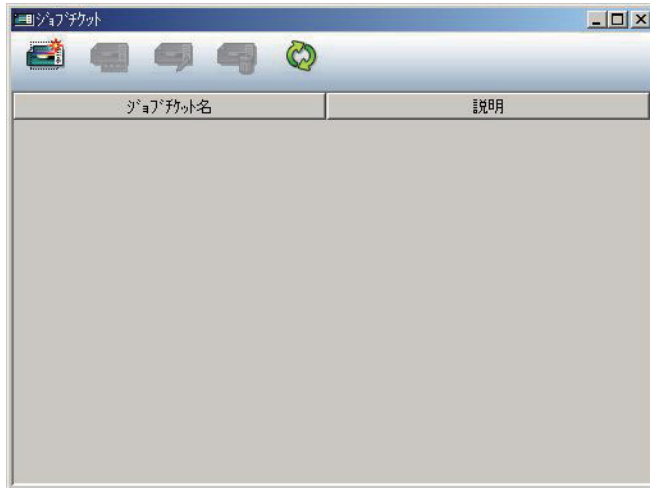
● 更新 

データベースに登録されている最新のジョブチケット一覧を表示します。

3

ジョブチケットの新規作成

1 「ジョブチケット」ウィンドウを起動します。



2

「新規作成」アイコンボタンをクリックします。「新規ジョブチケット」ウィンドウが表示されます。



● 名前

新しいジョブチケットに付ける名称を入力します。
32 バイトまで入力できます。

● 説明

ジョブチケットの説明が必要な場合に、入力します。
256 バイトまで入力できます。

● OK

入力した内容を決定して、「ジョブチケット編集」ウィンドウへ移動します。
ただし、次の場合はエラーとなり、そのエラーメッセージが表示されます。

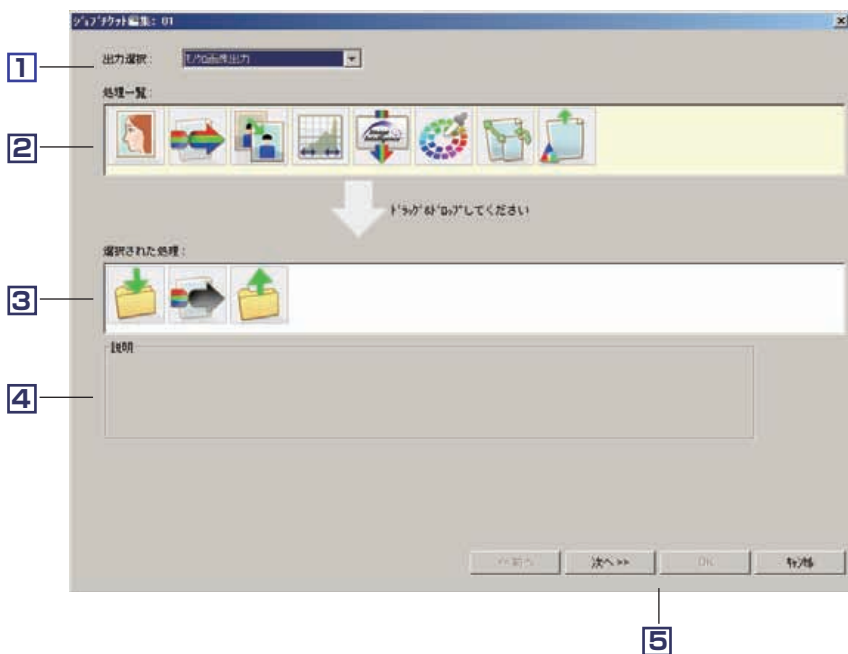
- ジョブチケット名に何も入力されていない場合
- ジョブチケット名が重複していた場合

● キャンセル

入力した内容を取り消して「ジョブチケット」ウィンドウへ戻ります。

3

- 3 「名前」、「説明」を入力後、「OK」ボタンをクリックすると「ジョブチケット編集」ウィンドウが表示されます。



ここでは、出力方式と設定したい項目を選択します。

1 出力選択

出力方式をメニューより選択します。
※ ライセンスによって表示される内容が変わります。



モノクロ画像出力 モノクロ画像を出力する場合のジョブチケットを作成します。
RGB 画像出力 RGB 画像を出力する場合のジョブチケットを作成します。
CMYK 画像出力 CMYK 画像を出力する場合のジョブチケットを作成します。
CMYK ページ出力 ... CMYK ページを出力する場合のジョブチケットを作成します。

2 処理一覧

「1 出力選択」で選択した出力方式で設定可能な項目が、アイコンリストとして表示されます。

3 選択された処理

「2 処理一覧」で選択したい項目のアイコンをドラッグすることで設定することが可能となります。
ドラッグドロップされたアイコンの表示順に処理が実行されます。「RGB 最適化」と「レンジ補正」の処理順が、アイコンをドラッグして変更することができます。

4 説明

「2 処理一覧」「3 選択された処理」内のアイコンをクリックするとその説明が表示されます。

5 設定ボタン

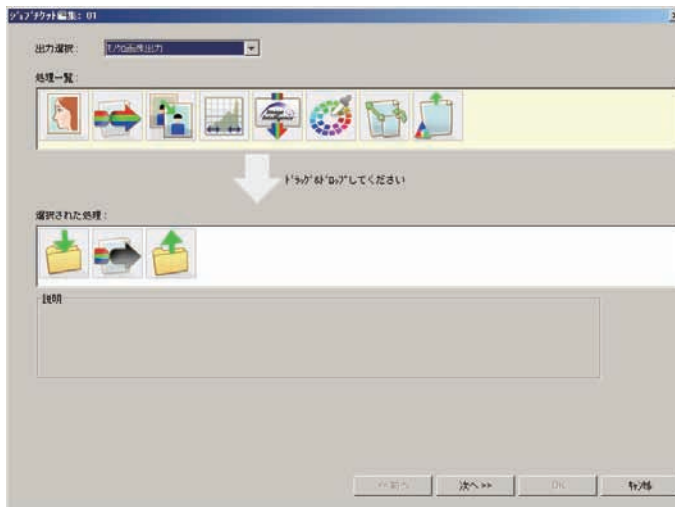
- 次へ 詳細設定の画面へ移行します。
 前へ 詳細設定の画面からこの画面へ戻ります。
 OK 詳細設定の画面で、設定を保存して終了します。
 キャンセル すべての設定を保存しないで終了します。



以下の場合には、「次へ」ボタンをクリックするとエラーとなります。

- RGB 画像出力の場合
 - ・ 「ゲイン設定」が選択されていて「RGB → RGB 変換設定」が選択されていない場合
- CMYK 画像出力の場合
 - ・ 「RGB → CMYK 変換」または「CMYK → C' M' Y' K' 変換」のどちらかが選択されていない場合
- CMYK ページ出力の場合
 - ・ 「RGB → CMYK 変換」または「CMYK → C' M' Y' K' 変換」のどちらかが選択されていない場合

■ モノクロ画像出力の場合



入力設定

ドロップフォルダ、ジョブのプライオリティを設定します。



RGB →モノクロ変換設定

シャープネス、色フィルタ、トーンカーブ（シャドウ部分のみ）を設定します。



出力設定

ファイル名テンプレート、出力先設定、対象外フォーマットの対応、エラー対応を設定します。



美肌処理設定

強度設定、閾値（1, 2）設定を設定します。

**RGB → RGB 変換設定**

入出力プロファイルを設定します。

**色かぶり補正**

強度指定を設定します。

**レンジ補正**

レンジ補正テンプレート指定を設定します。

**RGB 最適化**

RGB 最適化テンプレート指定を設定します。

**色調補正**

トーンカーブを設定します。

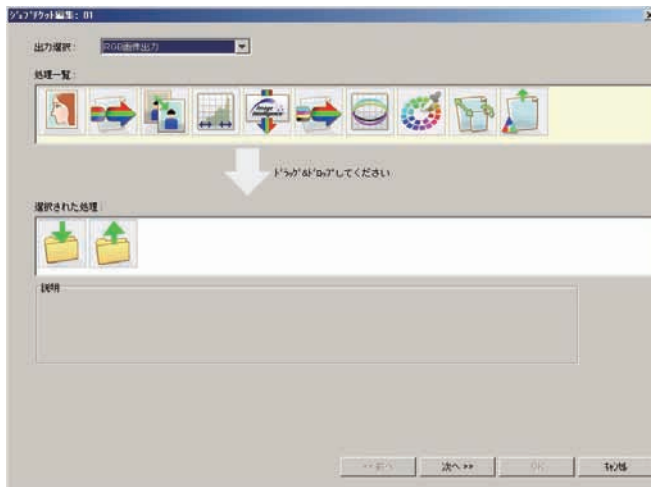
**リサイズ・回転設定**

リサイズ（サイズ指定、画素数指定、解像度変換）、回転、bit 数指定を設定します。

**画像出力フォーマット設定**

画像ファイルフォーマット指定、ICC プロファイル埋め込み、ファイル情報の対応を設定します。

■ RGB 画像出力の場合

**入力設定**

ドロップフォルダ、ジョブのプライオリティを設定します。

**出力設定**

ファイル名テンプレート、出力先設定、対象外フォーマットの対応、エラー対応を設定します。

**美肌処理設定**

強度設定、閾値（1, 2）設定を設定します。



RGB → RGB 変換設定

入出力プロファイルを設定します。



色かぶり補正

強度指定を設定します。



レンジ補正

レンジ補正テンプレート指定を設定します。



RGB 最適化

RGB 最適化テンプレート指定を設定します。



CMYK → RGB 変換設定

入出力プロファイル、ICM レンダリングインテント選択を設定します。



ゲイン設定

画像入力（RGB または CMYK）、画像出力（RGB または CMYK）、ページ入力（RGB または CMYK）、ページ出力（RGB または CMYK）を設定します。ただし、ライセンスによって設定できる項目が異なります。



色調補正

トーンカーブおよびカラーコレクションを設定します。



リサイズ・回転設定

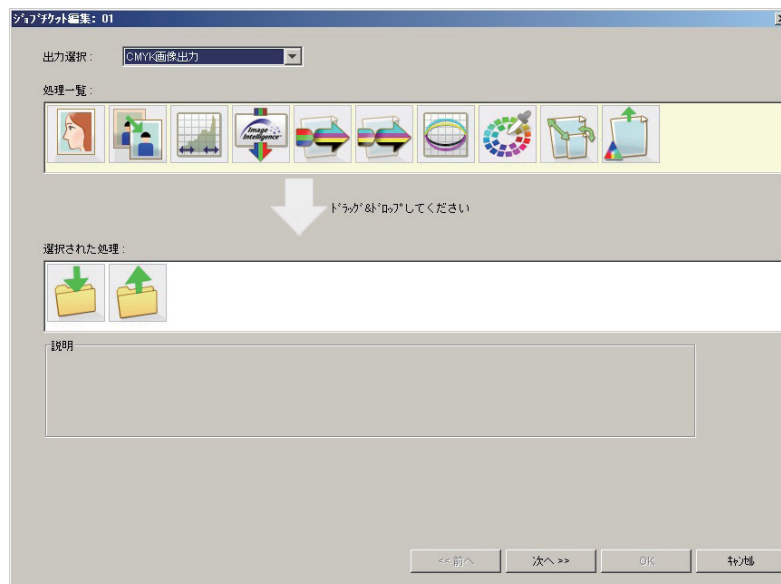
リサイズ（サイズ指定、画素数指定、解像度変換）、回転、bit 数指定を設定します。



画像出力フォーマット設定

画像ファイルフォーマット指定、ICC プロファイル埋め込み、ファイル情報の対応を設定します。

CMYK 画像出力の場合





入力設定

ドロップフォルダ、ジョブのプライオリティを設定します。



出力設定

ファイル名テンプレート、出力先設定、対象外フォーマットの対応、エラー対応を設定します。



美肌処理設定

強度設定、閾値（1, 2）設定を設定します。



色かぶり補正

強度指定を設定します。



レンジ補正

レンジ補正テンプレート指定を設定します。



RGB 最適化

RGB 最適化テンプレート指定を設定します。



RGB → CMYK 変換設定

入出力プロファイル、レンダリングインテント、シャープネス、C-K カーブテンプレート、大差異ガマット、インク総量制限、黒点補正を設定します。



CMYK → CMYK 変換設定

入出力プロファイル、レンダリングインテント（ICM 含む）、K100%保存、RGB100%保存、1、2次色保存、大異差ガマット、インク総量制限を設定します。



ゲイン設定

画像入力（RGB または CMYK）、画像出力（RGB または CMYK）、ページ入力（RGB または CMYK）、ページ出力（RGB または CMYK）を設定します。ただし、ライセンスによって設定できる項目が異なります。



色調補正

トーンカーブおよびカラーコレクションを設定します。



リサイズ・回転設定

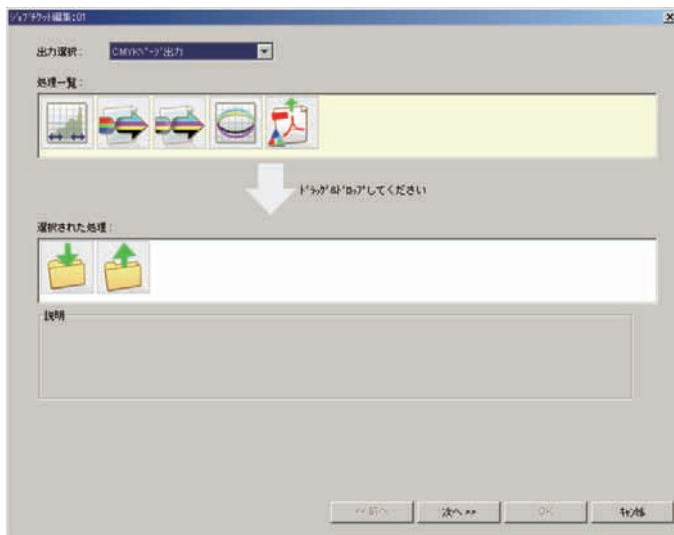
リサイズ（サイズ指定、画素数指定、解像度変換）、回転、bit 数指定を設定します。



画像出力フォーマット設定

画像ファイルフォーマット指定、ICC プロファイル埋め込み、ファイル情報の対応を設定します。

■ CMYK ページ出力の場合



入力設定

ドロップフォルダ、ジョブのプライオリティを設定します。



出力設定

ファイル名テンプレート、出力先設定、対象外フォーマットの対応、エラー対応を設定します。



レンジ補正

レンジ補正テンプレート指定を設定します。



RGB → CMYK 変換設定

入出力プロファイル、レンダリングインテント、シャープネス、C-K カーブテンプレート、大差異ガマット、インク総量制限、黒点補正を設定します。



CMYK → CMYK 変換設定

入出力プロファイル、レンダリングインテント (ICM 含む)、K100%保存、RGB100% 保存、1、2 次色保存、大異差ガマット、インク総量制限、特色マッチを設定します。



ゲイン設定

画像入力 (RGB または CMYK)、画像出力 (RGB または CMYK)、ページ入力 (RGB または CMYK)、ページ出力 (RGB または CMYK) を設定します。ただし、ライセンスによって設定できる項目が異なります。

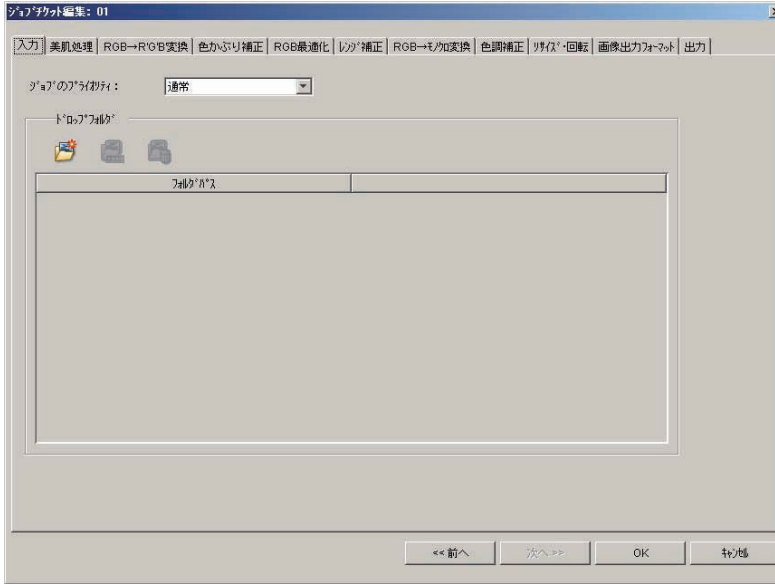


ページ出力フォーマット設定

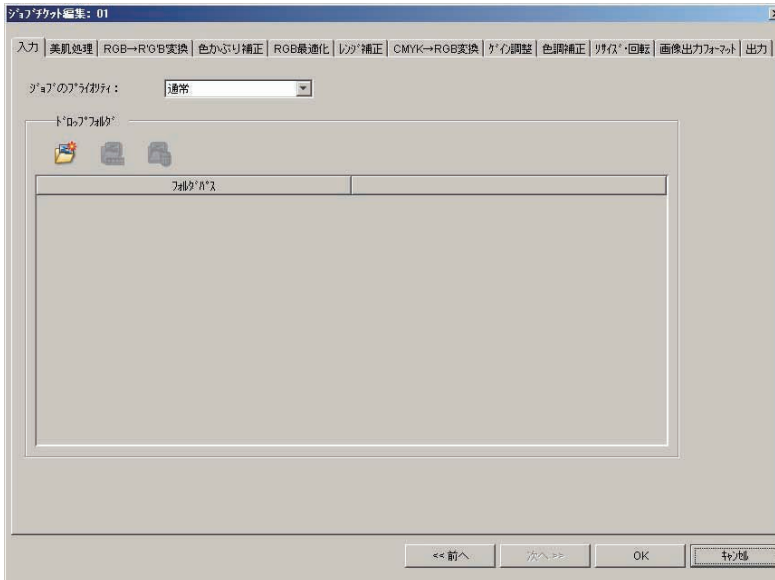
ページファイルフォーマット指定、ICC プロファイル埋め込みを設定します。

- 4 出力方式を設定した項目の処理アイコンを「選択された処理」の欄にドラッグ・ドロップし、「次へ」ボタンをクリックすると「ジョブチケット編集」ウィンドウが表示されます。

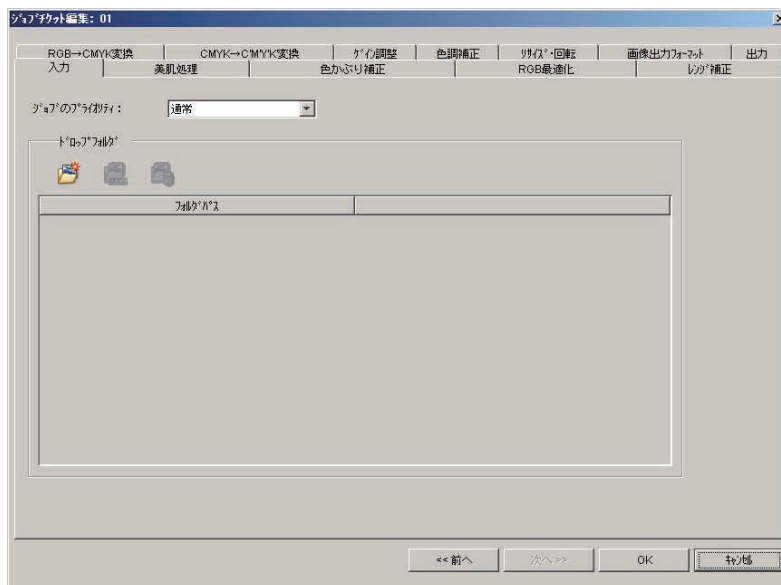
●モノクロ画像出力で全項目を選択した場合



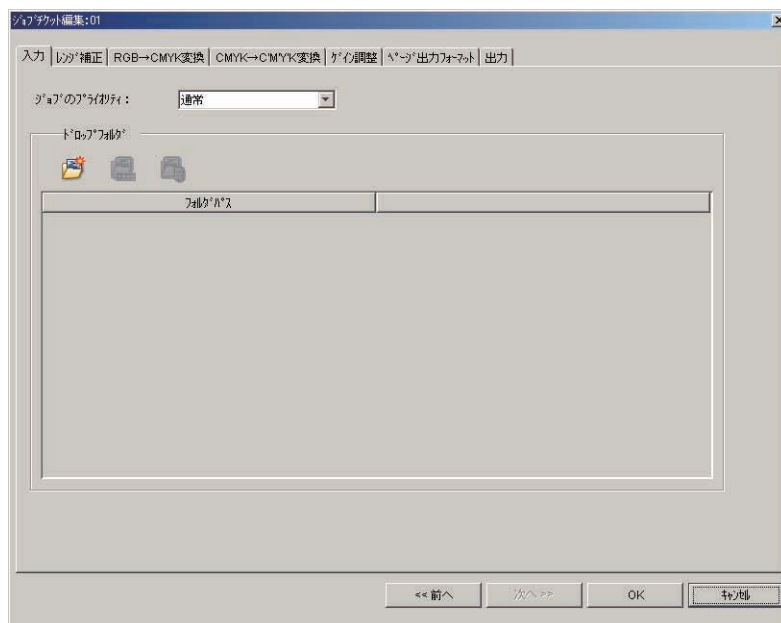
●RGB 画像出力で全項目を選択した場合

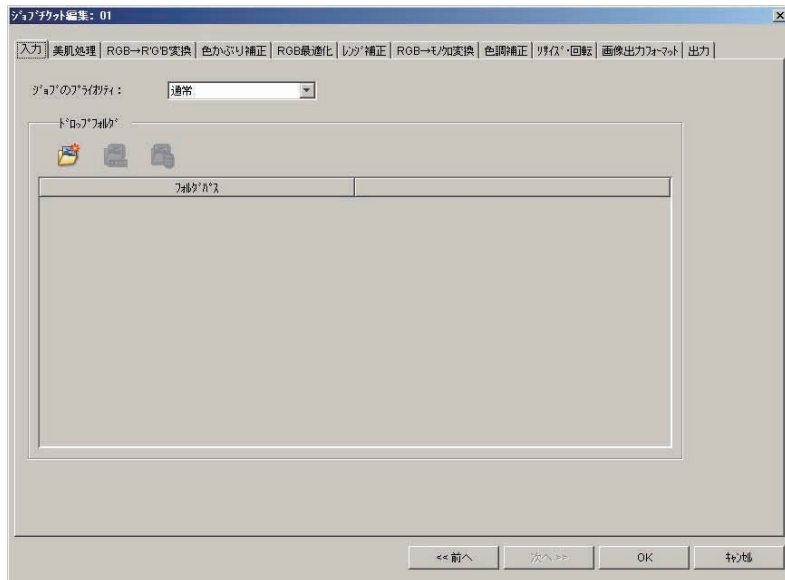


● CMYK 画像出力で全項目を選択した場合



● CMYK ページ出力で全項目を選択した場合

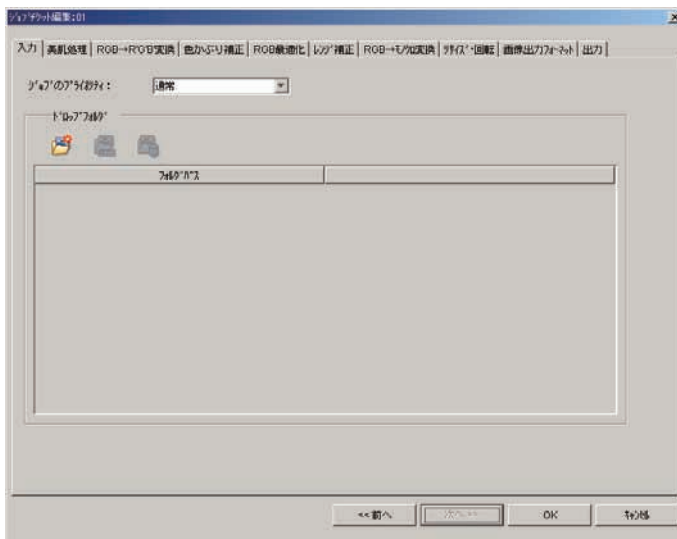




「ジョブチケット編集」ウィンドウは、「入力」タブ、「美肌処理」タブ、「RGB → R' G' B' 変換」タブ、「色かぶり補正」タブ、「RGB 最適化」タブ、「レンジ補正」タブ、「RGB →モノクロ変換」タブ、「色調補正」タブ、「リサイズ・回転」タブ、「画像出力フォーマット」タブ、「出力」タブから構成されています。

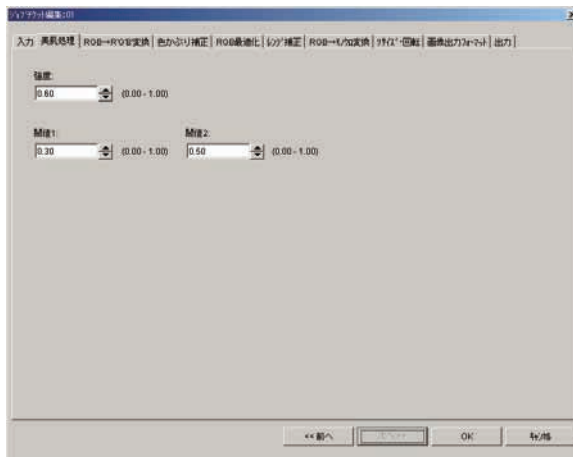
● 「入力」タブ

ドロップフォルダの作成、編集およびジョブチケットのプライオリティ（優先度）を設定します。



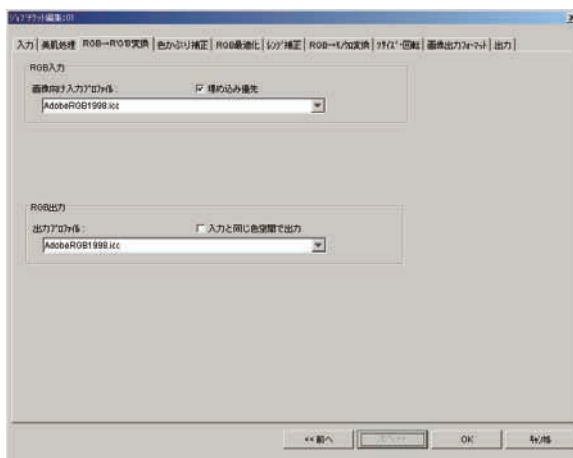
● 「美肌処理」タブ

美肌処理の強度、閾値（1、2）を設定します。



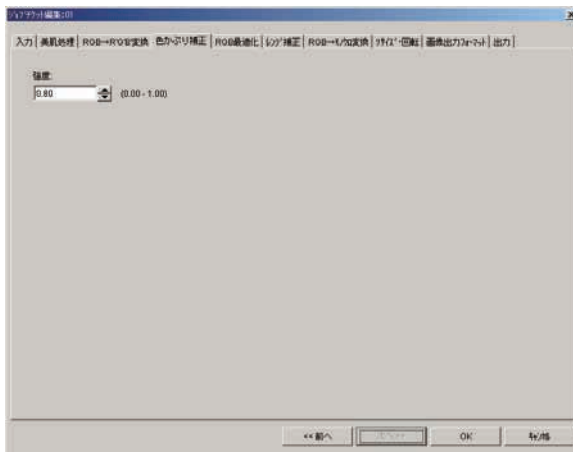
● 「RGB → R' G' B'」タブ

入出力プロファイルなどを設定します。



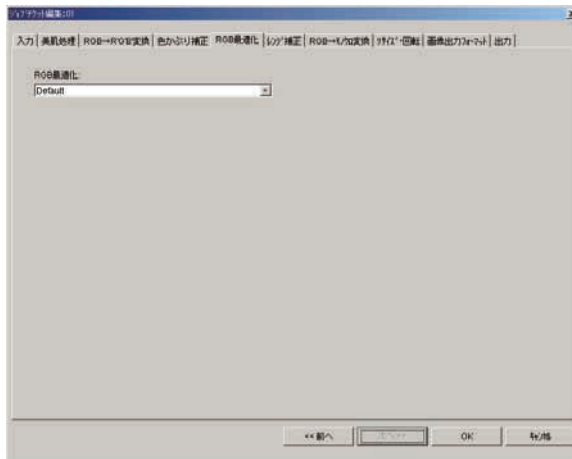
● 「色かぶり補正」タブ

色かぶり補正の強度を設定します。



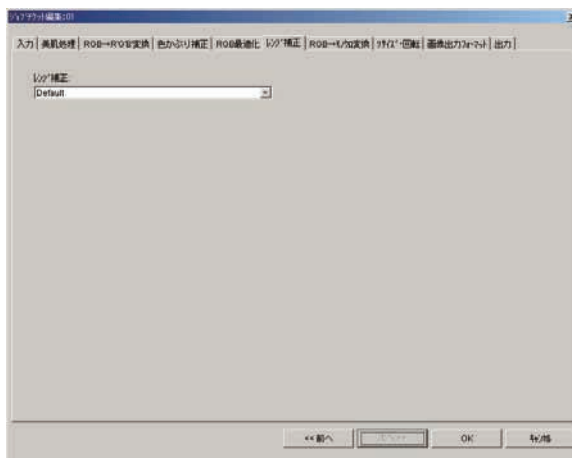
● 「RGB 最適化」タブ

RGB 最適化テンプレート指定の設定を行います。



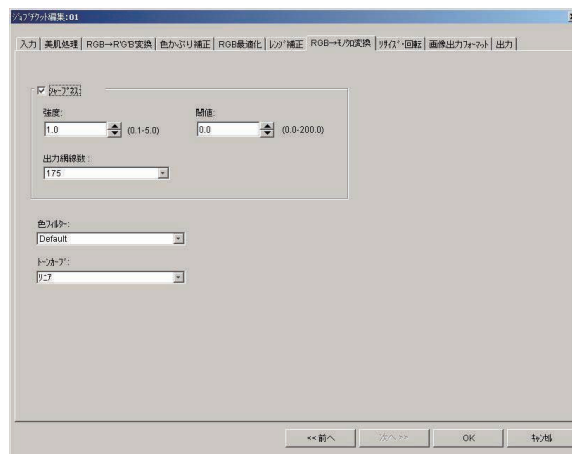
● 「レンジ補正」タブ

レンジ補正テンプレートを設定します。



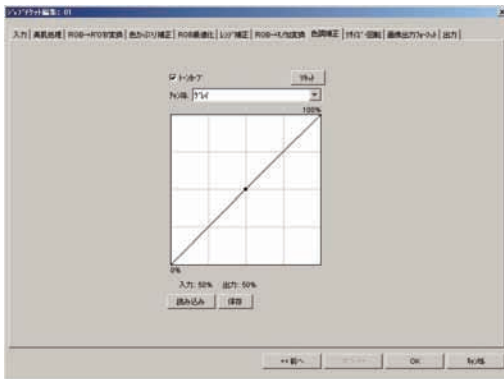
● 「RGB →モノクロ変換」タブ

シャープネス、色フィルタ、トーンカーブなどを設定します。



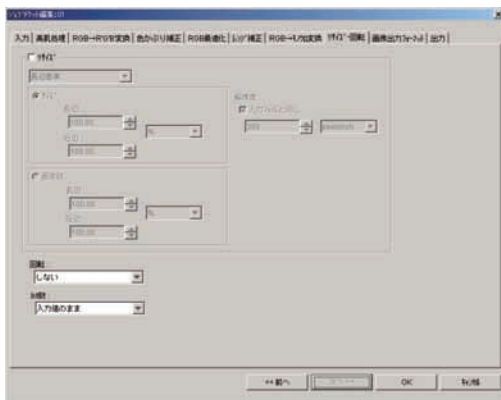
● 「色調補正」タブ

トーンカーブを設定します。



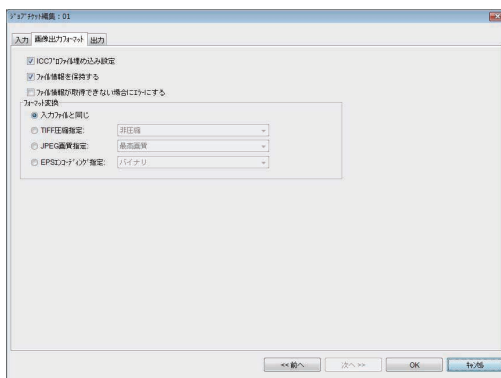
● 「リサイズ・回転」タブ

リサイズ、回転などを設定します。



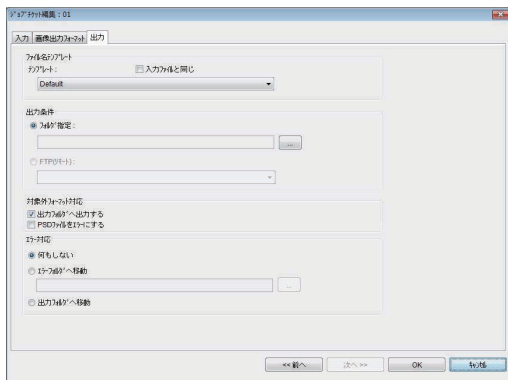
● 「画像出力フォーマット」タブ

画像ファイルフォーマット、ICC プロファイル埋め込み、ファイル情報の対応を設定します。



● 「出力」タブ

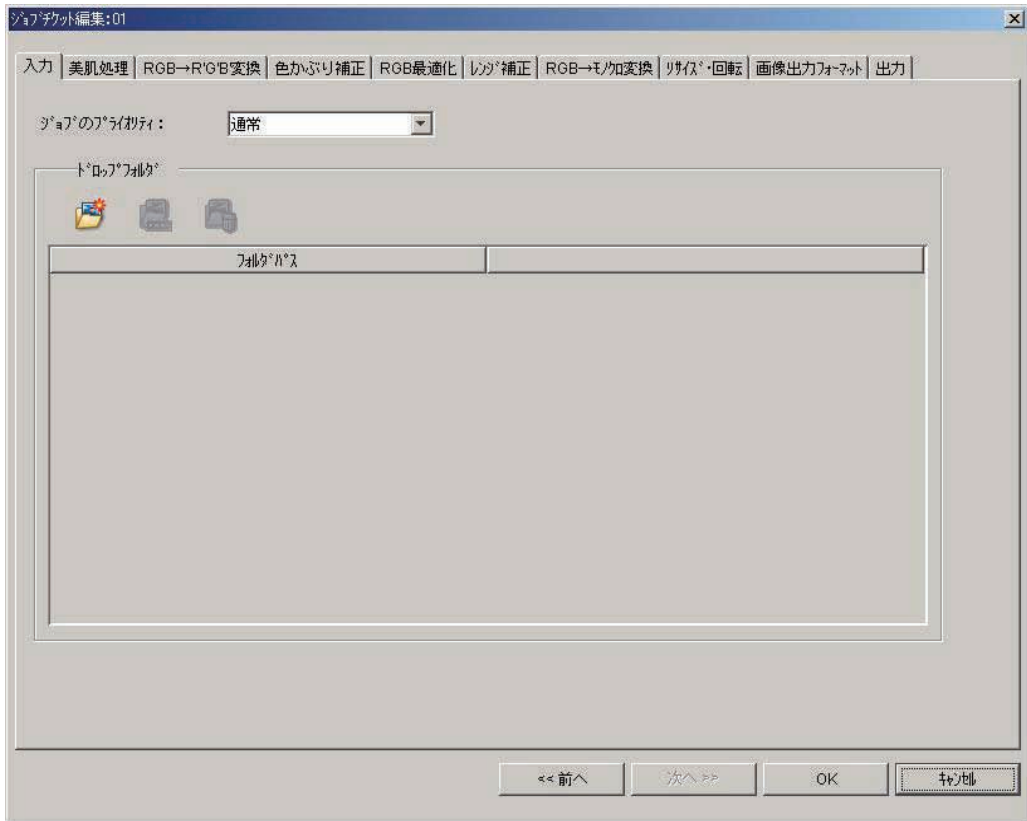
変換後の画像、ドキュメントデータの保存先、ファイル名テンプレートを設定します。



各タブについての詳細は、以降を参照してください。
各タブを設定し、「OK」ボタンをクリックするとジョブチケットの設定が完了し、登録されます。
「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定内容が取り消され、ウィンドウを閉じます。

1 入カタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「入力」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● ジョブのプライオリティ

ジョブキュー上におけるジョブ実行の優先順位を設定します。



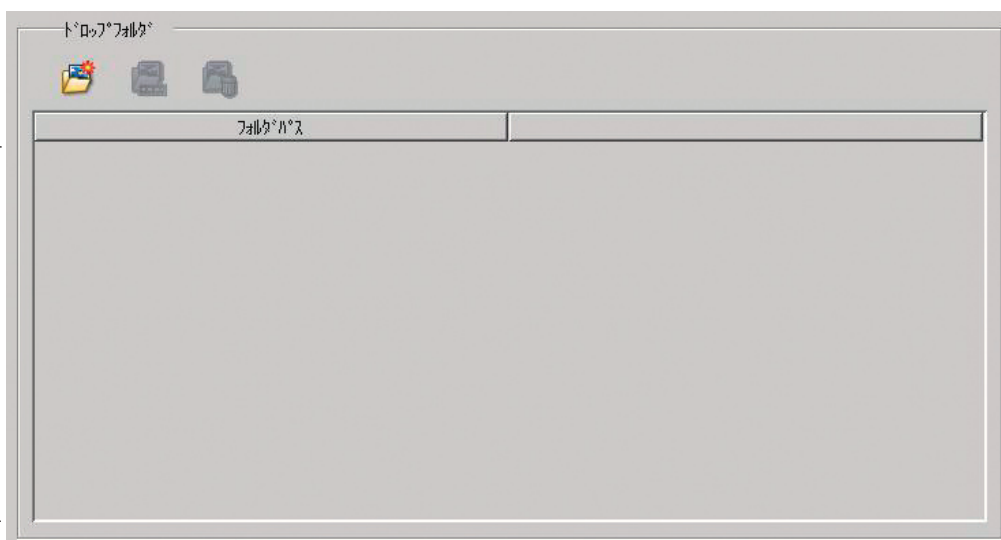
エクスプレス指定をすると、このジョブチケットで処理されたジョブの優先度を上げることができます。エクスプレス指定同士のジョブ、通常指定同士のジョブでは、ジョブキューに登録された順に優先度が高くなります。

※ 画像に対する演算とドキュメントに対する演算は並行処理され、優先度も別々に設定されます。

● ドロップフォルダ

編集用 Macintosh/Windows で作成した JPEG ファイル、EPS ファイル、TIFF ファイルを i-ColorQC C-Fit にマウントしてあるドロップフォルダにドラッグ&ドロップを行うことで出力ができます。

i-ColorQC C-Fit は、ドロップフォルダを定期的に監視し、JPEG ファイル、EPS ファイル、TIFF ファイルを検出すると、自動的に色変換処理を開始します。



ドロップフォルダリスト

● ドロップフォルダリスト

登録済みのドロップフォルダをリスト表示します。

● フォルダパス

登録済みのドロップフォルダのフォルダへのパスが表示されます。

● 新規 

新しくドロップフォルダを登録します。

すでにリスト登録されているドロップフォルダを選択した状態で、このボタンをクリックすると、選択したドロップフォルダを複製することができます。

複数のドロップフォルダが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集 

リストに登録されているドロップフォルダの設定を変更します。

リスト表示よりドロップフォルダを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

複数のドロップフォルダが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。


● 削除 

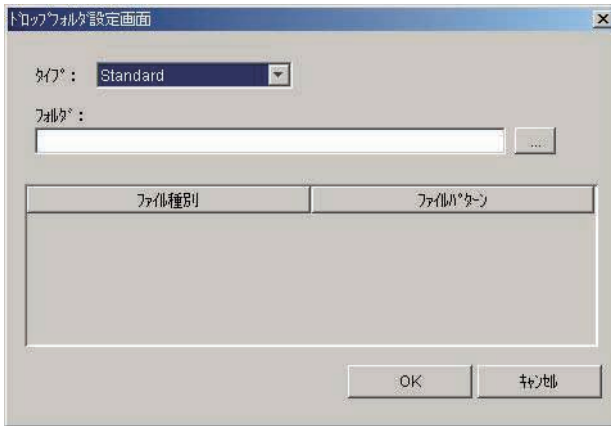
リストに登録されているドロップフォルダを削除します。

リスト表示より1つ以上のドロップフォルダを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

ドロップフォルダが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

■ ドロップフォルダ設定方法

- 1 新規アイコンボタン  をクリックすると「ドロップフォルダ設定画面」ウィンドウが表示されます。




- **タイプ**
フォルダのタイプを設定します。(本バージョンでは Standard のみ指定できます。)
- **Standard**
ドロップフォルダに、EPS、TIFF、JPEG の各ファイルが入力されたら処理を開始します。



- **フォルダ**
ドロップフォルダとして登録するフォルダを作成、選択します。



- **ファイル種別、ファイルパターン**
「タイプ」にて「Standard」を選択した場合、何も表示されません。(本バージョンでは使用しません。)

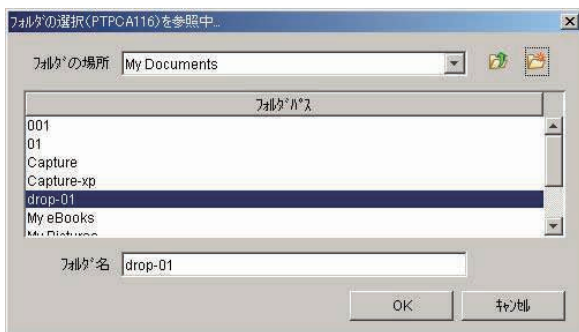
- 2  ボタンをクリックすると、「フォルダ選択」ウィンドウが表示されるので、任意のフォルダを設定します。



サーバー PC 上の dav 指定したフォルダのディレクトリの下階層、または共有設定しているフォルダ選択をすることができます。

また、サーバー PC 上に新規フォルダを作成することもできます。

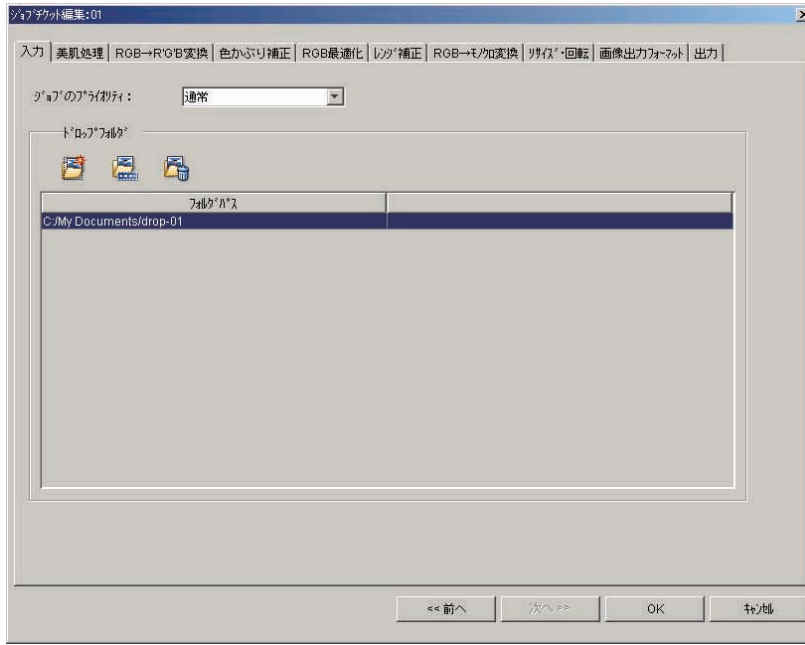
※ dav 指定については、第 1 章 4 「5 WebDAV の設定」(33 ページ) を参照してください。



- 3 「OK」ボタンをクリックし、フォルダを設定します。「ドロップフォルダ設定画面」ウィンドウに戻ります。



- 4 「OK」 ボタンをクリックします。
「フォルダ設定」が完了し、「フォルダパス」に設定したドロップフォルダが表示されます。
ドロップフォルダが設定されていない場合はエラーとなり、エラーメッセージが表示されます。その場合は、ドロップフォルダを設定しなおしてください。

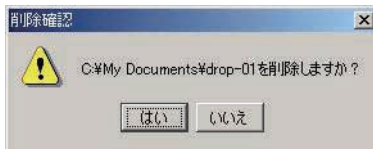


● フォルダの編集 

リスト内のドロップフォルダを選択し、「編集」アイコン  をクリックし、ドロップフォルダを編集します。

● フォルダの削除 

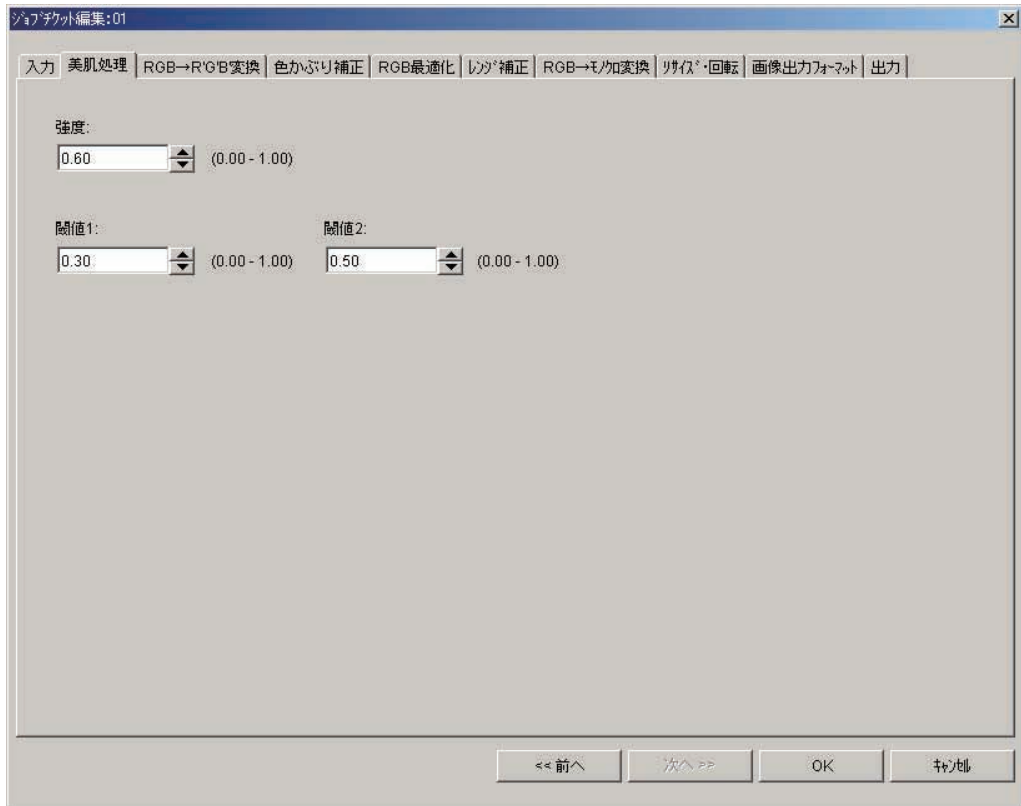
リスト内のドロップフォルダを選択し、「削除」アイコン  をクリックします。



「はい」 をクリックして削除します。

2 美肌処理タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「美肌処理」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● 強度

美肌処理の強度を設定します。



設定範囲：0.00～1.00 0.01 刻み

● 閾値 (1、2)

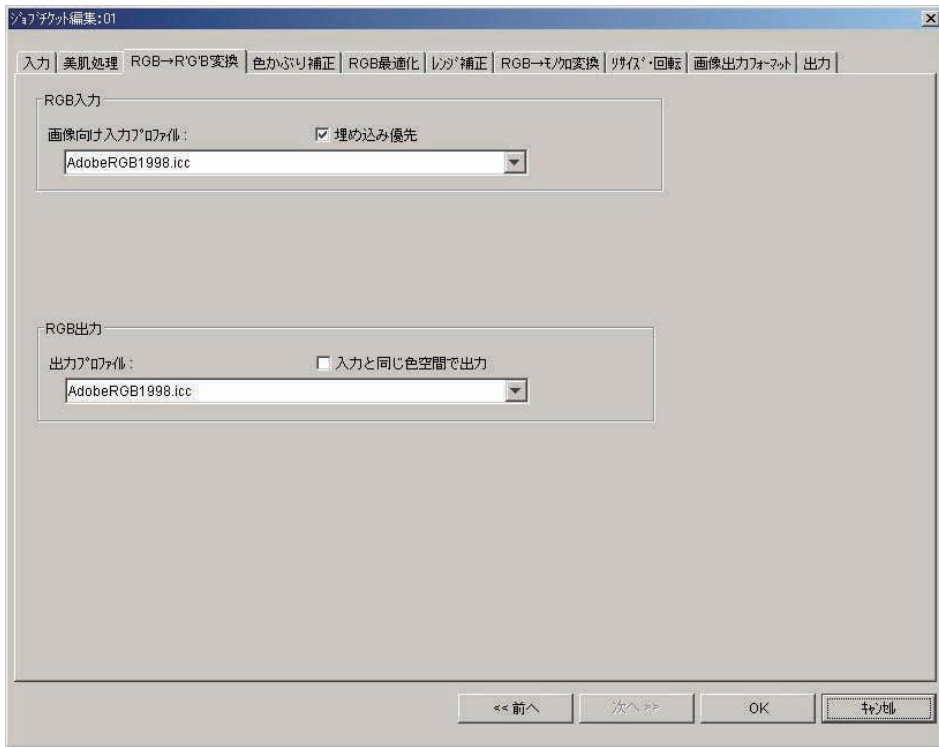
美肌処理の閾値 (1、2) を設定します。



設定範囲：0.00～1.00 0.01 刻み
ただし、閾値 1 < 閾値 2 である必要があります。

3 RGB → R' G' B' 変換タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「RGB → R' G' B' 変換」タブを選択します。

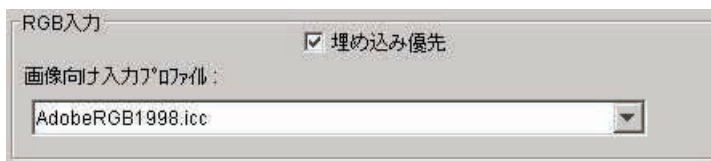


3

ジョブチケットの作成

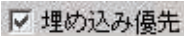
● RGB 入力

RGB ソースの画像の色空間について設定します。



● 埋め込み優先

変換前のデータに埋め込まれているプロファイル設定で、処理する場合に指定します。



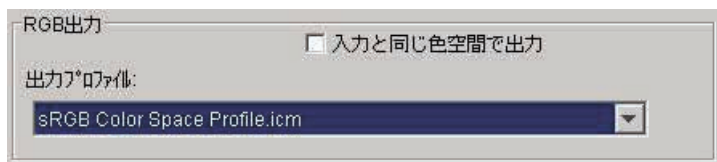
● 画像向け入力プロファイル

RGB 画像の入力色空間をプロファイルで指定します。アクティブプロファイルとして登録されている RGB 画像用プロファイルが選択できます。変換前のデータにソース色空間を指定するプロファイルが埋め込まれていない場合や、「埋め込み優先」を選択しなかった場合に使用します。



● RGB 出力

RGB 出力時の色空間について設定します。



● 入力と同じ色空間で出力

入力プロファイルと同じ色空間で出力する場合に選択します。
この場合、出力プロファイルは選択できません。

入力と同じ色空間で出力

● 出力プロファイル

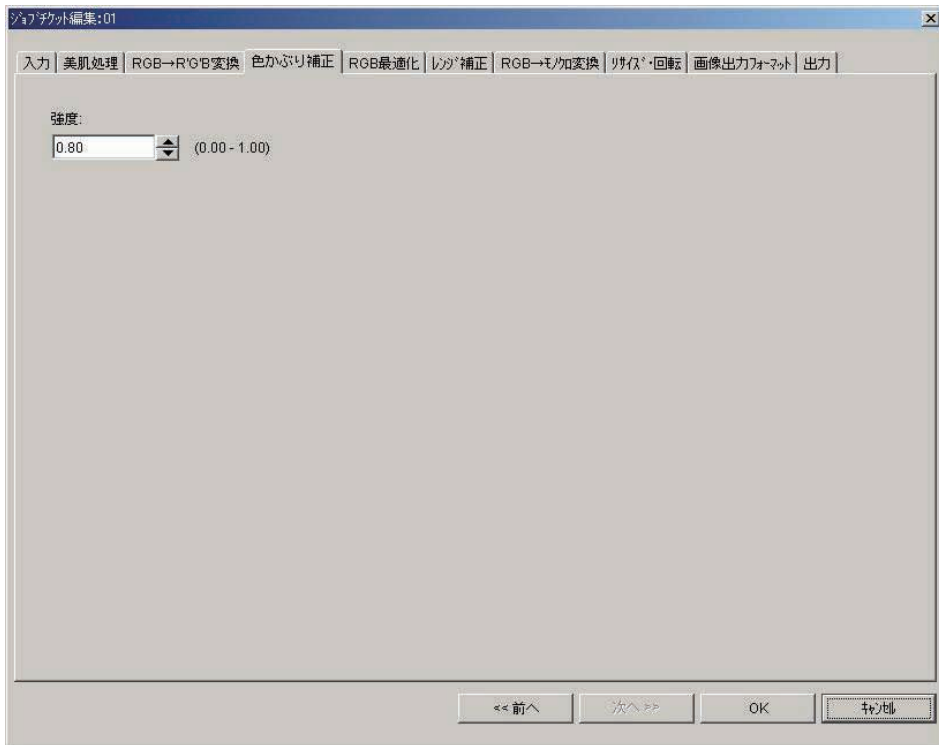
出力色空間をプロファイルで指定します。
メニューには「ICC プロファイル管理」のアクティブプロファイルに設定されている出力用プロファイルが表示されます。この中から 1 つを選択することができます。



※ 「画像出力フォーマット」タブで、ICC プロファイル埋め込み設定が OFF の場合は変換後のファイルにプロファイル埋め込みをしません。

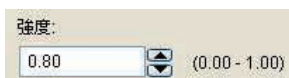
4 色かぶり補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「色かぶり補正」タブを選択します。



● 強度

画像全体に対する色かぶり補正の強度を数値で設定します。



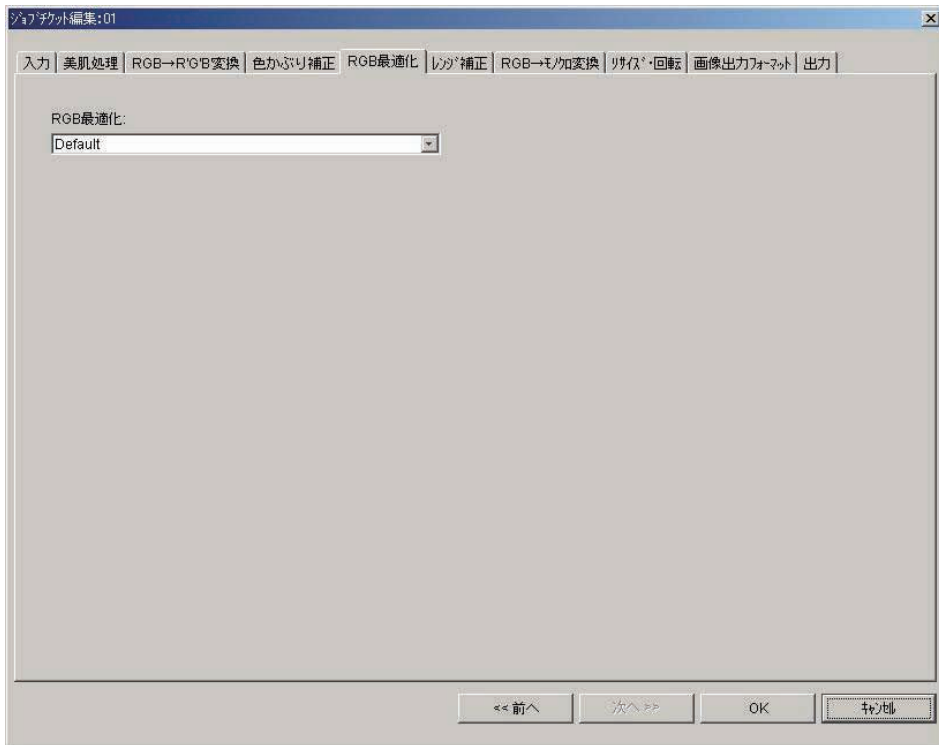
入力範囲：0.00～1.00 0.01 刻み

3

ジョブチケットの作成

5 RGB 最適化タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「RGB 最適化」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● RGB 最適化

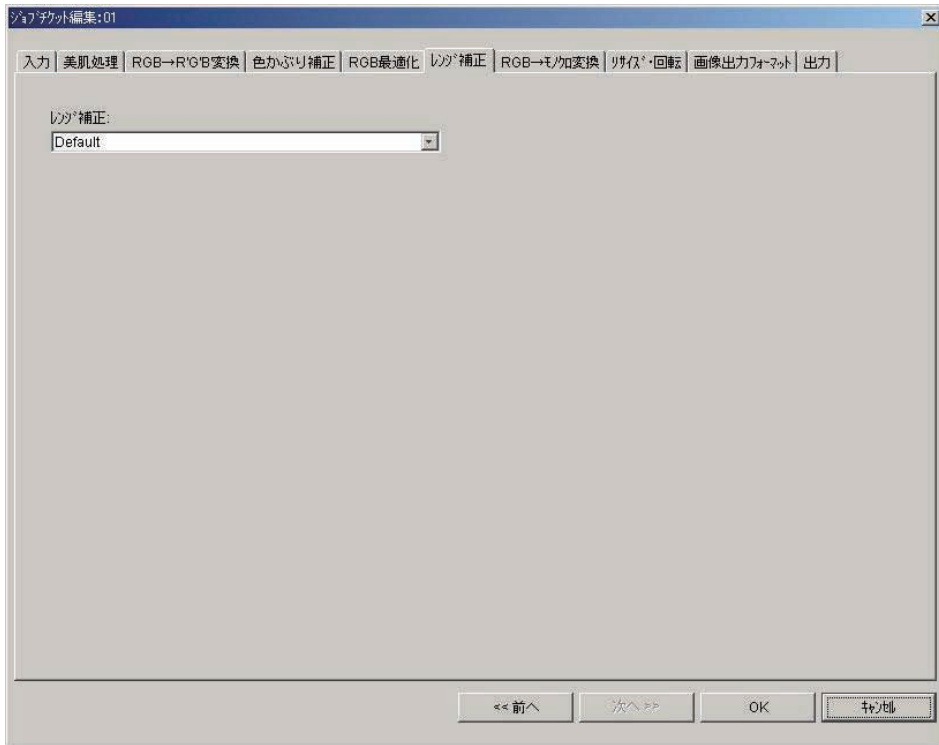
RGB 最適化処理時の詳細パラメータ設定を RGB 最適化パラメータで指定します。「RGB 最適化テンプレート」ウィンドウで作成したテンプレートをメニューより選択します。



注：RGB 最適化テンプレートは、「RGB 最適化テンプレート」ウィンドウで設定します。
第 4 章「**5** RGB 最適化テンプレート」(236 ページ) を参照してください。

6 レンジ補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「レンジ補正」タブを選択します。



● レンジ補正

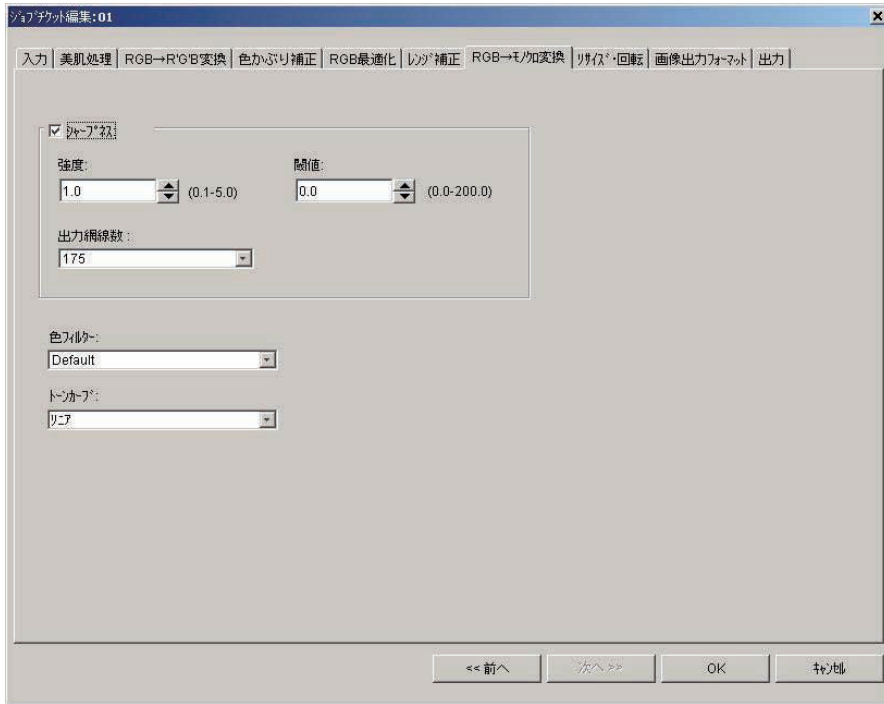
レンジ補正テンプレートを設定します。



注：レンジ補正テンプレートは、「レンジ補正テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「6 レンジ補正テンプレート」（242ページ）を参照してください。

7 RGB →モノクロ変換タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「RGB →モノクロ変換」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● シャープネス

出力網線数ごとのシャープネスの強度および閾値を設定します。チェックマークを付けると、各項目を設定できます。



● 強度

シャープネスの強度を設定します。
設定範囲：0.1 ～ 5.0 0.1 刻み



● 出力網線数

使用する出力網線数をメニューより選択します。選択できる線数は、100 線または 175 線です。



● 閾値

シャープネスの閾値を設定します。
設定範囲：0.0～200.0 0.1 刻み



● 色フィルター

使用する色フィルターをメニューより選択します。



- Default..... 標準のモノクロ変換をします。
- Gray 灰色の情報以外を通さずにモノクロ変換します。灰色以外は、黒くなります。
- R+G 緑と赤の情報以外を通さずにモノクロ変換します。緑と赤以外は、黒くなります。
- Unit..... 肌の部分を明るくするようにモノクロ変換します。

● トーンカーブ

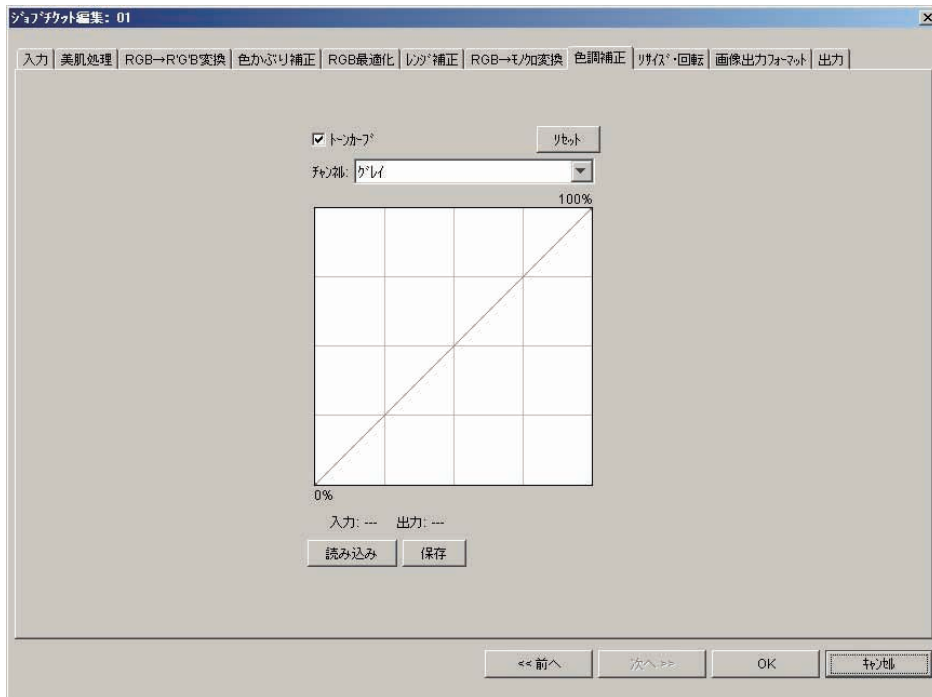
使用するトーンカーブをメニューより選択します。



注：トーンカーブは、「モノクロトーンカーブテンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「[8 モノクロトーンカーブテンプレート](#)」(251 ページ)を参照してください。

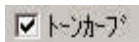
8 色調補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「色調補正」タブを選択します。



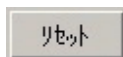
● トーンカーブ

チェックボックスを選択すると、トーンカーブを編集することができます。



● リセット

編集したトーンカーブをデフォルトのリニアカーブに戻します。



● チャンネル

編集したいチャンネルを選択します。選択できるのは「グレイ」だけです。

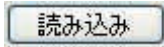


3

ジョブチケットの作成

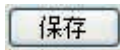
●読み込み

保存されているトーンカーブファイルを読み込みます。トーンカーブファイルは、本ソフトおよびセットアップツールで作成することができます。



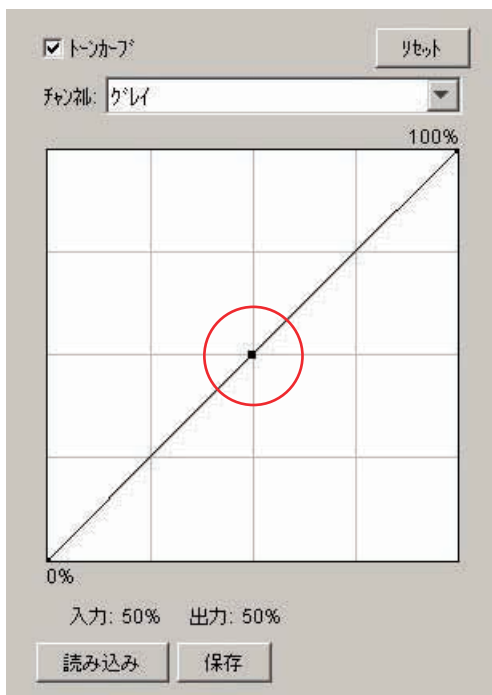
●保存

編集したトーンカーブをファイルに保存します。保存したトーンカーブファイルは、本ソフトおよびセットアップステーションに読み込むことができます。



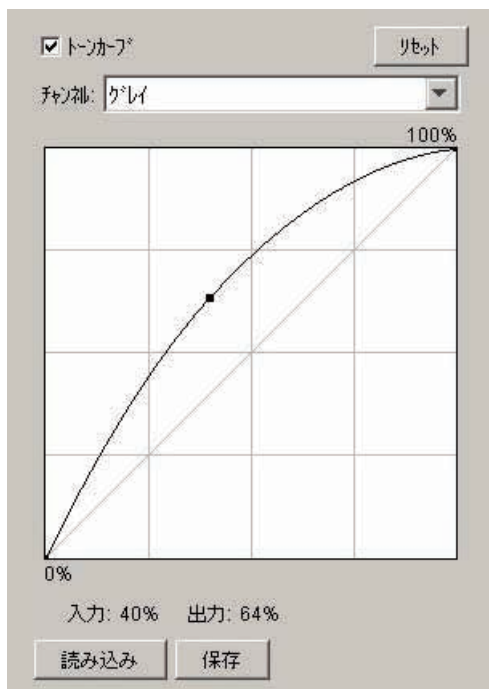
■ トーンカーブの編集方法

- 1 チャンネルメニューから「グレイ」を選択します。
- 2 カーブ上にカーソルを置いて、マウスの右ボタンをクリックします。カーブ上に編集ポイントが表示されます。



- ③ カーソルを編集ポイント上に置いてカーソルの形が+に変わったら、マウスの左ボタンを押したままマウスを移動します。

マウスを移動すると、画面下部の「入力」と「出力」の数値が変化します。



注

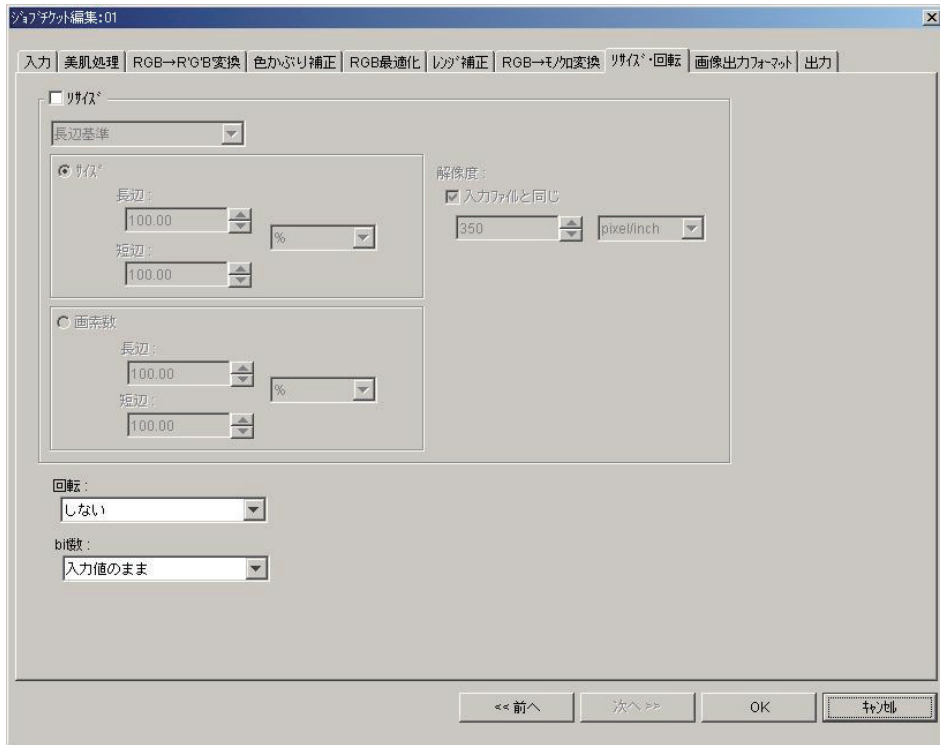
編集ポイントを削除する場合は、カーソルを編集ポイントに置いてマウスの右ボタンをクリックしてください。

3

ジョブチケットの作成

9 リサイズ・回転タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「リサイズ・回転」タブを選択します。

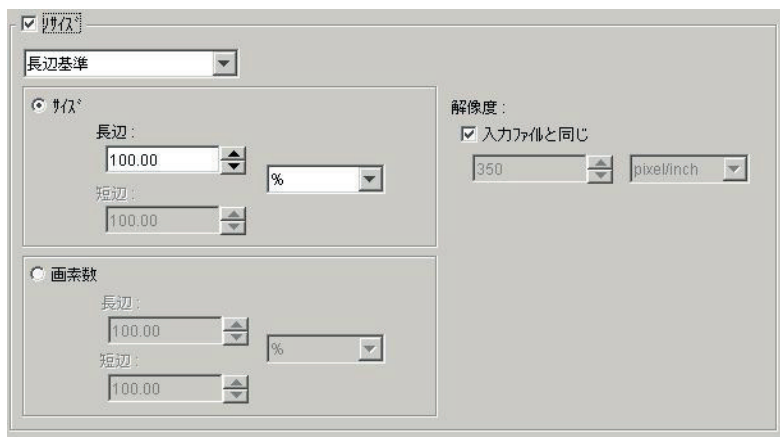


3

ジョブチケットの作成

● リサイズ

画像のサイズ、解像度を変更して出力する場合に選択します。



● 基準設定

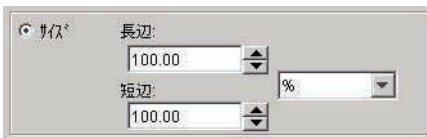
長辺、短辺の基準を選択します。



- 長辺基準.....長辺を基準にしてリサイズします。
長辺フィールドのみ入力可能で、縦横比を固定で短辺は自動計算されます。
- 短辺基準.....短辺を基準にしてリサイズします。
短辺フィールドのみ入力可能で、縦横比を固定で長辺は自動計算されます。
- 長短それぞれ指定.....長辺と短辺を指定してリサイズします。
変倍を行う場合に使用します。

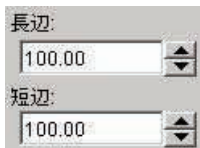
● サイズ

出力サイズを指定して、リサイズする場合に選択します。
この場合、「画素数」は入力できなくなります。



● サイズ入力

出力サイズ「長辺」、「短辺」または「長辺 / 短辺」を数値で入力します。
小数点第二位まで設定できます。



● サイズ単位

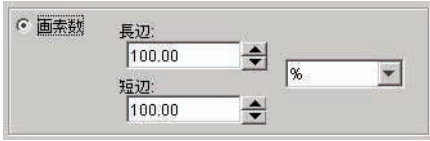
出力サイズの単位を設定します。



単位を変更するたびに対応するサイズ入力フィールドの数値が、その単位での値に変換されます。

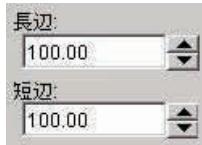
● 画素数

出力画素数を指定してリサイズする場合に選択します。
この場合、「サイズ」は入力できなくなります。



● 画素数入力

出力画素数の「長辺」、「短辺」または「長辺 / 短辺」を数値で入力します。
「単位」が「%」の場合、小数点第二位まで設定できます。
「単位」が「Pixel」の場合、整数を設定できます。



● 画素数単位

出力画素数の単位を設定します。



● 解像度

出力解像度を設定します。



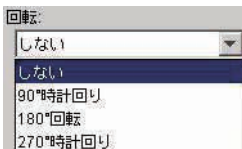
「入力ファイルと同じ」を選択すると、入力ファイルで設定されている解像度で出力されます。



「入力ファイルと同じ」の選択を解除すると、出力解像度を数値で設定できます。
小数点第二位まで設定できます。解像度の単位は「pixel/inch」「pixel/cm」が
使用できます。

● 回転

回転をメニューより選択します。



● bit 数

bit 数をメニューより選択します。

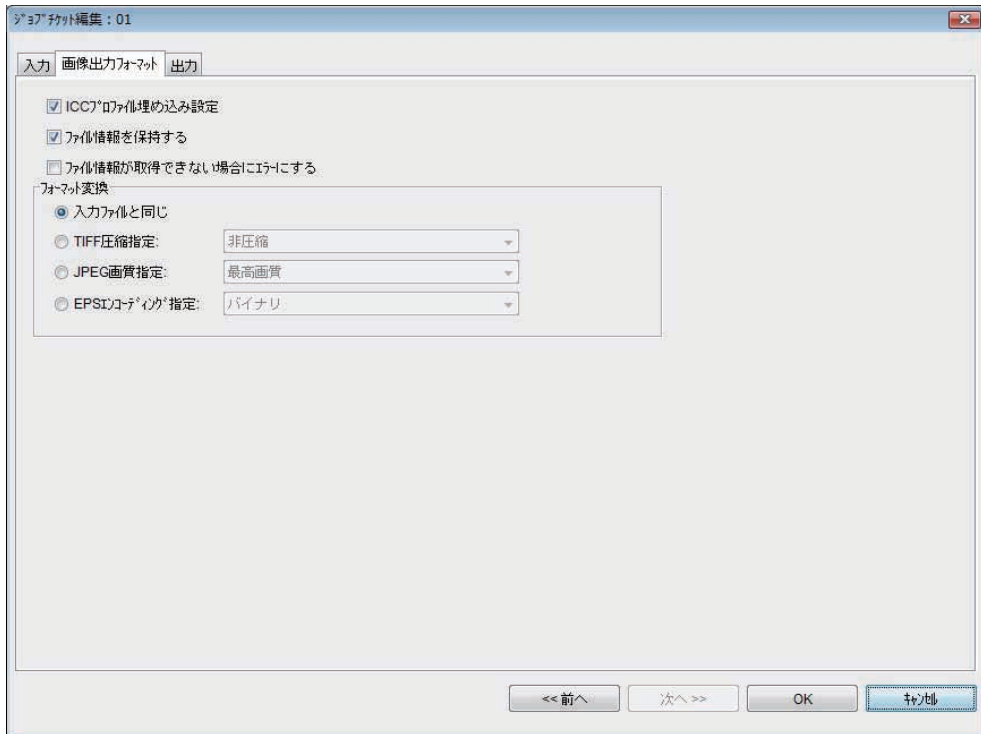
TIFF 形式での保存時のみ有効です。

また、「画像出力フォーマット」タブのフォーマット変換時の項目で「入力ファイルと同じ」を選択した場合、入力ファイルが 8bit TIFF であれば出力ファイルも 8bit となります。



10 画像出力フォーマットタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「画像出力フォーマット」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● ICC プロファイル埋め込み設定

チェックを入れると「RGB 最適化」タブの「RGB 出力」の設定に従ってプロファイルが埋め込まれます。

ICCプロファイル埋め込み設定

● ファイル情報を保持する

チェックを入れるとファイル情報が埋め込まれます。

ファイル情報を保持する

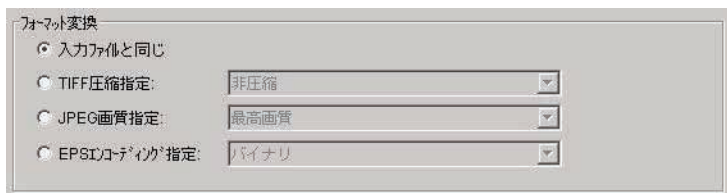
● ファイル情報が取得できない場合にエラーにする

チェックを入れると入力画像からファイル情報を取得できない場合に、ジョブがエラー終了します。

ファイル情報が取得できない場合にエラーにする

● フォーマット変換

変換後の画像に対して、フォーマットと、圧縮形式の設定を行います。



● 入力ファイルと同じ

入力ファイルと同じ条件で出力されます。

入力ファイルと同じ

● TIFF 圧縮指定

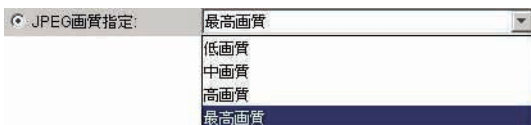
TIFF 形式で出力します。圧縮形式を下記の中から選択します。



非圧縮 / PackBits / LZW

● JPEG 画質指定

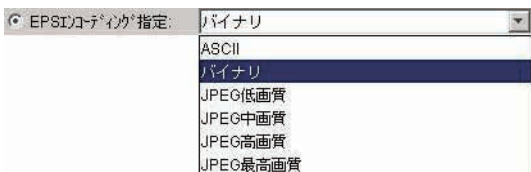
JPEG 形式で出力します。圧縮形式を下記の中から選択します。



最高画質 / 高画質 / 中画質 / 低画質

● EPS エンコーディング指定

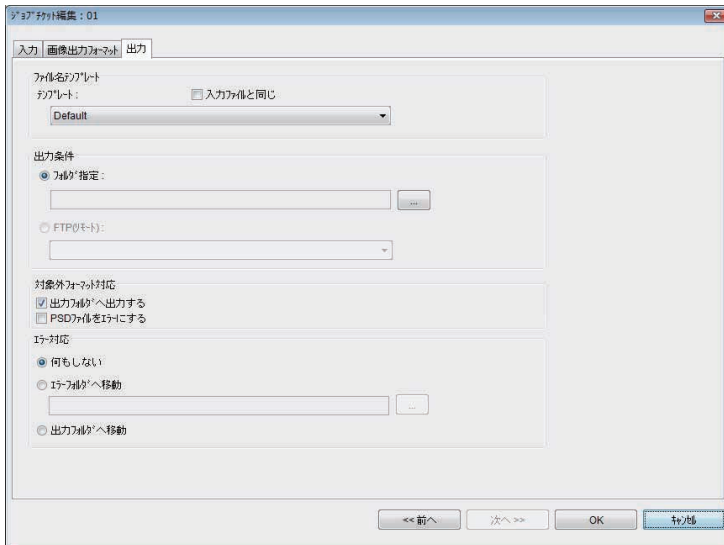
EPS 形式で出力します。圧縮形式および JPEG 圧縮の場合のレベルを下記の中から選択できます。



ASCII / バイナリ / JPEG 低画質 / JPEG 中画質 / JPEG 高画質 / JPEG 最高画質

11 出カタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「出力」タブを選択します。



3

● ファイル名テンプレート

処理されるジョブに適用するファイル名テンプレートを選択します。

注：ファイル名テンプレートは、「ファイル名テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**1** ファイル名テンプレート」(216ページ)を参照してください。



● 入力ファイルと同じ

入力ファイルと同じ

「入力ファイルと同じ」を選択すると、拡張子を含めた入力ファイル名を使用します。

例) Test.jpg $\xrightarrow{\text{TIFFで保存}}$ Test.jpg

注：保存形式に応じて拡張子を変更したい場合は「環境設定」ウィンドウの「ファイル名」タブで設定します。第5章「**6** ファイル名」(291ページ)を参照してください。

● 出力条件

出力データの保存先を設定します。フォルダ指定か、FTP(リモート)方式のどちらか一方を選択することができます。



● フォルダ指定

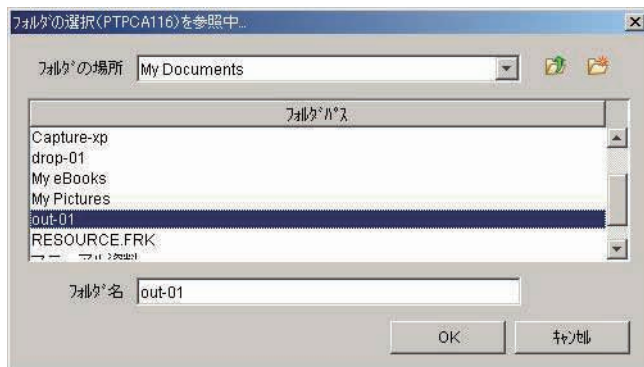
ローカルディスク、またはネットワークディスクの任意のフォルダを指定します。



... ボタンをクリックすると、「フォルダ選択」ウィンドウが表示されるので任意のフォルダを設定します。



サーバー PC 上のフォルダのみを選択することができます。
また、サーバー PC 上に新規フォルダを作成することもできます。



フォルダ選択後、「OK」ボタンをクリックし、フォルダを設定します。
ただし、ドロップフォルダに設定されているフォルダは指定できません。

● FTP(リモート)

ネットワーク上のワークステーション、またはサーバなどに対して生成したデータを FTP 転送します。



注：ネットワークの設定は、「リモートホストコンフィグレーション」ウィンドウにて行います。
第6章「**1** FTP 転送先設定」(316 ページ)を参照してください。

● 対象外フォーマット対応

対象外であるデータが入力された場合の対応方法を設定します。

● 出力フォルダへ出力する

選択されると、入力されたファイルがフォルダ単位で出力フォルダに出力されます。

 出力フォルダへ出力する

● PSD ファイルをエラーにする

選択されると、入力された PSD ファイルが以下の「エラー対応」の設定に従って出力されます。

 PSDファイルをエラーにする

● エラー対応

処理時にエラーが発生した場合のエラーファイルの出力先を設定します。

● 何もしない

エラーとなったデータを出力しないように設定します。
(ドロップフォルダからは削除されます)

 何もしない

● エラーフォルダへ移動

エラーとなったデータを別のフォルダへ出力するように設定します。

 エラーフォルダへ移動

「参照」ボタンをクリックして、フォルダを選択します。



ドロップフォルダとして設定されているフォルダを選択することはできません。

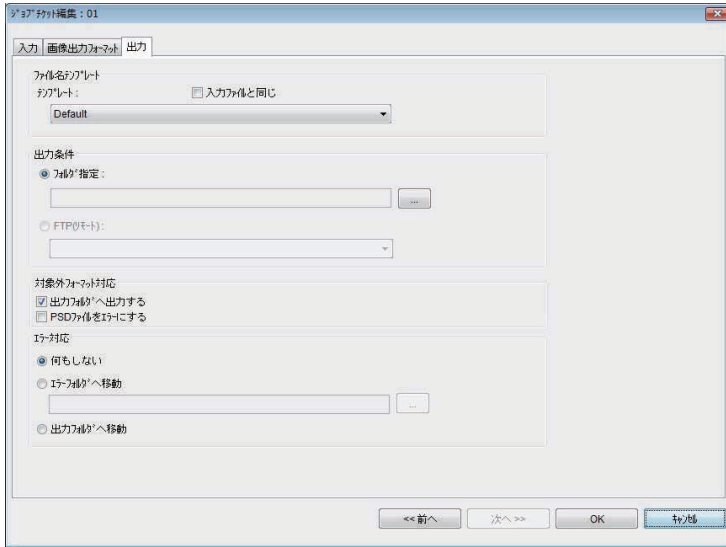
● 出力フォルダへ移動

エラーとなったデータを出力フォルダへ出力するように設定します。

 出力フォルダへ移動

12 設定終了

3



● キャンセル

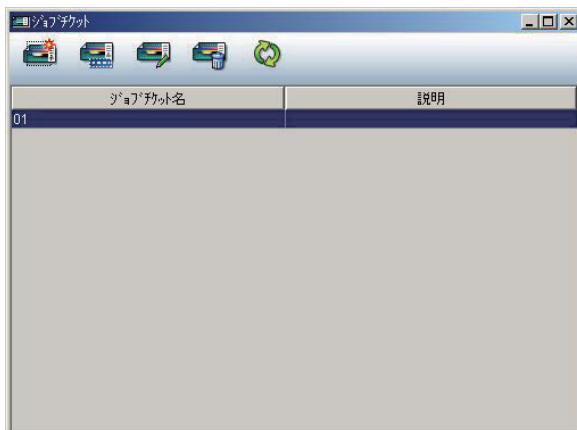
「キャンセル」ボタンをクリックすると、全ての設定を取り消し、ジョブチケット作成を終了します。

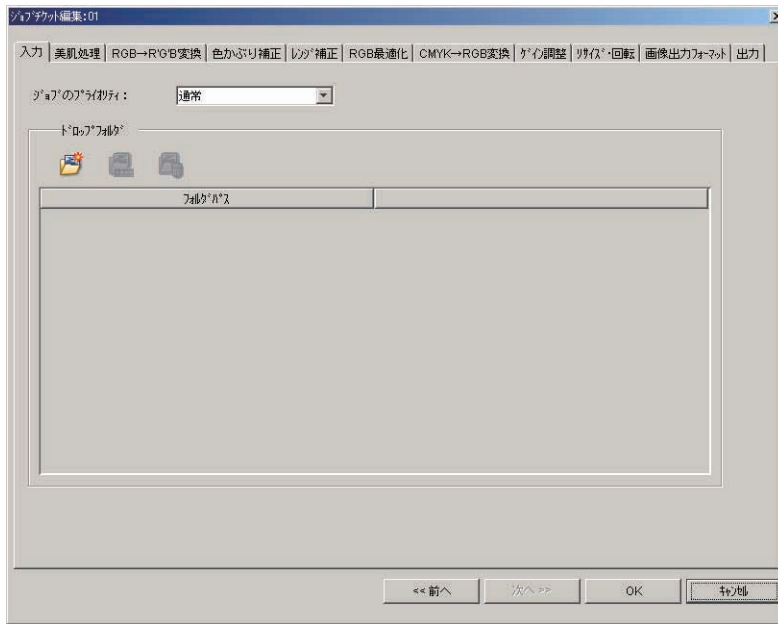
● OK

「OK」ボタンをクリックすると、ジョブチケットが作成されます。
「OK」ボタンをクリックしたとき、以下の場合にはエラーとなりメッセージが表示されます。

- ドロップフォルダが選択されていない場合
- 出力先のフォルダが設定されていない場合
- 他のジョブチケットで設定されているフォルダを設定した場合
- 「リサイズ・回転」タブの解像度変換で、入力できる状態の項目に記入されていない場合
- 「リサイズ・回転」タブで、指定した範囲外の数値が入力されている場合

すべての設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。
ジョブチケットが作成されます。



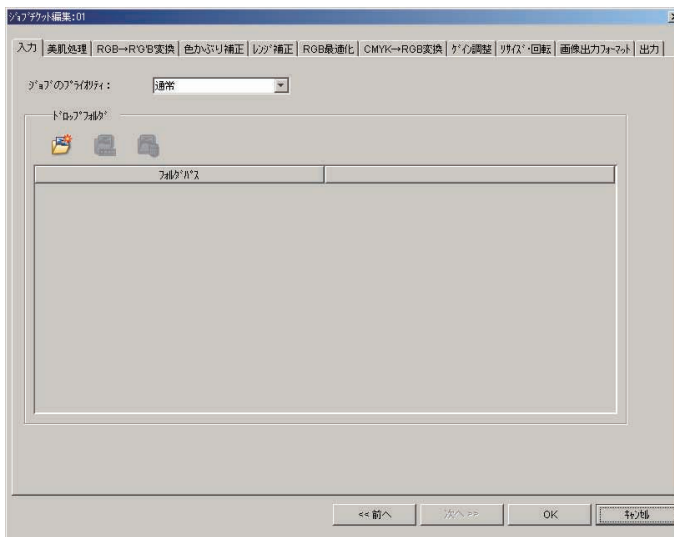


「ジョブチケット編集」ウィンドウは、「入力」タブ、「美肌処理」タブ、「RGB → R' G' B' 変換」タブ、「色かぶり補正」タブ、「レンジ補正」タブ、「RGB 最適化」タブ、「CMYK → RGB 変換」タブ、「ゲイン調整」タブ、「リサイズ・回転」タブ、「画像出力フォーマット」タブ、「出力」タブから構成されています。

※ 選択可能なタブは、有効なライセンスの種類によって異なります。

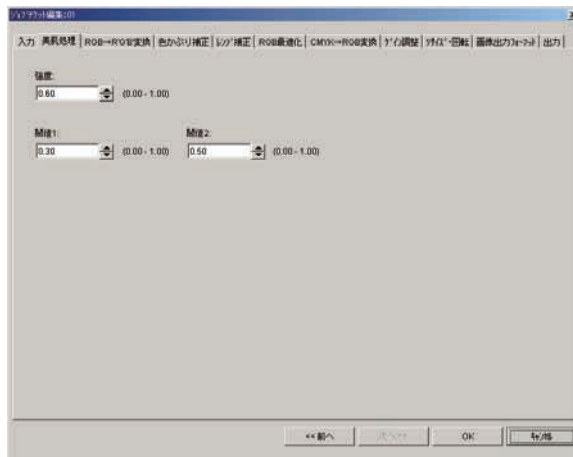
● 「入力」タブ

ドロップフォルダの作成、編集およびジョブチケットの優先度（優先度）を設定します。



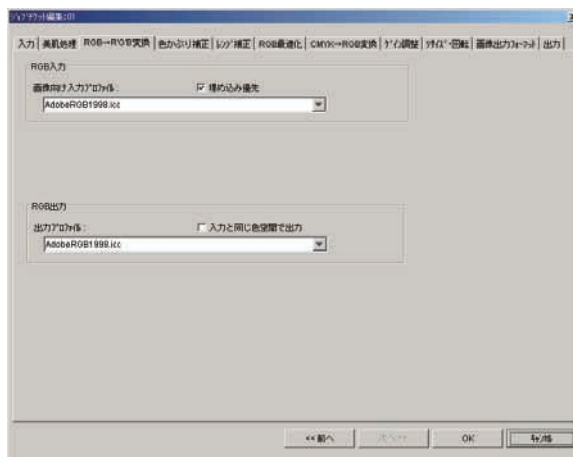
● 「美肌処理」タブ

美肌処理の強度、閾値（1、2）を設定します。



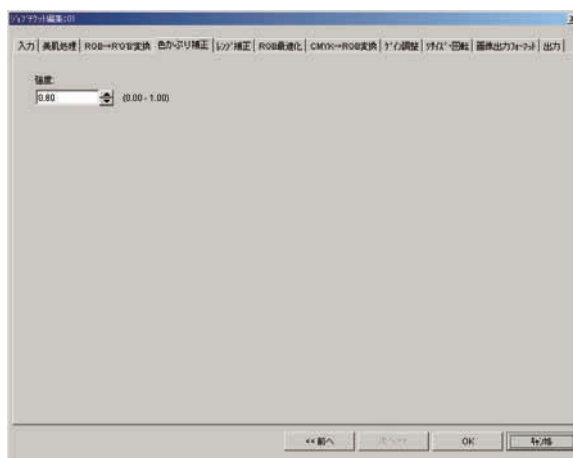
● 「RGB → R' G' B' 変換」タブ

RGB 入力プロファイル、RGB 出力プロファイルなどを設定します。



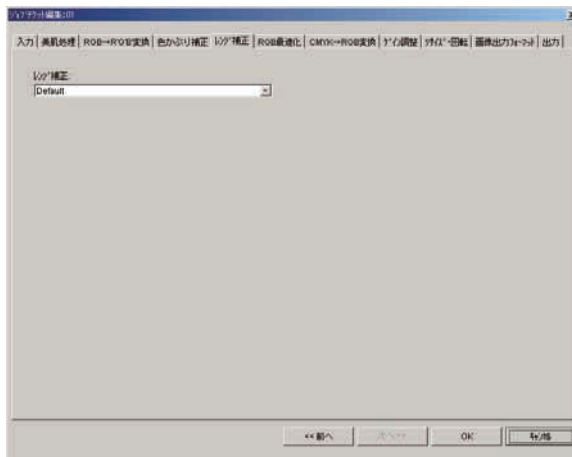
● 「色かぶり補正」タブ

色かぶり補正の強度を設定します。



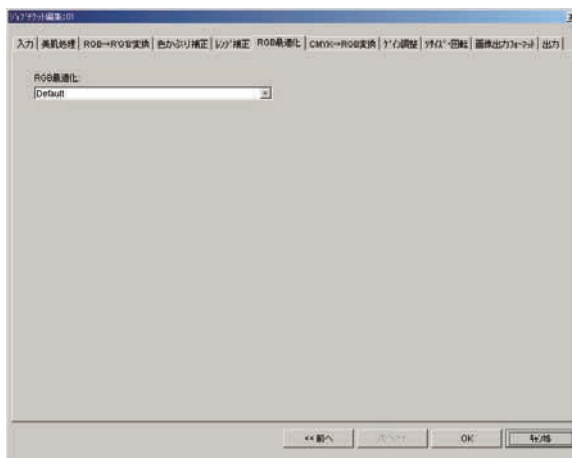
● 「レンジ補正」タブ

レンジ補正テンプレートを設定します。



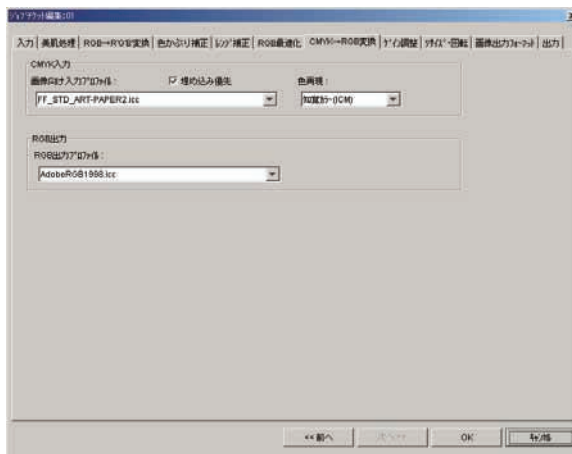
● 「RGB 最適化」タブ

RGB 最適化テンプレートなどを設定します。



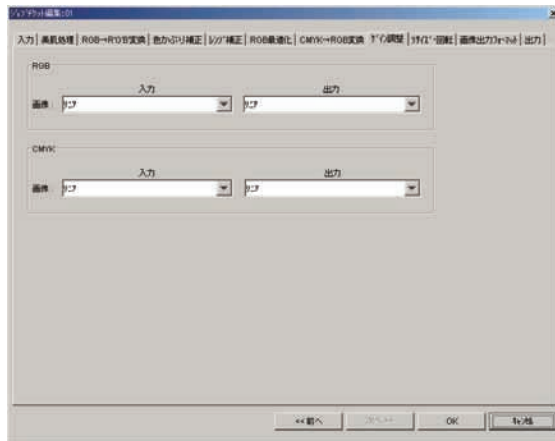
● 「CMYK → RGB 変換」タブ

入出力プロファイル、レンダリングインテントなどを設定します。



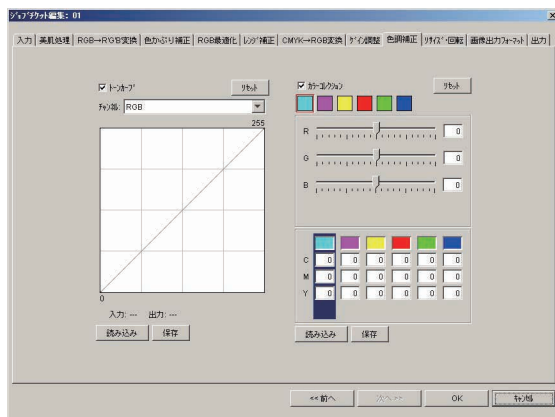
● 「ゲイン調整」タブ

ゲイン調整の設定を行います。



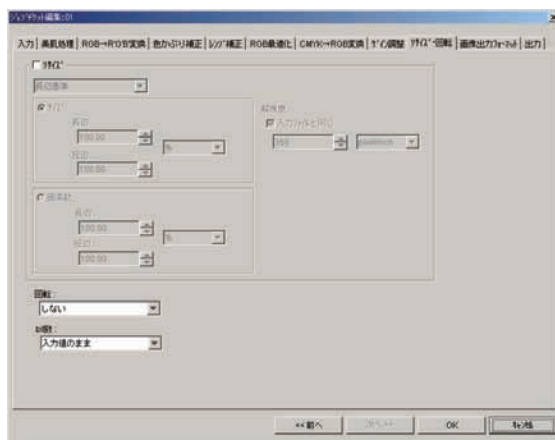
● 「色調補正」タブ

トーンカーブおよびカラーコレクションを設定します。



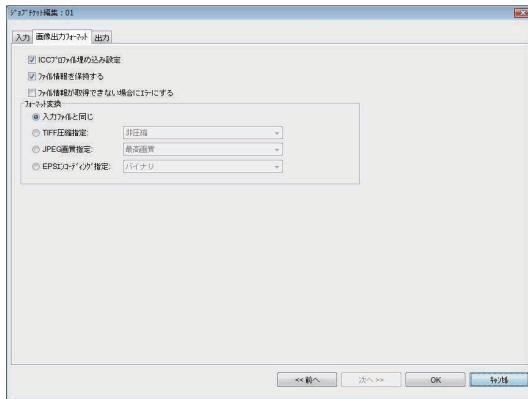
● 「リサイズ・回転」タブ

リサイズ、回転などを設定します。



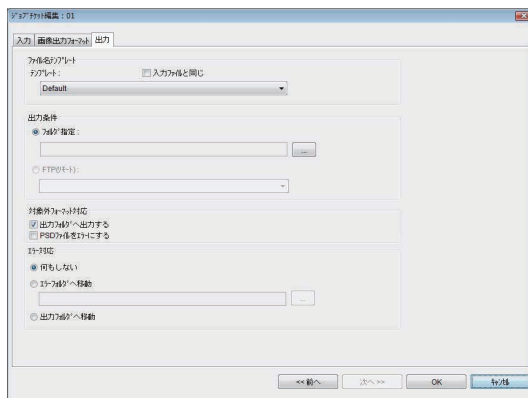
● 「画像出力フォーマット」タブ

画像ファイルフォーマット、ICC プロファイル埋め込み、ファイル情報の対応を設定します。



● 「出力」タブ

変換後の画像、ドキュメントデータの保存先、ファイル名テンプレートを設定します。



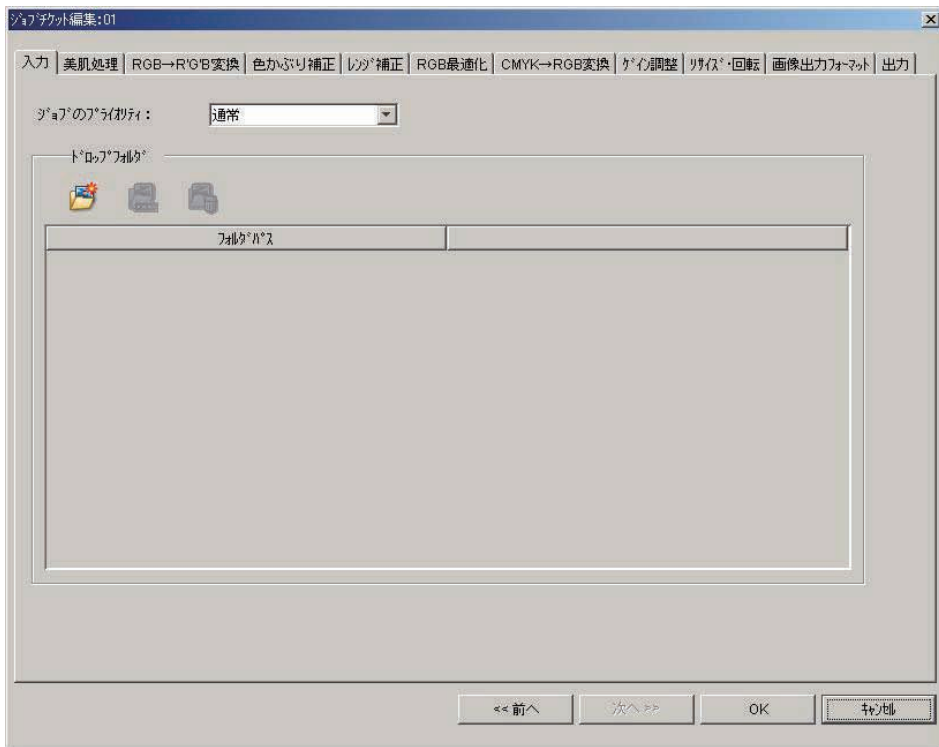
各タブについての詳細は、以降を参照してください。

各タブを設定し、「OK」ボタンをクリックするとジョブチケットの設定が完了し、登録されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定内容が取り消され、ウィンドウを閉じます。

1 入カタブ

「ジョブチケツト編集」ウインドウで「入力」タブを選択します。



● ジョブのプライオリティ

ジョブキュー上におけるジョブ実行の優先順位を設定します。



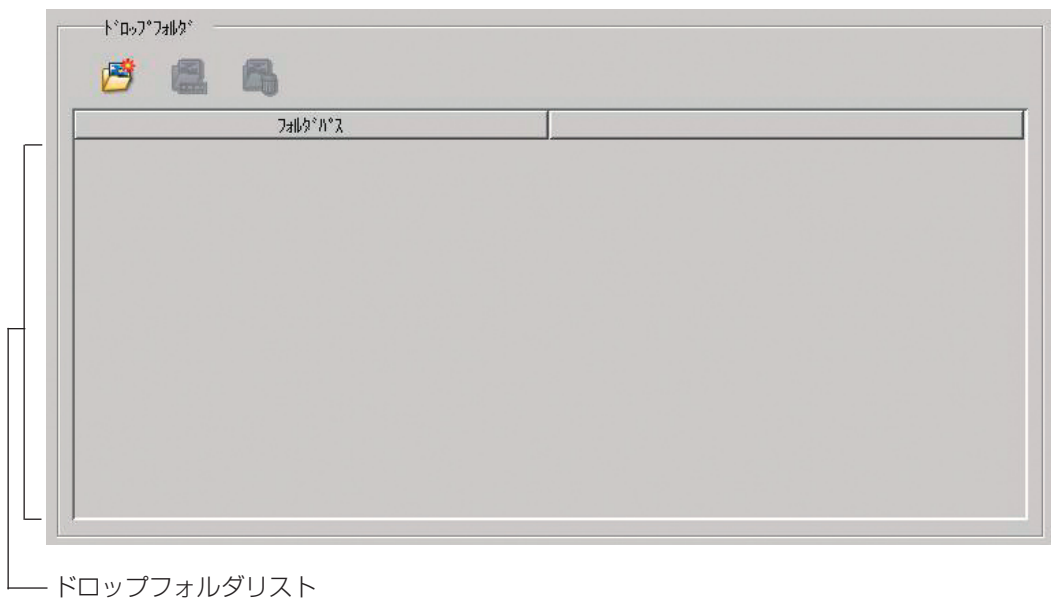
エクスプレス指定をすると、このジョブチケットで処理されるジョブの優先度を上げることができます。エクスプレス指定同士のジョブ、通常指定同士のジョブでは、ジョブキューに登録された順に優先度が高くなります。

※ 画像に対する演算とドキュメントに対する演算は並行処理され、優先度も別々に設定されます。

● ドロップフォルダ

編集用 Macintosh/Windows で作成した JPEG ファイル、EPS ファイル、TIFF ファイルを i-ColorQC C-Fit にマウントしてあるドロップフォルダにドラッグ&ドロップを行うことで出力ができます。

i-ColorQC C-Fit は、ドロップフォルダを定期的に監視し、JPEG ファイル、EPS ファイル、TIFF ファイルを検出すると、自動的に色変換処理を開始します。



● ドロップフォルダリスト

登録済みのドロップフォルダをリスト表示します。

● フォルダパス

登録済みのドロップフォルダのフォルダへのパスが表示されます。

● 新規

新しくドロップフォルダを登録します。

すでにリスト登録されているドロップフォルダを選択した状態で、このボタンをクリックすると、選択したドロップフォルダを複製することができます。

複数のドロップフォルダが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集

リストに登録されているドロップフォルダの設定を変更します。

リスト表示よりドロップフォルダを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

複数のドロップフォルダが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。


● 削除

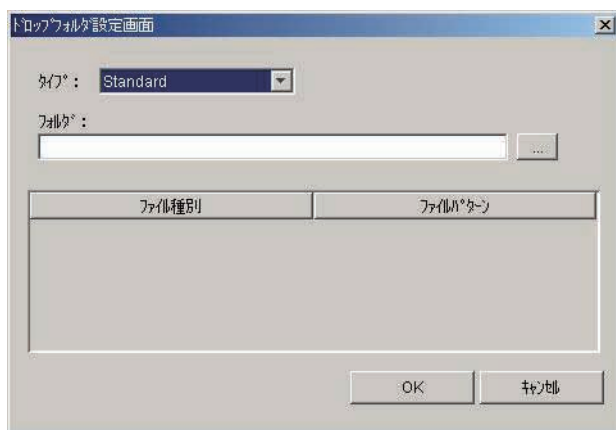
リストに登録されているドロップフォルダを削除します。

リスト表示より1つ以上のドロップフォルダを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

ドロップフォルダが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

■ ドロップフォルダ設定方法

- 1 新規アイコンボタン  をクリックすると「ドロップフォルダ設定画面」ウィンドウが表示されます。



● タイプ

フォルダのタイプを設定します。(本バージョンではStandardのみ指定できます。)

● Standard

ドロップフォルダに、EPS、TIFF、JPEGの各ファイルが入力されたら処理を開始します。




● フォルダ

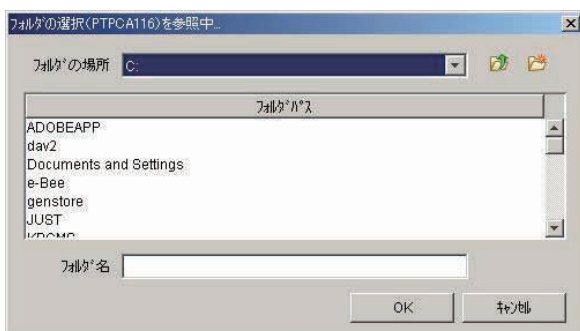
ドロップフォルダとして登録するフォルダを作成、選択します。



● ファイル種別、ファイルパターン

「タイプ」にて「Standard」を選択した場合、何も表示されません。(本バージョンでは使用しません。)

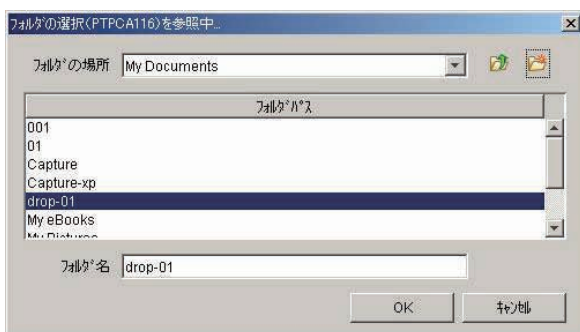
- 2  ボタンをクリックすると、「フォルダ選択」ウィンドウが表示されるので、任意のフォルダを設定します。



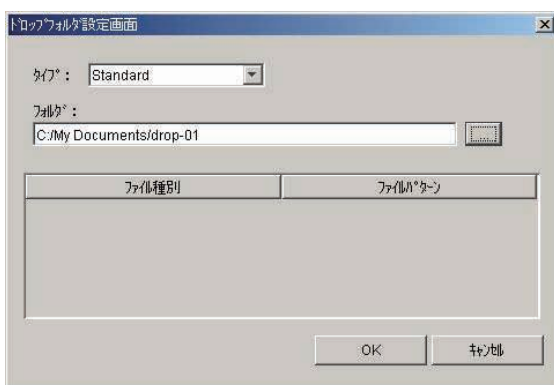
サーバー PC 上の dav 指定したフォルダのディレクトリの下階層、または共有設定しているフォルダ選択をすることができます。

また、サーバー PC 上に新規フォルダを作成することもできます。

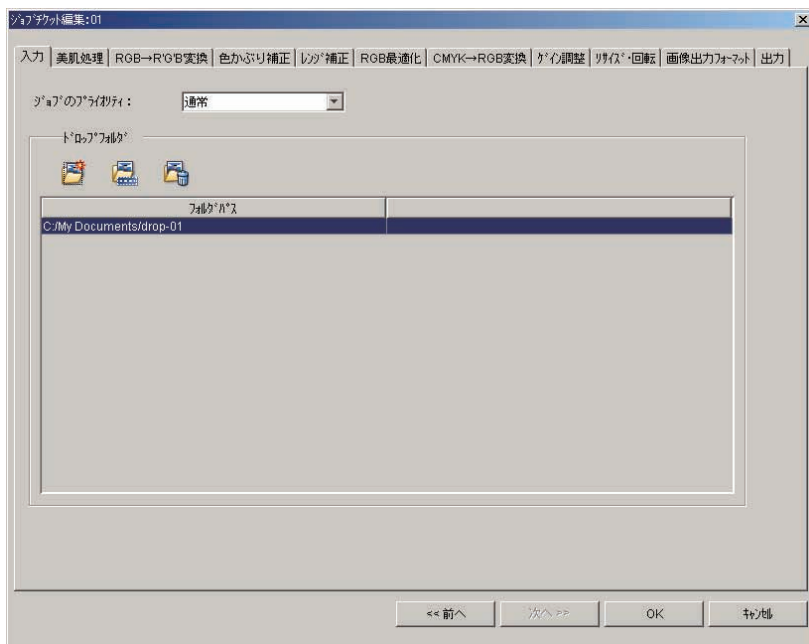
※ dav 指定については、第 1 章 4 「5 WebDAV の設定」(30 ページ) を参照してください。



- 3 「OK」ボタンをクリックし、フォルダを設定します。「ドロップフォルダ設定画面」ウィンドウに戻ります。



- 4 「OK」ボタンをクリックします。
「フォルダ設定」が完了し、「フォルダパス」に設定したドロップフォルダが表示されます。
ドロップフォルダが設定されていない場合はエラーとなり、エラーメッセージが表示されます。その場合は、ドロップフォルダを設定しなおしてください。

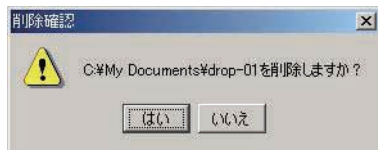


● フォルダの編集 

リスト内のドロップフォルダを選択し、「編集」アイコン  をクリックし、ドロップフォルダを編集します。

● フォルダの削除 

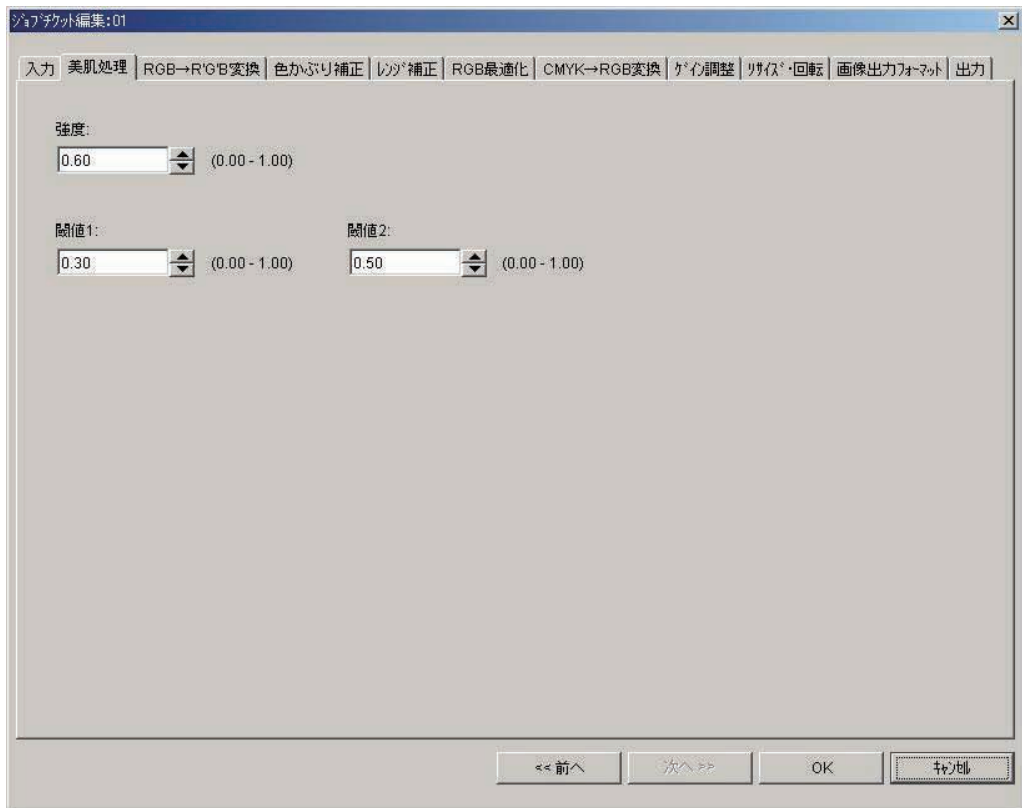
リスト内のドロップフォルダを選択し、「削除」アイコン  をクリックします。



「はい」をクリックして削除します。

2 美肌処理タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「美肌処理」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● 強度

美肌処理の強度を設定します。



設定範囲：0.00～1.00 0.01 刻み

● 閾値 (1、2)

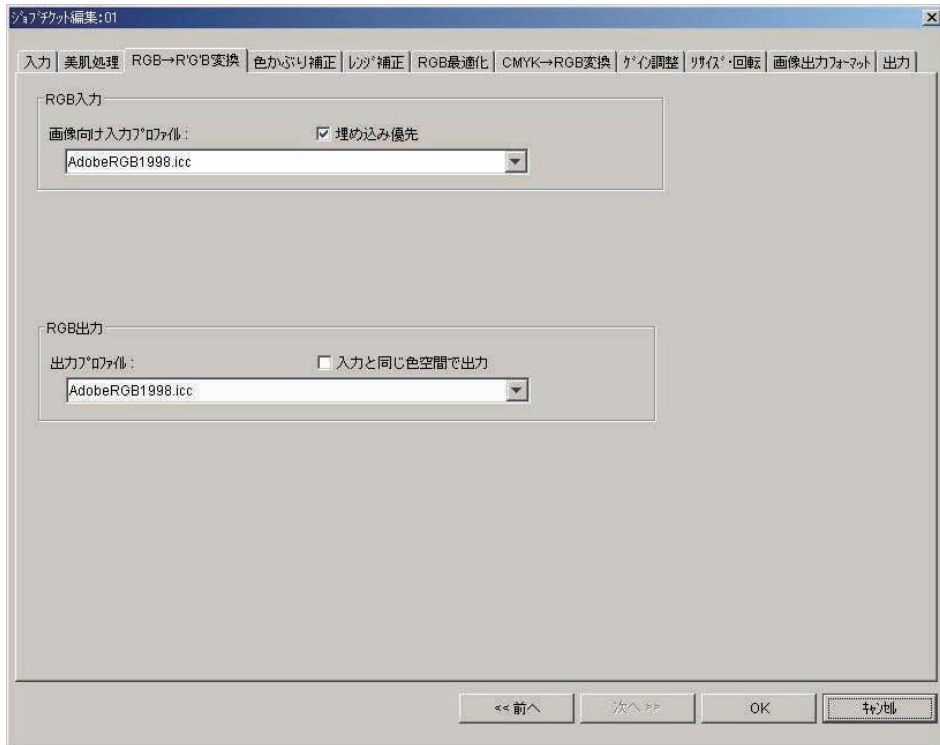
美肌処理の閾値 (1、2) を設定します。



設定範囲：0.00～1.00 0.01 刻み
ただし、閾値 1 < 閾値 2 である必要があります。

3 RGB → R' G' B' 変換タブ

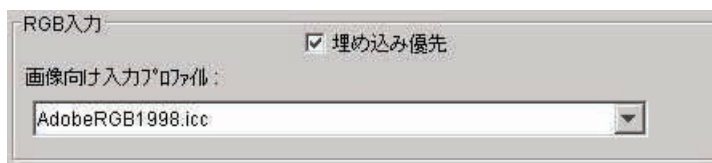
「ジョブチケット編集」ウィンドウで「RGB → R' G' B' 変換」タブを選択します。



3

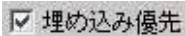
● RGB 入力

RGB ソースの画像の色空間について設定します。



● 埋め込み優先

変換前のデータに埋め込まれているプロファイルの設定で処理する場合に指定します。



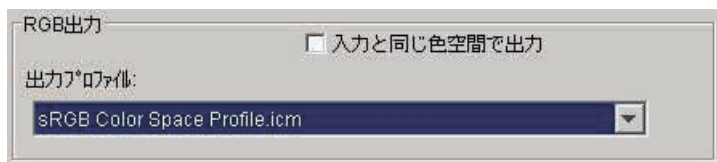
● 画像向け入力プロファイル

RGB 画像の入力色空間をプロファイルで指定します。アクティブプロファイルとして登録されている RGB 画像用プロファイルが選択できます。変換前のデータにソース色空間を指定するプロファイルが埋め込まれていない場合や、「埋め込み優先」を選択しなかった場合に使用します。



● RGB 出力

RGB 出力時の色空間について設定します。



● 入力と同じ色空間で出力

入力プロファイルと同じ色空間で出力する場合に選択します。
この場合、出力プロファイルは選択できません。

入力と同じ色空間で出力

● 出力プロファイル

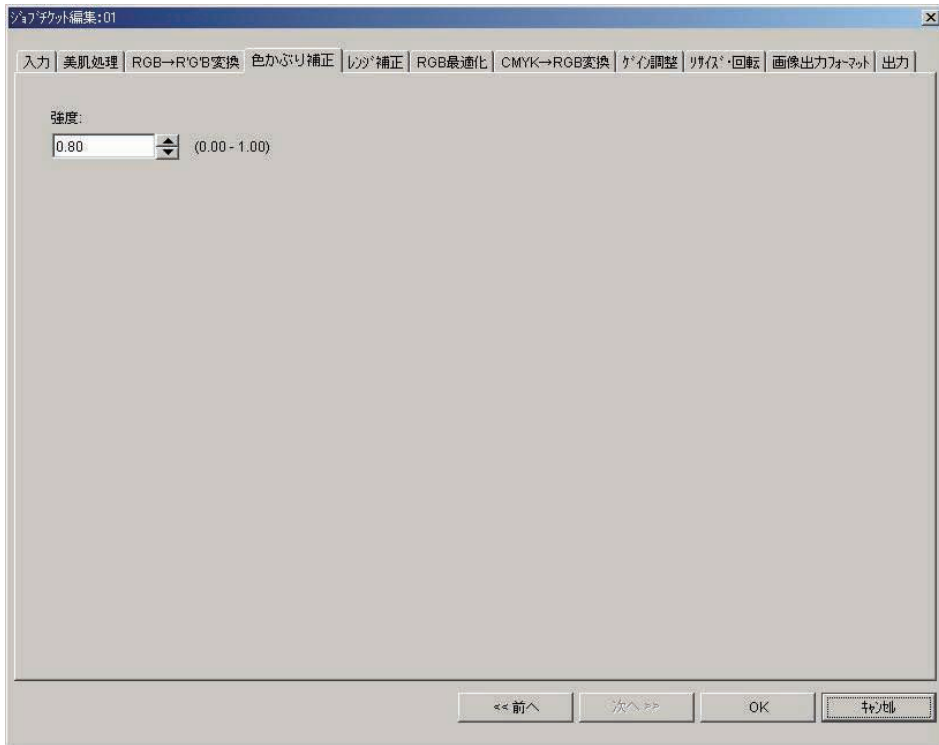
出力色空間をプロファイルで指定します。
メニューには「ICC プロファイル管理」のアクティブプロファイルに設定されている出力用プロファイルが表示されます。この中から 1 つを選択することができます。



※ 「画像出力フォーマット」タブで、ICC プロファイル埋め込み設定が OFF の場合は変換後のファイルにプロファイル埋め込みをしません。

4 色かぶり補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「色かぶり補正」タブを選択します。



● 強度

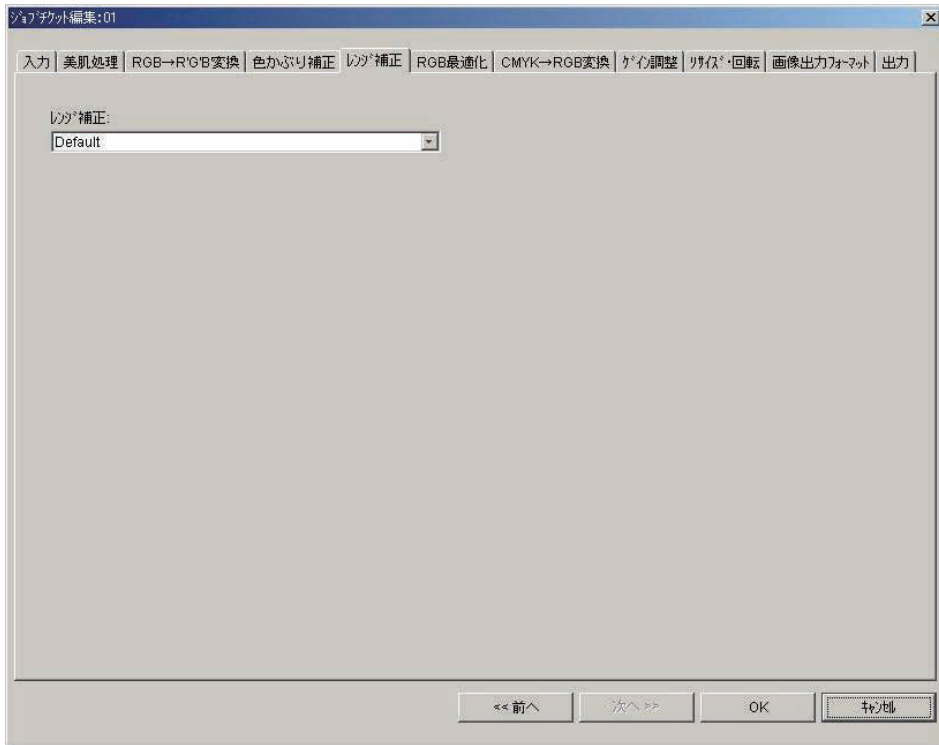
画像全体に対する色かぶり補正の強度を数値で設定します。



入力範囲 : 0.00 ~ 1.00 0.01 刻み

5 レンジ補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「レンジ補正」タブを選択します。



● レンジ補正

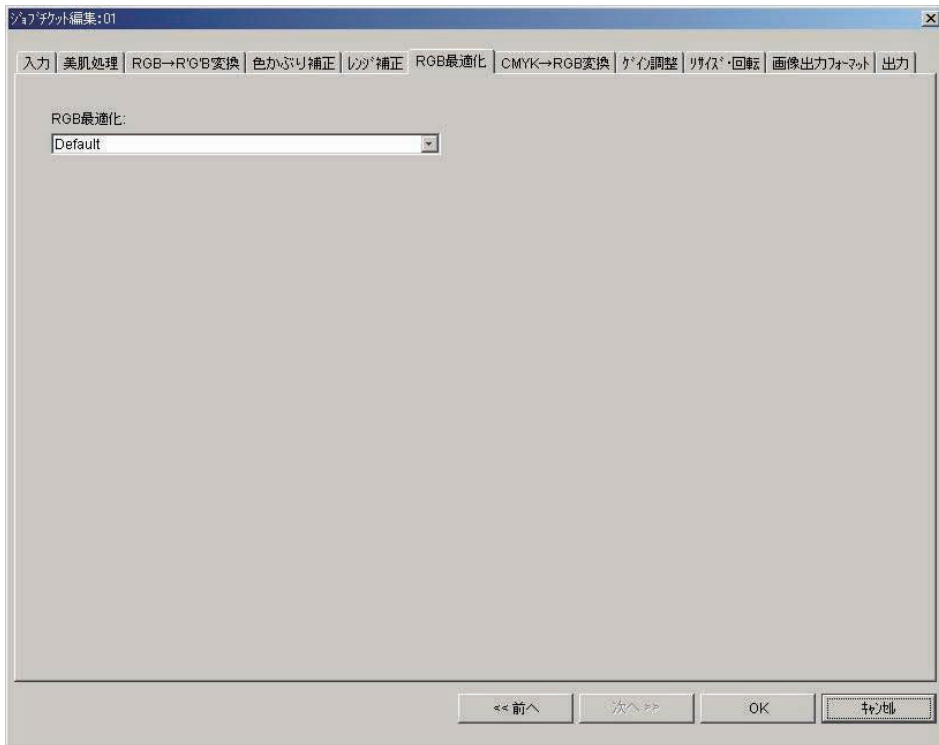
レンジ補正テンプレートを設定します。



注：レンジ補正テンプレートは、「レンジ補正テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**6** レンジ補正テンプレート」(242ページ)を参照してください。

6 RGB 最適化タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「RGB 最適化」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● RGB 最適化

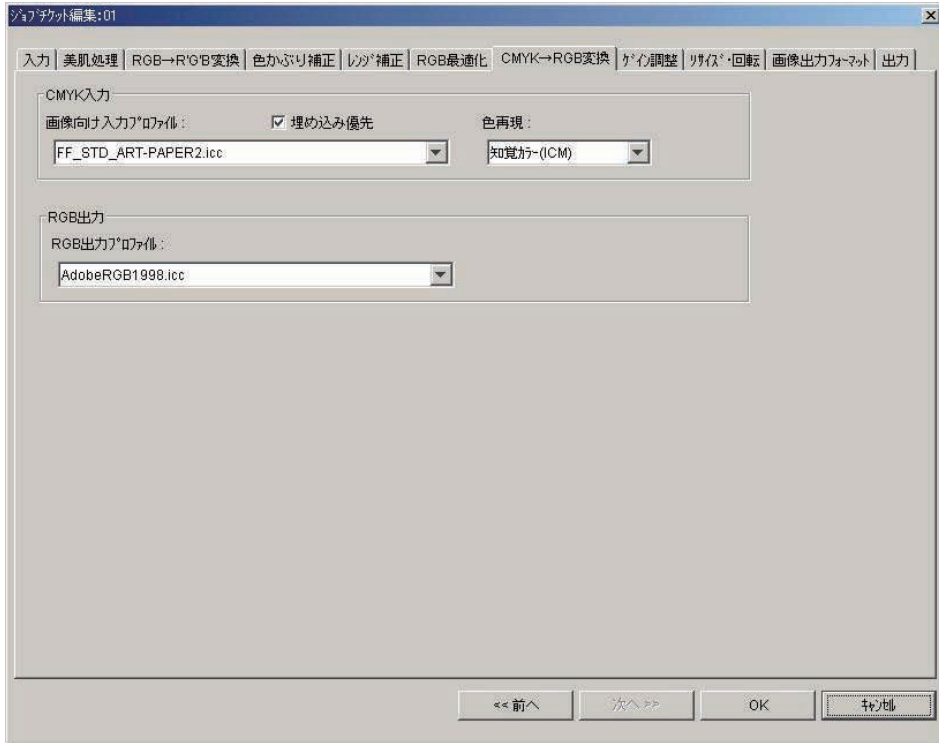
RGB 最適化処理時の詳細パラメータ設定を RGB 最適化パラメータで指定します。「RGB 最適化テンプレート」ウィンドウで作成したテンプレートをメニューより選択します。



注：RGB 最適化テンプレートは、「RGB 最適化テンプレート」ウィンドウで設定します。
第 4 章「**5** RGB 最適化テンプレート」(236 ページ) を参照してください。

7 CMYK → RGB 変換タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「CMYK → RGB 変換」タブを選択します。

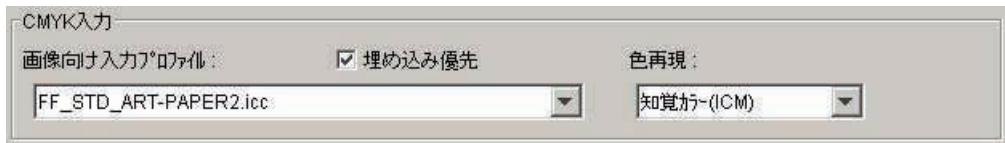


3

ジョブチケットの作成

● CMYK 入力

CMYK 入力の画像の色空間や処理方法を設定します。



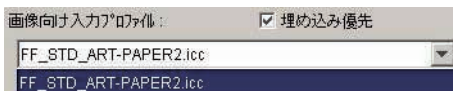
● 埋め込み優先

変換前のデータに埋め込まれているプロファイル設定で処理する場合に指定します。

埋め込み優先

● 画像向け入力プロファイル

CMYK 画像に対するソース色空間を指定します。アクティブプロファイルとして登録されている CMYK 画像用プロファイルが選択できます。変換前のデータにソース色空間を指定するプロファイルが埋め込まれていない場合や、「埋め込み優先」を選択しなかった場合に使用します。



● 色再現

色変換時のカラーマッチングモード（レンダリングインテント）を選択します。



● 知覚カラー（ICM）

出力プロファイルが保持している知覚カラー向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。

一般的には、変換前後の色の一致よりも、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

● 彩度（ICM）

出力プロファイルが保持している彩度向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。

一般的には、変換前後の色の一致よりも、彩度が高くなるように変換されます。

● 相対カラー（ICM）

出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を埋めるような色変換を行います。

● 絶対カラー（ICM）

出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を考慮しない色変換を行います。

● RGB 出力

RGB 出力時の色空間について設定します。



● RGB 出力プロファイル

出力色空間をプロファイルで指定します。

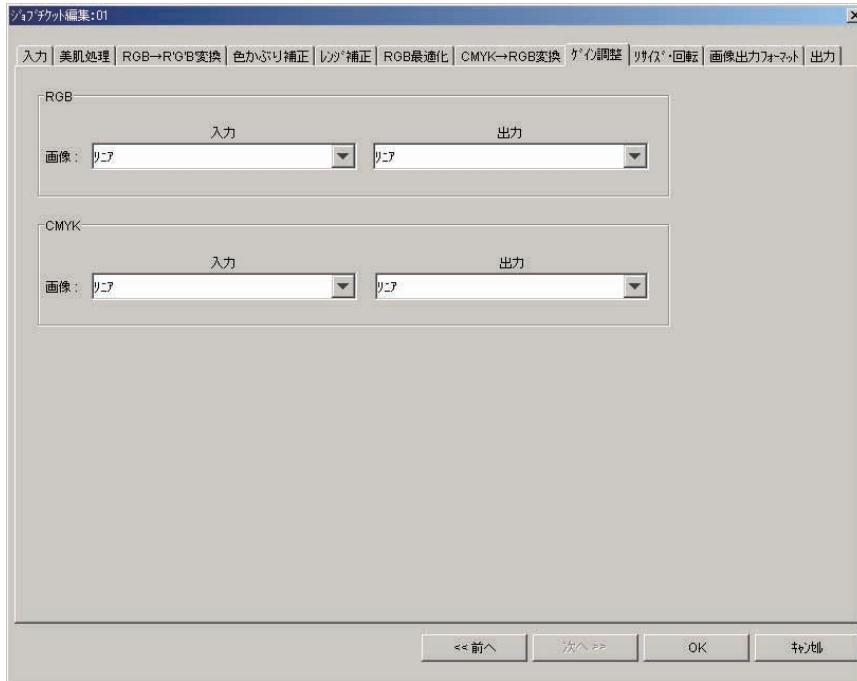
メニューには「ICC プロファイル管理」のアクティブプロファイルに設定されている出力用プロファイルが表示されます。この中から 1 つを選択することができます。



※ 「画像出力フォーマット」タブで、ICC プロファイル埋め込み設定が OFF の場合は変換後のファイルにプロファイル埋め込みをしません。

8 ゲイン調整タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「ゲイン調整」タブを選択します。



● RGB

RGB ソースの画像についてのゲイン調整を設定します。



● 画像（入力）

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、RGB 画像の入力側のゲインを調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



● 画像（出力）

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、RGB 画像の出力側のゲインを調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



● CMYK

CMYK ソースの画像についてのゲイン調整を設定します。



The screenshot shows a dialog box titled "CMYK". It has two main sections: "入力" (Input) and "出力" (Output). Under "入力", there is a label "画像:" followed by a dropdown menu currently showing "リニア". Under "出力", there is also a label "画像:" followed by a dropdown menu currently showing "リニア".

● 画像（入力）

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、CMYK 画像の入力側のゲインを調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



This is a close-up of the "入力" section of the dialog box. The label "画像:" is followed by a dropdown menu. The menu is open, showing "リニア" as the selected option. Below it, another "リニア" option is visible, indicating a list of options.

● 画像（出力）

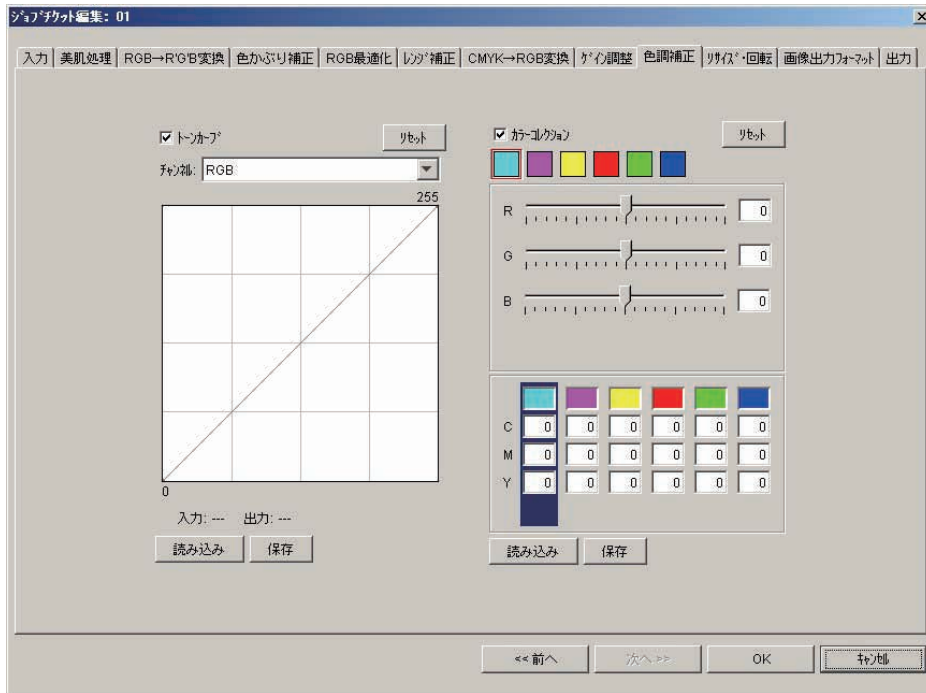
あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、CMYK 画像の出力側のゲインを調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



This is a close-up of the "出力" section of the dialog box. The label "画像:" is followed by a dropdown menu. The menu is open, showing "リニア" as the selected option. Below it, another "リニア" option is visible, indicating a list of options.

9 色調補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「色調補正」タブを選択します。



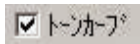
3

ジョブチケットの作成

● トーンカーブ

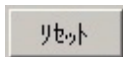
● トーンカーブ

チェックボックスを選択すると、トーンカーブを編集することができます。



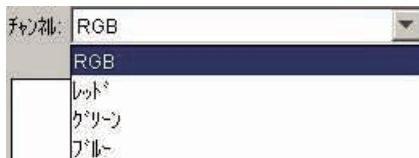
● リセット

編集したトーンカーブをデフォルトのリニアカーブに戻します。



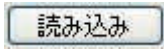
● チャンネル

編集したいチャンネルを選択します。



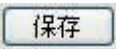
●読み込み

保存されているトーンカーブファイルを読み込みます。トーンカーブファイルは、本ソフトおよびセットアップツールで作成することができます。



●保存

編集したトーンカーブをファイルに保存します。保存したトーンカーブファイルは、本ソフトおよびセットアップステーションに読み込むことができます。

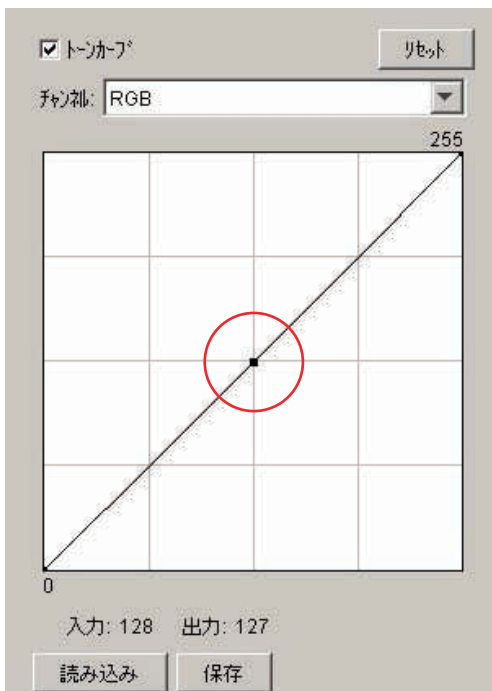


■ トーンカーブの編集方法

- 1 チャンネルメニューから編集するチャンネルを選択します。

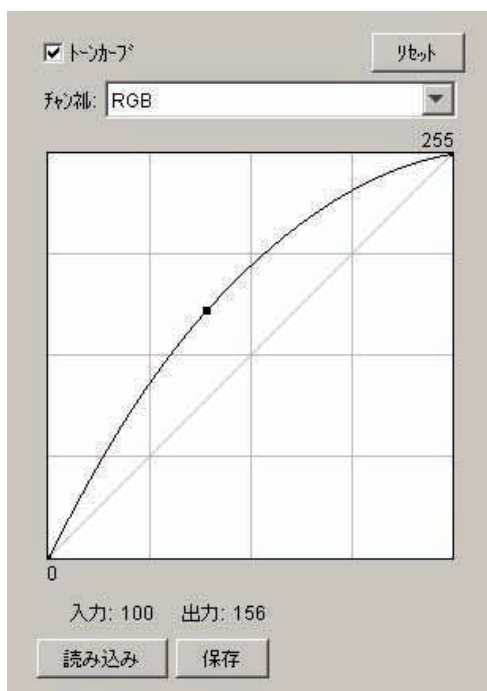


- 2 カーブ上にカーソルを置いて、マウスの右ボタンをクリックします。カーブ上に編集ポイントが表示されます。



- ③ カーソルを編集ポイント上に置いてカーソルの形が+に変わったら、マウスの左ボタンを押したままマウスを移動します。

マウスを移動すると、画面下部の「入力」と「出力」の数値が変化します。



注：編集ポイントを削除する場合は、カーソルを編集ポイントに置いてマウスの右ボタンをクリックしてください。

● カラーコレクション

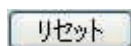
● カラーコレクション

チェックボックスを選択すると、カラーを修正することができます。カラーを修正すると、変更内容がプレビュー画像に反映されます。選択を解除すると、変更内容がキャンセルされ、プレビュー画像が元に戻ります。



● リセット

修正したカラー修正内容をデフォルトに戻します。



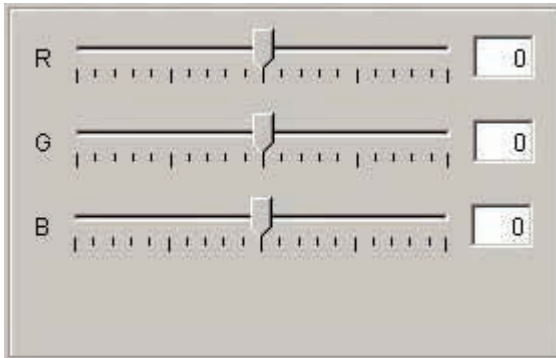
● カラーパッチ

修正したい色をカラーパッチから選びます。



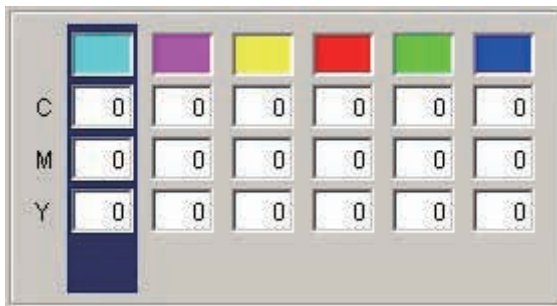
● スライダーバー

選択したカラーパッチのRGB各値の含有量を変更します。スライダーを右に移動すると選択された色成分が増加し、左に移動すると減少します。



● マニュアル設定

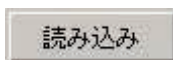
選択したカラーパッチのRGB値をマニュアルで変更します。カラーパッチを選択し、各ボックスに直接数値を入力してください。



注：マニュアル設定ボックスの数値を変更すると、スライダーバーの数値も連動して変わります。また逆に、スライダーバーの数値を変更しても、マニュアル設定ボックスの数値が変わります。

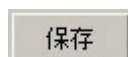
● 読み込み

保存されているカラーコレクションファイルを読み込みます。カラーコレクションファイルは、本ソフトおよびセットアップツールで作成することができます。



● 保存

変更したカラー修正内容をファイルに保存します。保存したカラー修正内容は、本ソフトまたはセットアップツールに読み込むことができます。



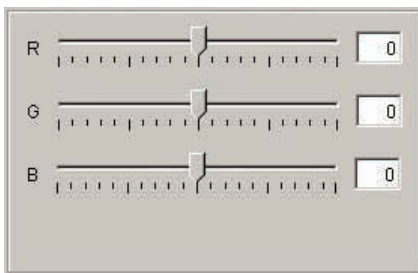
■ カラーの修正方法

- 1 カラー修正したい色をカラーパッチから選択します。

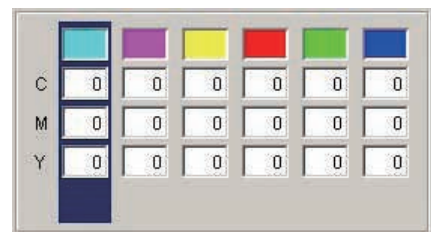
例) シアンパッチを選択



- 2 スライダーバーまたはマニュアル設定ボックスを使用して、カラー修正を行ないます。



または



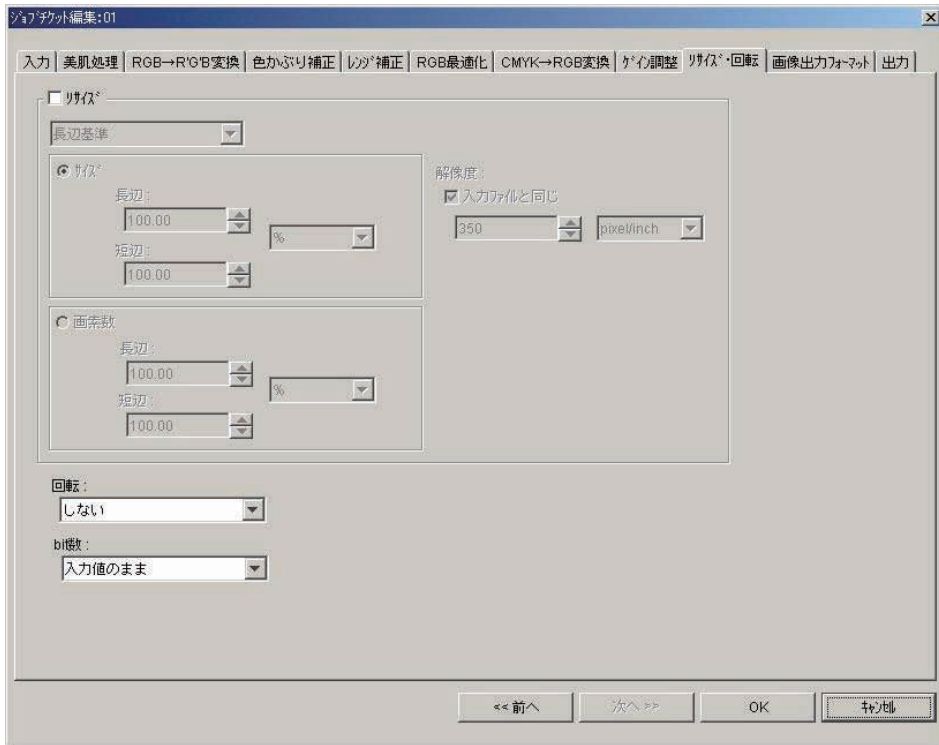
- 3 その他のカラーパッチを修正する場合は、手順 1 と 2 を繰り返します。

3

ジョブチケットの作成

10 リサイズ・回転タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「リサイズ・回転」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● リサイズ

画像のサイズ、解像度を変更して出力する場合に選択します。



● 基準設定

長辺、短辺の基準を選択します。



- 長辺基準.....長辺を基準にしてリサイズします。
長辺フィールドのみ入力可能で、縦横比を固定で短辺は自動計算されます。
- 短辺基準.....短辺を基準にしてリサイズします。
短辺フィールドのみ入力可能で、縦横比を固定で長辺は自動計算されます。
- 長短それぞれ指定.....長辺と短辺を指定してリサイズします。
変倍を行う場合に使用します。

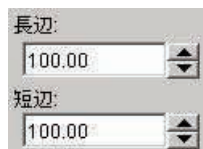
● サイズ

出力サイズを指定して、リサイズする場合に選択します。
この場合、「画素数」は入力できなくなります。



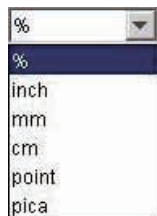
● サイズ入力

出力サイズ「長辺」、「短辺」または「長辺 / 短辺」を数値で入力します。
小数点第二位まで設定できます。



● サイズ単位

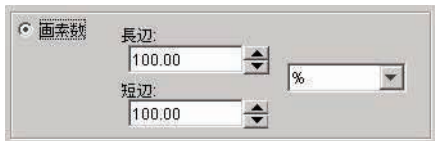
出力サイズの単位を設定します。



単位を変更するたびに対応するサイズ入力フィールドの数値が、その単位での値に変換されます。

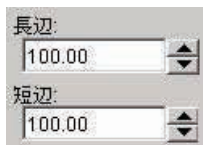
● 画素数

出力画素数を指定してリサイズする場合に選択します。
この場合、「サイズ」は入力できなくなります。



● 画素数入力

出力画素数の「長辺」、「短辺」または「長辺 / 短辺」を数値で入力します。
「単位」が「%」の場合、小数点第二位まで設定できます。
「単位」が「Pixel」の場合、整数を設定できます。



● 画素数単位

出力画素数の単位を設定します。

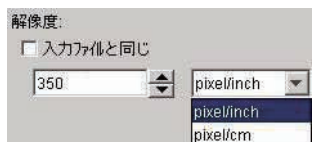


● 解像度

出力解像度を設定します。



「入力ファイルと同じ」を選択すると、入力ファイルで設定されている解像度で出力されます。



「入力ファイルと同じ」の選択を解除すると、出力解像度を数値で設定できます。
解像度の単位は「pixel/inch」「pixel/cm」が使用できます。

● 回転

回転をメニューより選択します。



● bit 数

bit 数をメニューより選択します。

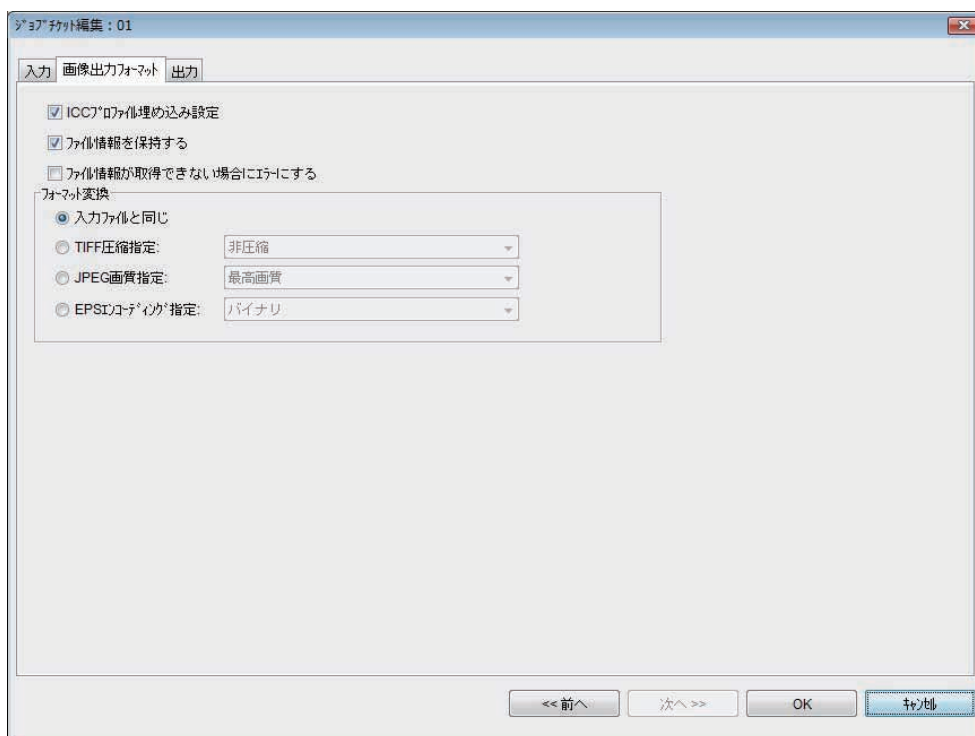
TIFF 形式での保存時のみ有効です。

また、「画像出力フォーマット」タブのフォーマット変換時の項目で「入力ファイルと同じ」を選択した場合、入力ファイルが 8bit TIFF であれば出力ファイルも 8bit となります。



11 画像出力フォーマットタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「画像出力フォーマット」タブを選択します。



● ICC プロファイル埋め込み設定

チェックを入れると「RGB 最適化」タブの「RGB 出力」の設定に従ってプロファイルが埋め込まれます。

ICCプロファイル埋め込み設定

● ファイル情報を保持する

チェックを入れるとファイル情報が埋め込まれます。

ファイル情報を保持する

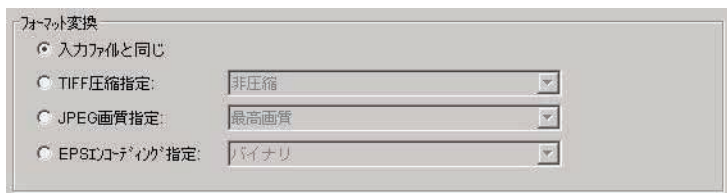
● ファイル情報が取得できない場合にエラーにする

チェックを入れると入力画像からファイル情報を取得できない場合に、ジョブがエラー終了します。

ファイル情報が取得できない場合にエラーにする

● フォーマット変換

変換後の画像に対して、フォーマットと、圧縮形式の設定を行います。



● 入力ファイルと同じ

入力ファイルと同じ条件で出力されます。

入力ファイルと同じ

● TIFF 圧縮指定

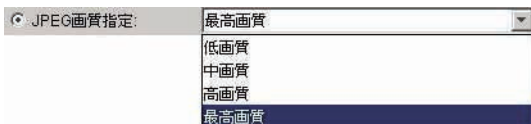
TIFF 形式で出力します。圧縮形式を下記の中から選択します。



非圧縮 / PackBits / LZW

● JPEG 画質指定

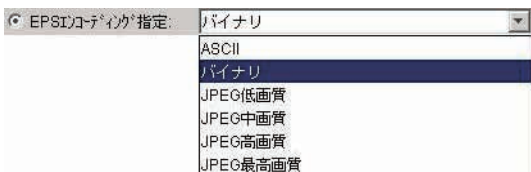
JPEG 形式で出力します。圧縮形式を下記の中から選択します。



最高画質 / 高画質 / 中画質 / 低画質

● EPS エンコーディング指定

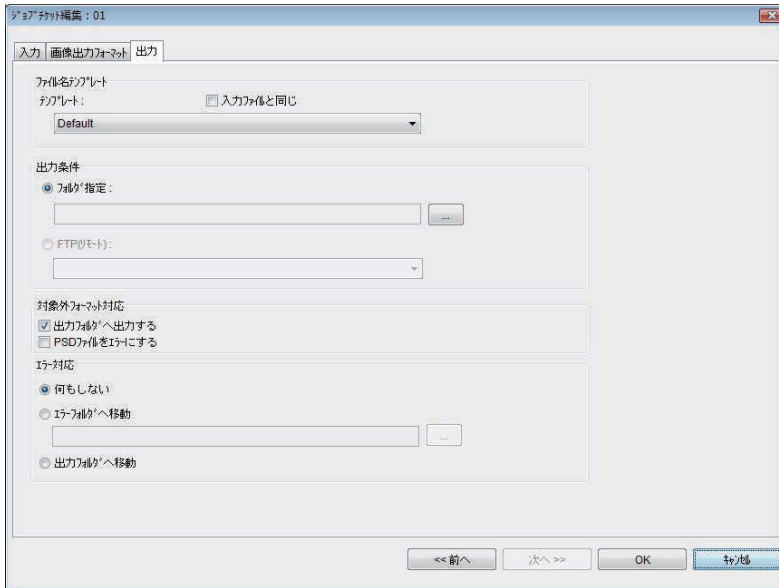
EPS 形式で出力します。圧縮形式および JPEG 圧縮の場合のレベルを下記の中から選択できます。



ASCII / バイナリ / JPEG 低画質 / JPEG 中画質 / JPEG 高画質 / JPEG 最高画質

12 出カタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「出力」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● ファイル名テンプレート

処理されるジョブに適用するファイル名テンプレートを選択します。

注：ファイル名テンプレートは、「ファイル名テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**1** ファイル名テンプレート」(216ページ)を参照してください。



● 入力ファイルと同じ

入力ファイルと同じ

「入力ファイルと同じ」を選択すると、拡張子を含めた入力ファイル名を使用します。

例) Test.jpg $\xrightarrow{\text{TIFFで保存}}$ Test.jpg

注：保存形式に応じて拡張子を変更したい場合は「環境設定」ウィンドウの「ファイル名」タブで設定します。第5章「**6** ファイル名」(291ページ)を参照してください。

● 出力条件

出力データの保存先を設定します。フォルダ指定か、FTP(リモート)方式のどちらか一方を選択することができます。

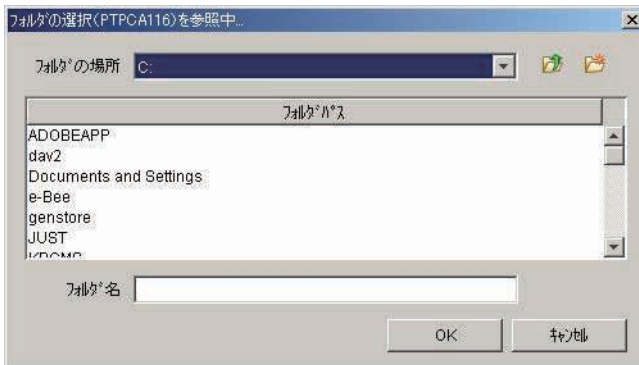


● フォルダ指定

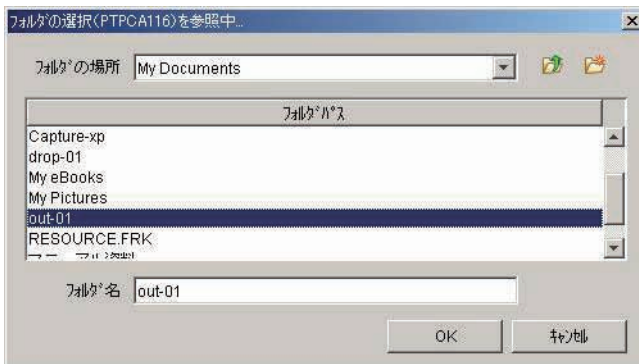
ローカルディスク、またはネットワークディスクの任意のフォルダを指定します。



「...」ボタンをクリックすると、「フォルダ選択」ウィンドウが表示されるので任意のフォルダを設定します。



サーバー PC 上のフォルダのみを選択することができます。
また、サーバー PC 上に新規フォルダを作成することもできます。



フォルダ選択後、「OK」ボタンをクリックし、フォルダを設定します。
ただし、ドロップフォルダに設定されているフォルダは指定できません。

● FTP(リモート)

ネットワーク上のワークステーション、またはサーバなどに対して生成したデータを FTP 転送します。



注：ネットワークの設定は、「リモートホストコンフィグレーション」ウィンドウにて行います。
第 6 章「**①** FTP 転送先設定」(316 ページ) を参照してください。

● 対象外フォーマット対応

対象外であるデータが入力された場合の対応方法を設定します。

● 出力フォルダへ出力する

選択されると、入力されたファイルがフォルダ単位で出力フォルダに出力されます。

 出力フォルダへ出力する

● PSD ファイルをエラーにする

選択されると、入力された PSD ファイルが以下の「エラー対応」の設定に従って出力されます。

 PSDファイルをエラーにする

● エラー対応

処理時にエラーが発生した場合のエラーファイルの出力先を設定します。

● 何もしない

エラーとなったデータを出力しないように設定します。
(ドロップフォルダからは削除されます)

 何もしない

● エラーフォルダへ移動

エラーとなったデータを別のフォルダへ出力するように設定します。

 エラーフォルダへ移動

「参照」ボタンをクリックして、フォルダを選択します。



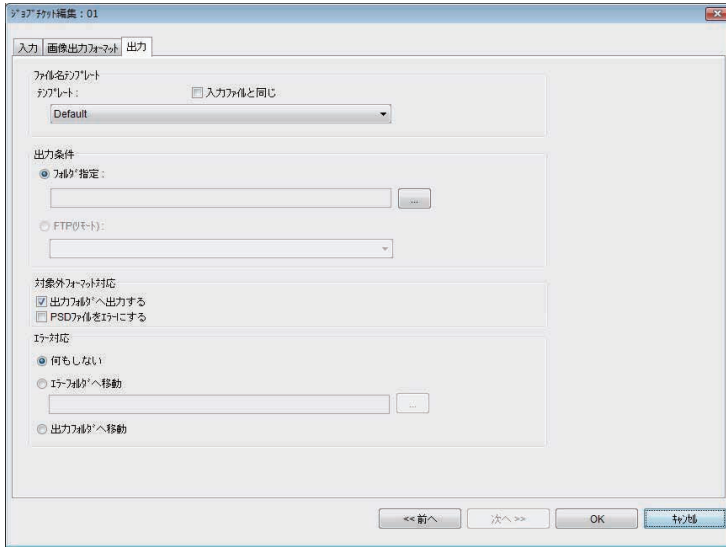
ドロップフォルダとして設定されているフォルダを選択することはできません。

● 出力フォルダへ移動

エラーとなったデータを出力フォルダへ出力するように設定します。

 出力フォルダへ移動

13 設定終了



● キャンセル

「キャンセル」ボタンをクリックすると、全ての設定を取り消し、ジョブチケット作成を終了します。

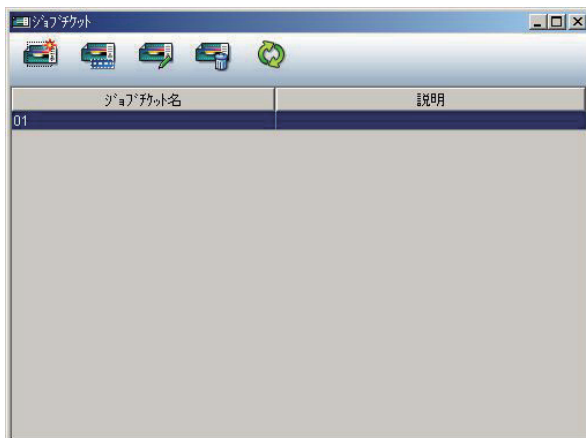
● OK

「OK」ボタンをクリックすると、ジョブチケットが作成されます。

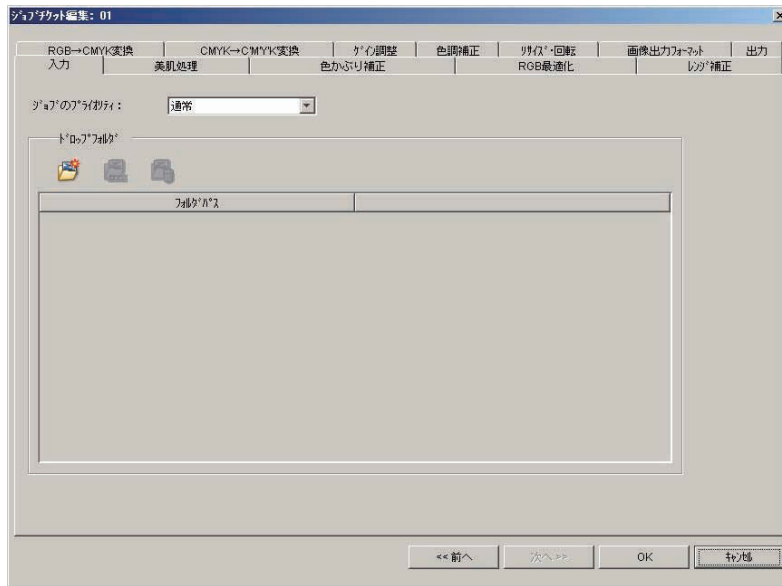
「OK」ボタンをクリックしたとき、以下の場合にはエラーとなりメッセージが表示されます。

- ドロップフォルダが選択されていない場合
- 出力先のフォルダが設定されていない場合
- 他のジョブチケットで設定されているフォルダを設定した場合
- 「リサイズ・回転」タブの解像度変換で、入力できる状態の項目に記入されていない場合
- 「リサイズ・回転」タブで、指定した範囲外の数値が入力されている場合

すべての設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。
ジョブチケットが作成されます。



3

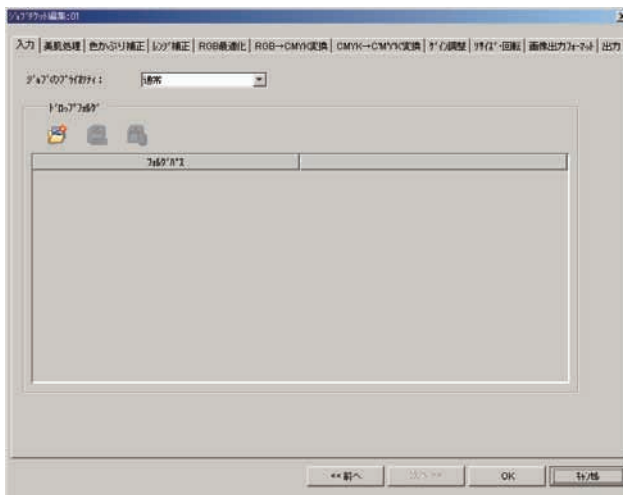


「ジョブチケット編集」ウィンドウは、「入力」タブ、「美肌処理」タブ、「色かぶり補正」タブ、「レンジ補正」タブ、「RGB 最適化」タブ、「RGB → CMYK 変換」タブ、「CMYK → C' M' Y' K' 変換」タブ、「ゲイン調整」タブ、「色調補正」タブ、「リサイズ・回転」タブ、「画像出力フォーマット」タブ、「出力」タブから構成されています。

※ 選択可能なタブは、有効なライセンスの種類によって異なります。

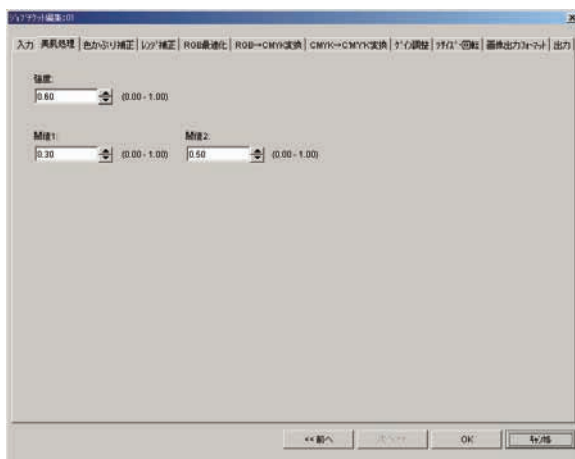
● 「入力」タブ

ドロップフォルダの作成、編集およびジョブチケットのプライオリティ（優先度）を設定します。



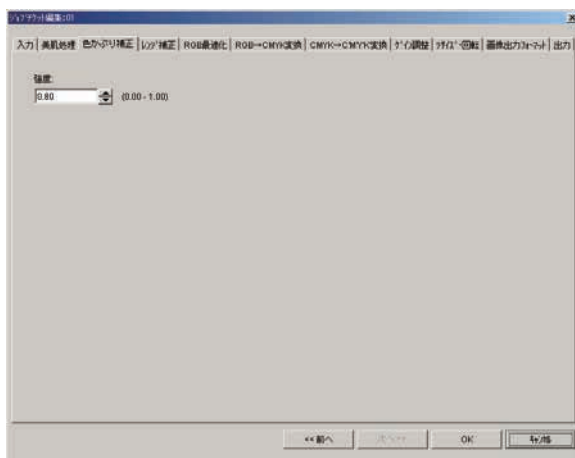
● 「美肌処理」タブ

美肌処理の強度、閾値を設定します。



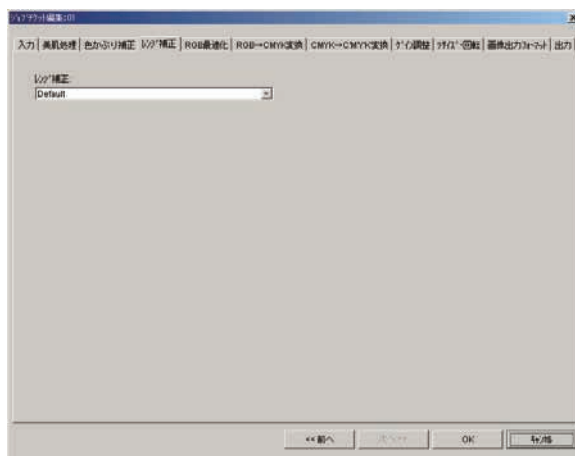
● 「色かぶり補正」タブ

色かぶり補正の強度を設定します。



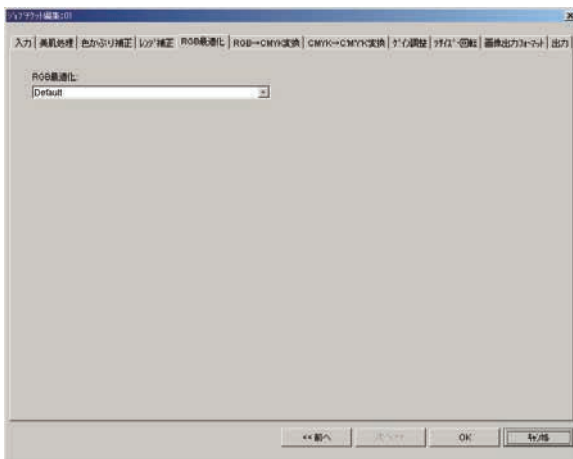
● 「レンジ補正」タブ

レンジ補正テンプレートを設定します。



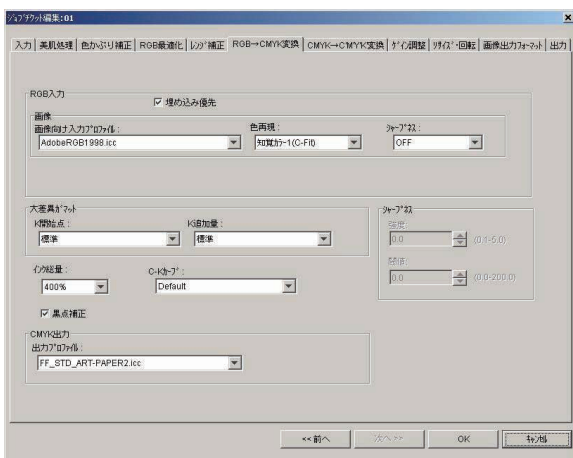
● 「RGB 最適化」タブ

RGB 自動最適テンプレートなどを設定します。



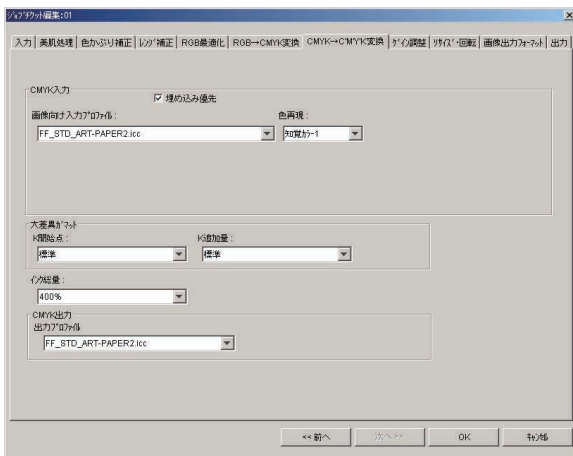
● 「RGB → CMYK 変換」タブ

入出力プロファイル、レンダリングインデントなどを設定します。



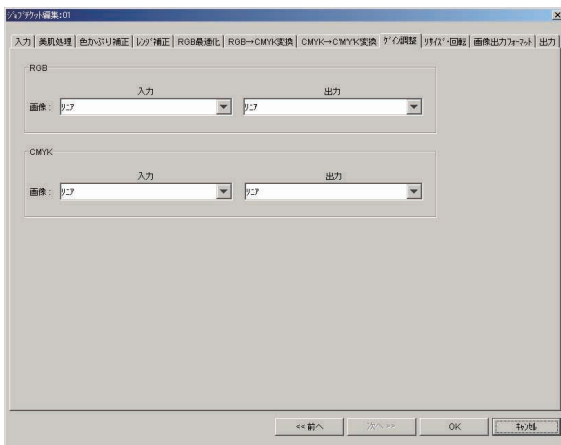
● 「CMYK → C' M' Y' K' 変換」タブ

入出力プロファイルなどを設定します。



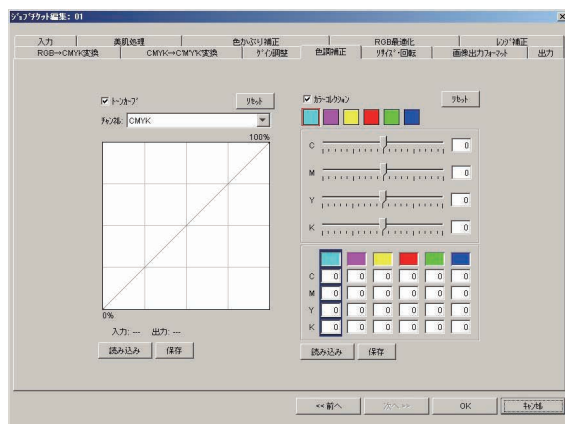
● 「ゲイン調整」タブ

ゲイン調整の設定を行います。



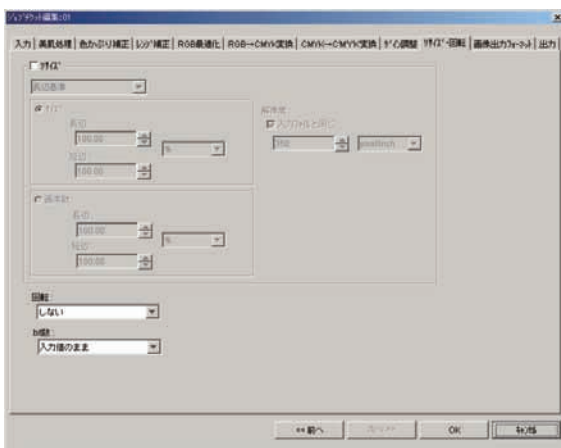
● 「色調補正」タブ

トーンカーブおよびカラーコレクションを設定します。



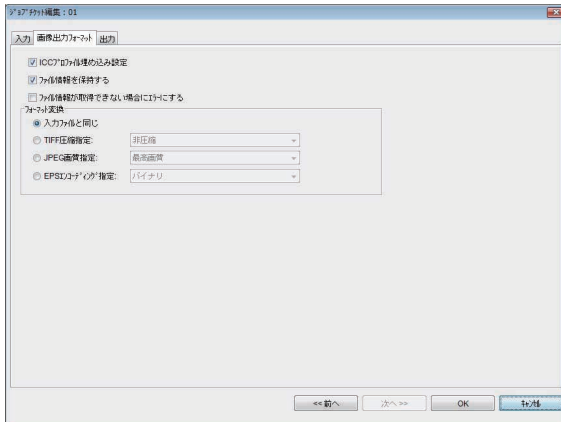
● 「リサイズ・回転」タブ

解像度変換、回転などを設定します。



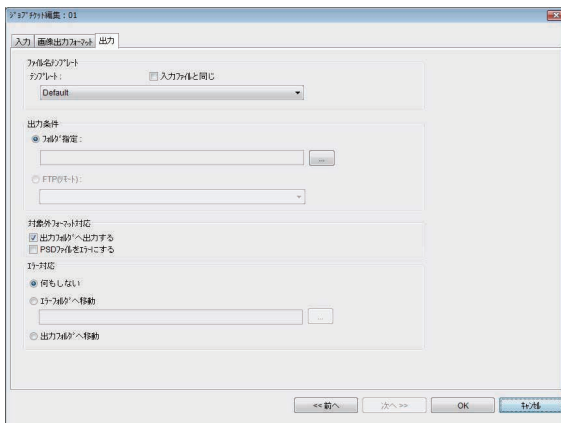
● 「画像出力フォーマット」タブ

画像ファイルフォーマット、ICC プロファイル埋め込み、ファイル情報の対応を設定します。



● 「出力」タブ

変換後の画像、ドキュメントデータの保存先、ファイル名テンプレートを設定します。



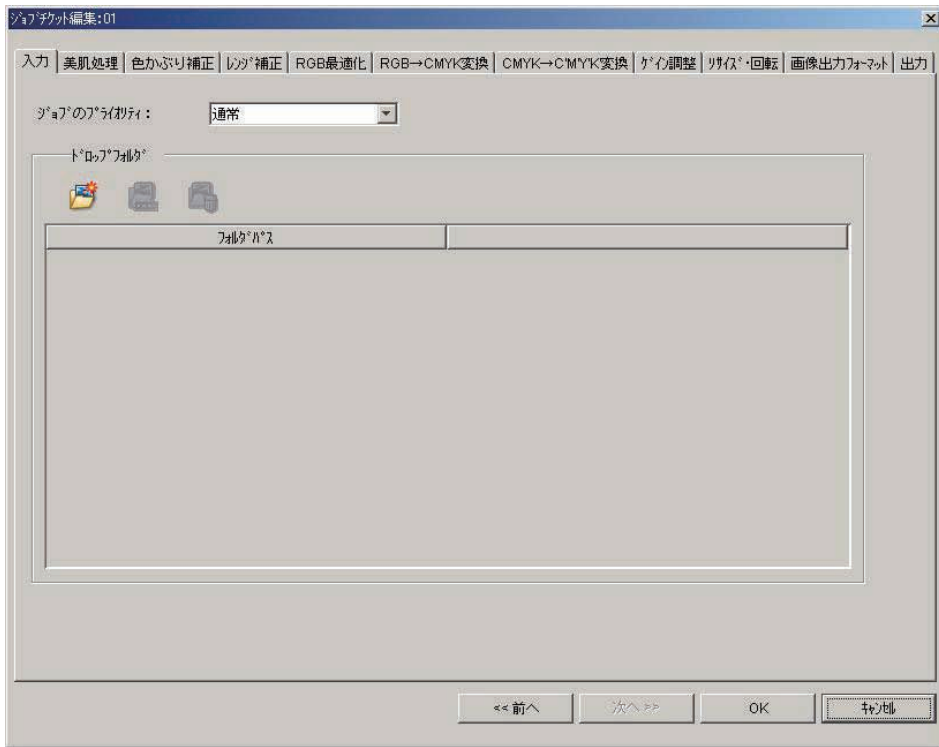
各タブについての詳細は、以降を参照してください。

各タブを設定し、「OK」ボタンをクリックするとジョブチケットの設定が完了し、登録されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定内容が取り消され、ウィンドウを閉じます。

1 入力タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「入力」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● ジョブのプライオリティ

ジョブキュー上におけるジョブ実行の優先順位を設定します。



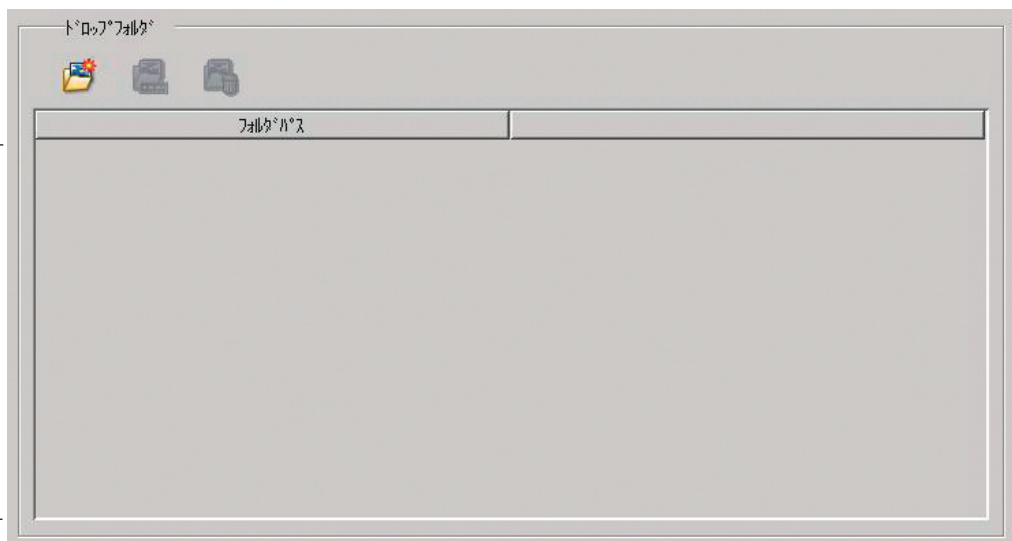
エクスプレス指定をすると、このジョブチケットで処理されたジョブの優先度を上げることができます。エクスプレス指定同士のジョブ、通常指定同士のジョブでは、ジョブキューに登録された順に優先度が高くなります。

※ 画像に対する演算とドキュメントに対する演算は並行処理され、優先度も別々に設定されます。

● ドロップフォルダ

編集用 Macintosh/Windows で作成した JPEG ファイル、EPS ファイル、TIFF ファイルを i-ColorQC C-Fit にマウントしてあるドロップフォルダにドラッグ&ドロップを行うことで出力ができます。

i-ColorQC C-Fit は、ドロップフォルダを定期的に監視し、JPEG ファイル、EPS ファイル、TIFF ファイルを検出すると、自動的に色変換処理を開始します。



ドロップフォルダリスト

● ドロップフォルダリスト

登録済みのドロップフォルダをリスト表示します。

● フォルダパス

登録済みのドロップフォルダのフォルダへのパスが表示されます。

● 新規

新しくドロップフォルダを登録します。

すでにリスト登録されているドロップフォルダを選択した状態で、このボタンをクリックすると、選択したドロップフォルダを複製することができます。

複数のドロップフォルダが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集

リストに登録されているドロップフォルダの設定を変更します。

リスト表示よりドロップフォルダを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

複数のドロップフォルダが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。


● 削除

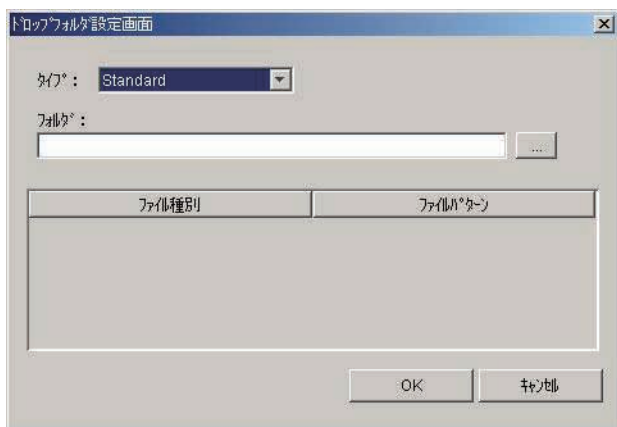
リストに登録されているドロップフォルダを削除します。

リスト表示より1つ以上のドロップフォルダを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

ドロップフォルダが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

■ ドロップフォルダ設定方法

- 1 新規アイコンボタン  をクリックすると「ドロップフォルダ設定画面」ウィンドウが表示されます。




- **タイプ**
フォルダのタイプを設定します。(本バージョンでは Standard のみ指定できます。)
- **Standard**
ドロップフォルダに、EPS、TIFF、JPEG の各ファイルが入力されたら処理を開始します。

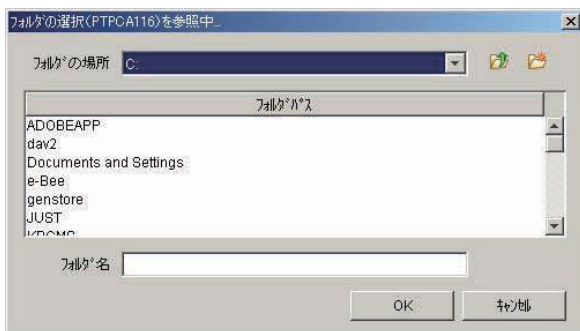


- **フォルダ**
ドロップフォルダとして登録するフォルダを作成、選択します。

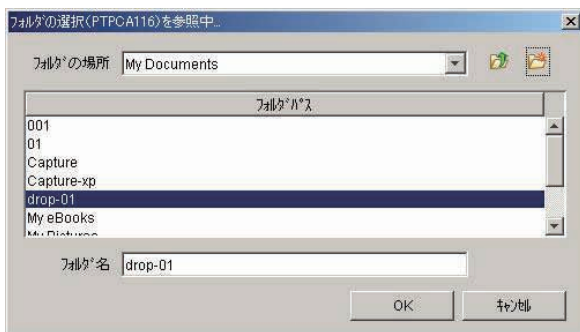


- **ファイル種別、ファイルパターン**
「タイプ」にて「Standard」を選択した場合、何も表示されません。(本バージョンでは使用しません。)

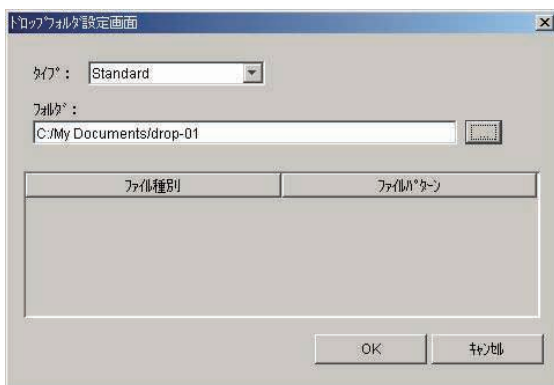
- 2  ボタンをクリックすると、「フォルダ選択」ウィンドウが表示されるので、任意のフォルダを設定します。



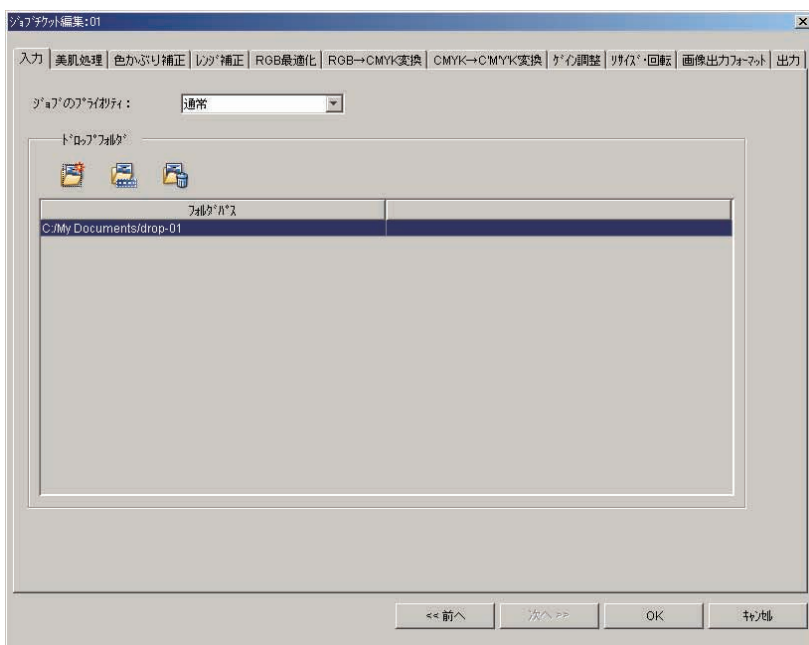
サーバー PC 上の dav 指定したフォルダのディレクトリの下の階層、または共有設定しているフォルダ選択をすることができます。
また、サーバー PC 上に新規フォルダを作成することもできます。
※ dav 指定については、第 1 章 [4 WebDAV の設定](#) (33 ページ) を参照してください。



- 3 「OK」ボタンをクリックし、フォルダを設定します。
「ドロップフォルダ設定画面」ウィンドウに戻ります。



- 4 「OK」ボタンをクリックします。
「フォルダ設定」が完了し、「フォルダパス」に設定したドロップフォルダが表示されます。
ドロップフォルダが設定されていない場合はエラーとなり、エラーメッセージが表示されます。その場合は、ドロップフォルダを設定しなおしてください。



● フォルダの編集 

リスト内のドロップフォルダを選択し、「編集」アイコン  をクリックし、ドロップフォルダを編集します。

● フォルダの削除 

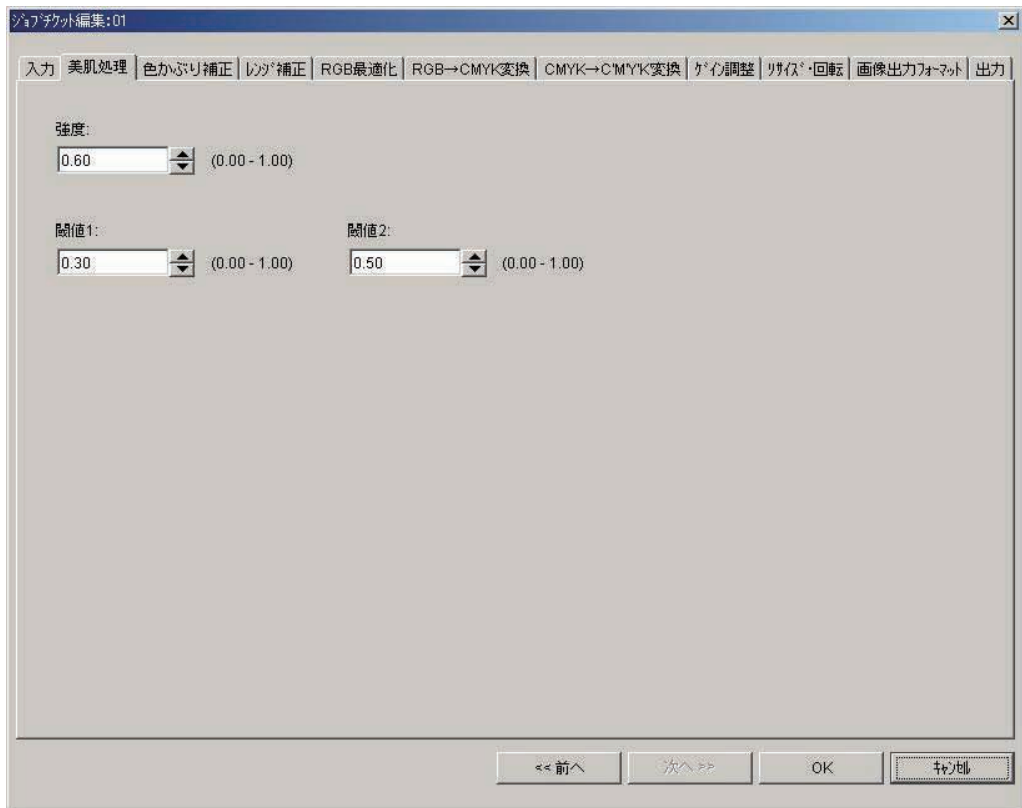
リスト内のドロップフォルダを選択し、「削除」アイコン  をクリックします。



「はい」をクリックして削除します。

2 美肌処理タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「美肌処理」タブを選択します。



● 強度

美肌処理の強度を設定します。



設定範囲：0.00～1.00 0.01 刻み

● 閾値 (1、2)

美肌処理の閾値 (1、2) を設定します。



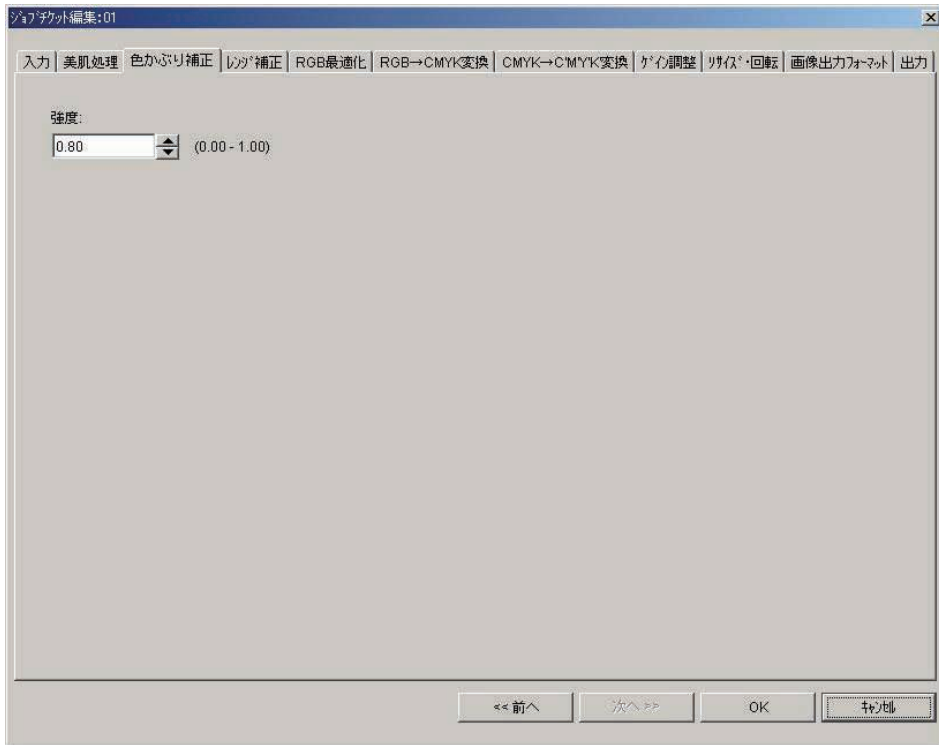
設定範囲：0.00～1.00 0.01 刻み
ただし、閾値 1 < 閾値 2 である必要があります。

3

ジョブチケットの作成

3 色かぶり補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「色かぶり補正」タブを選択します。



● 強度

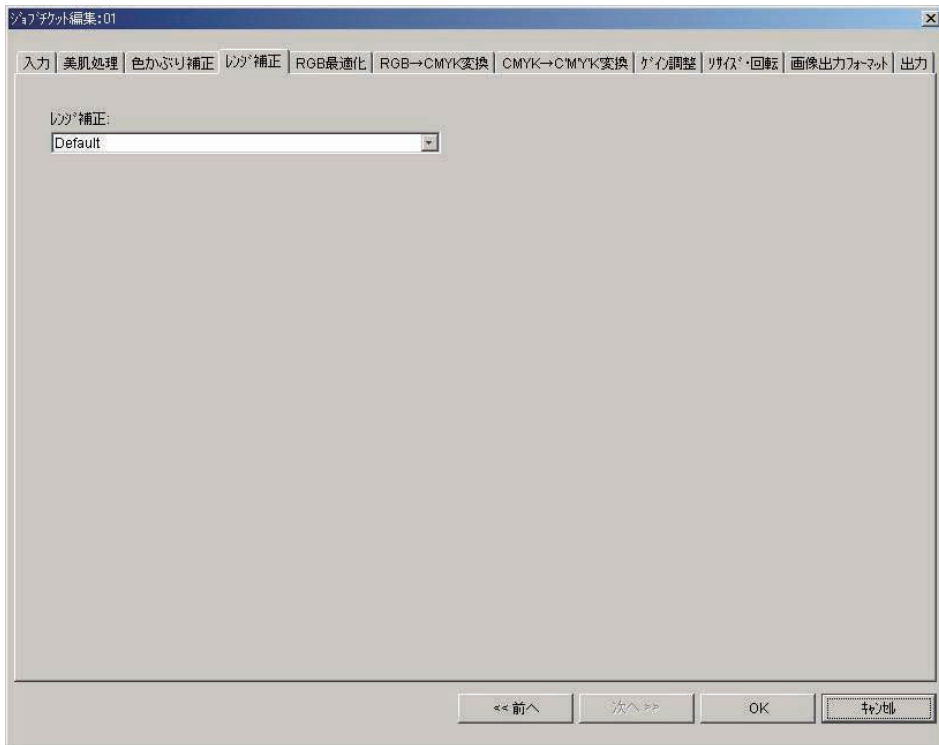
画像全体に対する色かぶり補正の強度を数値で設定します。



入力範囲 : 0.00 ~ 1.00 (0.01 刻み)

4 レンジ補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「レンジ補正」タブを選択します。



● レンジ補正

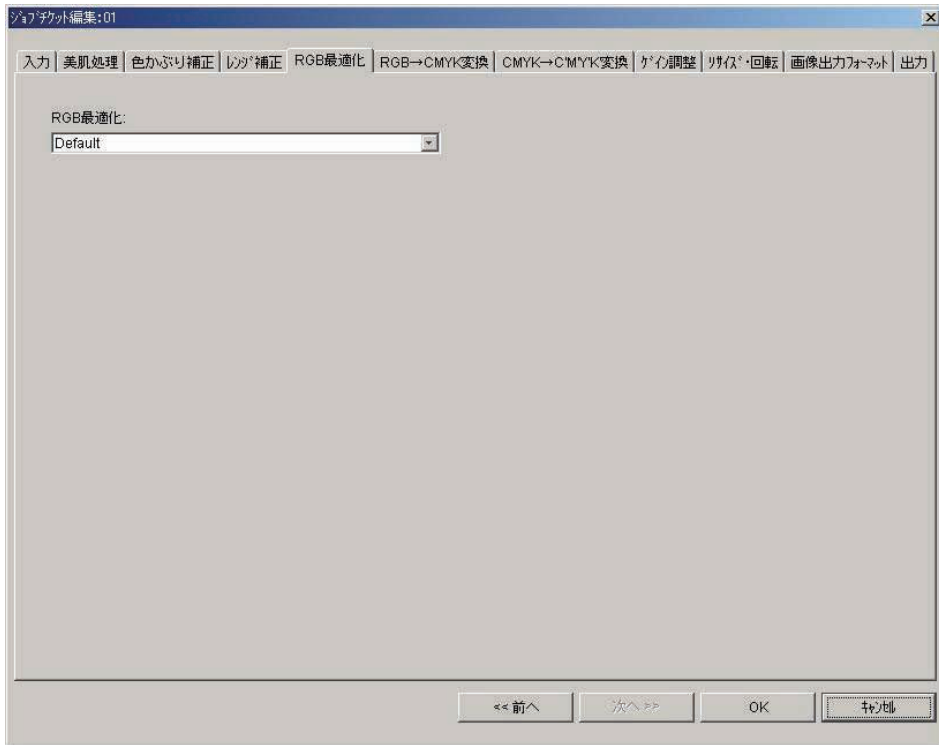
レンジ補正テンプレートを設定します。



注：レンジ補正テンプレートは、「レンジ補正テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**6** レンジ補正テンプレート」（242 ページ）を参照してください。

5 RGB 最適化タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「RGB 最適化」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● RGB 最適化

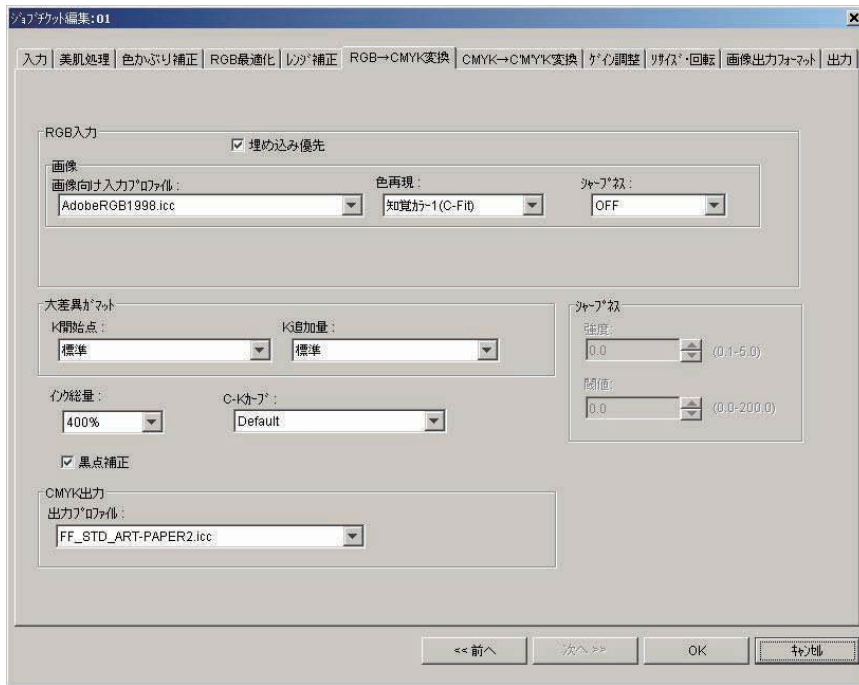
RGB 最適化処理時の詳細パラメータ設定を RGB 最適化パラメータで指定します。「RGB 最適化プロファイル」ウィンドウで作成したテンプレートをメニューより選択します。



注：RGB 最適化テンプレートは、「RGB 最適化テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**5** RGB 最適化テンプレート」（236 ページ）を参照してください。

6 RGB → CMYK 変換タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「RGB → CMYK 変換」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● RGB 入力

RGB 入力画像についての色空間や処理方法を設定します。



● 埋め込み優先

変換前のデータに埋め込まれているプロファイルで処理する場合に指定します。



● 画像向け入力プロファイル

RGB 画像の入力色空間プロファイルを指定します。アクティブプロファイルとして登録されている RGB 画像用プロファイルが選択できます。

入力画像にプロファイルが埋め込まれていない場合や、「埋め込み優先」を選択しなかった場合に使用します。



RGB → R' G' B' 変換と RGB → CMYK 変換を組み合わせている場合は選択できません。

● 色再現

色変換時のカラーマッチングモード（レンダリングインテント）を選択します。



RGB → R' G' B' 変換と RGB → CMYK 変換を組み合わせている場合は選択できません。

● 知覚カラー 1 (C-Fit)

変換後の色が出力デバイスのガマット内で色一致可能な色は、色一致で色変換を行い、出力デバイスのガマット外となる色一致できない色は、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

このモードの詳細な設定は、「レンジ補正テンプレート」「C-K カーブテンプレート」で指定することができます。

注：第 4 章「**6** レンジ補正テンプレート」（242 ページ）、「**7** C-K カーブテンプレート」（228 ページ）を参照してください。

● 知覚カラー 2 (C-Fit)

変換後の色が出力デバイスのガマット内で色一致可能な色は、色一致で色変換を行い、出力デバイスのガマット外となる色一致できない色は、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

ただし、知覚カラー 1 (C-Fit) と比べると、彩度よりも階調が優先されます。

このモードの詳細な設定は、「レンジ補正テンプレート」「C-K カーブテンプレート」で指定することができます。

注：第 4 章「**6** レンジ補正テンプレート」（242 ページ）、「**7** C-K カーブテンプレート」（228 ページ）を参照してください。

● 知覚カラー 3 (階調優先)

変換後の色が出力デバイスのガマット内で色一致可能な色は、色一致で色変換を行い、出力デバイスのガマット外となる色一致できない色は、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

ただし、知覚カラー 2 (C-Fit) と比べると、さらに階調が優先されます。彩度を維持し、分版後の調整を容易にしたい場合に、このモードを選択します。

● 知覚カラー (ICM)

出力プロファイルが保持している知覚カラー向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。

一般的には、変換前後の色の一致よりも、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

● 彩度 (ICM)

出力プロファイルが保持している彩度向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。

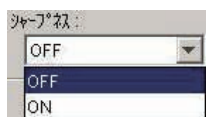
一般的には、変換前後の色の一致よりも、彩度が高くなるように変換されます。

- 相対カラー (ICM)
出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を埋めるような色変換を行います。

- 絶対カラー (ICM)
出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を考慮しない色変換を行います。

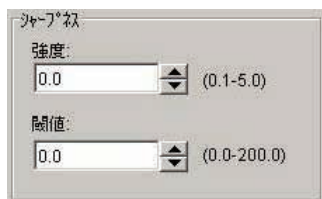
● シャープネス

RGB 画像に対するシャープネスの ON/OFF を設定します。ON に設定すると、シャープネスの強度と閾値を設定することができます。



● シャープネス

シャープネスの強度と閾値を設定します。
強度の設定範囲：0.1 ～ 5.0 0.1 刻み
閾値の設定範囲：0.0 ～ 200.0 0.1 刻み



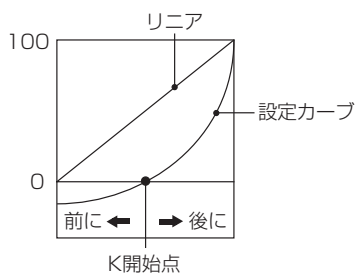
● 大差異ガマット

大差異ガマット変換を「K 開始点」と「K 追加量」で設定します。

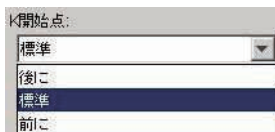


● K 開始点

K 開始点では、オートセットアップの K 版制御設定カーブでの X 軸とカーブの交点を指します。



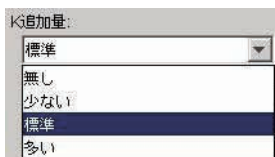
この設定は、CMYK 変換で「知覚カラー 2」モードを選択したときに有効になります。



- 後に : X 軸との交点を + 方向に動かします。
- 標準 : オートセットアップで設定しているカーブで設定されます。
- 前に : X 軸との交点を - 方向に動かします。

● K 追加量

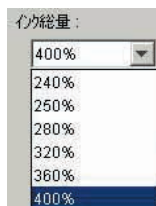
オートセットアップの K 版制御カーブの傾きの係数を設定します。



- 無し
- 少ない
- 標準
- 多い

● インク総量

最大インク総量を指定します。以下の総網%量から選択します。

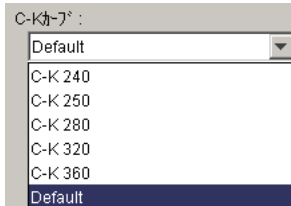


- 240%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 240%を超える部分について制限処理します。
- 250%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 250%を超える部分について制限処理します。
- 280%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 280%を超える部分について制限処理します。
- 320%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 320%を超える部分について制限処理します。

- 360%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が360%を超える部分について制限処理します。
- 400%
インク総量制限処理しません。

● C-K カーブ

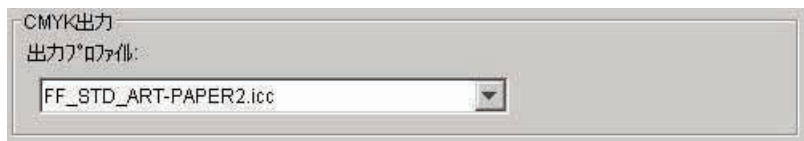
C-K カーブを設定します。



注：C-K カーブテンプレートは、「C-K カーブテンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「[7](#) C-K カーブテンプレート」(246ページ)を参照してください。

● CMYK 出力

CMYK 出力の色空間について設定します。



● 出力プロファイル

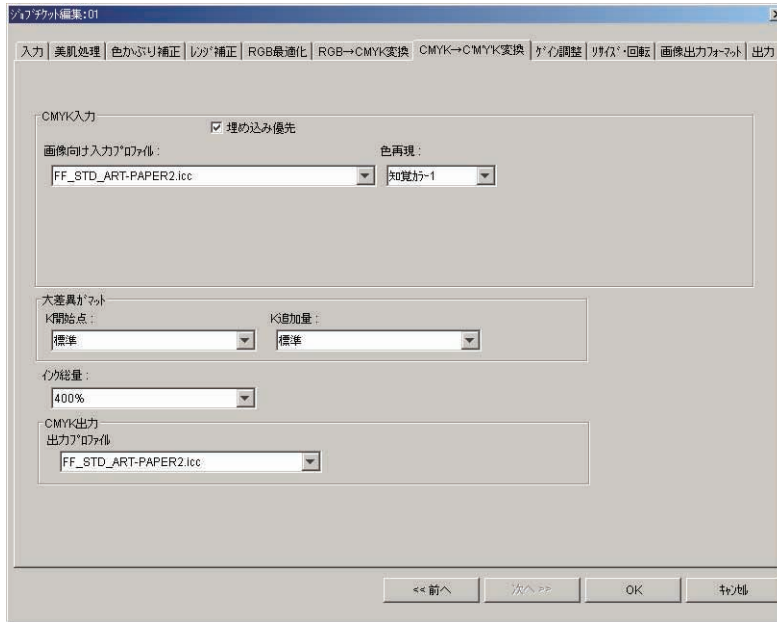
出力色空間をプロファイルで指定します。
メニューには「ICC プロファイル管理」のアクティブプロファイルに設定されている出力用プロファイルが表示されます。この中から1つを選択することができます。



※ 「画像出力フォーマット」タブで、ICC プロファイル埋め込み設定がOFFの場合は変換後のファイルにプロファイル埋め込みをしません。

7 CMYK → C' M' Y' K' 変換タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「CMYK → C' M' Y' K' 変換」タブを選択します。

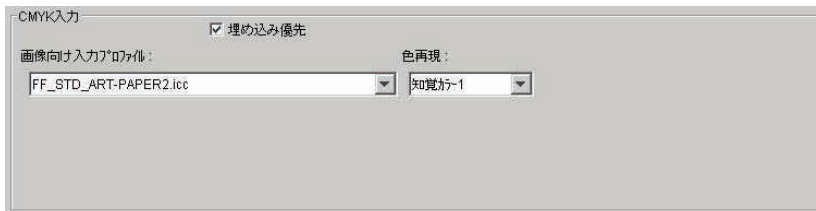


3

ジョブチケットの作成

● CMYK 入力

CMYK 入力の画像についての色空間や処理方法を設定します。



● 埋め込み優先

変換前のデータに埋め込まれているプロファイル設定で処理する場合に指定します。

埋め込み優先

● 画像向け入力プロファイル

CMYK 画像に対するソース空間を指定します。アクティブプロファイルとして登録されている CMYK 画像用プロファイルが選択できます。

変換前のデータにソース色空間を指定するプロファイルが埋め込まれていない場合や、「埋め込み優先」を選択しなかった場合に使用します。



ここで設定したプロファイルと「RGB → CMYK 変換」タブの「出力プロファイル」(150 ページ) で設定したプロファイルが同一の場合、「CMYK → C' M' Y' K'」のプロファイル変換は実行されません。

● 色再現

色変換時のカラーマッチングモード（レンダリングインテント）を選択します。



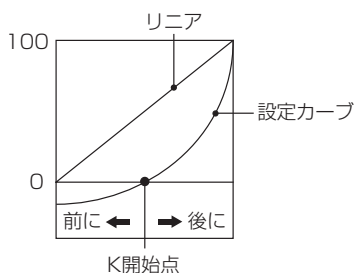
- 色変換無し
インク総量制限以外の色変換は行いません。
- 相対カラー
色一致を目指した色変換を行います。色一致できないガマット外の色は、ガマット境界の色へと変換されます。IT8 チャートの平均色差が 3.5 以下の色空間同士の色変換で用います。
- 知覚カラー 1
元のカラーの視覚的な関係を維持するような色変換を行います。
具体的には、ガマット内の色もガマット境界に近い場合は、階調性を重視してガマット外の色も含めて連続した色となるように色変換されます。アート紙と上質紙ぐらいの差のある色空間同士の色変換で用います。
- 知覚カラー 2
アート紙向けのデータを新聞紙向けに変換する場合など、大きくガマットサイズが異なる場合に用います。カラー詳細ウィンドウの「K 開始点」と「K 追加量」が有効となります。
- 知覚カラー (ICM)
出力プロファイルが保持している知覚カラー向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。
一般的には、変換前後の色的一致よりも、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。
- 彩度 (ICM)
出力プロファイルが保持している彩度向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。
一般的には、変換前後の色的一致よりも、彩度が高くなるように変換されます。
- 絶対カラー (ICM)
出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を考慮しない色変換を行います。
- 相対カラー (ICM)
出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を埋めるような色変換を行います。

●大差異ガマット

大差異ガマット変換を「K 開始点」と「K 追加量」で設定します。

●K 開始点

K 開始点では、オートセットアップのK 版制御設定カーブでの X 軸とカーブの交点を指します。



この設定は、CMYK 変換で「知覚カラー 2」モードを選択したときに有効になります。

- 後に : X 軸との交点を + 方向に動かします。
- 標準 : オートセットアップで設定しているカーブで設定されます。
- 前に : X 軸との交点を - 方向に動かします。

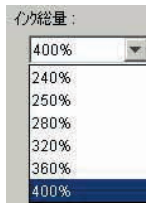
●K 追加量

オートセットアップの K 版制御カーブの傾きの係数を設定します。

- 無し
- 少ない
- 標準
- 多い

● インク総量

最大インク総量を指定します。以下の総網%量から選択します。



- 240%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が240%を超える部分について制限処理します。
- 250%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が250%を超える部分について制限処理します。
- 280%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が280%を超える部分について制限処理します。
- 320%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が320%を超える部分について制限処理します。
- 360%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が360%を超える部分について制限処理します。
- 400%
インク総量制限処理しません。

● CMYK 出力

CMYK 出力の色空間について設定します。



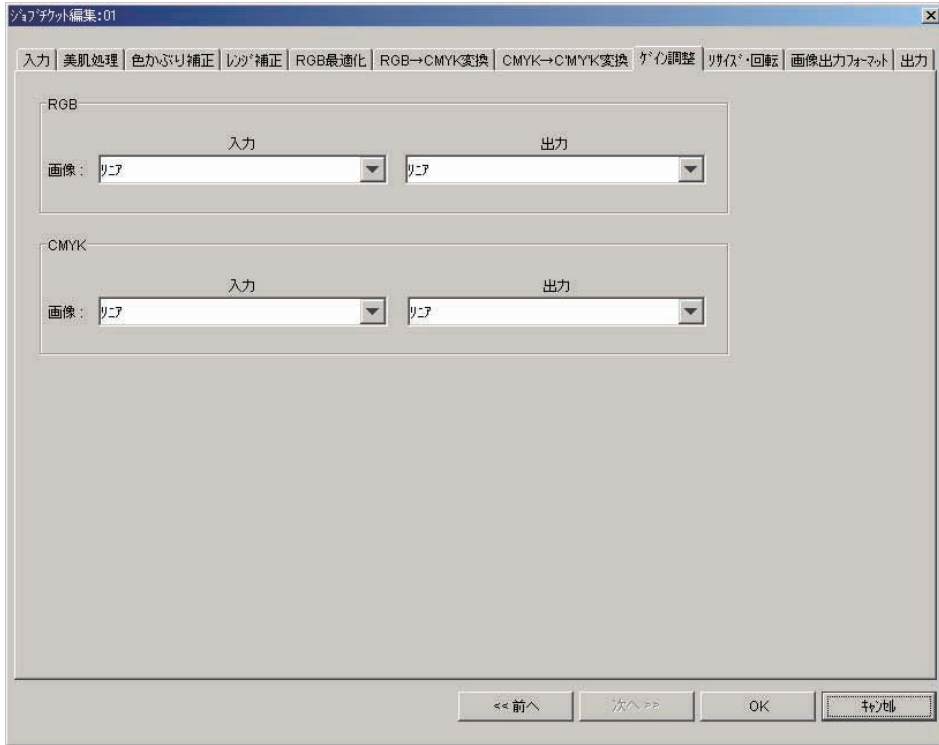
● 出力プロファイル

出力色空間をプロファイルで指定します。
メニューには「ICC プロファイル管理」のアクティブプロファイルに設定されている出力用プロファイルが表示されます。この中から1つを選択することができます。



8 ゲイン調整タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「ゲイン調整」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● RGB 入力

RGB ソースの画像についてのゲイン調整を設定します。



● 画像 (入力)

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、RGB 画像の入力側のゲインを調整します。

「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



● 画像 (出力)

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、RGB 画像の出力側のゲインを調整します。

「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



● CMYK ソース

CMYK ソースの画像についてのゲイン調整を設定します。



The screenshot shows a dialog box titled "CMYK". It has two sections: "入力" (Input) and "出力" (Output). Each section has a label "画像:" (Image:) followed by a dropdown menu. Both dropdown menus are currently set to "リニア" (Linear).

● 画像（入力）

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、CMYK 画像の入力側のゲインを調整します。

「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



The screenshot shows the "入力" (Input) section of the dialog box. The "画像:" label is followed by a dropdown menu. The menu is open, showing "リニア" (Linear) as the selected option, with another "リニア" option visible below it.

● 画像（出力）

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、CMYK 画像の出力側のゲインを調整します。

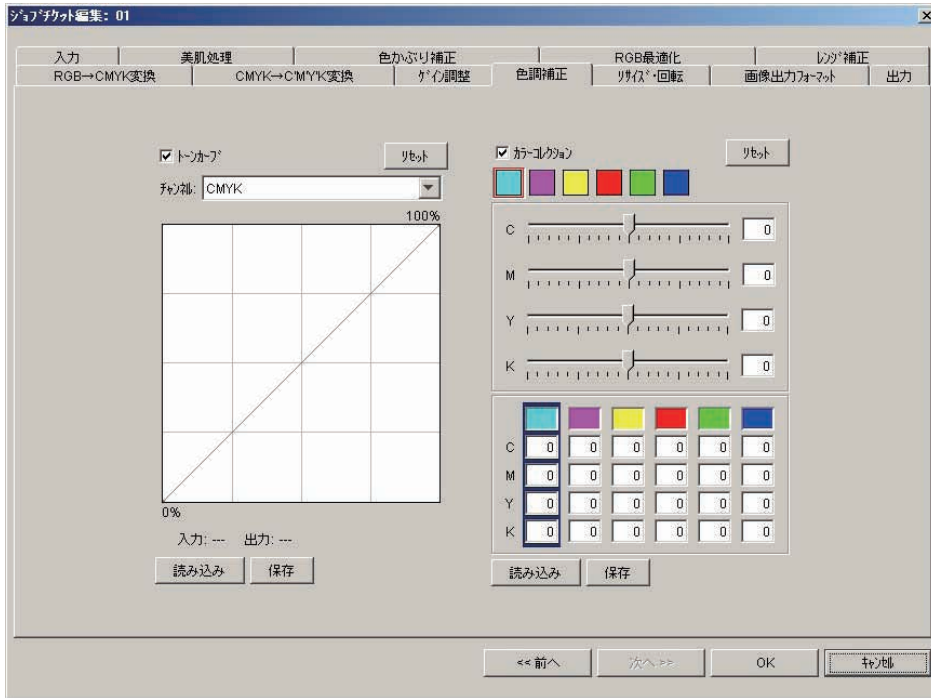
「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



The screenshot shows the "出力" (Output) section of the dialog box. The "画像:" label is followed by a dropdown menu. The menu is open, showing "リニア" (Linear) as the selected option, with another "リニア" option visible below it.

9 色調補正タブ

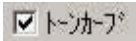
「ジョブチケット編集」ウィンドウで「色調補正」タブを選択します。



● トーンカーブ

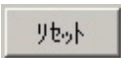
● トーンカーブ

チェックボックスを選択すると、トーンカーブを編集することができます。



● リセット

編集したトーンカーブをデフォルトのリニアカーブに戻します。



● チャンネル

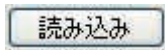
編集したいチャンネルを選択します。



3

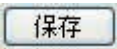
●読み込み

保存されているトーンカーブファイルを読み込みます。トーンカーブファイルは、本ソフトおよびセットアップツールで作成することができます。



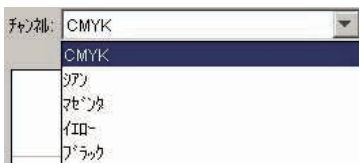
●保存

編集したトーンカーブをファイルに保存します。保存したトーンカーブファイルは、本ソフトおよびセットアップステーションに読み込むことができます。

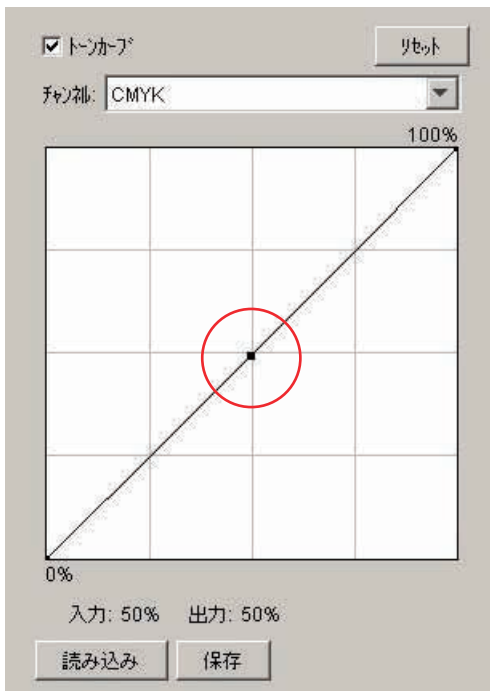


■ トーンカーブの編集方法

- 1 チャンネルメニューから編集したいチャンネルを選択します。

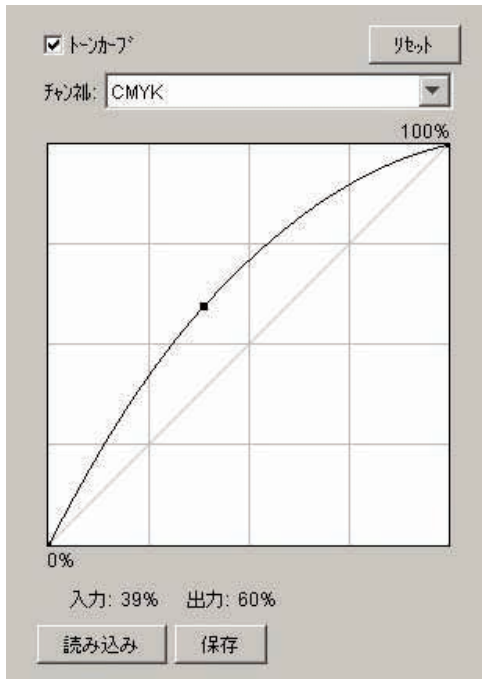


- 2 カーブ上にカーソルを置いて、マウスの右ボタンをクリックします。カーブ上に編集ポイントが表示されます。



- ③ カーソルを編集ポイント上に置いてカーソルの形が+に変わったら、マウスの左ボタンを押したままマウスを移動します。

マウスを移動すると、画面下部の「入力」と「出力」の数値が変化します。



注：編集ポイントを削除する場合は、カーソルを編集ポイントに置いてマウスの右ボタンをクリックしてください。

● カラーコレクション

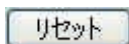
● カラーコレクション

チェックボックスを選択すると、カラーを修正することができます。カラーを修正すると、変更内容がプレビュー画像に反映されます。選択を解除すると、変更内容がキャンセルされ、プレビュー画像が元に戻ります。



● リセット

修正したカラー修正内容をデフォルトに戻します。



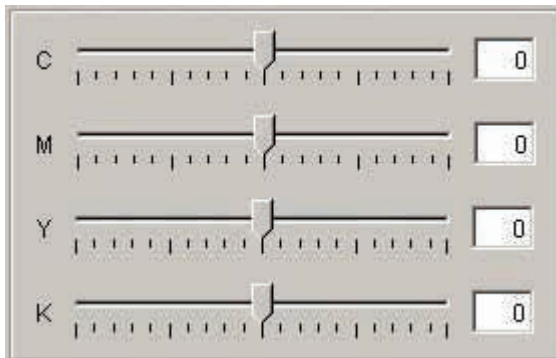
● カラーパッチ

修正したい色をカラーパッチから選びます。



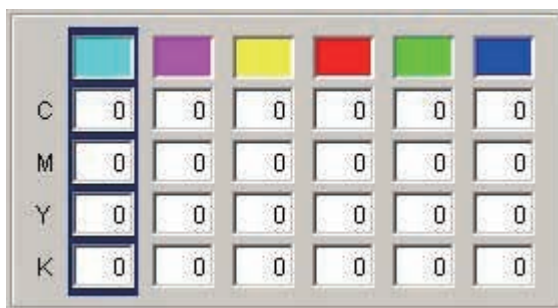
● スライダーバー

選択したカラーパッチの CMYK 各値の含有量を変更します。スライダーを右に移動すると選択された色成分が増加し、左に移動すると減少します。



● マニュアル設定

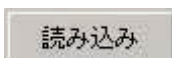
選択したカラーパッチの CMYK 値をマニュアルで変更します。カラーパッチを選択し、各ボックスに直接数値を入力してください。



注：マニュアル設定ボックスの数値を変更すると、スライダーバーの数値も連動して変わります。また逆に、スライダーバーの数値を変更しても、マニュアル設定ボックスの数値が変わります。

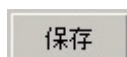
● 読み込み

保存されているカラーコレクションファイルを読み込みます。カラーコレクションは、本ソフトおよびセットアップツールで作成することができます。



● 保存

変更したカラー修正内容をファイルに保存します。保存したカラー修正内容は、本ソフトまたはセットアップツールに読み込むことができます。



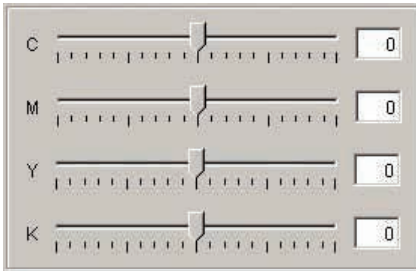
■ カラーの修正方法

① カラー修正したい色をカラーパッチから選択します。

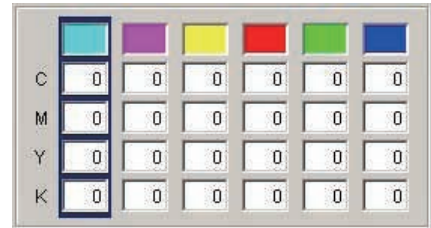
例) シアンパッチを選択



② スライダーバーまたはマニュアル設定数値ボックスを使用して、カラー修正を行いません。



または



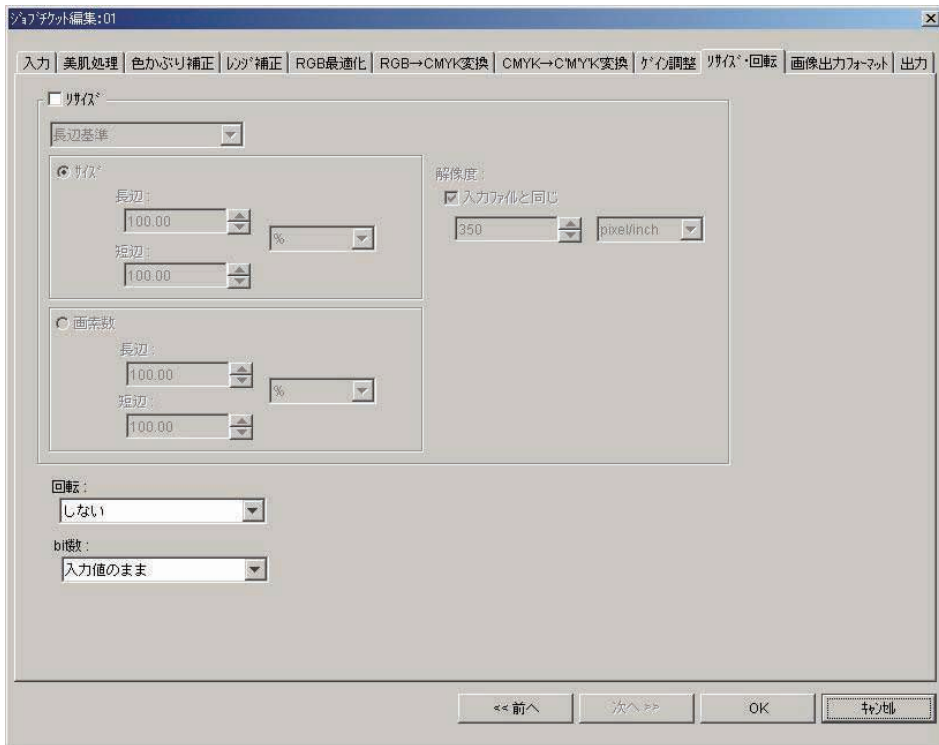
③ その他のカラーパッチを修正する場合は、手順 1 と 2 を繰り返します。

3

ジョブチケットの作成

10 リサイズ・回転タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「リサイズ・回転」タブを選択します。

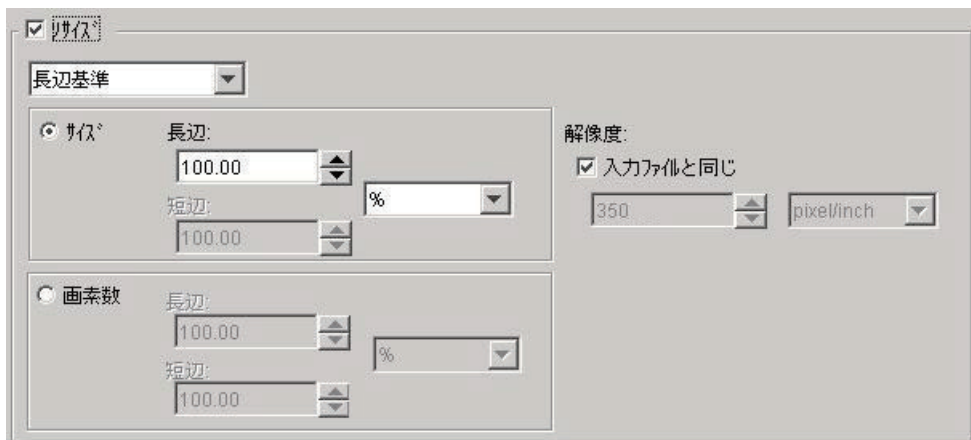


3

ジョブチケットの作成

● リサイズ

画像のサイズ、解像度を変更して出力する場合に選択します。



● 基準設定

長辺、短辺の基準を選択します。



- 長辺基準.....長辺を基準にしてリサイズします。
長辺フィールドのみ入力可能で、縦横比を固定で短辺は自動計算されます。
- 短辺基準.....短辺を基準にしてリサイズします。
短辺フィールドのみ入力可能で、縦横比を固定で長辺は自動計算されます。
- 長短それぞれ指定.....長辺と短辺を指定してリサイズします。
変倍を行う場合に使用します。

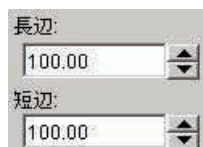
● サイズ

出力サイズを指定して、リサイズする場合に選択します。
この場合、「画素数」は入力できなくなります。



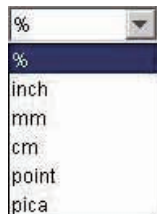
● サイズ入力

出力サイズ「長辺」、「短辺」または「長辺 / 短辺」を数値で入力します。
小数点第二位まで設定できます。



● サイズ単位

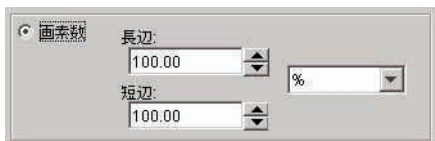
出力サイズの単位を設定します。



単位を変更するたびに対応するサイズ入力フィールドの数値が、その単位での値に変換されます。

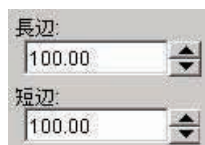
● 画素数

出力画素数を指定してリサイズする場合に選択します。
この場合、「サイズ」は入力できなくなります。



● 画素数入力

出力画素数の「長辺」、「短辺」または「長辺 / 短辺」を数値で入力します。
「単位」が「%」の場合、小数点第二位まで設定できます。
「単位」が「Pixel」の場合、整数を設定できます。



● 画素数単位

出力画素数の単位を設定します。

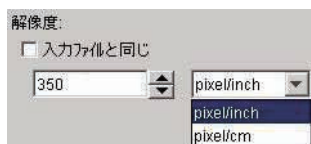


● 解像度

出力解像度を設定します。



「入力ファイルと同じ」を選択すると、入力ファイルで設定されている解像度で出力されます。



「入力ファイルと同じ」の選択を解除すると、出力解像度を数値で設定できます。
解像度の単位は「pixel/inch」「pixel/cm」が使用できます。

● 回転

回転をメニューより選択します。



● bit 数

bit 数をメニューより選択します。

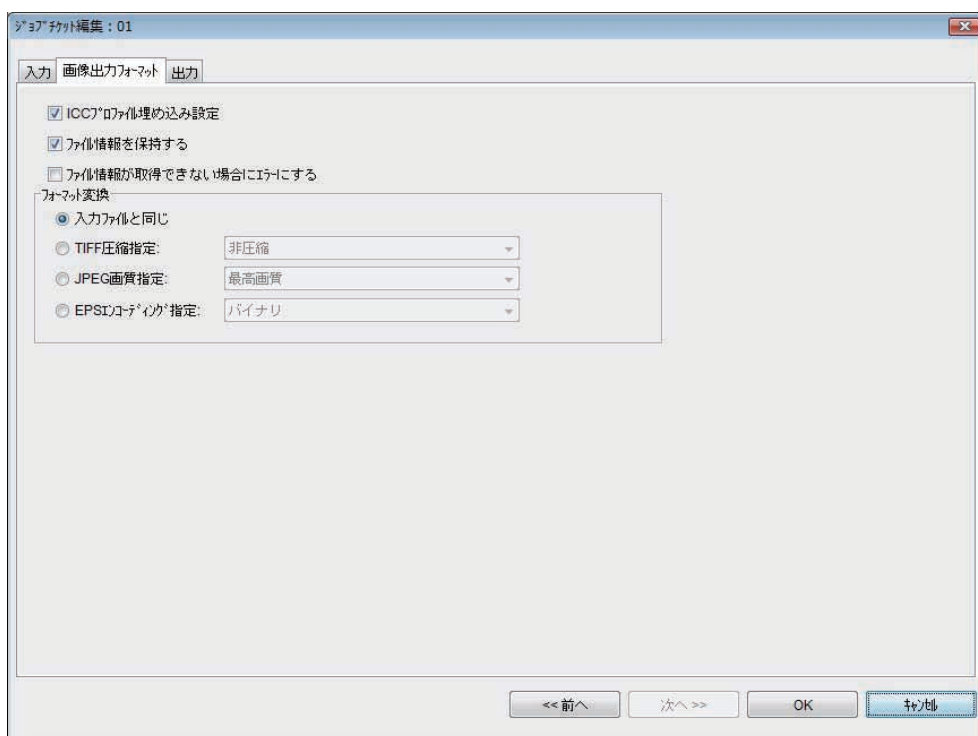
TIFF 形式での保存時のみ有効です。

また、「画像出力フォーマット」タブのフォーマット変換時の項目で「入力ファイルと同じ」を選択した場合、入力ファイルが 8bit TIFF であれば出力ファイルも 8bit となります。



11 画像出力フォーマットタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「画像出力フォーマット」タブを選択します。



● ICC プロファイル埋め込み設定

チェックを入れると「RGB 最適化」タブの「RGB 出力」の設定に従ってプロファイルが埋め込まれます。

ICCプロファイル埋め込み設定

● ファイル情報を保持する

チェックを入れるとファイル情報が埋め込まれます。

ファイル情報を保持する

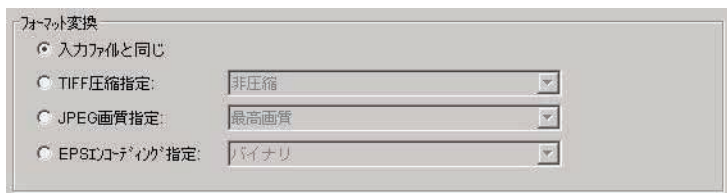
● ファイル情報が取得できない場合にエラーにする

チェックを入れると入力画像からファイル情報を取得できない場合に、ジョブがエラー終了します。

ファイル情報が取得できない場合にエラーにする

●フォーマット変換

変換後の画像に対して、フォーマットと、圧縮形式の設定を行います。



●入力ファイルと同じ

入力ファイルと同じ条件で出力されます。

入力ファイルと同じ

●TIFF 圧縮指定

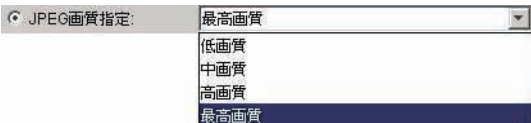
TIFF 形式で出力します。圧縮形式を下記の中から選択します。



非圧縮 / PackBits / LZW

●JPEG 画質指定

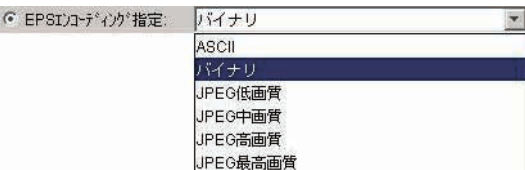
JPEG 形式で出力します。圧縮形式を下記の中から選択します。



最高画質 / 高画質 / 中画質 / 低画質

●EPS エンコーディング指定

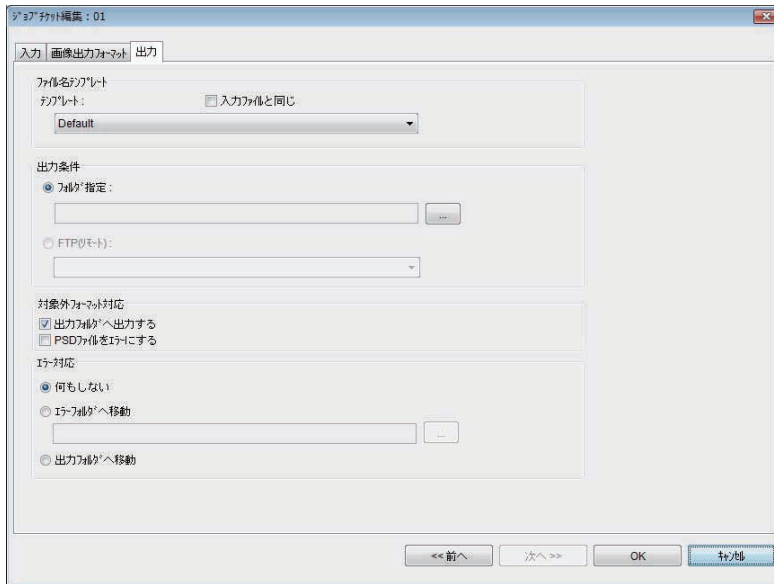
EPS 形式で出力します。圧縮形式および JPEG 圧縮の場合のレベルを下記の中から選択できます。



ASCII / バイナリ / JPEG 低画質 / JPEG 中画質 / JPEG 高画質 / JPEG 最高画質

12 出カタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「出力」タブを選択します。



3

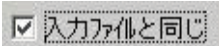
● ファイル名テンプレート

処理されるジョブに適用するファイル名テンプレートを選択します。

注：ファイル名テンプレートは、「ファイル名テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**1** ファイル名テンプレート」(216 ページ)を参照してください。



● 入力ファイルと同じ



「入力ファイルと同じ」を選択すると、拡張子を含めた入力ファイル名を使用します。
例) Test.jpg $\xrightarrow{\text{TIFFで保存}}$ Test.jpg

注：保存形式に応じて拡張子を変更したい場合は「環境設定」ウィンドウの「ファイル名」タブで設定します。第5章「**6** ファイル名」(291 ページ)を参照してください。

● 出力条件


出力データの保存先を設定します。フォルダ指定か、FTP(リモート)方式のどちらか一方を選択することができます。

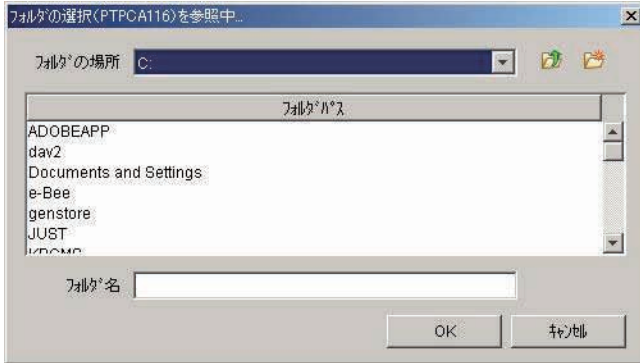


● フォルダ指定

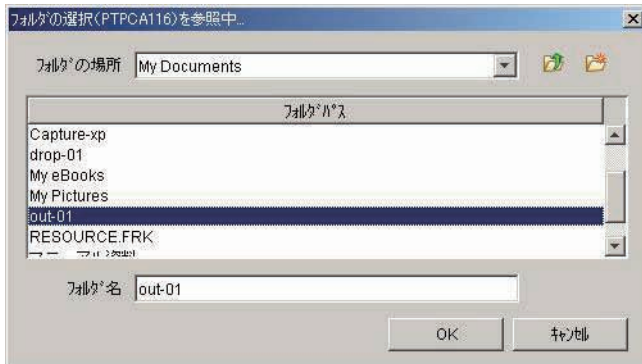
ローカルディスク、またはネットワークディスクの任意のフォルダを指定します。



 ボタンをクリックすると、「フォルダ選択」ウィンドウが表示されるので任意のフォルダを設定します。



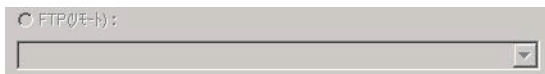
サーバー PC 上のフォルダのみを選択することができます。
また、サーバー PC 上に新規フォルダを作成することもできます。



フォルダ選択後、「OK」ボタンをクリックし、フォルダを設定します。
ただし、ドロップフォルダに設定されているフォルダは指定できません。

● FTP(リモート)

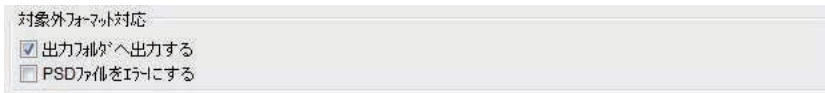
ネットワーク上のワークステーション、またはサーバなどに対して生成したデータを FTP 転送します。



注：ネットワークの設定は、「リモートホストコンフィグレーション」ウィンドウにて行います。第 6 章 **① FTP 転送先設定** (316 ページ) を参照してください。

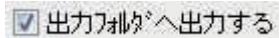
● 対象外フォーマット対応

対象外であるデータが入力された場合の対応方法を設定します。



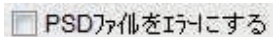
● 出力フォルダへ出力する

選択されると、入力されたファイルがフォルダ単位で出力フォルダに出力されます。



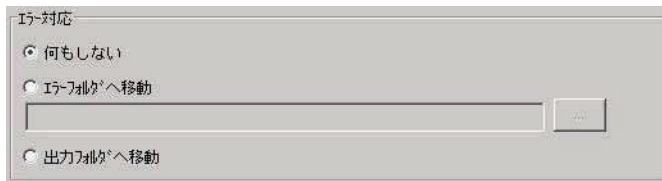
● PSD ファイルをエラーにする

選択されると、入力された PSD ファイルが以下の「エラー対応」の設定に従って出力されます。



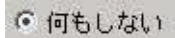
● エラー対応

処理時にエラーが発生した場合のエラーファイルの出力先を設定します。



● 何もしない

エラーとなったデータを出力しないように設定します。
(ドロップフォルダからは削除されます)



● エラーフォルダへ移動

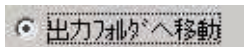
エラーとなったデータを別のフォルダへ出力するように設定します。



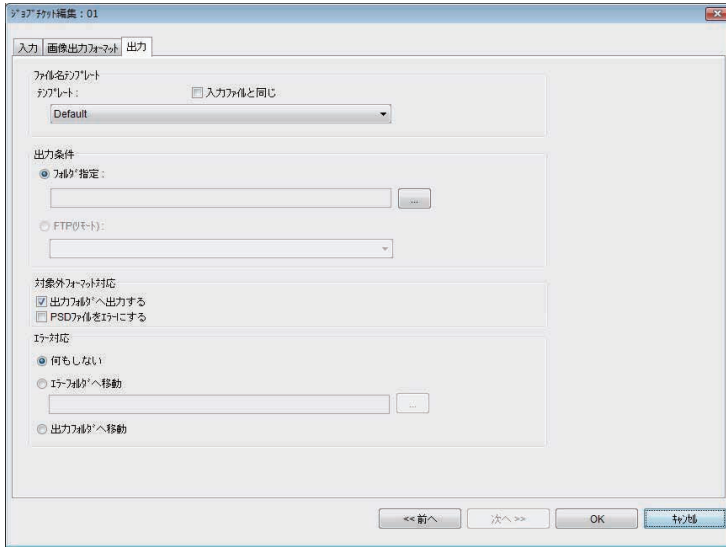
「参照」ボタンをクリックして、フォルダを選択します。

● 出力フォルダへ移動

エラーとなったデータを出力フォルダへ出力するように設定します。



13 設定終了



● キャンセル

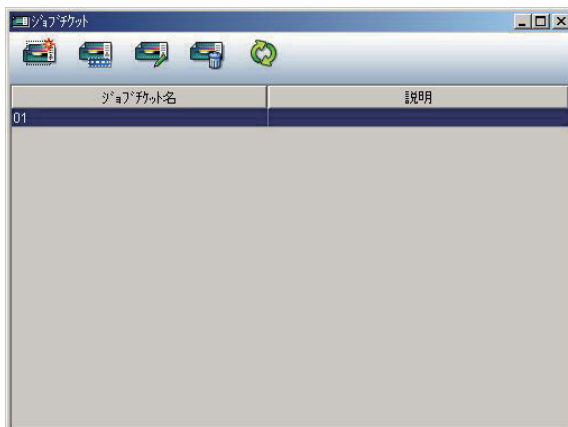
「キャンセル」ボタンをクリックすると、全ての設定を取り消し、ジョブチケット作成を終了します。

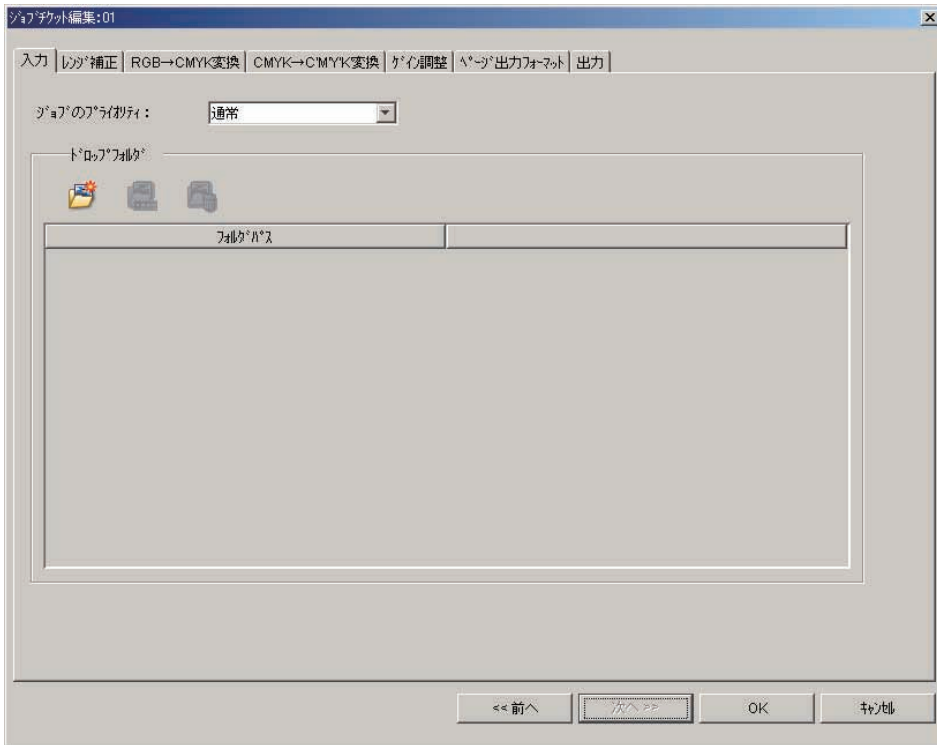
● OK

「OK」ボタンをクリックすると、ジョブチケットが作成されます。
「OK」ボタンをクリックしたとき、以下の場合はエラーとなりメッセージが表示されます。

- ドロップフォルダが選択されていない場合
- 出力先のフォルダが設定されていない場合
- 他のジョブチケットで設定されているフォルダを設定した場合
- 「リサイズ・回転」タブの解像度変換で、入力できる状態の項目に記入されていない場合
- 「リサイズ・回転」タブで、指定した範囲外の数値が入力されている場合

すべての設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。
ジョブチケットが作成されます。



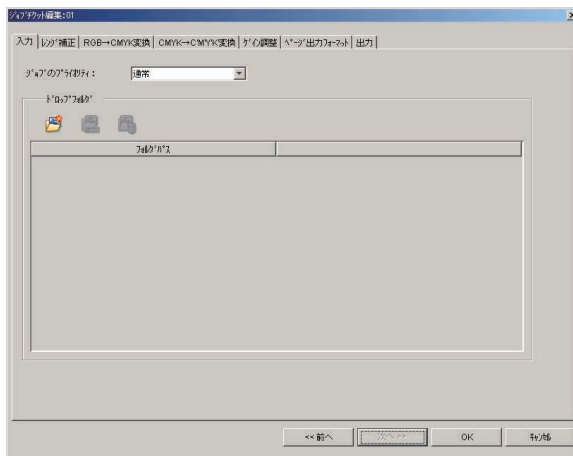


「ジョブチケット編集」ウィンドウは、「入力」タブ、「レンジ補正」タブ、「RGB → CMYK 変換」タブ、「CMYK → C' M' Y' K' 変換」タブ、「ゲイン調整」タブ、「ページ出力 フォーマット」タブ、「出力」タブから構成されています。

※ 選択可能なタブは、有効なライセンスの種類によって異なります。

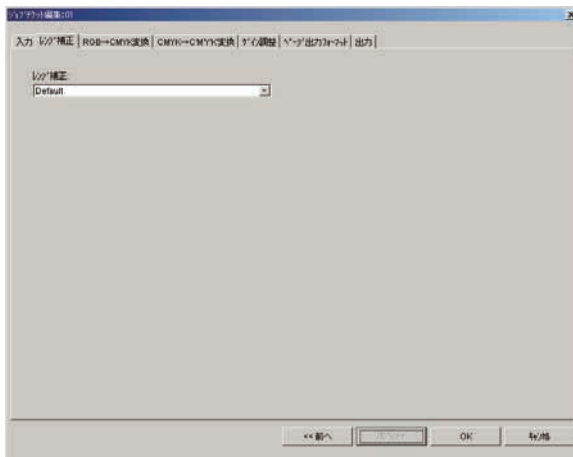
● 「入力」タブ

ドロップフォルダの作成、編集およびジョブチケットのプライオリティ（優先度）を設定します。



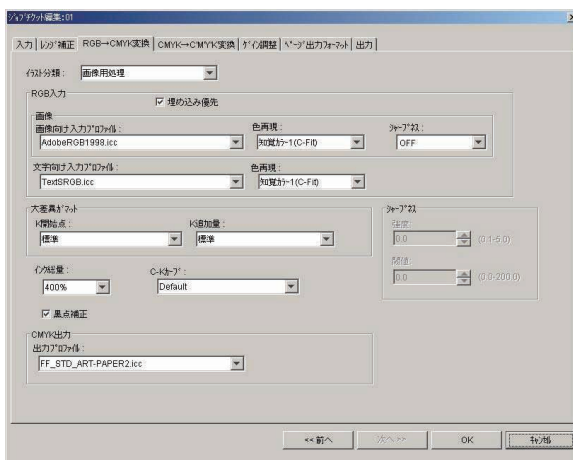
● 「レンジ補正」タブ

レンジ補正テンプレートを設定します。



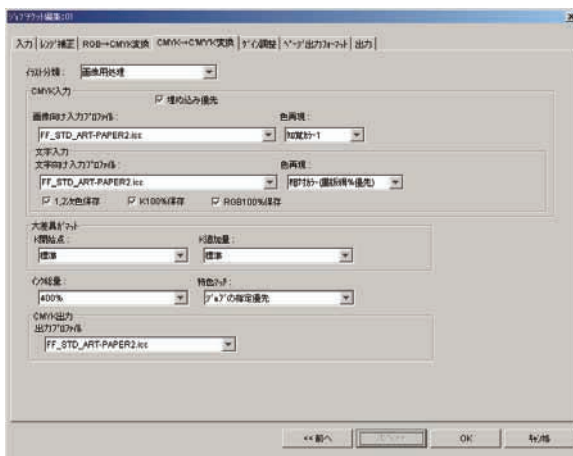
● 「RGB → CMYK 変換」タブ

入出力プロファイル、レンダリングインテントなどを設定します。



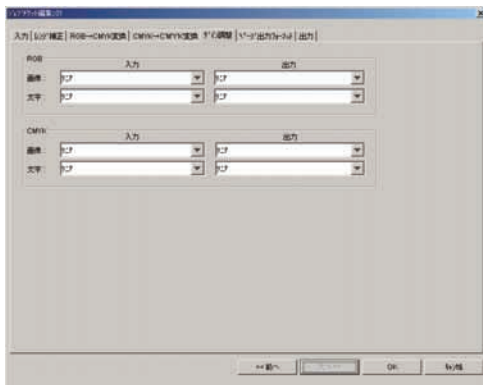
● 「CMYK → C' M' Y' K' 変換」タブ

入出力プロファイルなどを設定します。



● 「ゲイン調整」タブ

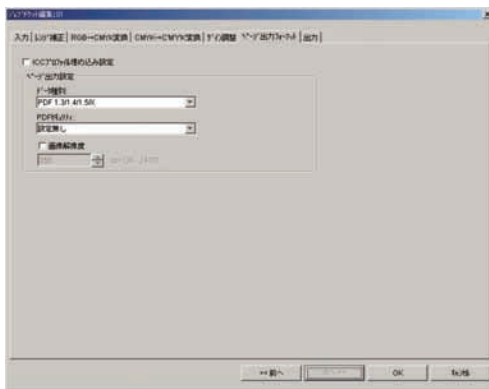
ゲイン調整の設定を行います。



● 「ページ出力フォーマット」タブ

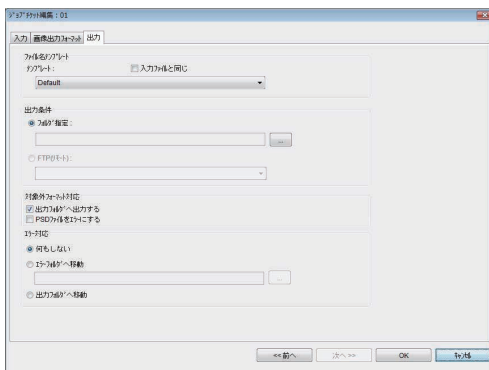
ドキュメントデータに対して、データ種別、PDF セキュリティテンプレート、画像間引き設定を行います。

データに添付されているプロファイルを優先する／しないを選択することができます。



● 「出力」タブ

変換後の画像、ドキュメントデータの保存先、ファイル名テンプレートを設定します。



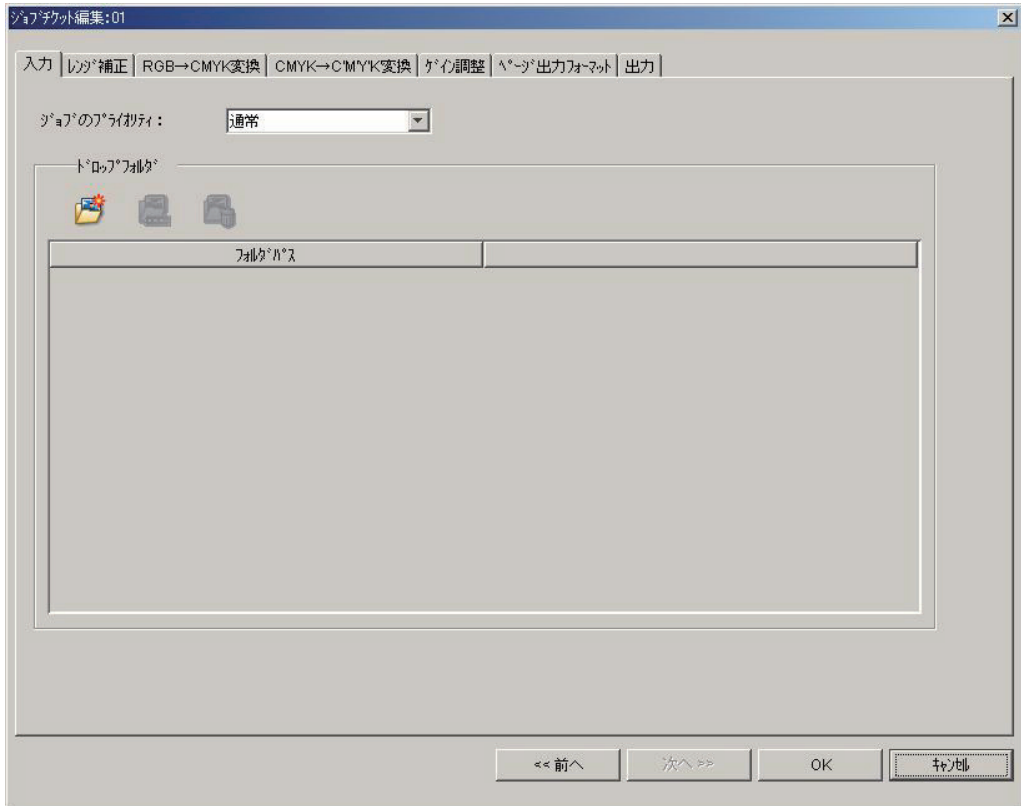
各タブについての詳細は、以降を参照してください。

各タブを設定し、「OK」ボタンをクリックするとジョブチケットの設定が完了し、登録されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定内容が取り消され、ウィンドウを閉じます。

1 入力タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「入力」タブを選択します。



● ジョブのプライオリティ

ジョブキュー上におけるジョブ実行の優先順位を設定します。



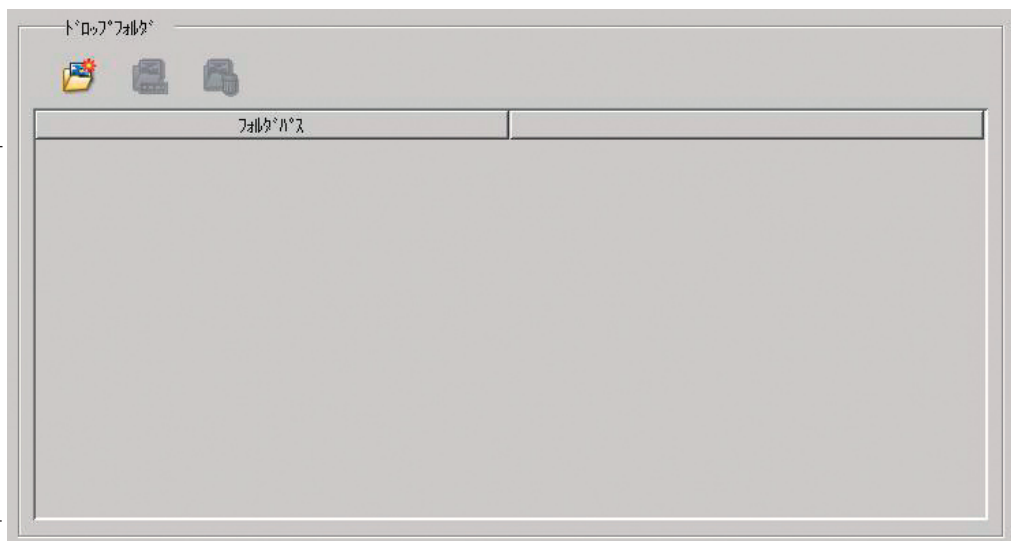
エクスプレス指定をすると、このジョブチケットで処理されるジョブの優先度を上げることができます。エクスプレス指定同士のジョブ、通常指定同士のジョブでは、ジョブキューに登録された順に優先度が高くなります。

※ 画像に対する演算とドキュメントに対する演算は並行処理され、優先度も別々に設定されます。

● ドロップフォルダ

編集用 Macintosh/Windows で作成した PDF ファイルを i-ColorQC C-Fit にマウントしてあるドロップフォルダにドラッグ&ドロップを行うことで出力ができます。

i-ColorQC C-Fit は、ドロップフォルダを定期的に監視し、PDF ファイルを検出すると、自動的に色変換処理を開始します。



ドロップフォルダリスト

● ドロップフォルダリスト

登録済みのドロップフォルダをリスト表示します。

● フォルダパス

登録済みのドロップフォルダのフォルダへのパスが表示されます。

● 新規

新しくドロップフォルダを登録します。

すでにリスト登録されているドロップフォルダを選択した状態で、このボタンをクリックすると、選択したドロップフォルダを複製することができます。

複数のドロップフォルダが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集

リストに登録されているドロップフォルダの設定を変更します。

リスト表示よりドロップフォルダを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

複数のドロップフォルダが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。


● 削除

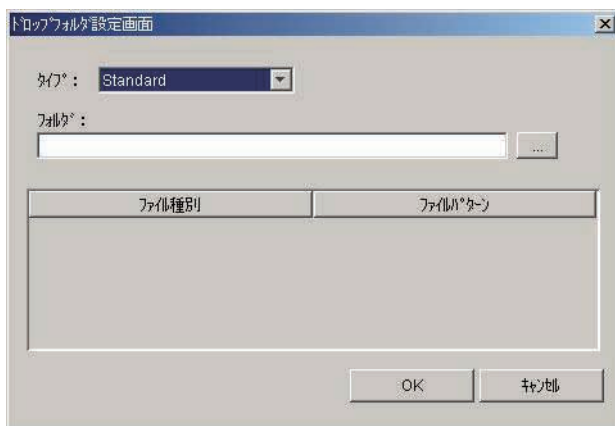
リストに登録されているドロップフォルダを削除します。

リスト表示より1つ以上のドロップフォルダを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

ドロップフォルダが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

■ ドロップフォルダ設定方法

- 1 新規アイコンボタン  をクリックすると「ドロップフォルダ設定画面」ウィンドウが表示されます。




- **タイプ**
フォルダのタイプを設定します。(本バージョンでは Standard のみ指定できます。)
- **Standard**
ドロップフォルダに、PDF ファイルが入力されると処理を開始します。

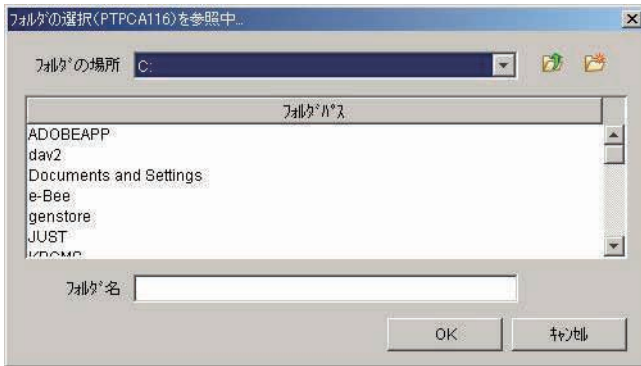


- **フォルダ**
ドロップフォルダとして登録するフォルダを作成、選択します。

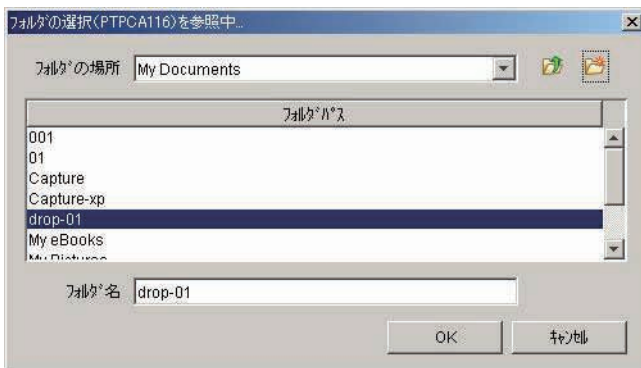


- **ファイル種別、ファイルパターン**
「タイプ」にて「Standard」を選択した場合、何も表示されません。(本バージョンでは使用しません。)

- 2  ボタンをクリックすると、「フォルダ選択」ウィンドウが表示されるので、任意のフォルダを設定します。



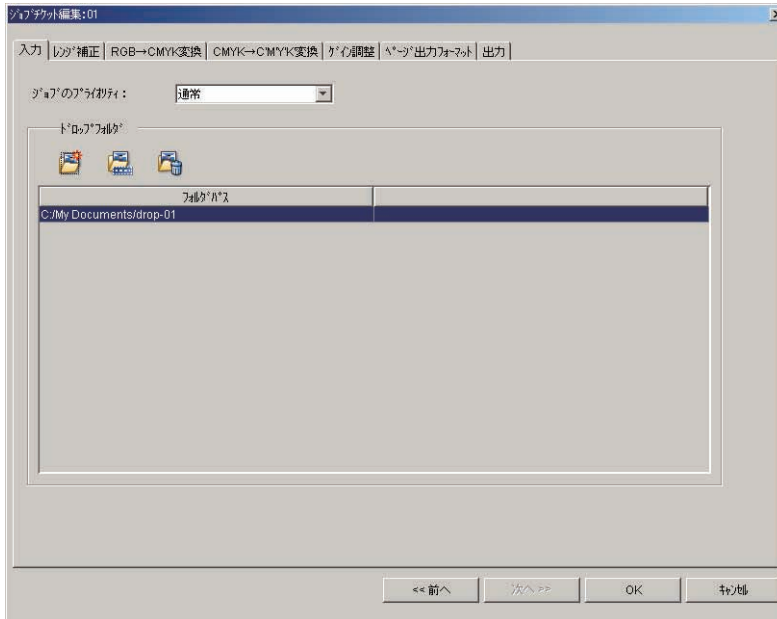
サーバー PC 上の dav 指定したフォルダのディレクトリの下の階層、または共有設定しているフォルダ選択をすることができます。
また、サーバー PC 上に新規フォルダを作成することもできます。
※ dav 指定については、第 1 章 4 「5 WebDAV の設定」(30 ページ) を参照してください。



- 3 「OK」ボタンをクリックし、フォルダを設定します。
「ドロップフォルダ設定画面」ウィンドウに戻ります。





- 4 「OK」 ボタンをクリックします。
「フォルダ設定」が完了し、「フォルダパス」に設定したドロップフォルダが表示されます。
ドロップフォルダが設定されていない場合はエラーとなり、エラーメッセージが表示されます。その場合は、ドロップフォルダを設定しなおしてください。

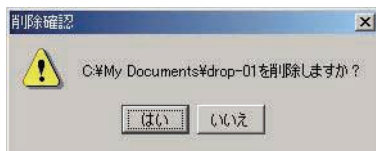


● フォルダの編集 

リスト内のドロップフォルダを選択し、「編集」アイコン  をクリックし、ドロップフォルダを編集します。

● フォルダの削除 

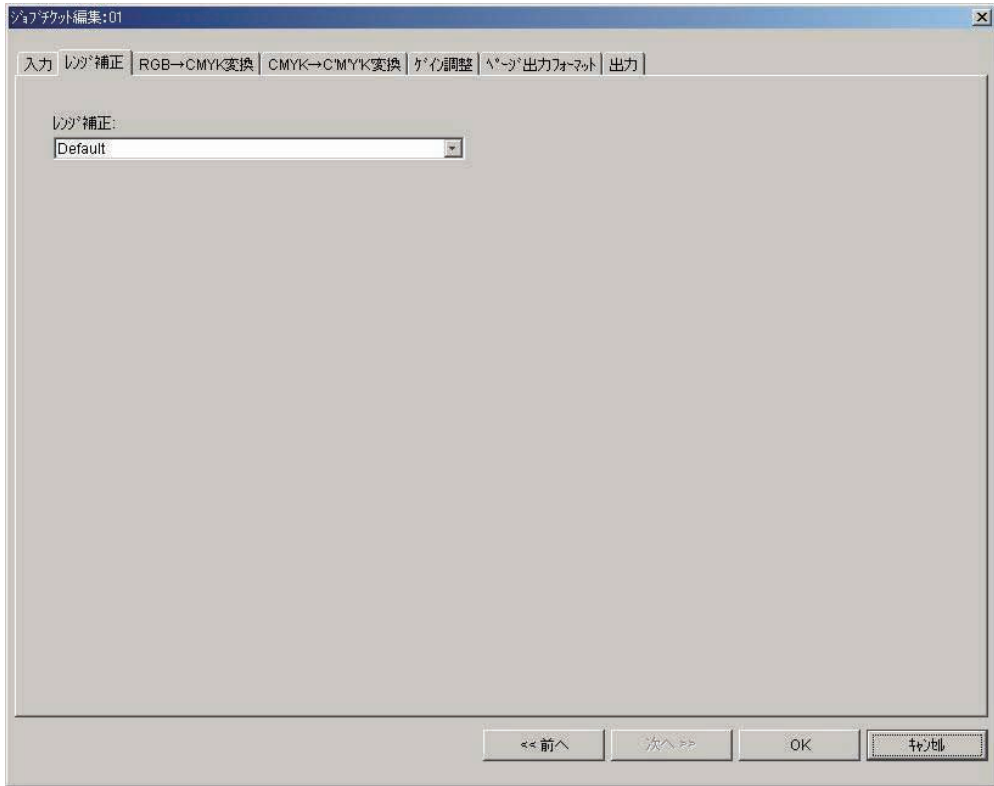
リスト内のドロップフォルダを選択し、「削除」アイコン  をクリックします。



「はい」 をクリックして削除します。

2 レンジ補正タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「レンジ補正」タブを選択します。



● レンジ補正

レンジ補正テンプレートを設定します。



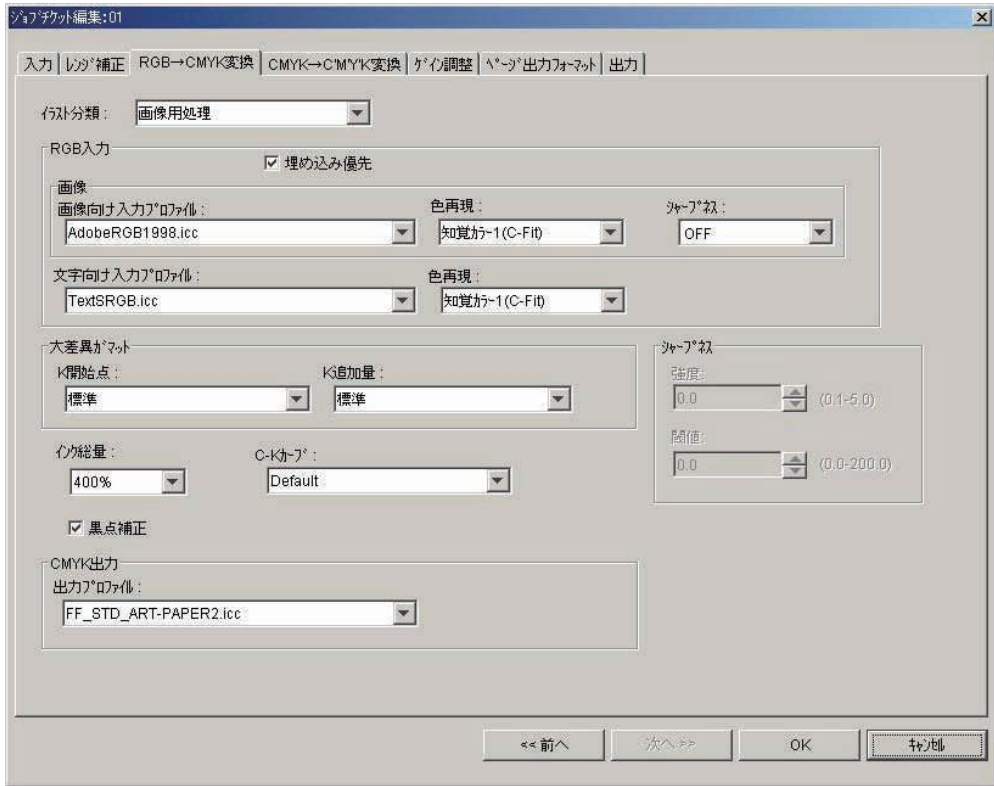
注：レンジ補正テンプレートは、「レンジ補正テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**6** レンジ補正テンプレート」(242ページ)を参照してください。

3

ジョブチケットの作成

3 RGB → CMYK 変換タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「RGB → CMYK 変換」タブを選択します。



3

● イラスト分類

イラスト（ベクトルデータ）のカラー処理方法を選択します。



● 画像用処理

画像に対して選択されている色変換処理が適用されます。

● 文字用処理

文字に対して選択されている色変換処理が適用されます。

● RGB 入力

RGB 入力画像、文字についての色空間や処理方法を設定します。



● 埋め込み優先

変換前のデータに埋め込まれているプロファイルで処理する場合に指定します。



● 画像向け入力プロファイル

RGB 画像の入力色空間プロファイルを指定します。アクティブプロファイルとして登録されている RGB 画像用プロファイルが選択できます。入力画像にプロファイルが埋め込まれていない場合や、「埋め込み優先」を選択しなかった場合に使用します。



● 色再現 (画像)

色変換時のカラーマッチングモード (レンダリングインテント) を選択します。



● 知覚カラー 1 (C-Fit)

変換後の色が出力デバイスのガマット内で色一致可能な色は、色一致で色変換を行い、出力デバイスのガマット外となる色一致できない色は、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。
このモードの詳細な設定は、「レンジ補正テンプレート」「C-K カーブテンプレート」で指定することができます。

注：第 4 章「**6** レンジ補正テンプレート」(242 ページ)、「**7** C-K カーブテンプレート」(246 ページ) を参照してください。

● 知覚カラー (ICM)

出力プロファイルが保持している知覚カラー向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。
一般的には、変換前後の色の一致よりも、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

● 彩度 (ICM)

出力プロファイルが保持している彩度向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。
一般的には、変換前後の色の一致よりも、彩度が高くなるように変換されます。

● 相対カラー (ICM)

出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を埋めるような色変換を行います。

● 絶対カラー (ICM)

出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を考慮しない色変換を行います。

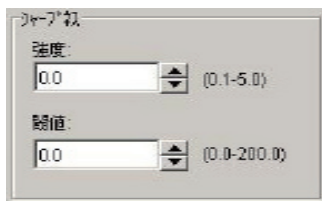
● シャープネス

RGB 画像に対するシャープネスの ON/OFF を設定します。ON に設定すると、シャープネスの強度と閾値を設定することができます。



● シャープネス

シャープネスの強度と閾値を設定します。
 強度の設定範囲：0.1 ～ 5.0 0.1 刻み
 閾値の設定範囲：0.0 ～ 200.0 0.1 刻み



● 文字向け入力プロファイル

RGB テキストに対するソース空間を指定します。アクティブプロファイルとして登録されている RGB 文字用プロファイルが選択できます。アプリケーションなどでテキストオブジェクトのソース色空間を指定していない（埋め込んでいない）場合や、「埋め込み優先」を選択しなかった場合に使用します。



● 色再現（文字）

色変換時のカラーマッチングモード（レンダリングインテント）を選択します。



● 知覚カラー 1（C-Fit）

変換後の色が出力デバイスのガマット内で色一致可能な色は、色一致で色変換を行い、出力デバイスのガマット外となる色一致できない色は、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

このモードの詳細な設定は、「レンジ補正テンプレート」「C-K カーブテンプレート」で指定することができます。

注：第 4 章「**6** レンジ補正テンプレート」（242 ページ）、「**7** C-K カーブテンプレート」（246 ページ）を参照してください。

- 知覚カラー (ICM)

出力プロファイルが保持している知覚カラー向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。
一般的には、変換前後の色の一致よりも、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

- 彩度 (ICM)

出力プロファイルが保持している彩度向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。
一般的には、変換前後の色の一致よりも、彩度が高くなるように変換されます。

- 相対カラー (ICM)

出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を埋めるような色変換を行います。

- 絶対カラー (ICM)

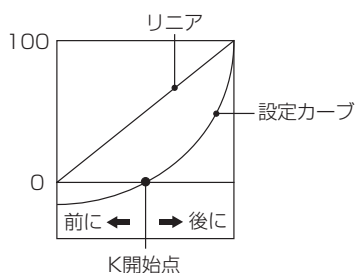
出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を考慮しない色変換を行います。

- 大差異ガマット

大差異ガマット変換を「K 開始点」と「K 追加量」で設定します。

- K 開始点

K 開始点では、オートセットアップの K 版制御設定カーブでの X 軸とカーブの交点を指します。

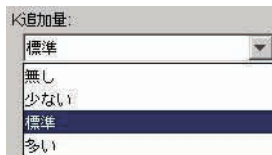


この設定は、CMYK 変換で「知覚カラー 2」モードを選択したときに有効になります。

- 後に : X 軸との交点を + 方向に動かします。
- 標準 : オートセットアップで設定しているカーブで設定されます。
- 前に : X 軸との交点を - 方向に動かします。

● K 追加量

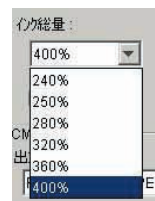
オートセットアップの K 版制御カーブの傾きの係数を設定します。



- 無し
- 少ない
- 標準
- 多い

● インク総量

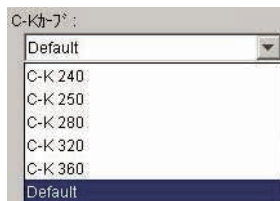
最大インク総量を指定します。以下の総網%量から選択します。



- 240%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 240%を超える部分について制限処理します。
- 250%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 250%を超える部分について制限処理します。
- 280%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 280%を超える部分について制限処理します。
- 320%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 320%を超える部分について制限処理します。
- 360%
C 版、M 版、Y 版、K 版の総網%量が 360%を超える部分について制限処理します。
- 400%
インク総量制限処理しません。

● C-K カーブ

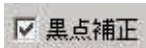
C-K カーブテンプレートを設定します。



注：C-K カーブテンプレートは、「C-K カーブテンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**7** C-K カーブテンプレート」（246 ページ）を参照してください。

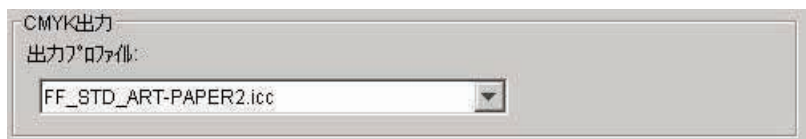
● 黒点補正

黒点補正を行う場合に選択します。



● CMYK 出力

CMYK 出力の色空間について設定します。



● 出力プロファイル

出力色空間をプロファイルで指定します。

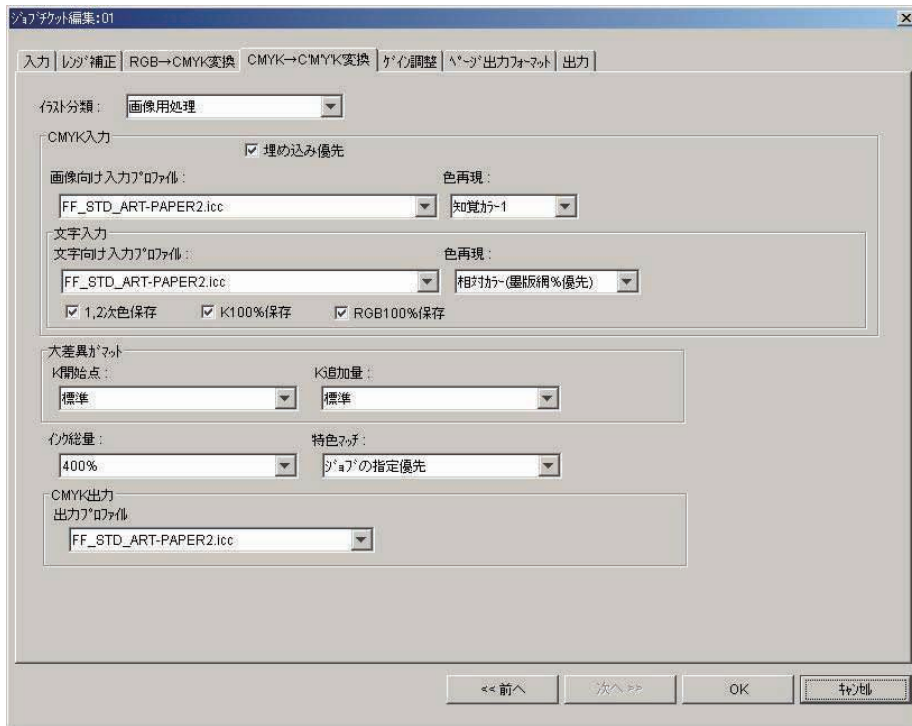
メニューには「ICC プロファイル管理」のアクティブプロファイルに設定されている出力用プロファイルが表示されます。この中から 1 つを選択することができます。



※ 「画像出力フォーマット」タブで、ICC プロファイル埋め込み設定が OFF の場合は変換後のファイルにプロファイル埋め込みをしません。

4 CMYK → C' M' Y' K' 変換タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「CMYK → C' M' Y' K' 変換」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● イラスト分類

イラスト（ベクトルデータ）のカラー処理方法を選択します。



● 画像用処理

画像に対して選択されている色変換処理が適用されます。

● 文字用処理

文字に対して選択されている色変換処理が適用されます。

● CMYK 入力

CMYK 入力の画像、文字についての色空間や処理方法を設定します。



● 埋め込み優先

変換前のデータに埋め込まれているプロファイル設定で処理する場合に指定します。

埋め込み優先

● 画像向け入力プロファイル

CMYK 画像に対するソース空間を指定します。アクティブプロファイルとして登録されている CMYK 画像用プロファイルが選択できます。

変換前のデータにソース色空間を指定するプロファイルが埋め込まれていない場合や、「埋め込み優先」を選択しなかった場合に使用します。



ここで設定したプロファイルと「RGB → CMYK 変換」タブの「出力プロファイル」(181 ページ) で設定したプロファイルが同一の場合、「CMYK → C' M' Y' K'」のプロファイル変換は実行されません。

● 色再現 (画像)

色変換時のカラーマッチングモード (レンダリングインデント) を選択します。



● 色変換無し

インク総量制限以外の色変換は行いません。

● 相対カラー

色一致を目指した色変換を行います。色一致できないガマット外の色は、ガマット境界の色へと変換されます。IT8 チャートの平均色差が 3.5 以下の色空間同士の色変換で用います。

● 知覚カラー 1

元のカラーの視覚的な関係を維持するような色変換を行います。具体的には、ガマット内の色もガマット境界に近い場合は、階調性を重視してガマット外の色も含めて連続した色となるように色変換されます。アート紙と上質紙ぐらいの差のある色空間同士の色変換で用います。

● 知覚カラー 2

アート紙向けのデータを新聞紙向けに変換する場合など、大きくガマットサイズが異なる場合に用います。カラー詳細ウィンドウの「K 開始点」と「K 追加量」が有効となります。

● 知覚カラー (ICM)

出力プロファイルが保持している知覚カラー向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。一般的には、変換前後の色の一致よりも、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。

- ・ 相対カラー（墨版濃度優先）
色一致を目指した色変換を行います。ただし、1,2 次色保存や K ベタ / RGB ベタ保存の機能を使うことができます。
墨版は、変換前後で濃度が同じになるよう変換されます。
- ・ 相対カラー（墨版網%優先）
色一致を目指した色変換を行います。ただし、1,2 次色保存や K ベタ / RGB ベタ保存の機能を使うことができます。
墨版は、変換前後で網%値が変わりません。
- ・ 知覚カラー 1
元のカラーの視覚的な関係を維持するような色変換を行います。
具体的には、ガマット内の色もガマット境界に近い場合は、階調性を重視してガマット外の色も含めて連続した色となるように色変換されます。アート紙と上質紙ぐらいの差のある色空間同士の色変換で用います。
- ・ 知覚カラー 2
アート紙向けのデータを新聞紙向けに変換する場合など、大きくガマットサイズが異なる場合に用います。カラー詳細ウィンドウの「K 開始点」と「K 追加量」が有効となります。
- ・ 知覚カラー（ICM）
出力プロファイルが保持している知覚カラー向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。
一般的には、変換前後の色の一致よりも、元のカラーの視覚的な関係を維持するように変換されます。
- ・ 彩度（ICM）
出力プロファイルが保持している彩度向けのプロファイルデータを使用して色変換を行います。
一般的には、変換前後の色の一致よりも、彩度が高くなるように変換されます。
- ・ 相対カラー（ICM）
出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を埋めるような色変換を行います。
- ・ 絶対カラー（ICM）
出力プロファイルが保持している色一致のプロファイルデータを使用し、白色の差を考慮しない色変換を行います。

注：「色変換なし」、「相対カラー」を選択した場合、「1、2 次色保存」、「K 100% 保存」、「RGB 100% 保存」のチェックボックスは使用できません。

● 1,2 次色保存

C1 次色 (CMYK)、2 次色 (RGB) データに対し、不要色が入らないように、つまり 0%の版は 0%のままとなるよう、色変換処理します。

1,2次色保存

● K100% 保存

入力ジョブ内の CMYK 部品を CMYK 変換する際に (C=0% / M=0% / Y=0% / K=100%) の領域に関しては色変換を行わない場合に指定します。

K100%保存

● RGB100% 保存

R=YM=100%、G=CY=100%、B=MC=100% に対しては、色変換処理を行いません。

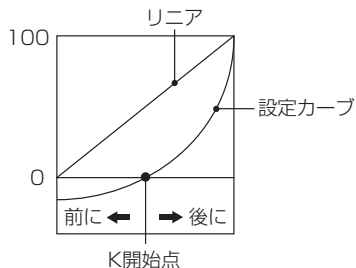
RGB100%保存

● 大差異ガマット

大差異ガマット変換を「K 開始点」と「K 追加量」で設定します。

● K 開始点

K 開始点では、オートセットアップの K 版制御設定カーブでの X 軸とカーブの交点を指します。



この設定は、CMYK 変換で「知覚カラー 2」モードを選択したときに有効になります。

- 後に : X 軸との交点を + 方向に動かします。
- 標準 : オートセットアップで設定しているカーブで設定されます。
- 前に : X 軸との交点を - 方向に動かします。

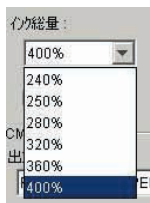
● K 追加量

オートセットアップの K 版制御カーブの傾きの係数を設定します。

- 無し
- 少ない
- 標準
- 多い

● インク総量

最大インク総量を指定します。以下の総網%量から選択します。



- 240%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が240%を超える部分について制限処理します。
- 250%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が250%を超える部分について制限処理します。
- 280%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が280%を超える部分について制限処理します。
- 320%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が320%を超える部分について制限処理します。
- 360%
C版、M版、Y版、K版の総網%量が360%を超える部分について制限処理します。
- 400%
インク総量制限処理しません。

● 特色マッチ

画像データ内で特色が存在する場合の特色のマッチング方式を指定します。



- 特色データベース優先
入力データで指定されている特色の代替カラー値を、C-Fitシステムの特色データベースに登録した値に置き換えた後、色変換を行います。
- ジョブの指定優先
入力データで指定されている特色の代替カラー値を、そのまま用いて色変換を行います。

● CMYK 出力

CMYK 出力の色空間について設定します。



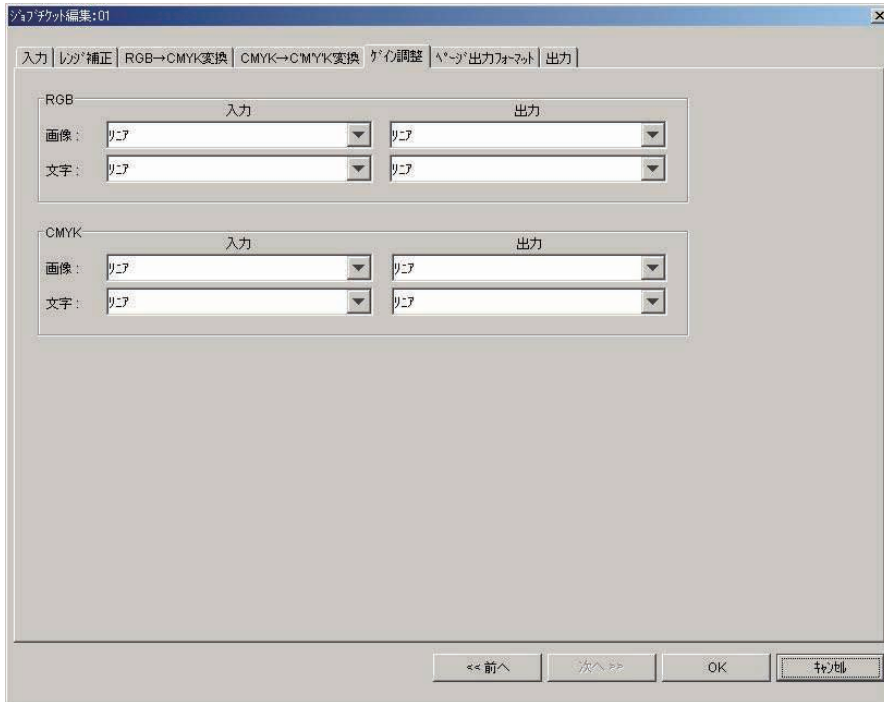
● 出力プロファイル

出力色空間をプロファイルで指定します。
メニューには「ICC プロファイル管理」のアクティブプロファイルに設定されている出力用プロファイルが表示されます。この中から 1 つを選択することができます。



5 ゲイン調整タブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「ゲイン調整」タブを選択します。



3

ジョブチケットの作成

● RGB 入力

RGB ソースの画像、文字についてのゲイン調整を設定します。



● 画像 (入力)

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、RGB 画像の入力側のゲインを調整します。
「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



● 画像 (出力)

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、RGB 画像の出力側のゲインを調整します。
「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。



● 文字（入力）

RGB テキストの入力側のゲインを、選択されたゲインカーブで調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。

入力	
画像:	リニア
文字:	リニア

● 文字（出力）

RGB テキストの出力側のゲインを、選択されたゲインカーブで調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。

入力		出力	
画像:	リニア	リニア	リニア
文字:	リニア	リニア	リニア

● CMYK ソース

CMYK ソースの画像、文字についてのゲイン調整を設定します。

CMYK		入力		出力	
画像:	リニア	リニア	リニア	リニア	リニア
文字:	リニア	リニア	リニア	リニア	リニア

● 画像（入力）

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、CMYK 画像の入力側のゲインを、選択されたゲインカーブで調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。

入力	
画像:	リニア

● 画像（出力）

あらかじめトーンカーブ登録画面で登録したトーンカーブ設定を選択することで、CMYK 画像の出力側のゲインを、選択されたゲインカーブで調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。

入力		出力	
画像:	リニア	リニア	リニア

● 文字（入力）

CMYK テキストの入力側のゲインを、選択されたゲインカーブで調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。

入力	
画像:	リニア
文字:	リニア

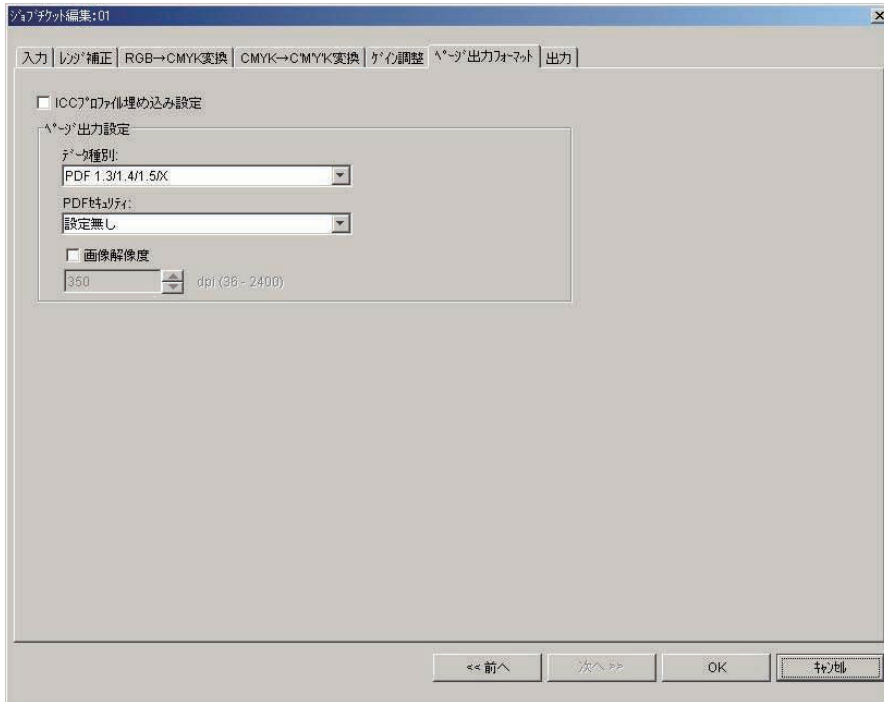
● 文字（出力）

CMYK テキストの出力側のゲインを、選択されたゲインカーブで調整します。「リニア」が選択された場合は、ゲイン調整しません。

入力		出力	
画像:	リニア	リニア	リニア
文字:	リニア	リニア	リニア

6 ページ出力 フォーマットタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「ページ出力フォーマット」タブを選択します。ページデータに対して、データ種別、PDF セキュリティ指定、画像間引き設定を行います。



3

ジョブチケットの作成

● ICC プロファイル埋め込み設定

変換前の画像に添付されているプロファイルを優先させる場合にチェックを入れます。

ICCプロファイル埋め込み設定

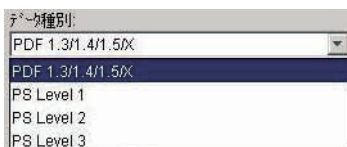
● ページ出力設定

出力用 PDF ファイルを作成するための設定を行います。



● データ種別

PDF データの保存形式を決定します。



- PSLevel1
PostScriptLevel1 形式で保存します。
- PSLevel2
PostScriptLevel2 形式で保存します。
- PSLevel3
PostScriptLevel3 形式で保存します。

PDF1.3 データ入力時 : PDF1.3 形式で出力します。

PDF1.4 データ入力時 : PDF1.4 形式で出力します。

PDF1.5 データ入力時 : PDF1.5 形式で出力します。

- * PDF セキュリティテンプレートを設定した場合は、PDF1.4 形式で出力されます。
「データ種別」の設定は無視されます。

● PDF セキュリティ

出力した PDF ファイルに対する PDF セキュリティ テンプレートを設定します。

注：PDF セキュリティテンプレートは、「PDF セキュリティテンプレート」ウィンドウで登録・設定します。第4章「[4 PDF セキュリティテンプレート](#)」(230 ページ) を参照してください。



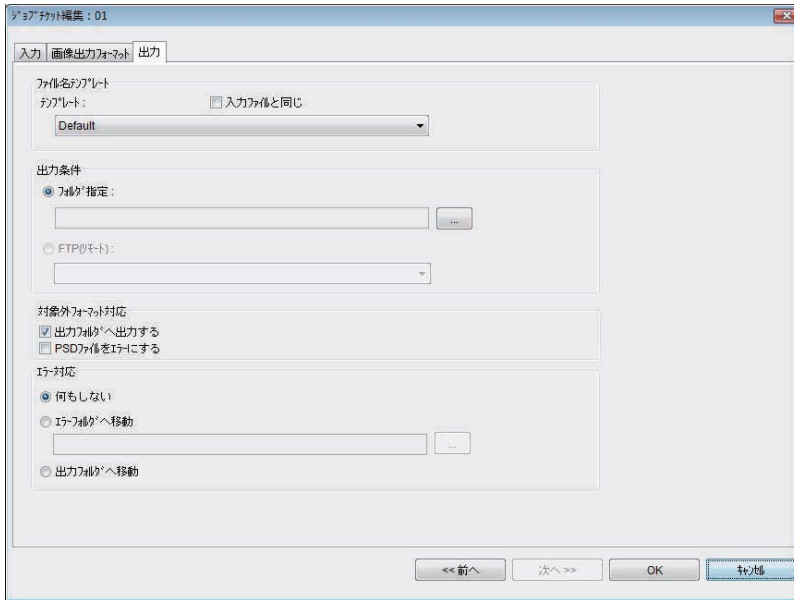
● 画像解像度

選択すると PDF 内の画像の解像度を設定できます。
36 ~ 2400dpi の範囲で数値指定ができます。
スピンボタンで 1 刻みの増減ができます。



7 出カタブ

「ジョブチケット編集」ウィンドウで「出力」タブを選択します。



3

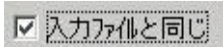
● ファイル名テンプレート

処理されるジョブに適用するファイル名テンプレートを選択します。

注：ファイル名テンプレートは、「ファイル名テンプレート」ウィンドウで設定します。
第4章「**1** ファイル名テンプレート」(216ページ)を参照してください。



● 入力ファイルと同じ

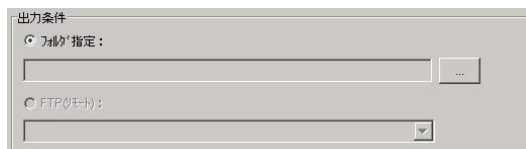


「入力ファイルと同じ」を選択すると、拡張子を含めた入力ファイル名を使用します。
例) Test.jpg $\xrightarrow{\text{TIFFで保存}}$ Test.jpg

注：保存形式に応じて拡張子を変更したい場合は「環境設定」ウィンドウの「ファイル名」タブで設定します。第5章「**6** ファイル名」(291ページ)を参照してください。

● 出力条件


出力データの保存先を設定します。フォルダ指定か、FTP(リモート)方式のどちらか一方を選択することができます。

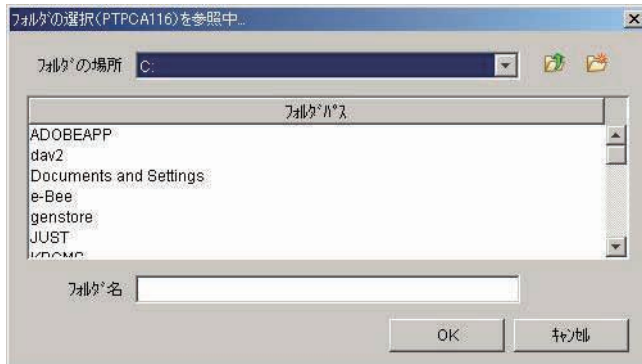


● フォルダ指定

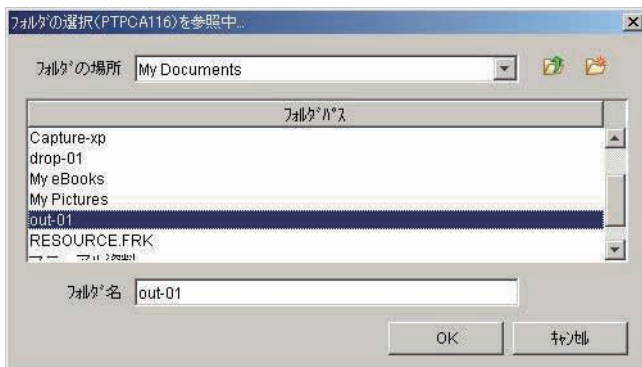
ローカルディスク、またはネットワークディスクの任意のフォルダを指定します。



 ボタンをクリックすると、「フォルダ選択」ウィンドウが表示されるので任意のフォルダを設定します。



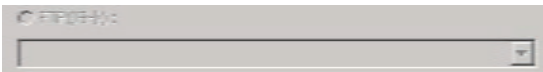
サーバー PC 上のフォルダのみを選択することができます。
また、サーバー PC 上に新規フォルダを作成することもできます。



フォルダ選択後、「OK」ボタンをクリックし、フォルダを設定します。
ただし、ドロップフォルダに設定されているフォルダは指定できません。

● FTP(リモート)

ネットワーク上のワークステーション、またはサーバなどに対して生成したデータを FTP 転送します。



注：ネットワークの設定は、「リモートホストコンフィグレーション」ウィンドウに行います。第6章「**1** FTP 転送先設定」(316 ページ)を参照してください。

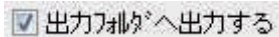
● 対象外フォーマット対応

対象外であるデータが入力された場合の対応方法を設定します。



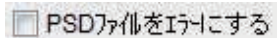
● 出力フォルダへ出力する

選択されると、入力されたファイルがフォルダ単位で出力フォルダに出力されます。



● PSD ファイルをエラーにする

選択されると、入力された PSD ファイルが以下の「エラー対応」の設定に従って出力されます。



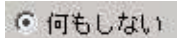
● エラー対応

処理時にエラーが発生した場合のエラーファイルの出力先を設定します。



● 何もしない

エラーとなったデータを出力しないように設定します。
(ドロップフォルダからは削除されます)



● エラーフォルダへ移動

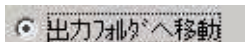
エラーとなったデータを別のフォルダへ出力するように設定します。



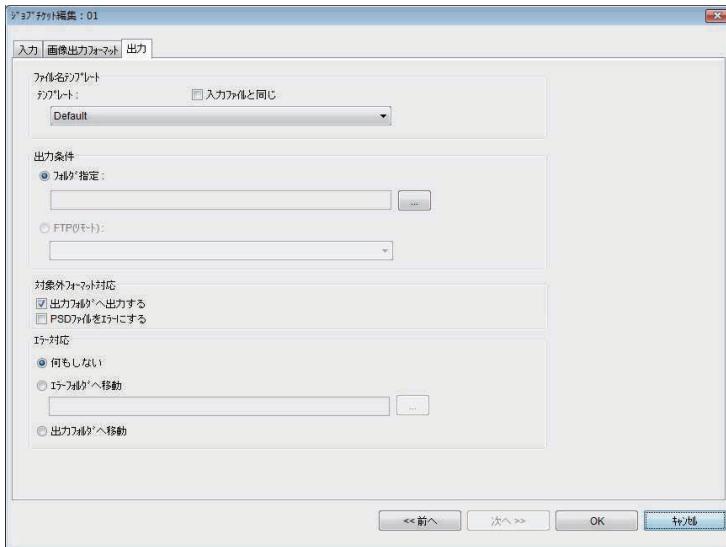
「参照」ボタンをクリックして、フォルダを選択します。

● 出力フォルダへ移動

エラーとなったデータを出力フォルダへ出力するように設定します。



8 設定終了



● キャンセル

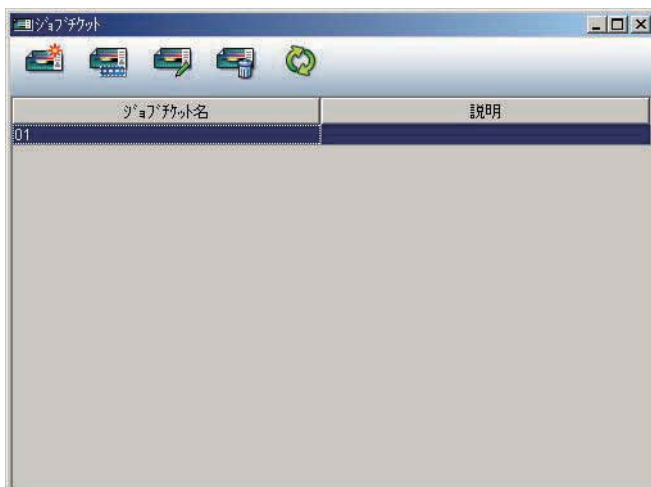
「キャンセル」ボタンをクリックすると、全ての設定を取り消し、ジョブチケット作成を終了します。

● OK

「OK」ボタンをクリックすると、ジョブチケットが作成されます。
「OK」ボタンをクリックしたとき、以下の場合にはエラーとなりメッセージが表示されます。

- ドロップフォルダが選択されていない場合
- 出力先のフォルダが設定されていない場合
- 他のジョブチケットで設定されているフォルダを設定した場合

すべての設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。
ジョブチケットが作成されます。



3

第4章

テンプレート作成

1

ファイル名テンプレート

1 「表示」メニューの「詳細設定」より「ファイル名テンプレート」を選択します。



または「詳細設定」ボタンより「ファイル名テンプレート」を選択します。



2 「ファイル名テンプレート」ウィンドウが表示されます。



4

テンプレート作成

● 名前

登録済みのファイル名テンプレートの名前を表示します。

● テンプレート

ファイル名テンプレートの内容を表示します。

● 新規作成 

新規にファイル名テンプレートを作成します。
リスト中のファイル名テンプレートを選択しながら、新規作成アイコンボタンをクリックすると、選択したファイル名テンプレートと同じ条件が設定されます。
ただし、複数のファイル名テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 名称変更 

登録済みのファイル名テンプレートの名称を変更します。
ただし、複数のファイル名テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集 


登録済みのファイル名テンプレートの内容を変更します。
ただし、複数のファイル名テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 削除 

登録済みのファイル名テンプレートを削除します。
ファイル名テンプレートが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 更新 

データベースに登録されている最新のファイル名テンプレートの一覧を表示します。

- ③ 「ファイル名テンプレート」 ウィンドウにて  「新規」 をクリックします。
「新規ファイル名テンプレート」 ウィンドウが表示されます。



● 名前

ファイル名テンプレート名を入力します。32 バイトまで入力可能です。

● OK

「OK」 ボタンをクリックすると、ファイル名テンプレートの重複チェックを行い、登録処理します。

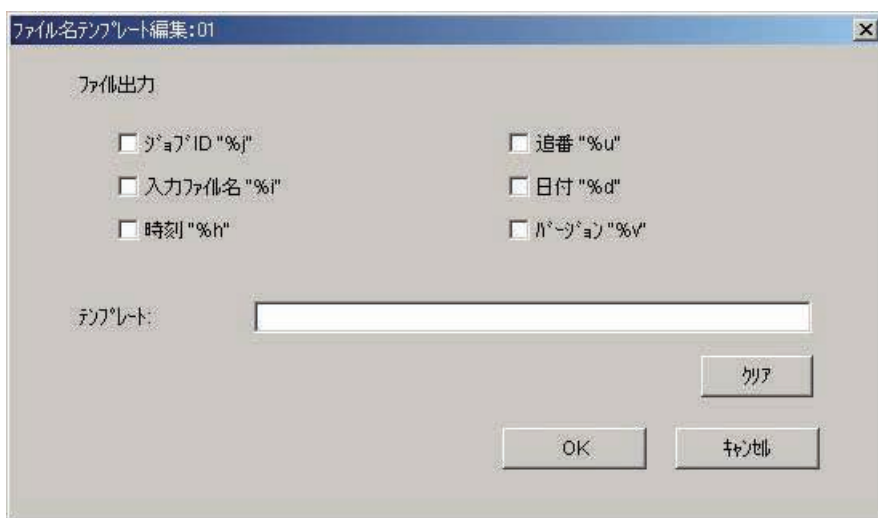
ただし、以下の場合にはエラーメッセージが表示され、登録できません。

- 名前に何も入力されていない場合
- 名前が重複していた場合

● キャンセル

「キャンセル」 ボタンをクリックすると、登録がキャンセルされ、ファイル名テンプレート新規登録画面が閉じられます。

- ④ 「新規ファイル名テンプレート」 ウィンドウで名称を入力し、「OK」 ボタンをクリックします。
「ファイル名テンプレート編集：○○○」 ウィンドウが表示されます。



● ファイル出力

テンプレートとして登録する項目をチェックして選択します。

● ジョブ ID

ジョブ ID "%j"

ジョブ ID が付加されます。

● 追番

追番 "%u"

追番が付加されます。

● 入力ファイル

入力ファイル名 "%f"

入力ファイル名のうち、拡張子を除いた部分が付加されます。
(例: test.jpg → Test)

● 日付

日付 "%d"

日付が付加されます。

● 時刻

時刻 "%h"

時刻が付加されます。

● バージョン

バージョン "%v"

バージョンが付加されます。

● テンプレートフォーマット

テンプレートとして登録する内容が表示されます。

● クリア

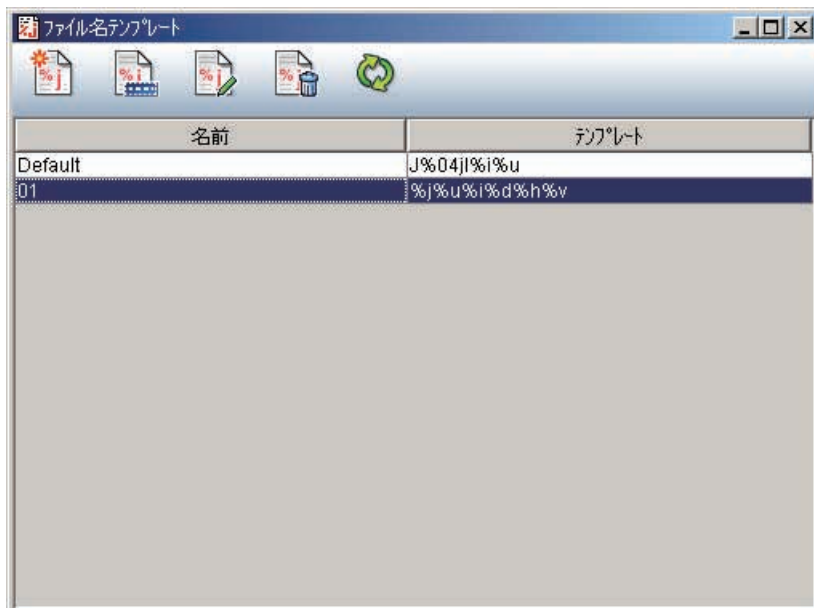
選択した項目をクリアします。

● OK

ファイル名テンプレートを登録します。
ただし、以下の場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。

● テンプレートフォーマットが未入力の場合

5 「OK」 ボタンをクリックすると、ファイル名テンプレートが登録されます。



4

テンプレート作成

2 ICC プロファイル管理

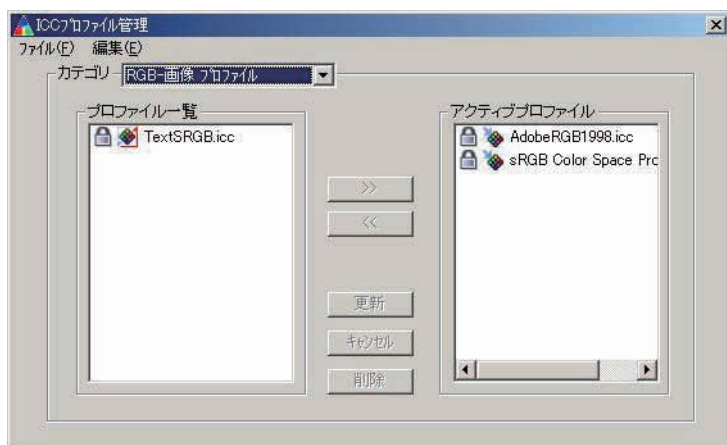
1 「表示」メニューの「詳細設定」より「ICC プロファイル管理」を選択します。



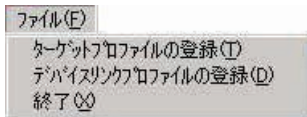
または「詳細設定」ボタンより「ICC プロファイル管理」を選択します。



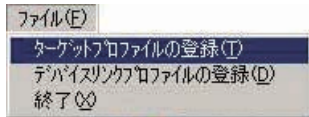
2 「ICC プロファイル管理」ウィンドウが表示されます。



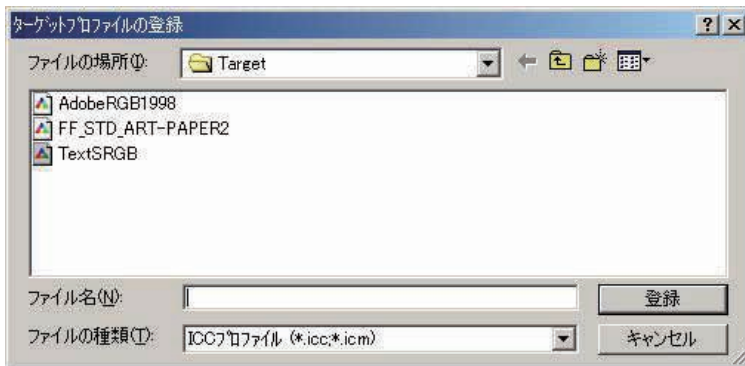
- 「ファイル」メニュー



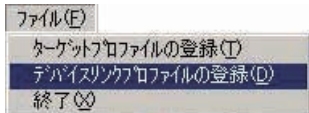
- ・ ターゲットプロファイルの登録



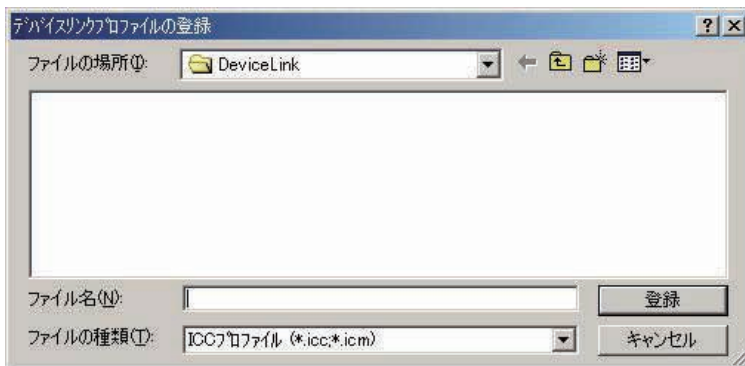
「ターゲットプロファイルの登録」ウィンドウを開き、使用するプロファイルを選択し、「ターゲットプロファイル」の登録を行います。プロファイルの内容に応じ、各カテゴリに登録されます。



- ・ デバイスリンクプロファイルの登録



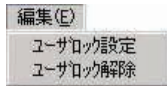
「デバイスリンクプロファイルの登録」ウィンドウを開き、使用するプロファイルを選択し、「デバイスリンクプロファイル」の登録を行います。プロファイルの内容に応じ、各カテゴリに登録されます。



- ・ 終了

「ICC プロファイル管理」を終了します。

● 「編集」メニュー



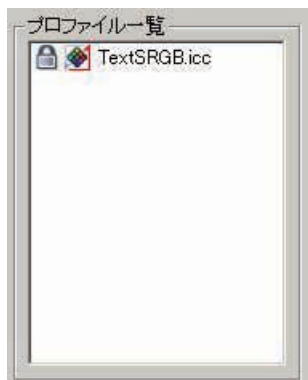
- ・ ユーザロック設定
「アクティブプロファイル」で選択されているプロファイルに対してユーザロックを設定します。
- ・ ユーザロック解除
「アクティブプロファイル」で選択されているプロファイルのユーザロックを解除します。

● カテゴリ



プロファイルのカテゴリを表示します。以下の5項目があります。

- ・ RGB – 画像プロファイル
入力される RGB 画像のプロファイルです。
 - ・ RGB – 文字プロファイル
入力される RGB テキストのプロファイルです。
 - ・ CMYK – 画像プロファイル
CMYK 画像を目的の CMYK に変換する際に使用するプロファイルです。
 - ・ CMYK – 文字プロファイル
CMYK 文字を目的の CMYK に変換する際に使用するプロファイルです。
 - ・ 出力プロファイル
CMYK 文字を目的の CMYK に変換する際に使用するプロファイルです。
- プロファイル一覧
非アクティブのプロファイルを一覧表示します。



- アクティブプロファイル

カテゴリ別にアクティブプロファイルを一覧表示します。
ここに表示されているプロファイルが「ジョブプロパティ」の各項目で選択することができます。



- 「<<」 <<

選択中のアクティブプロファイルを非アクティブプロファイルに移します。

- 「>>」 >>

選択中の非アクティブプロファイルをアクティブプロファイルに移します。

- 「更新」 更新

ICC プロファイル管理の設定を更新します。

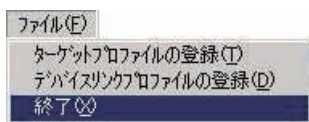
- 「削除」 削除

選択中のプロファイルを削除します。

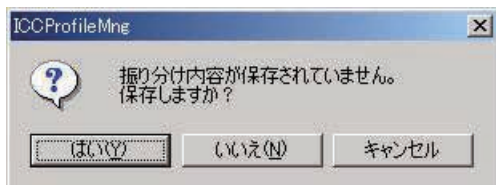
- 「キャンセル」 キャンセル

「更新」 ボタンをクリックする前に「キャンセル」 をクリックすると、「<<」、「>>」 ボタンによる操作を取り消します。

3 「ファイル」メニューより「終了」を選択します。



4 確認のメッセージが表示されます。



- 「はい」
「更新」ボタンをクリックした後の変更した内容を保存して終了します。
- 「いいえ」
「更新」ボタンをクリックした後の変更した内容を保存しないで終了します。
- 「キャンセル」
終了しないで「ICC プロファイル管理」ウィンドウに戻ります。

5 「はい」ボタンをクリックして終了します。

3 スポットカラー管理

- 1 「表示」メニューの「詳細設定」より「スポットカラー管理」を選択します。



または、「詳細設定」ボタンより「スポットカラー管理」を選択します。



- 2 「スポットカラー管理」ウィンドウが表示されます。



● リスト表示

登録されている特色(インク)名、4色疑似網パーセント(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)、参考色(パッチカラー)、属性が表示されます。
属性は、「ORG」と「USR」があります。

● ORG

i-ColorQC C-Fitとして登録済みの特色データです。

● USR

ユーザ任意で新規登録あるいは、修正した特色データです。属性がORG(インストール直後から登録済み)のデータも修正が可能で、修正後はORG属性からUSR属性に変更されます。

● 新規作成

新しいインクの設定を行います。
登録済みのインクを選択しながら、新規作成アイコンボタンをクリックすると、選択したインクと同じ条件が設定されます。
複数のインクが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集

登録済みのインクの内容を変更します。
複数のインクが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 削除

登録済みのインクを削除します。
インクが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 更新

データベースに登録されている最新のインクの一覧を表示します。

特色版のようにスポットカラーに使いたい版(インク)が無い場合、新規ウィンドウで新しい版(インク)を追加します。特色版を含むデータを処理した場合は、データ内に含まれる特色版名が自動的にスポットカラー管理に登録されます。

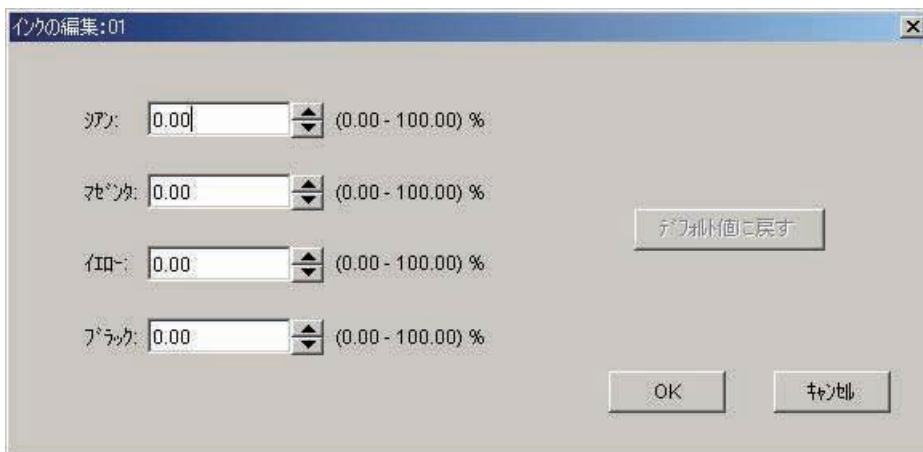
3 「スポットカラー管理」ウィンドウ  「新規」アイコンをクリックします。

- 4 「インク新規登録」ウィンドウが表示されます。
※すでに登録されているインクを選択してから新規アイコンをクリックすると、選択したインク名が入力されたインク新規登録ウィンドウが表示されます。



- **名前**
インク名を入力します。32 バイトまで入力可能です。
- **OK**
「OK」ボタンをクリックすると、インク名の重複チェックを行い、登録処理します。ただし、以下の場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。
 - 名前に何も入力されていない場合
 - 名前が重複していた場合
- **キャンセル**
「キャンセル」ボタンをクリックすると、登録がキャンセルされ、インク新規登録画面が閉じられます。

- 5 「インク新規登録」ウィンドウで名称を入力し、「OK」ボタンをクリックします。「インクの編集：○○○」ウィンドウが表示されます。



● シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック

そのインクの4色擬似網パーセントを入力します。
0.00 ~ 100.00% まで、小数点第二位まで入力できます。

シア:	<input type="text" value="0.00"/>	(0.00 - 100.00) %
マゼン:	<input type="text" value="0.00"/>	(0.00 - 100.00) %
イエロ:	<input type="text" value="0.00"/>	(0.00 - 100.00) %
ブラック:	<input type="text" value="0.00"/>	(0.00 - 100.00) %

● デフォルト値に戻すボタン

属性が、ORGであったインクに対して、4色擬似網パーセントが変更されていた場合、このボタンをクリックすることによって、元のデフォルト値に戻す事ができます。

6 「OK」をクリックすると、「スポットカラー管理」ウィンドウに設定したインクが追加されます。

ただし、以下の場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。

- 各カラーで1つでも未入力項目がある場合
- 0 ~ 100 以外の数値が入力されていた場合



4

PDF セキュリティテンプレート

PDF セキュリティテンプレートの保存方法を設定します。

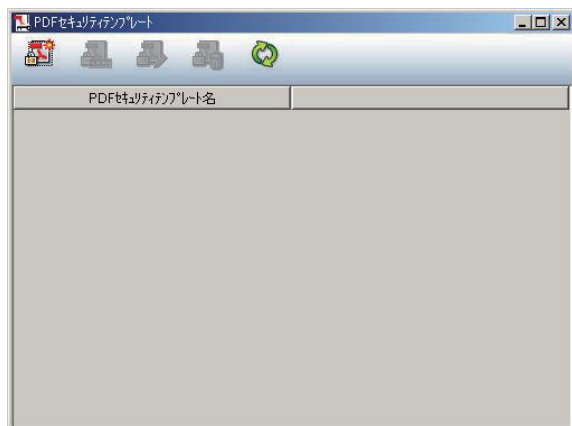
- 1 「表示」メニューの「詳細設定」より「PDF セキュリティテンプレート」を選択します。



または「詳細設定」ボタンより「PDF セキュリティテンプレート」を選択します。



- 2 「PDF セキュリティテンプレート」ウィンドウが表示されます。



4

● PDF セキュリティテンプレート名

PDF セキュリティテンプレートの登録名称を表示します。

● 新規作成

新しい PDF セキュリティテンプレートの設定を行う場合に、このアイコンボタンをクリックします。

すでに登録されている PDF セキュリティテンプレートを選択しながら、新規作成アイコンボタンをクリックすると、選択した PDF セキュリティテンプレートと同じ条件が設定されます。

ただし、複数の PDF セキュリティテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 名称変更

すでに登録されている PDF セキュリティテンプレートの名称を変更する場合に、リスト表示より PDF セキュリティテンプレートを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

ただし、複数の PDF セキュリティテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集

すでに登録されている PDF セキュリティテンプレートの内容を変更したい場合に、リスト表示より PDF セキュリティテンプレートを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

ただし、複数の PDF セキュリティテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。


● 削除

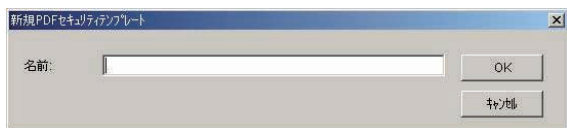
すでに登録されている PDF セキュリティテンプレートを削除する場合に、リスト表示より 1 つ以上の PDF セキュリティテンプレートを選択し、このアイコンボタンをクリックします。

PDF セキュリティテンプレートが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 更新

データベースに登録されている最新の PDF セキュリティテンプレートの一覧を表示します。

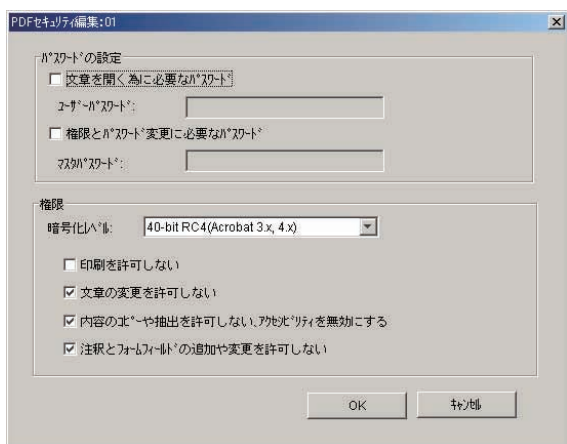
- ③ 「PDF セキュリティテンプレート」ウィンドウにて  「新規」をクリックします。「新規 PDF セキュリティテンプレート」ウィンドウが表示されます。



● 名前

PDF セキュリティテンプレート名を入力します。32 バイトまで入力可能です。

- ④ 「新規 PDF セキュリティテンプレート」ウィンドウで名称を入力し、「OK」ボタンをクリックします。
「PDF セキュリティテンプレートの編集：○○○」ウィンドウが表示されます。

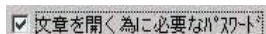


● パスワード設定

以下の項目のパスワードを設定します。

● 文章を開くために必要なパスワード

チェックボックス ON 時に、文章を開くために必要なパスワードを設定します。



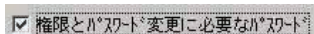
● ユーザーパスワード

文章を開くために必要なパスワードを設定します。



● 権限とパスワード変更に必要なパスワード

チェックボックス ON 時に、権限とパスワードの変更に必要なパスワードを設定します。



● マスタパスワード

権限とパスワードの変更に必要なパスワードを設定します。



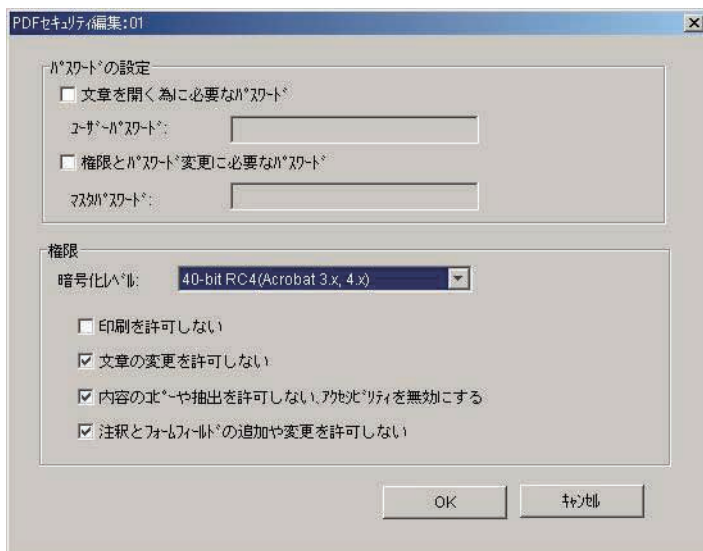
● 権限

以下の項目の権限を選択します。選択する暗号化レベルによって、設定できる項目が異なります。

暗号化レベル:	40-bit RC4(Acrobat 3.x, 4.x)
	40-bit RC4(Acrobat 3.x, 4.x)
	128-bit RC4(Acrobat 5.0)

● 暗号化レベル

「40bit RC4(Acrobat 3.X, 4.X)」の場合



【設定項目】

● 印刷を許可しない

チェックボックス ON 時に、印刷を許可しない設定にします。

 印刷を許可しない

● 文章の変更を許可しない

チェックボックス ON 時に、文章の変更を許可しない設定にします。

 文章の変更を許可しない

● 内容のコピーや抽出を許可しない、アクセシビリティを無効にする

チェックボックス ON 時に、内容のコピーや抽出を許可しない、アクセシビリティを無効に設定にします。

 内容のコピーや抽出を許可しない、アクセシビリティを無効にする

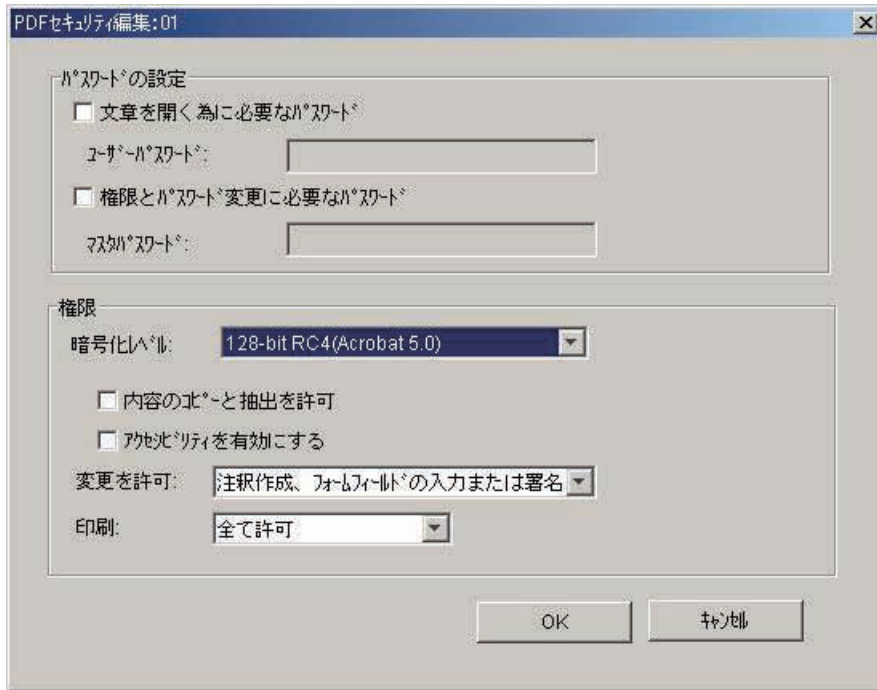
● 注釈とフォームフィールドの追加や変更を許可しない

チェックボックス ON 時に、注釈とフォームフィールドの追加や変更を許可しない設定にします。

 注釈とフォームフィールドの追加や変更を許可しない

● 暗号化レベル

「128-bit RC4(Acrobat 5.0)」の場合



【設定項目】

● 内容のコピーと抽出を許可

チェックボックス ON 時に、内容のコピーと抽出を許可する設定にします。

内容のコピーと抽出を許可

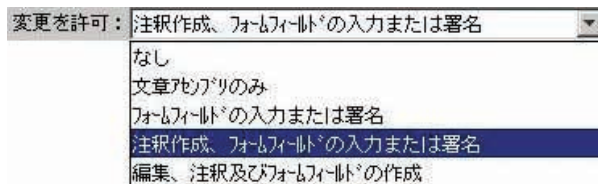
● アクセシビリティを有効にする

チェックボックス ON 時に、アクセシビリティを有効にする設定にします。

アクセシビリティを有効にする

● 変更を許可

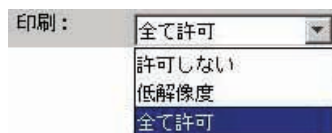
変更許可に関するモードを設定します。選択項目は以下のとおりです。



- ・ 文章アセンブリのみ
- ・ フォームフィールドの入力または署名
- ・ 注釈作成、フォームフィールドの入力または署名
- ・ 編集、注釈及びフォームフィールドの作成

●印刷

印刷に関するモードを設定します。選択項目は以下のとおりです。

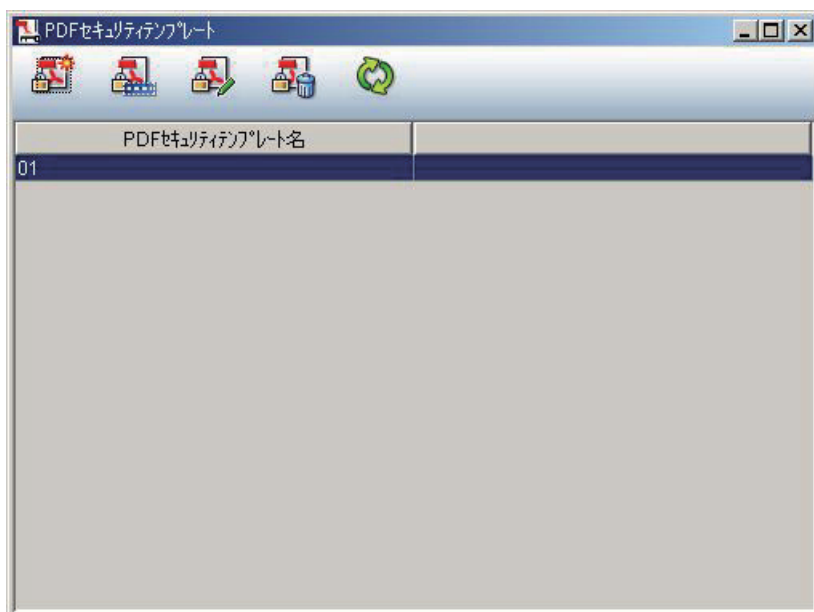


- ・ 許可しない
- ・ 低解像度
- ・ 全て許可

注

パスワードが新規設定、または変更された場合、「OK」ボタンがクリックされた時にパスワード確認画面が表示されます。パスワードチェックボックスにチェックを入れて、何も入力せずに「OK」ボタンがクリックされた場合はエラーとなります。

5 「OK」ボタンをクリックして設定を終了します。



5

RGB 最適化テンプレート

4

- 1 「表示」メニューの「詳細設定」より「RGB 最適化テンプレート」を選択します。



または「詳細設定」ボタンより「RGB 最適化テンプレート」を選択します。



- 2 「RGB 最適化テンプレート」ウィンドウが表示されます。



● 名前

RGB 最適化テンプレートの登録名称を表示します。

● 説明

RGB 最適化テンプレートに対する説明を表示します。

● 新規作成

新しい RGB 最適化テンプレートの設定を行います。

すでに登録されている RGB 最適化テンプレートを選択しながら、新規作成アイコンボタンをクリックすると、選択した RGB 最適化テンプレートと同じ条件が設定されます。

ただし、複数の RGB 最適化テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 名称変更

登録済みの RGB 最適化テンプレートの名称を変更します。

ただし、複数の RGB 最適化テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集

登録済みの RGB 最適化テンプレートの内容を変更します。

ただし、複数の RGB 最適化テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。


● 削除

登録済みの RGB 最適化テンプレートを削除します。

RGB 最適化テンプレートが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 更新

データベースに登録されている最新の RGB 最適化テンプレートの一覧を表示します。

- 3 「RGB 最適化テンプレート」 ウィンドウで  「新規」 をクリックします。「新規 RGB 最適化」 ウィンドウが表示されます。



● 名称

RGB 最適化テンプレート名を入力します。32 バイトまで入力可能です。

● 説明

RGB 最適化テンプレートの説明を入力します。256 バイトまで入力可能です。

● OK

「OK」 ボタンをクリックすると、RGB 最適化テンプレートの重複チェックを行い、登録処理します。

ただし、以下の場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。

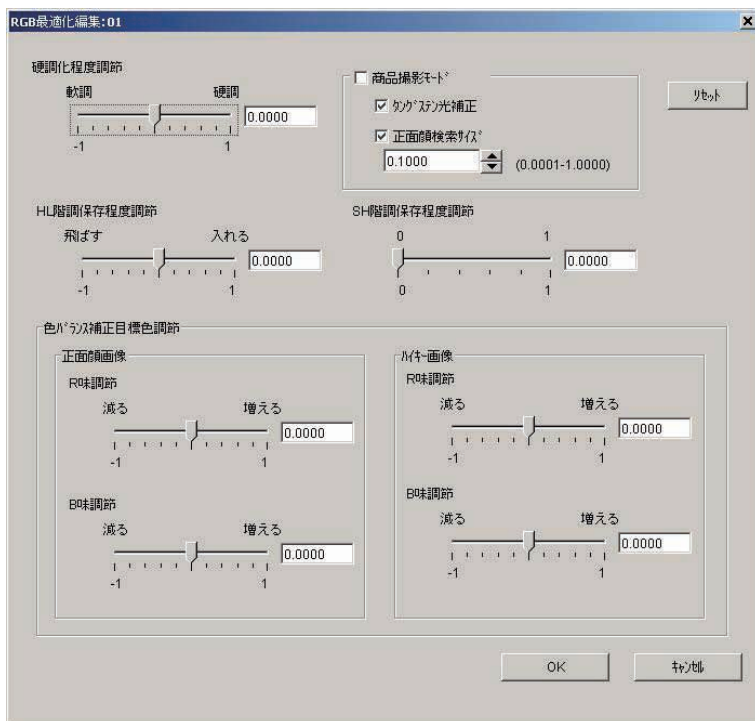
● 名称に何も入力されていない場合

● 名称が重複していた場合

● キャンセル

「キャンセル」 ボタンをクリックすると、登録がキャンセルされ、「新規 RGB 最適化」 ウィンドウが閉じられます。

- 4 「新規 RGB 最適化」 ウィンドウで名称を入力し、「OK」 ボタンをクリックします。「RGB 最適化編集：○○○」 ウィンドウが表示されます。



● 硬調化程度調整

画像の硬さを調整します。



スライダーを「硬調」または「軟調」の方向に動かして設定します。連動してテキストフィールドに数値が表示されます。

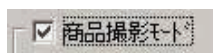
または、テキストフィールドに数値を入力して設定します。連動してスライダーバーの位置が変わります。

入力範囲：-1.0000 ~ 1.0000

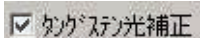
単位：0.0001

● 商品撮影モード

商品撮影を行なう場合に指定します。



● タングステン光補正



タングステン光の補正を行う場合に指定します。

● 正面顔検索サイズ

顔を検索するサイズを設定します。
チェックを外すと顔の検索は行われません。



検索サイズを数値で設定します。

入力範囲：0.1000 ~ 1.0000

単位：0.0001

● HL 階調保存程度調節

HL 階調保存の程度を調整します。



スライダーを「飛ばす」または「入れる」の方向に動かして設定します。連動してテキストフィールドに数値が表示されます。

または、テキストフィールドに数値を入力して設定します。連動してスライダーバーの位置が変わります。

入力範囲：-1.0000 ~ 1.0000

単位：0.0001

● SH 階調保存程度調節

SH 階調保存の程度を調整します。



スライダーを「0」または「1」の方向に動かして設定します。連動してテキストフィールドに数値が表示されます。

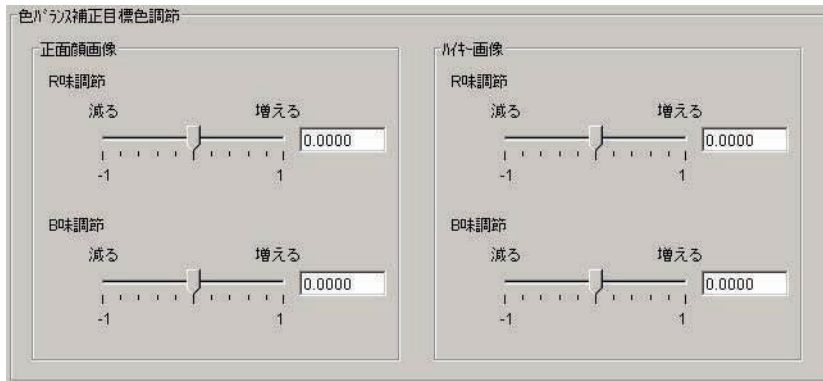
または、テキストフィールドに数値を入力して設定します。連動してスライダーバーの位置が変わります。

入力範囲：0.0000～1.0000

単位：0.0001

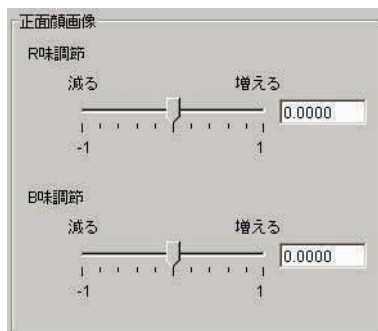
● 色バランス補正目標色調整

「正面顔画像」と「ハイキー画像」の色バランス補正目標色を調整します。



● 正面顔画像

正面顔画像のR味（R味調節）とB味（B味調節）の色バランス補正目標色を調整します。



スライダーを「減る」または「増える」の方向に動かして設定します。連動してテキストフィールドに数値が表示されます。

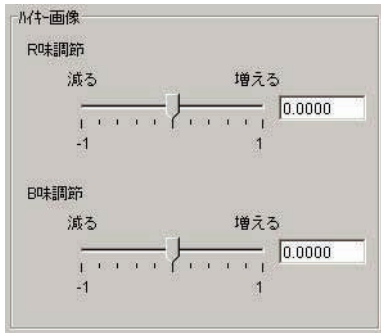
または、テキストフィールドに数値を入力して設定します。連動してスライダーバーの位置が変わります。

入力範囲：-1.0000～1.0000

単位：0.0001

● ハイキー画像

ハイキー画像のR味（R味調節）とB味（B味調節）の色バランス補正目標色を調整します。



スライダーを「減る」または「増える」の方向に動かして設定します。連動してテキストフィールドに数値が表示されます。

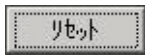
または、テキストフィールドに数値を入力して設定します。連動してスライダーの位置が変わります。

入力範囲：-1.0000～1.0000

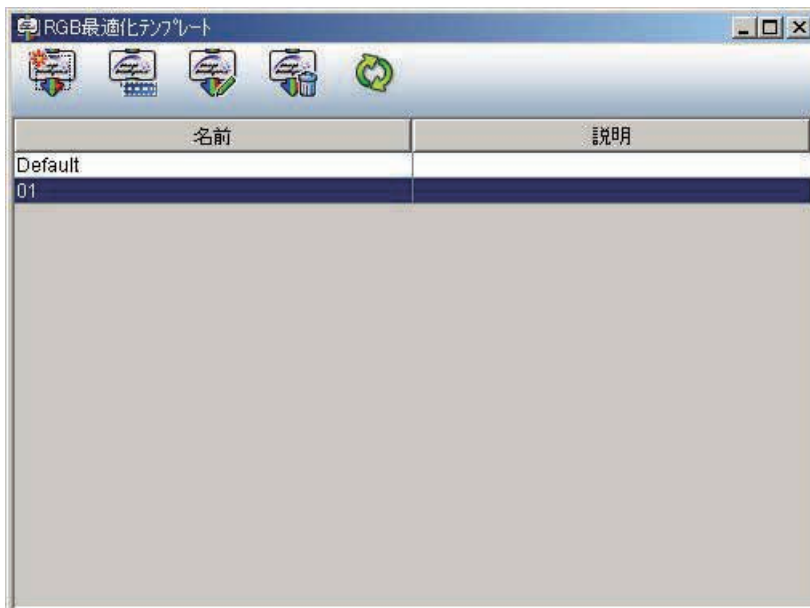
単位：0.0001

● リセット

各項目を初期値に戻します。

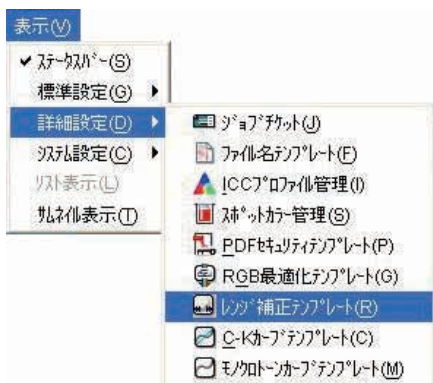


5 「OK」ボタンをクリックすると「RGB最適化」が設定されます。



6 レンジ補正テンプレート

1 「表示」メニューの「詳細設定」より「レンジ補正テンプレート」を選択します。



または「詳細設定」ボタンより「レンジ補正テンプレート」を選択します。



2 「レンジ補正テンプレート」ウィンドウが表示されます。



● 名前

レンジ補正テンプレートの登録名称を表示します。

● 説明

レンジ補正テンプレートに対する説明を表示します。

● 新規作成 

新しいレンジ補正テンプレートの設定を行います。

すでに登録されているレンジ補正テンプレートを選択しながら、新規作成アイコンボタンをクリックすると、選択したレンジ補正テンプレートと同じ条件が設定されます。

ただし、複数のレンジ補正テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 名称変更 

登録済みのレンジ補正テンプレートの名称を変更します。

ただし、複数のレンジ補正テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集 

登録済みのレンジ補正テンプレートの内容を変更します。

ただし、複数のレンジ補正テンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 削除 

登録済みのレンジ補正テンプレートを削除します。

レンジ補正テンプレートが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 更新 

データベースに登録されている最新のレンジ補正テンプレートの一覧を表示します。

- ③ 「レンジ補正テンプレート」ウィンドウで  「新規」をクリックします。「新規レンジ補正」ウィンドウが表示されます。



新規レンジ補正

名前:	<input type="text"/>	OK
説明:	<input type="text"/>	キャンセル

● 名称

レンジ補正テンプレート名を入力します。32 バイトまで入力可能です。

● 説明

レンジ補正テンプレートの説明を入力します。256 バイトまで入力可能です。

● OK

「OK」ボタンをクリックすると、レンジ補正テンプレートの重複チェックを行い、登録処理します。

ただし、以下の場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。

- 名称に何も入力されていない場合
- 名称が重複していた場合

● キャンセル

「キャンセル」ボタンをクリックすると、登録がキャンセルされ、「新規レンジ補正」ウィンドウが閉じられます。

- 4 「新規レンジ補正」ウィンドウで名称を入力し、「OK」ボタンをクリックします。「レンジ補正編集：○○○」ウィンドウが表示されます。



● かぶり補正

かぶり補正の強度を「強」「弱」「なし」より選択します。

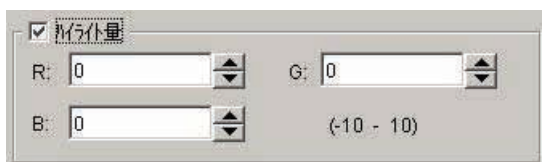


● ハイライト量

画像内のハイライト点を検出し、目標の網%となるようにレンジ補正します。

ハイライト点の網%は、数値を入力する事でカスタマイズすることが可能です。

各項目とも -10 ~ 10 の整数範囲で設定します。スピンボタンで1刻みの増減が可能です。



● シャドー量

画像内のシャド一点を検出し、目標の網%となるようにレンジ補正します。シャド一点の網%は、数値を入力することでカスタマイズすることが可能です。各項目とも -10 ~ 10 の整数範囲で設定します。スピンドタンで1刻みの増減が可能です。

☑ シャドー量
R: 0 G: 0
B: 0 (-10 - 10)

● OK

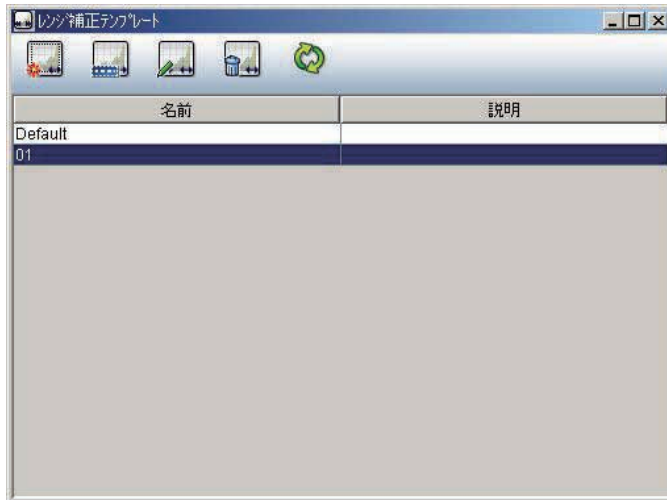
「OK」ボタンをクリックすると、レンジ補正が登録されます。ただし、以下の場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。

- ハイライト量、シャドー量で1つでも未入力項目がある場合
- ハイライト量、シャドー量で、-10 ~ 10 以外の数値が入力されていた場合

● キャンセル

「キャンセル」ボタンをクリックすると、レンジ補正編集がキャンセルされ、ウィンドウを閉じます。

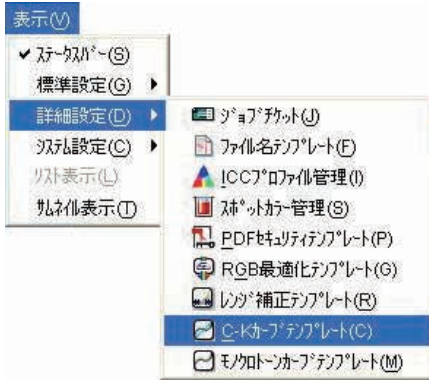
5 「OK」ボタンをクリックし、「レンジ補正」を設定します。



7

C-K カーブテンプレート

- 1 「表示」メニューの「詳細設定」より「C-K カーブテンプレート」を選択します。



または「詳細設定」ボタンより「C-K カーブテンプレート」を選択します。



- 2 「C-K カーブテンプレート」ウィンドウが表示されます。



4

● 名前

C-K カーブテンプレートの登録名称を表示します。

● 説明

C-K カーブテンプレートに対する説明を表示します。

● 新規作成 

新しいC-K カーブテンプレートの設定を行います。

すでに登録されているC-K カーブテンプレートを選択しながら、新規作成アイコンボタンをクリックすると、選択したC-K カーブテンプレートと同じ条件が設定されます。

ただし、複数のC-K カーブテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 名称変更 

登録済みのC-K カーブテンプレートの名称を変更します。

ただし、複数のC-K カーブテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集 

登録済みのC-K カーブテンプレートの内容を変更します。

ただし、複数のC-K カーブテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 削除 

登録済みのC-K カーブテンプレートを削除します。

C-K カーブテンプレートが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 更新 

データベースに登録されている最新のC-K カーブテンプレートの一覧を表示します。

- 3 「C-K カーブテンプレート」 ウィンドウで  「新規」 をクリックします。「新規 C-K カーブ」 ウィンドウが表示されます。



● **名称**

C-K カーブテンプレート名を入力します。32 バイトまで入力可能です。

● **説明**

C-K カーブテンプレートの説明を入力します。256 バイトまで入力可能です。

● **OK**

「OK」 ボタンをクリックすると、C-K カーブテンプレートの重複チェックを行い、登録処理します。

ただし、以下の場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。

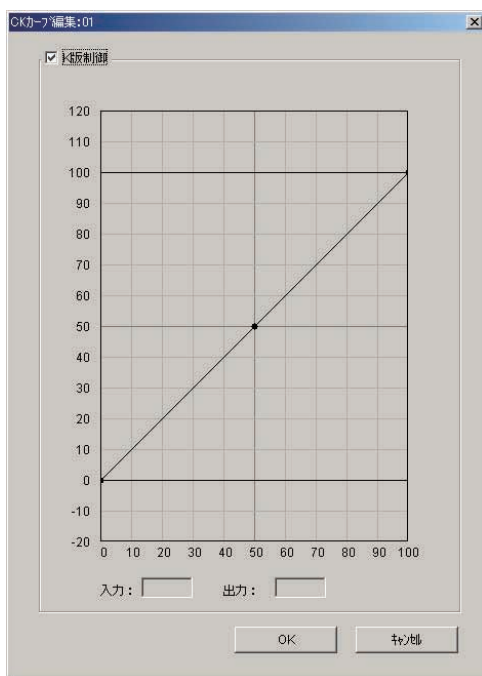
● 名称に何も入力されていない場合

● 名称が重複していた場合

● **キャンセル**

「キャンセル」 ボタンをクリックすると、登録がキャンセルされ、「新規 C-K カーブテンプレート」 ウィンドウが閉じられます。

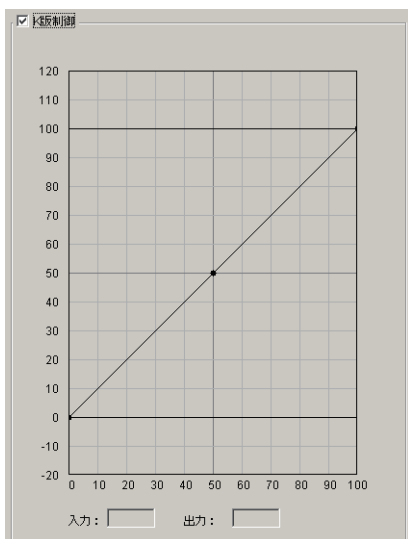
- 4 「新規 C-K カーブテンプレート」 ウィンドウで名称を入力し、「OK」 ボタンをクリックします。
「C-K カーブテンプレート編集：○○○」 ウィンドウが表示されます。



● K 版制御



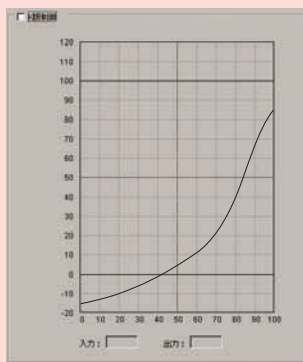
RGB から CMYK への変換の際のブラック版を変更できます。
K 版制御を選択しなかった場合は、システムの既定のブラック版に変換されます。



注

K 版制御を選択しない場合、以下の形状のカーブが使用されます。

※ 表示上のカーブと異なります。



● K 版制御グラフ

シアン版（グラフ上にシアンで表示）に対する K 版（グラフ上に黒で表示）の調整を実施できます。

K 版カーブの線上をマウスの右ボタンでクリックすると制御点が追加できます。

（Macintosh の 1 ボタンマウスを使用している場合は、「Apple」キーを押しながらクリックすると制御点を追加可能です。）

マウスの左ボタンで制御点を選択し、ドラッグすると制御点の移動が可能です。

なお、0%と 100% の制御点は、上下方向のみ移動が可能です。

また、制御点をマウスの右ボタンでクリックすると制御点の削除ができます。

（Macintosh の 1 ボタンマウスを使用している場合は、「Apple」キーを押しながらクリックすると制御点を削除可能です。）

C、K 編集ボックスに、制御点の情報が表示されます。

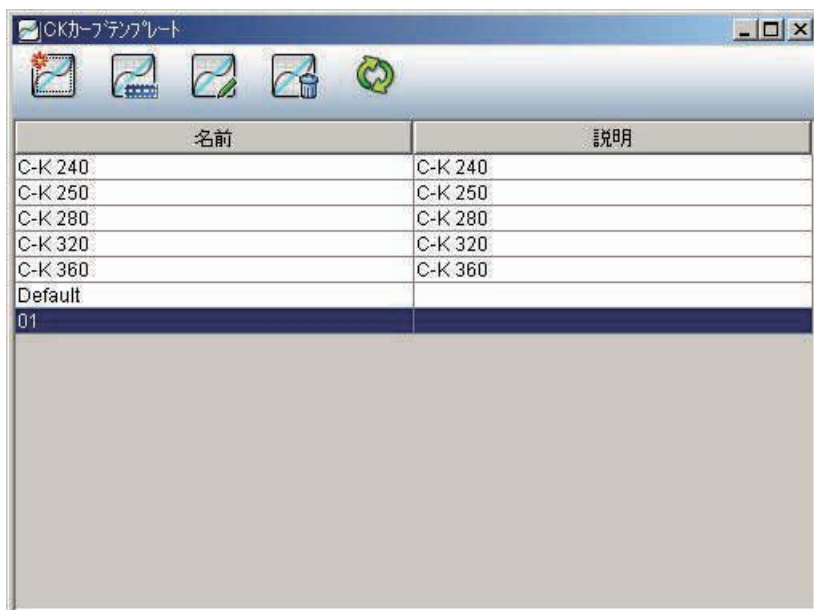
● OK

「OK」ボタンをクリックすると、C-K カーブテンプレートが登録されます。

● キャンセル

「キャンセル」ボタンをクリックすると、C-K カーブテンプレート編集がキャンセルされ、ウィンドウを閉じます。

5 「OK」 ボタンをクリックし、「C-K カーブ」を設定します。



4

テンプレート作成

8

モノクロトーンカーブテンプレート

4

- 1 「表示」メニューの「詳細設定」より「モノクロトーンカーブテンプレート」を選択します。



または「詳細設定」ボタンより「モノクロトーンカーブテンプレート」を選択します。



- 2 「モノクロトーンカーブテンプレート」ウィンドウが表示されます。



● 名前

モノクロトーンカーブテンプレートの登録名称を表示します。

● 説明

モノクロトーンカーブテンプレートに対する説明を表示します。

● 新規作成

新しいモノクロトーンカーブテンプレートの設定を行います。

すでに登録されているモノクロトーンカーブテンプレートを選択しながら、新規作成アイコンボタンをクリックすると、選択したモノクロトーンカーブテンプレートと同じ条件が設定されます。

ただし、複数のモノクロトーンカーブテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 名称変更

登録済みのモノクロトーンカーブテンプレートの名称を変更します。

ただし、複数のモノクロトーンカーブテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 編集

登録済みのモノクロトーンカーブテンプレートの内容を変更します。

ただし、複数のモノクロトーンカーブテンプレートが選択されている場合は、このアイコンボタンは使用できません。


● 削除

登録済みのモノクロトーンカーブテンプレートを削除します。

モノクロトーンカーブテンプレートが選択されていない場合は、このアイコンボタンは使用できません。

● 更新

データベースに登録されている最新のモノクロトーンカーブテンプレートの一覧を表示します。

- 3 「モノクロトーンカーブテンプレート」ウィンドウで  「新規」をクリックします。
「新規モノクロトーンカーブ」ウィンドウが表示されます。



● **名称**

モノクロトーンカーブテンプレート名を入力します。32 バイトまで入力可能です。

● **説明**

モノクロトーンカーブテンプレートの説明を入力します。256 バイトまで入力可能です。

● **OK**

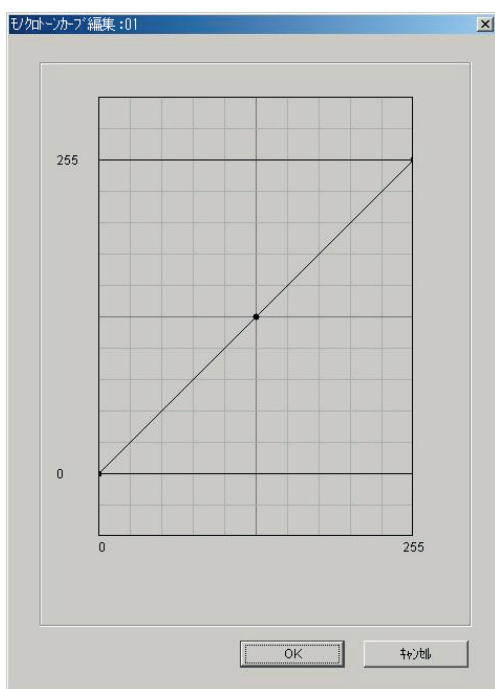
「OK」ボタンをクリックすると、モノクロトーンカーブテンプレートの重複チェックを行い、登録処理します。
ただし、以下の場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。

- 名称に何も入力されていない場合
- 名称が重複していた場合

● **キャンセル**

「キャンセル」ボタンをクリックすると、登録がキャンセルされ、「新規モノクロトーンカーブテンプレート」ウィンドウが閉じられます。

- 4 「新規モノクロトーンカーブテンプレート」ウィンドウで名称を入力し、「OK」ボタンをクリックします。
「モノクロトーンカーブテンプレート編集 : 01」ウィンドウが表示されます。



● グラフ

K 版（グラフ上に黒で表示）の調整を実施できます。

K 版カーブの線上をマウスの右ボタンでクリックすると制御点が追加できます。

（Macintosh の 1 ボタンマウスを使用している場合は、「Apple」キーを押しながらクリックすると制御点を追加可能です。）

マウスの左ボタンで制御点を選択し、ドラッグすると制御点の移動が可能です。

なお、0 と 255 の制御点は、上下方向のみ移動が可能です。

また、制御点をマウスの右ボタンでクリックすると制御点の削除ができます。

（Macintosh の 1 ボタンマウスを使用している場合は、「Apple」キーを押しながらクリックすると制御点を削除可能です。）

C、K 編集ボックスに、制御点の情報が表示されます。

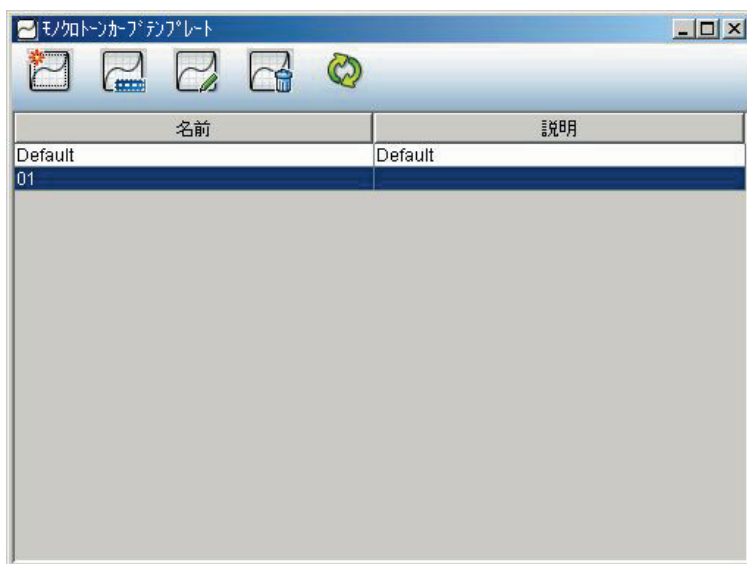
● OK

「OK」ボタンをクリックすると、モノクロトーンカーブテンプレートが登録されます。

● キャンセル

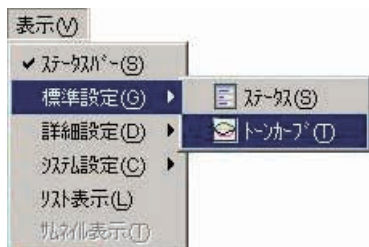
「キャンセル」ボタンをクリックすると、モノクロトーンカーブテンプレート編集がキャンセルされ、ウィンドウを閉じます。

5 「OK」ボタンをクリックし、「モノクロトーンカーブ」を設定します。



9 トーンカーブ管理

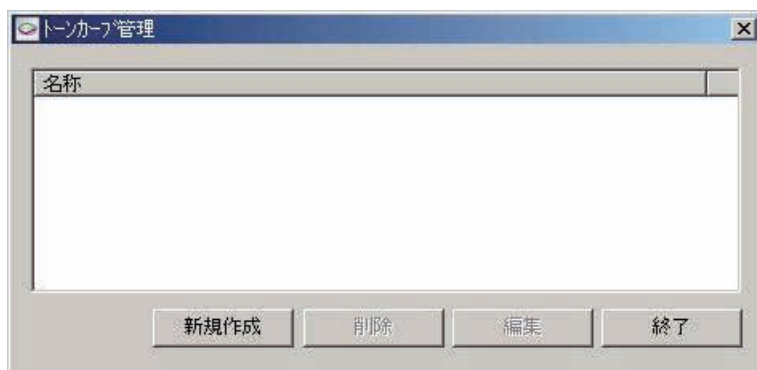
1 「表示」メニューの「詳細設定」より「トーンカーブ」を選択します。



または「詳細設定」ボタンより「トーンカーブ」を選択します。



2 「トーンカーブ管理」ウィンドウが表示されます。



● **新規作成** 新規作成

新規にトーンカーブテンプレートを作成します。

● **削除** 削除

登録済みのトーンカーブテンプレートを削除します。

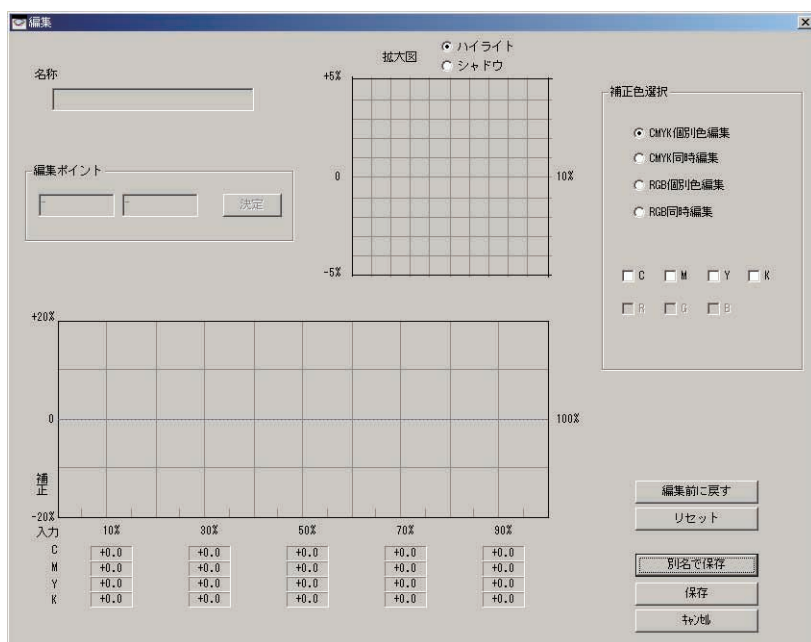
● **編集** 編集

登録済みのトーンカーブテンプレートの内容を変更します。

● **終了** 終了

トーンカーブ管理を終了します。

- ③ 「トーンカーブ管理」ウィンドウで **新規作成** ボタンをクリックします。
「トーンカーブ編集」ウィンドウが表示されます。



- ④ 「補正色選択」で、トーンカーブを変更する色を選択します。



● **C、M、Y、K を一つずつ編集する場合**

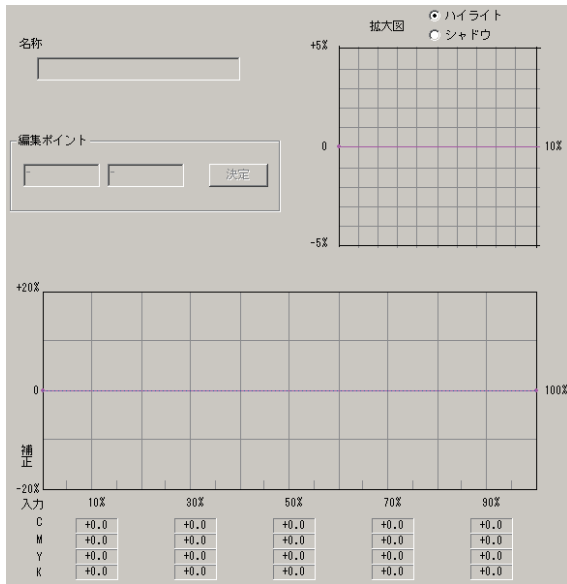
- ① 「CMYK 個別色編集」のラジオボタンをクリックして選択します。



- ② C、M、Y、K のチェックボックスで編集する色を選択します。



③ カーブグラフに選択した色が表示されます。

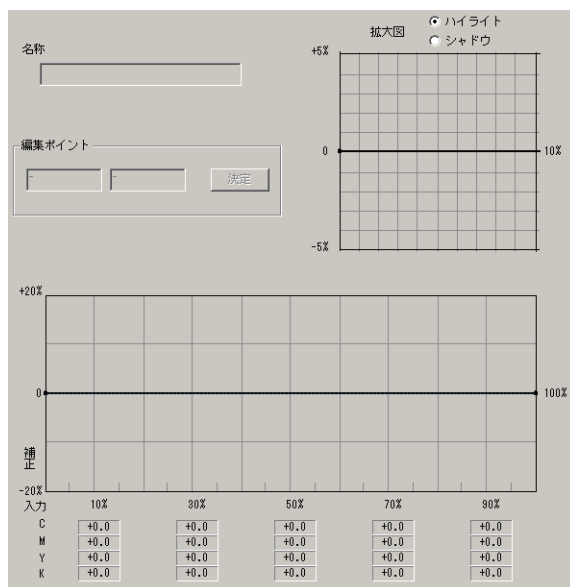


● C、M、Y、K を同時に編集する場合

① 「CMYK 同時編集」のラジオボタンをクリックして選択します。

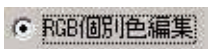


② カーブグラフに黒線が表示されます。

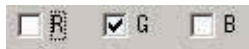


● R、G、B を一つずつ編集する場合

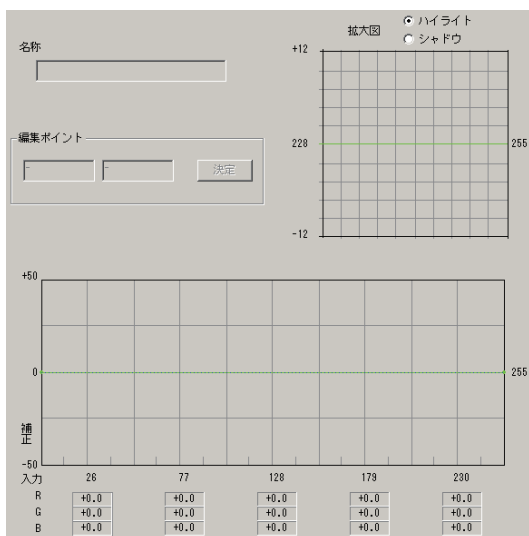
① 「RGB 個別色編集」 のラジオボタンをクリックして選択します。



② R、G、B のチェックボックスで編集する色を選択します。



③ カーブグラフに選択した色が表示されます。

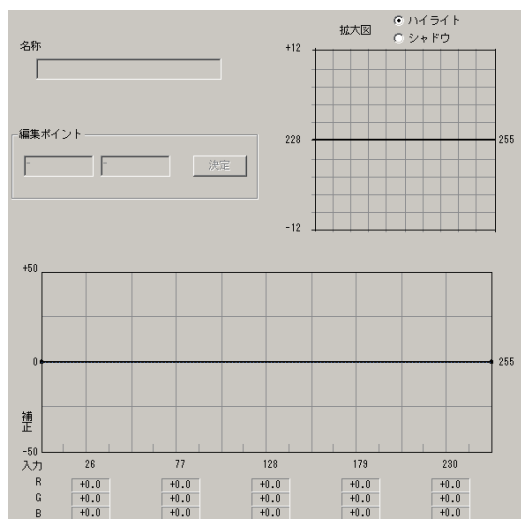


● R、G、B を同時に編集する場合

① 「RGB 同時編集」 のラジオボタンをクリックして選択します。

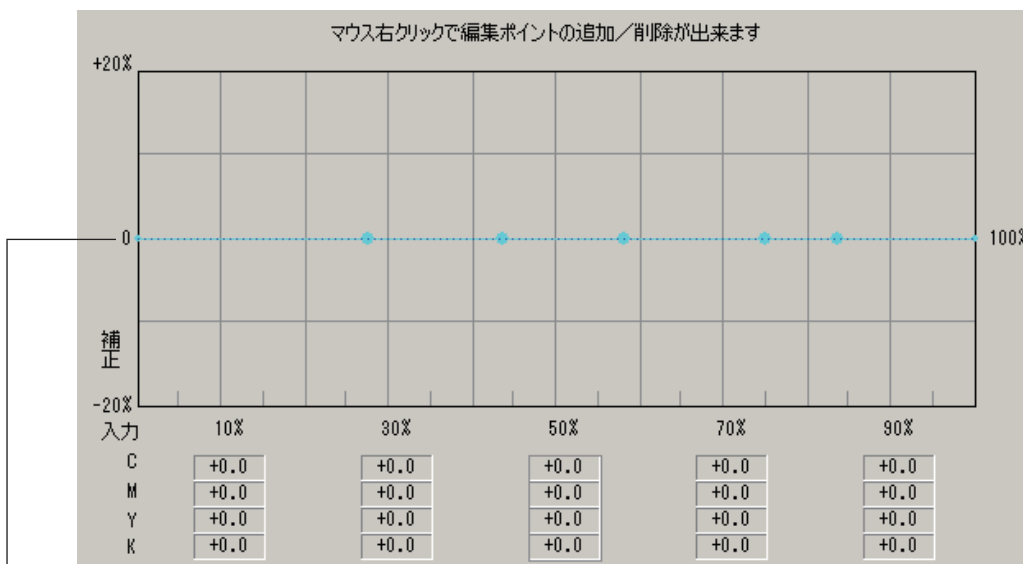


② カーブグラフに黒線が表示されます。

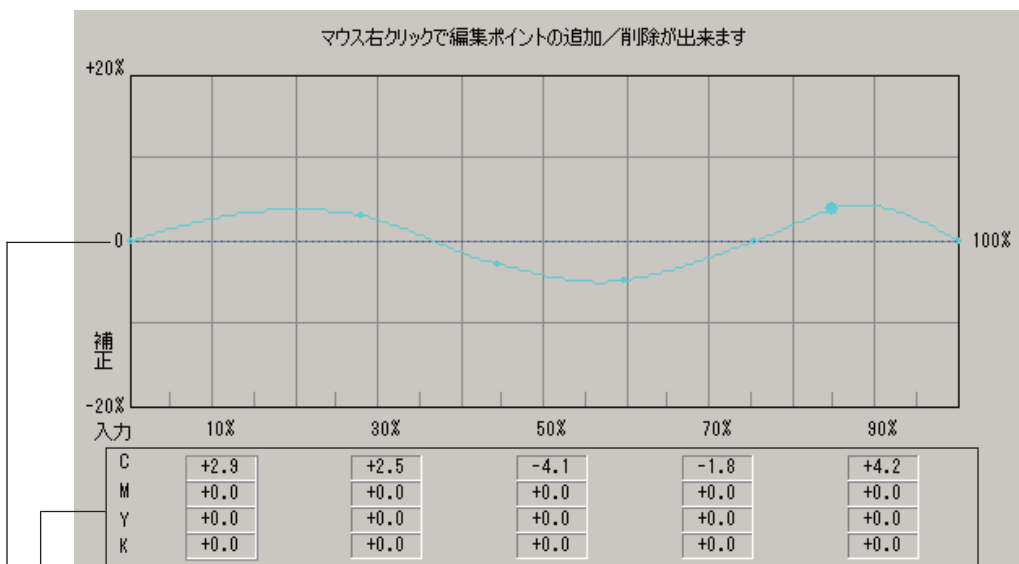


- 5 トーンカーブを編集します。
「補正色選択」で選択されている色の編集です。

● CMYK のカーブを編集する場合



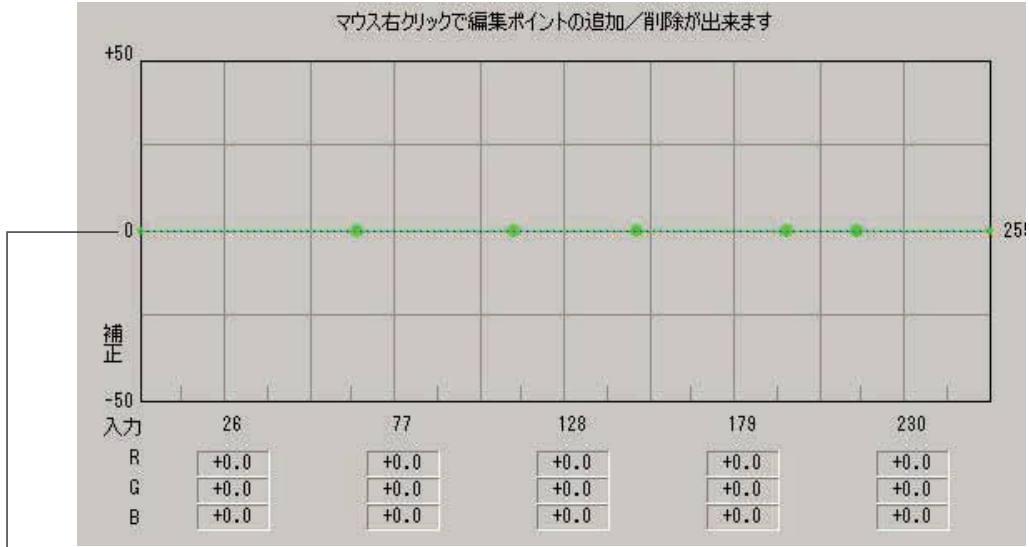
①ポイントをマウスで右クリックします。



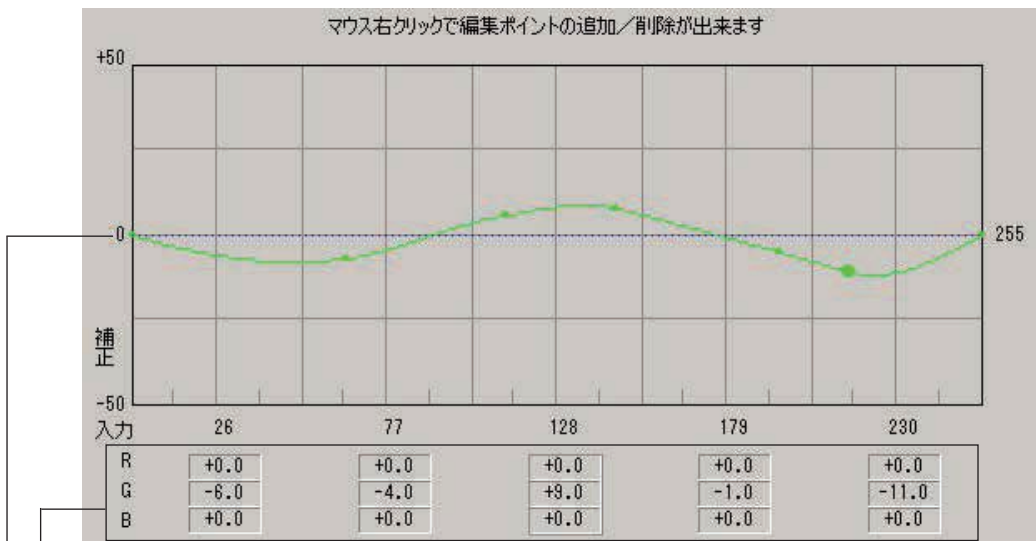
②補正量を上げたい場合は、上へ (+)
補正量を下げたい場合は、下へ (-) 動かします。

③変更した量が、数値で表示されます。

● RGB のカーブを編集する場合



①ポイントをマウスで右クリックします。

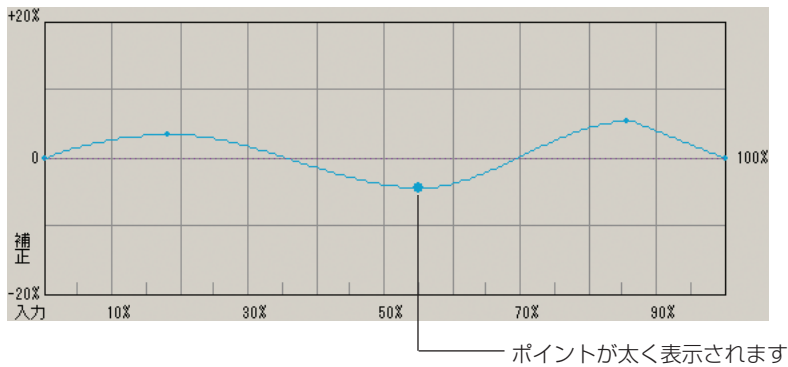


②補正量を上げたい場合は、上へ (+)
補正量を下げたい場合は、下へ (-) 動かします。

③変更した量が、数値で表示されます。

● CMYK の編集ポイントを詳細に変更する場合

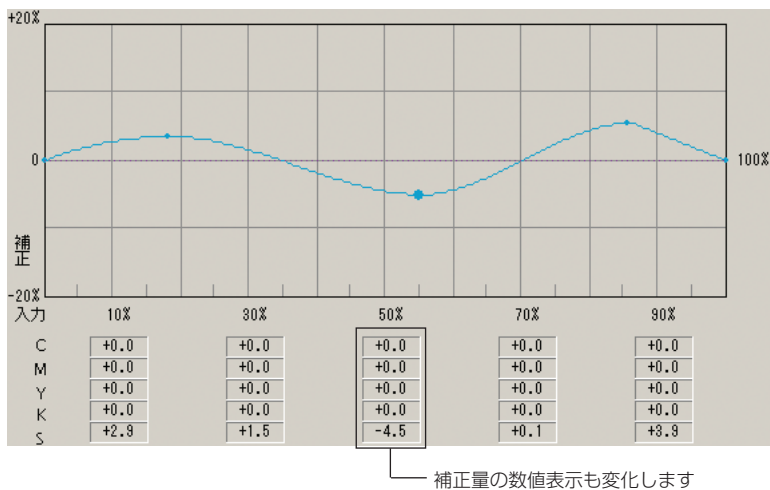
① 編集ポイントをマウス左クリックします。



② 「編集ポイント」に数値が表示されます。

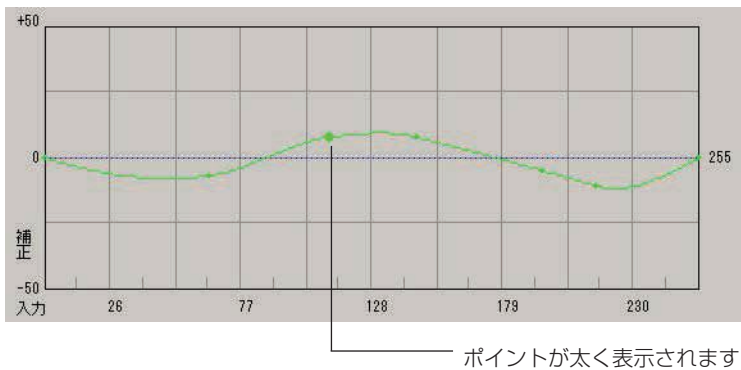
③ 網 % と補正量を数値入力します。

④ 「決定」をクリックするとグラフ表示も変化します。



● RGB の編集ポイントを詳細に変更する場合

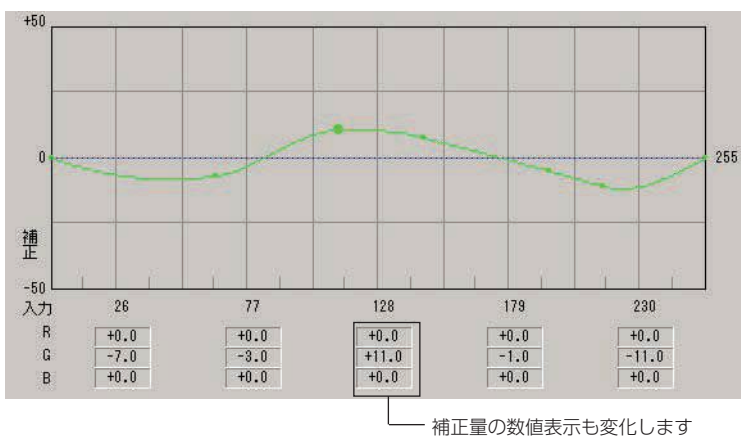
① 編集ポイントをマウス左クリックします。



② 「編集ポイント」に数値が表示されます。

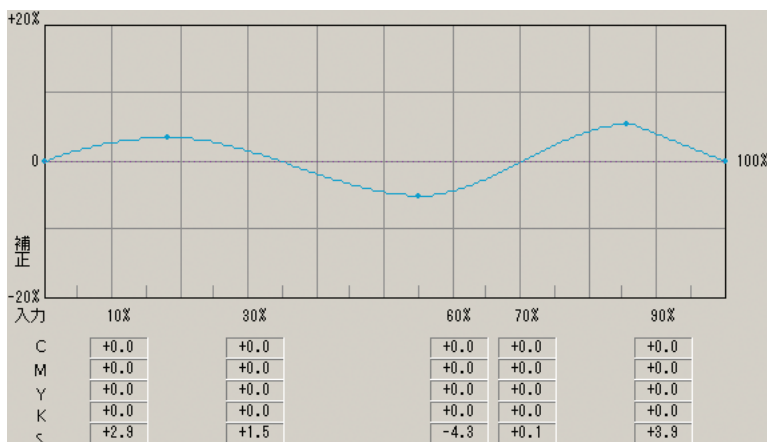
③ 階調と補正量を数値入力します。

④ 「決定」をクリックするとグラフ表示も変化します。



● **CMYK の補正量表示の変更**

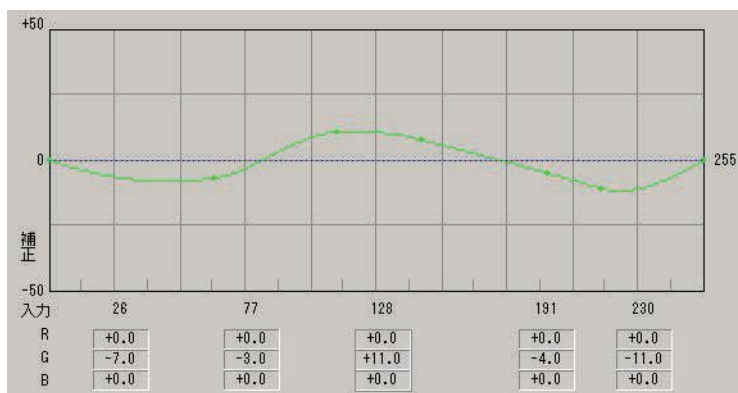
グラフ下の補正量表示の位置を 5% 単位で変更できます。



左右にドラッグ・ドロップして変更します

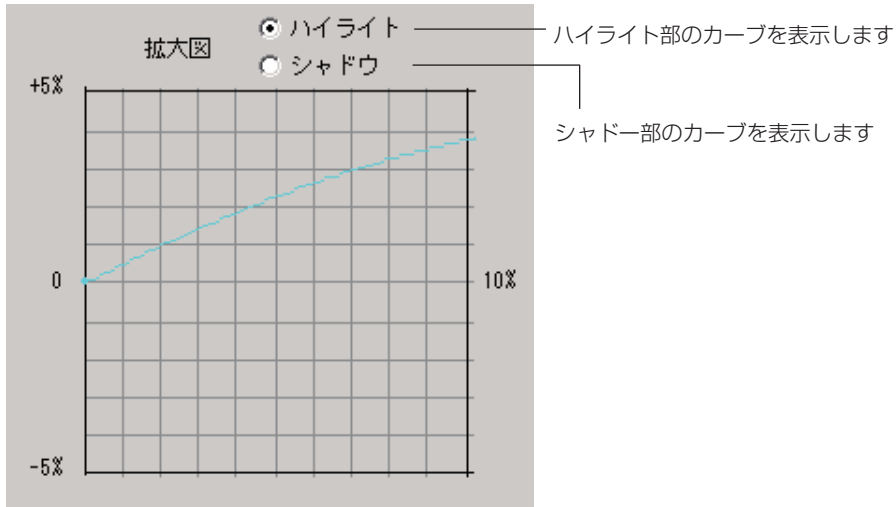
● **RGB の補正量表示の変更**

グラフ下の補正量表示の位置を 13 階調単位で変更できます。



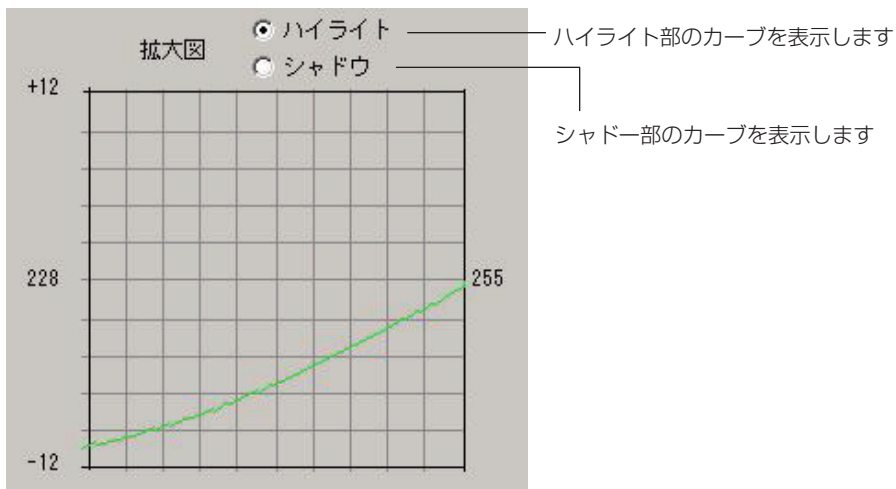
左右にドラッグ・ドロップして変更します

● CMYK の拡大図で表示



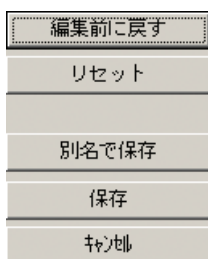
このグラフ上でも、同じくカーブ編集が行えます。

● RGB の拡大図で表示



このグラフ上でも、同じくカーブ編集が行えます。

● 保存について

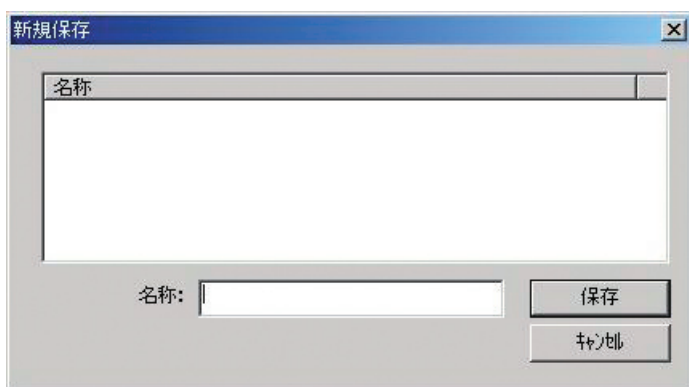


● 編集前に戻す

カーブを編集する前の状態に戻します。

- リセット
カーブを作成する前の状態に戻します。
- 別名で保存
カーブ編集などの場合、元データに上書きせず、別の名前を付けて保存します。
- 保存
新規保存します。
- キャンセル
保存しないでウィンドウを閉じます。

6 「保存」をクリックすると「新規保存」ウィンドウが表示されます。



7 名前を入力して「保存」をクリックすると「トーンカーブ管理」ウィンドウに戻ります。



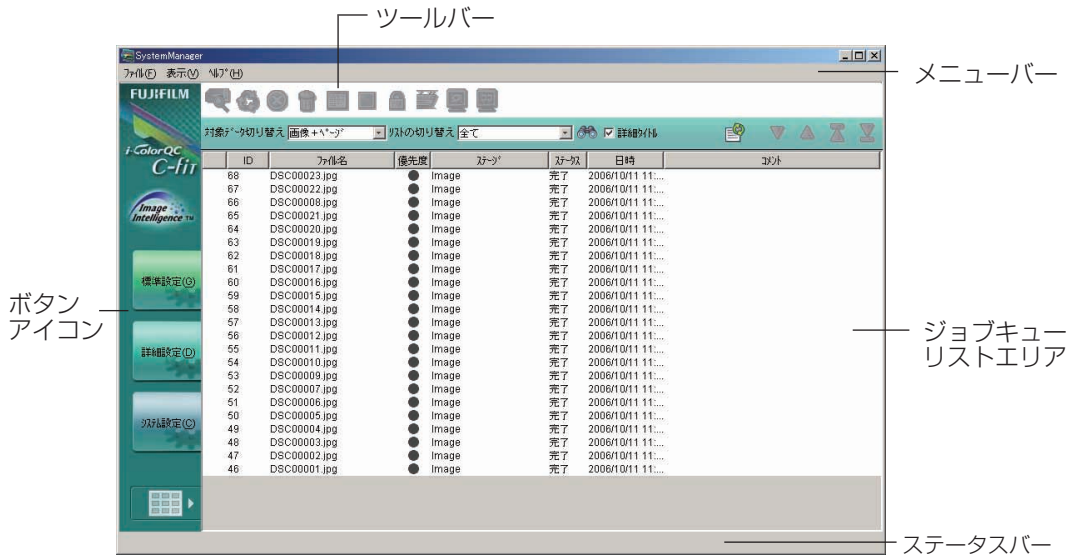
第5章

出力ジョブの操作

1

i-Color QC C-Fit の画面構成

i-ColorQC C-Fit は、次のような画面となります。(設定を変更することも可能です)



i-ColorQC C-Fit の操作は、メニューの項目、またはボタンアイコンの項目を選択することによって進めていきます。

ボタンアイコンはメニュー項目の中の重要なものをスイッチボタンにしたもので、該当するメニュー項目を選択したときと同じ働きをします。

5

出力ジョブの操作

2 ツールバーによる操作

以下にツールバーに表示される一覧を示します。



操作は、ジョブリストまたは、サムネイルリストからジョブを選択して行います。

● ジョブ チケット (編集)

ジョブキューウィンドウ内のステータスが、「完了」、「停止」、「失敗」の状態にあるジョブに対して、ジョブチケットの編集を行うことができます。編集を行いたいジョブを選択した後、「ジョブチケット」をクリックすると、そのジョブを演算したときのジョブチケットが表示されます。編集を行う項目を変更した後に、「OK」をクリックすることで、編集が終了します。また、この時「再実行」をクリックすると、変更後のジョブチケット設定における再演算を行う事ができます。編集後、ジョブチケット名に (編集済) が追加されます。

この編集機能を用いて変更したジョブチケットは、選択したジョブのみに有効です。この時、元となるジョブチケットは変更されません。

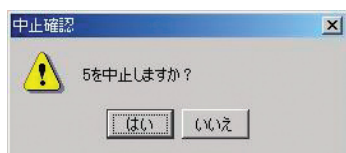
● 再実行

ステータスが「完了」、「失敗」のジョブを再度、演算・出力指示します。「編集」機能と併用することで、異なる設定での再出力を、クライアントから再出力指示を行うことなく、i-ColorQC C-Fit 内のみで行う事ができます。

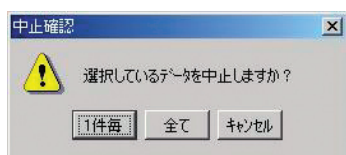
● 中止

現在演算中のジョブで、ステータスが「処理中」、「待機中」、「停止中」の状態にあるジョブを強制的に中止します。

1つのジョブに対して「中止」をクリックすると、以下の画面が表示され「はい」をクリックすることで中止されます。「いいえ」をクリックした場合は、中止処理がキャンセルされます。

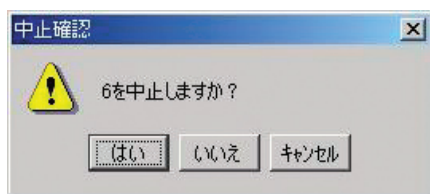


複数のジョブに対して「中止」をクリックすると、以下の画面が表示されます。



「全て」を選択すると、選択した全てのジョブを強制的に中止します。「キャンセル」をクリックすると全てのジョブの中止処理をキャンセルします。

「1 件毎」を選択すると、以下の画面のような、1 件ごとに対する中止確認画面が表示されます。



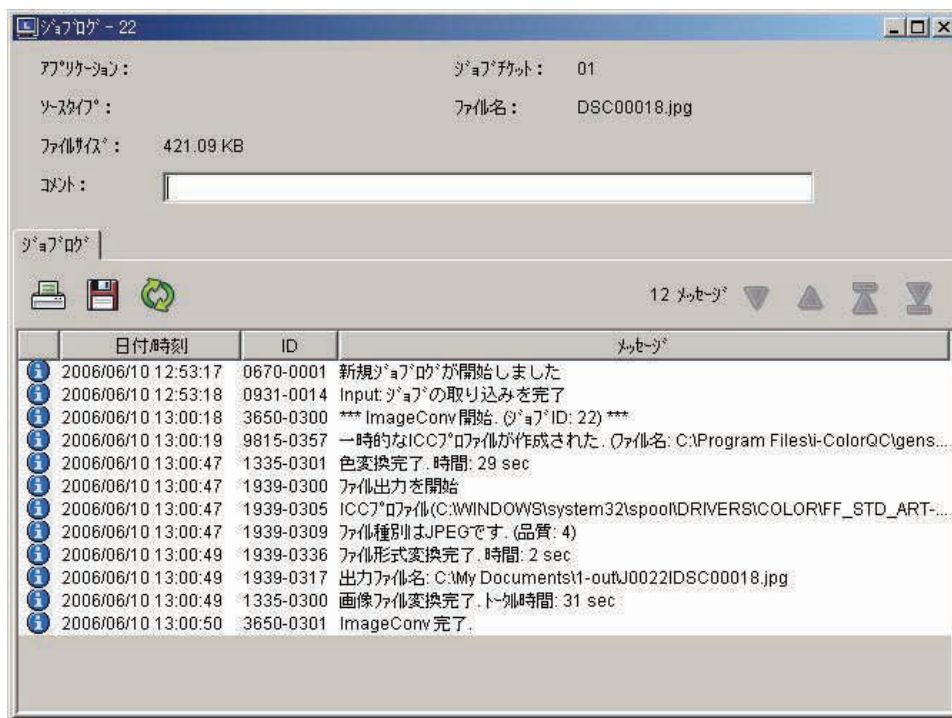
「はい」を選択すると、対象ジョブを強制的に中止し、次の対象ジョブに対する中止確認画面が表示されます。

「いいえ」を選択すると、対象ジョブの中止処理がキャンセルされ、次の対象ジョブに対する中止確認画面が表示されます。「キャンセル」を選択すると、全てのジョブに対する中止処理がキャンセルされます。


● 削除

ジョブキューに残されているジョブで、ステータスが「完了」、「失敗」、「停止」ジョブの状態にあるジョブをジョブキューから削除します。「ジョブの中止」と同様の確認ダイアログが表示されます。

● ジョブログ



処理された、データの詳細情報を表示します。処理中に発生したエラーなども、このウィンドウに表示されます。

- **一時停止・停止解除**  一時停止  停止解除

ステータスが「待機中」のジョブを、処理待ちの状態から外します。ジョブキューの状態表示が「待機」から「停止」に変更されます。処理待ち状態にするには、「停止解除」を選択します。アイコンボタンは、一時停止と停止解除のトグルとなっています。

- **ロック・ロック解除**  ロック  ロック解除

ステータスが「待機中」「失敗」「実行中」「完了」「停止」のジョブを、削除やジョブチケット変更できないようにします。ロック指示したジョブに対しては、ジョブ番号の先頭に鍵マークが表示されます。アイコンボタンは、ロックとロック解除のトグルとなっています。

- **プライオリティ設定**  エクスプレス  通常

待機中のジョブに対し、処理の優先度を設定します。優先度のレベルは、「エクスプレス」と「通常」と設定でき、優先度の高い「エクスプレス」から処理が開始されます。同レベルのジョブにおいては、登録日時の早いジョブから処理が開始されます。

- **Viewer 表示** 

Viewer を起動し、処理結果ファイルを表示します。

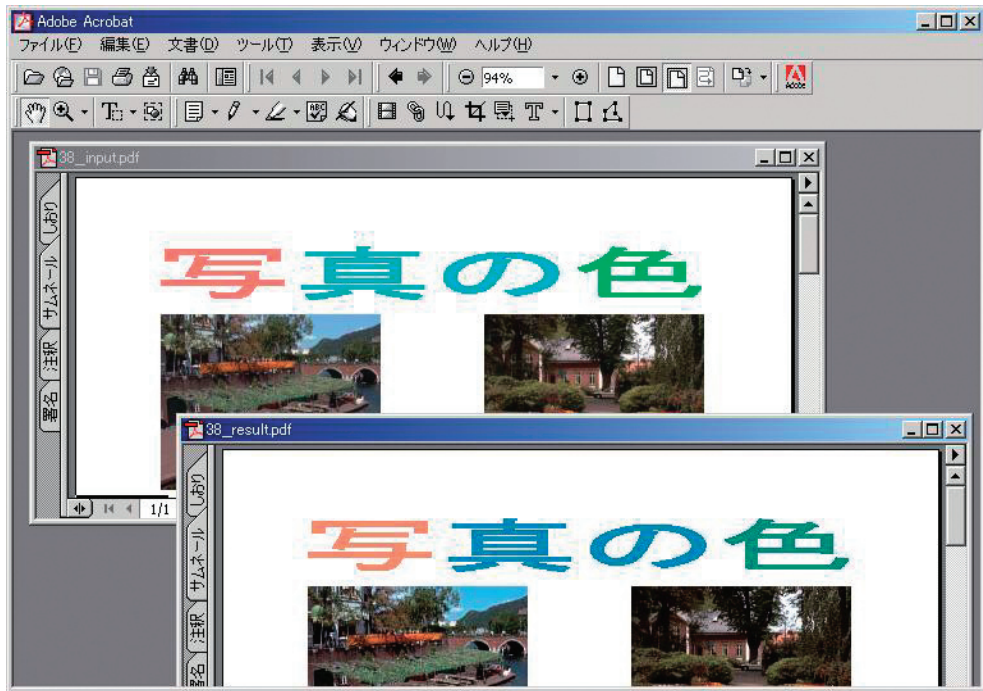


※ 起動させる Viewer は、環境設定画面によって登録しておくことができます。

● Viewer 比較表示



処理前と処理後の比較表示を Viewer を使用して行います。



※ 起動させる Viewer は、環境設定画面によって登録しておくことができます。

3

ジョブキュー表示

1


ジョブリスト表示

ID	ファイル名	優先度	ステージ	ステータス	日時	コメント
68	DSC00023.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
67	DSC00022.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
66	DSC00008.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
65	DSC00021.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
64	DSC00020.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
63	DSC00019.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
62	DSC00018.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
61	DSC00017.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
60	DSC00016.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
59	DSC00015.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
58	DSC00014.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
57	DSC00013.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
56	DSC00012.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
55	DSC00011.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
54	DSC00010.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
53	DSC00009.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
52	DSC00007.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
51	DSC00006.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
50	DSC00005.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
49	DSC00004.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
48	DSC00003.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
47	DSC00002.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	
46	DSC00001.jpg	●	Image	完了	2006/10/11 11:...	

5

出力ジョブの操作

● ロック状態表示

ロック状態を表示します。ロックされているジョブに対しては、が表示されます。ロックされていない場合は、何も表示されません。

● ID

ジョブの番号を表示します。順次増えていきます。

● ファイル名

入力ファイル名を表示します。

● 優先度

ジョブの優先度を表示します。●は、エクスプレス ●●は、通常である事を意味します。

● ステージ

処理中の機能の名称 (Color、Magnify、Convert、Export、PDF-Embed、PDF-Export) が表示されます。

● ステータス

処理の状態を表示します。

● 完了

処理が完了したジョブです。

- 失敗

何らかのエラーのため、処理が終了した場合の表示です。強制停止した場合にもこのステータスになります。

- 待機中

先に処理が行われているジョブが存在するため、処理を待っている状態です。

- 処理中

処理が行われている状態です。

- 停止

処理待ち状態から、一時的に外れた状況を表示します。

- 日時

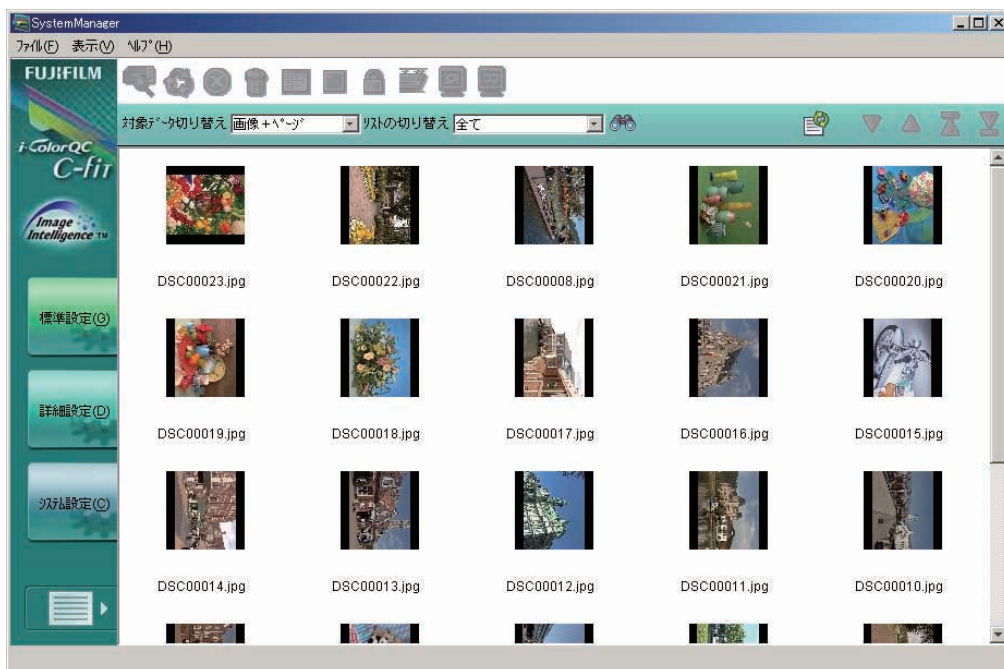
ジョブが入力された日時を表示します。

- コメント

ユーザによって、編集されたコメントを表示します。

2 サムネイル表示


処理済のジョブのみサムネイル表示されます。その他のジョブは、ステータス状態の文字列が表示されます。



- ジョブ名称

ジョブリスト表示時と同様のジョブ名称が表示されます。

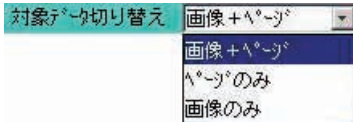
- ロック状態

ロック状態を表示します。ロックされているジョブに対しては、が表示されます。ロックされていない場合は、何も表示されません。

3 その他の表示

● 対象ジョブの切り替え

処理対象データによって、表示対象ジョブの切り替えを行います。



● 画像+ページ

処理対象が、単画像データとページデータであるもの全てを表示します。

※ 「C-Fit ドキュメントライセンス」と「C-Fit イメージライセンス」の両方、または「C-Fit ドキュメントライセンス」と「C-Fit33Image ライセンス」の両方がないと表示されません。

● ページのみ

処理対象が、ページデータのジョブキューのみを表示します。

※ 「C-Fit ドキュメントライセンス」がないと表示されません。

● 画像のみ

単画像データのジョブキューのみを表示します。

※ 「C-Fit イメージライセンス」または「C-Fit33Image ライセンス」がないと表示されません。

● リストの切り替え

ジョブのステータスごとに、表示対象ジョブの切り替えを行います。



● 全て

全てのステータスの表示を行います。

● 完了

完了ジョブのみの表示を行います。

● 未完了

完了、ロック設定、エラー、一時停止、待機中以外のステータスであるジョブの表示を行います。

● ロック設定

ロック設定されているジョブのみの表示を行います。

● エラー

エラージョブのみの表示を行います。

● 一時停止

一時停止中のジョブのみの表示を行います。

●待機中

待機中のジョブのみの表示を行います。

●検索

ジョブの検索を行います。

● 詳細タイトル



ジョブキューリスト表示の際、タイトル表示を切り替えます。

※ サムネイル表示の場合は、この詳細タイトルチェックボックスが表示されません。

● 更新



ジョブキューリスト表示を更新します。

● 次ページ



ジョブキューリスト表示が複数ページあるとき、次ページを表示します。

● 前ページ



ジョブキューリスト表示が複数ページあるとき、前ページを表示します。

● 先頭ページ



ジョブキューリスト表示が複数ページあるとき、先頭ページを表示します。

● 最終ページ



ジョブキューリスト表示が複数ページあるとき、最終ページを表示します。


● ステータスバー

[ID]: 1 [タイプ]: PDF [サイズ]: 0.08MB [ジョブチケット名]: test-2

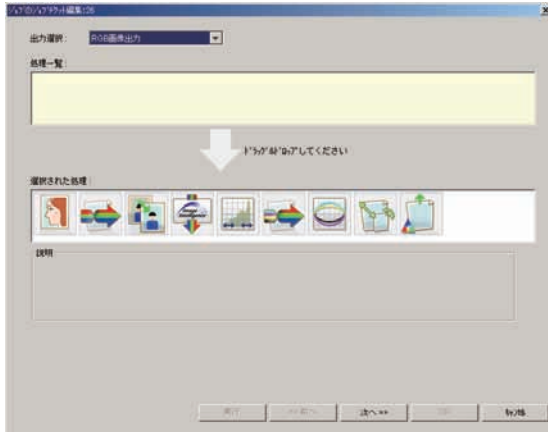
選択されているジョブの詳細情報を表示します。

表示項目は、[ID]、[タイプ]、[サイズ]、[ジョブチケット名]となります。

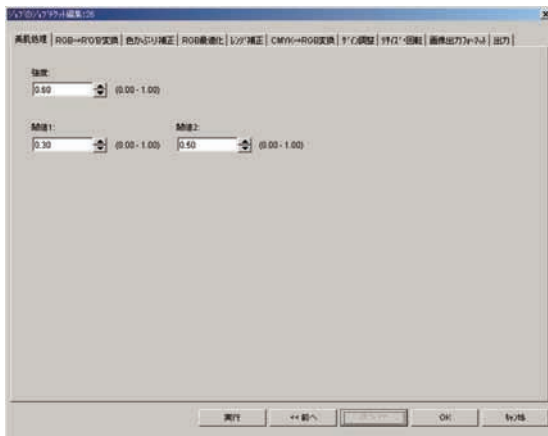
4 ジョブチケット変更

処理中、待機中以外のジョブのジョブチケットを変更 / 再実行します。
ジョブキューウィンドウから、処理中、待機中以外のジョブを1つ選択し、ジョブチケットアイコンボタンを選択するかまたは、選択したジョブをダブルクリックすると、下図の変更画面が起動します。

タイトルは、「ジョブのジョブチケット編集 + 'ID番号」」となります。



ジョブチケット編集画面と違い「入力」タブがありません。
※各タブの設定はジョブチケットの作成方法と同じです。



● 実行ボタン

変更した内容で、再実行を実施します。

● OK


「OK」ボタンをクリックすると、ジョブチケットが変更されます。
ただし、以下の場合はエラーとなりメッセージが表示されます。

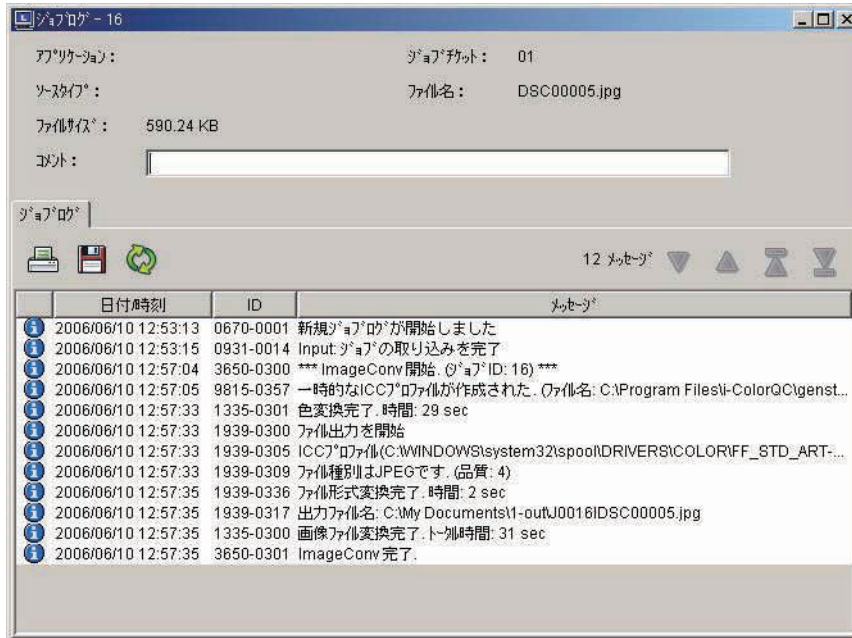
- 「出力設定」タブにて、データ書き出し設定がされた状態で、出力先を指定していない場合
- 停止中のジョブのジョブチケット編集画面にて、「実行」ボタンを指示した場合

● キャンセル

ジョブチケット変更をキャンセルします。

5 ジョブログ表示

ジョブログを表示します。さらに、コメントを追加する事ができます。ジョブを1つ選択し、ジョブ操作ツールバーの  を指示すると、下図のジョブログ表示画面が表示されます。タイトルは、「ジョブログ+ 'ID番号」」となります。



●アプリケーション

データを作成したアプリケーション名を表示します。

●ソースタイプ

データ種別と深さなどを表示します。
<表記例> 単画像 : 「TIFF - RGB」
ページ : 「PDF」

●ファイルサイズ

ファイルのサイズを表示します。

●ジョブチケット

ジョブチケットの名称を表示します。
編集されていたら「'ジョブチケット名' + (編集)」と表示します。

●ファイル名

ファイルのパス名を表示します。

●コメント

ジョブチケットにコメントをつけます。ただし、256バイト以内。
ここで登録したコメントは、ジョブリストで表示されます。

● ジョブログ一覧

ジョブログを一覧表示します。1 ページに表示できるジョブ数は、100 件です。

<項目>

● 日付/時刻： 生成された日付と時刻を表示。表記例「2003/4/10 13:55:40」

● ID： ファイル番号-メッセージの位置番号

● メッセージ： ログメッセージを表示。

※ なお、環境設定画面にて詳細ログ設定されていた場合、下記の項目も追加されます。

● モジュール： 実行系のクラス名

● ファイル名： ソースコードのファイル名

● 印刷

現在表示されているページのログ印刷を指示します。

● 保存

現在表示されているページのログをクライアント上にテキストファイル保存します。

● 更新

最新のログ一覧を表示します。

● メッセージ数

ログの全メッセージ数を表示します。

● 次のページ

次ページを表示します。ログが 1 ページしかない場合または、最終ページを表示していた場合、指示できません。

● 前のページ

前ページを表示します。ログが 1 ページしかない場合または、先頭ページを表示していた場合、指示できません。

● 先頭ページ


先頭ページを表示します。ログが 1 ページしかない場合または、先頭ページを表示していた場合、指示できません。

● 最終ページ

最終ページを表示します。ログが 1 ページしかない場合または、最終ページを表示していた場合、指示できません。

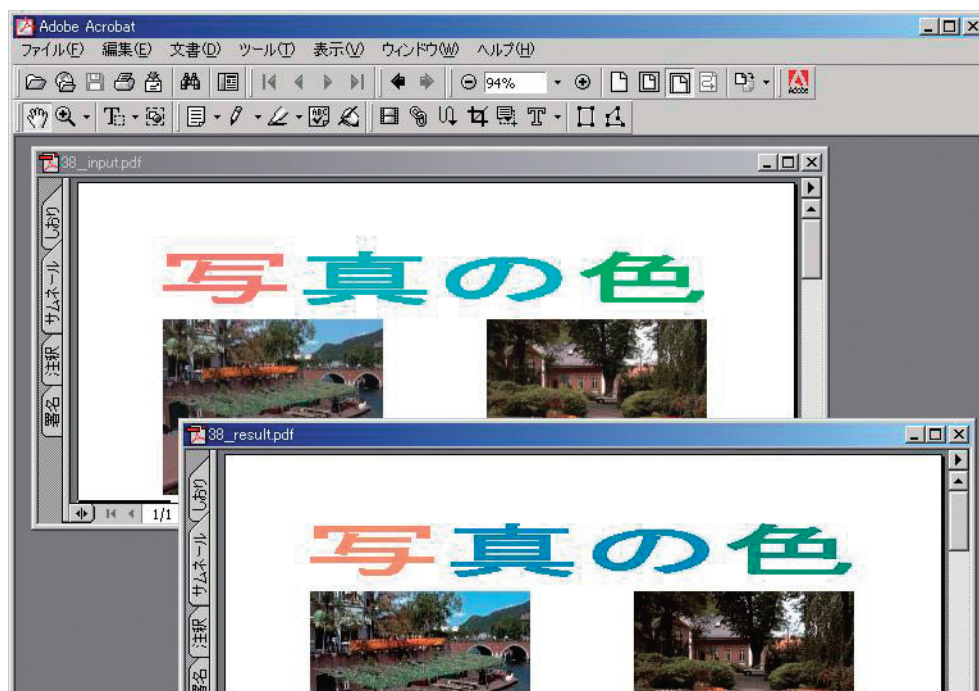
6 画像比較表示

処理前の画像と、処理後の画像の比較表示を行います。

処理完了ジョブを 1 つ選択し、ジョブ操作ツールバーの  を選択すると、環境設定にて設定した Viewer が立ち上がります。

下図は、Adobe Acrobat を Viewer に設定されていることを想定した、比較表示指示後のイメージです。

処理前と処理後の画像が同アプリケーション内に表示されます。



5


出力ジョブの操作

4 検索

ジョブキューの検索を行います。

1 メイン画面の  アイコンボタンをクリックします。

2 検索ウィンドウが表示されます。



ジョブ検索

ジョブ検索項目

日付: 年 / 月 / 日 から 年 / 月 / 日 まで

ファイル名:

コメント:

優先度:

ロック:

未処理ジョブ 処理中ジョブ 待機中ジョブ

完了ジョブ エラージョブ 停止中ジョブ

● 日付

ジョブが登録された日時を条件として範囲を指定して検索できます。整数値で年項目は4バイト、月と日項目は2バイトのみ入力可能です。

● ファイル名

入力した文字列を含んだファイル名を検索します。32バイトまで入力可能です。

● コメント

入力した文字列を含んだコメントを検索します。256バイトまで入力可能です。

● 優先度

優先度を条件として検索します。選択項目は「指定無し」、「通常」、「エクスプレス」です。

● ロック

ロック設定を条件として検索します。選択項目は「指定無し」、「ロック設定」、「ロック設定無し」です。

● 未処理ジョブ

未処理ジョブを検索します。

● 処理中ジョブ

処理中ジョブを検索します。

5

●待機中ジョブ

待機中ジョブを検索します。

●完了ジョブ

完了ジョブを検索します。

●エラージョブ

エラージョブを検索します。

●停止中ジョブ

停止中ジョブを検索します。

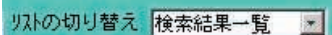
3 各検索項目に条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。

※ 各検索条件は、項目ごとに AND の関係となります。ジョブ名称、コメントについては、同じ項目内で空白を空けることによって OR の関係となります。2 の画面のように初期状態で検索を行った場合は、全てのジョブを検索します。

ただし、以下の場合にはエラーとなりエラーメッセージが表示されます。

● 検索条件に一致するジョブがない場合

4 検索が完了すると、メイン画面に結果一覧が表示されます。この時、リスト切り替えコンボボックスは「検索結果一覧」と表示されます。



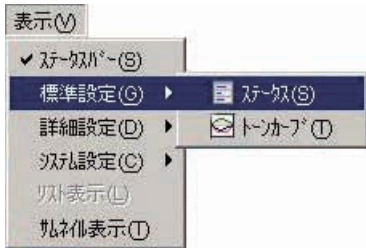
リストの切り替え 検索結果一覧

5

ステータス

ジョブの処理状況を表示します。

- 1 「表示」メニューの「標準設定」から「ステータス」を選択します。



または、「標準設定」ボタンより「ステータス」を選択します。



- 2 「ステータス表示」ウィンドウが表示されます。
(システム構成によって表示が異なります。)





5

●表示

「表示」をクリックすると、ステータス画面に表示する項目を選ぶ事ができます。



●実行中

グリーンアイコンボタン  (緑色) をクリックすると、進行中のジョブを一時停止することができます。停止中は、アイコンボタンが赤色  に変わります。

●Image Trans インジケータ

画像処理状況を表示します。インジケータには、画像処理状態の進捗状況が表示されます。

※ 「C-Fit イメージライセンス」または「C-Fit33Image ライセンス」がないと、表示されません。

●Document Trans インジケータ

ページ色変換処理状況を表示します。インジケータには、ページ処理状態の進捗状況が表示されます。

※ 「C-Fit ドキュメントライセンス」がないと、表示されません。

●ディスクインジケータ

パソコンで使用されているハードディスクの使用容量を表示します。インジケータは、ディスクごとに複数表示され、「表示」メニューでインジケータごとの表示のON/OFFは切り替えることができます。

インジケータ下にはボリューム容量および空き容量が、テキストで表示されます。

6

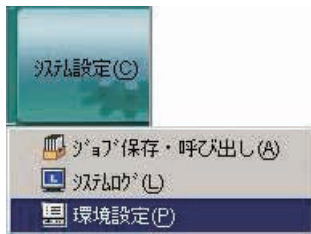
環境設定

環境設定ウィンドウでは、表示設定、パスワード設定、Viewer 設定、クライアント設定、ページ設定、ファイル名設定を行うことができます。

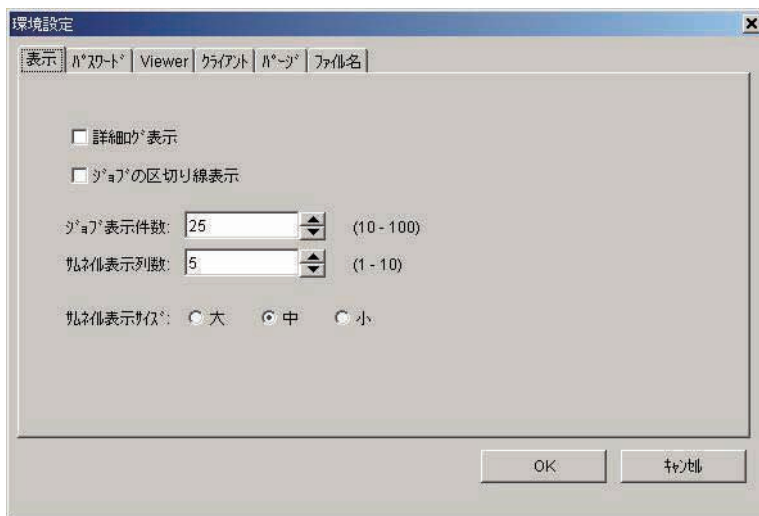
- 1 「表示」メニューの「システム設定」から「環境設定」を選択します。



または、「システム設定」ボタンより「環境設定」を選択します。



- 2 「環境設定」ウィンドウが表示されます。



「環境設定」ウィンドウは「表示」タブ、「パスワード」タブ、「Viewer」タブ、「クライアント」タブ、「ページ」タブ、「ファイル名」タブの6つのタブで構成されます。

5

● OK

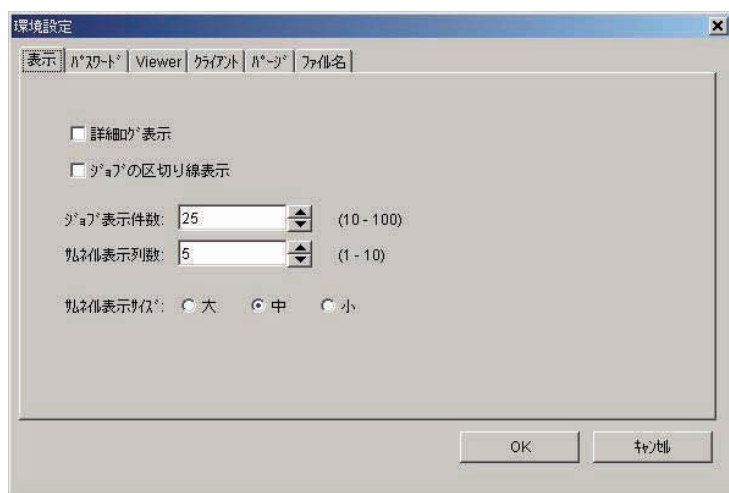
「OK」ボタンをクリックすると、設定した内容で環境設定が保存されます。設定した内容に誤りがある場合はエラーとなり、エラーダイアログが表示されます。そのダイアログを閉じると、エラーが存在するタブが表示されます。エラーが複数存在する場合は、最初のタブが表示されます。

● キャンセル

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定内容を取り消し、環境設定を終了します。

1 表示設定

SystemManager の表示全般に対する設定を行います。
「環境設定」ウィンドウで「表示」タブを選択します。



● 詳細ログ表示

ログを詳しく表示したい場合に使用します。

● ジョブの区切り線表示

ジョブキューリスト表示画面で、区切り線を表示します。

● ジョブ表示件数

ジョブキューリスト表示時に、一画面に表示するジョブ件数を設定します。
スピンボタンで 1 刻みの増減が可能です。

● サムネイル表示列数

ジョブキューサムネイル表示時に、一画面に表示するジョブ列数を設定します。
スピンボタンで 1 刻みの増減が可能です。

● サムネイル表示サイズ

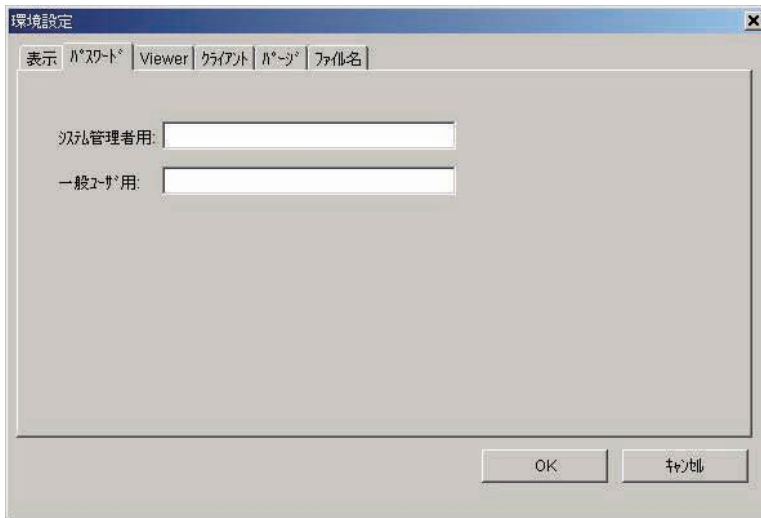
ジョブキューサムネイル表示時の、サムネイルのサイズを設定します。

以下の状態で「OK」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示され、登録できません。

- リスト表示ジョブ数とサムネイル表示列数のどちらか一方が未記入の場合
- リスト表示件数が 10 ~ 100 以外の数値が入力されている場合
- サムネイル表示列数が 1 ~ 10 以外の数値が入力されている場合

2 パスワード設定

ログイン時のパスワードを設定します。
「環境設定」ウィンドウの「パスワード」タブを選択します。



● システム管理者用

システム管理者としてログインする場合に必要なパスワードを設定します。
32 バイトまで入力可能です。

● 一般ユーザ用

一般ユーザとしてログインする場合に必要なパスワードを設定します。
32 バイトまで入力可能です。

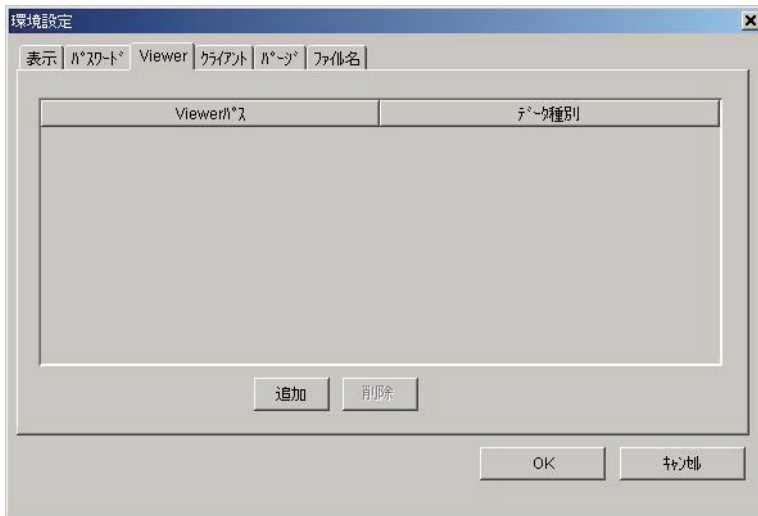
注：各パスワードを変更し、環境設定ウィンドウの OK を押した場合、パスワード確認画面が表示されます。
再度、変更後のパスワードを記入することで変更完了となります。

システム管理者用、一般ユーザ用の両方が変更された場合は、連絡してパスワード確認画面が表示されます。

変更後のパスワードが異なっていた場合はエラーメッセージが表示され、登録できません。

3 Viewer 設定

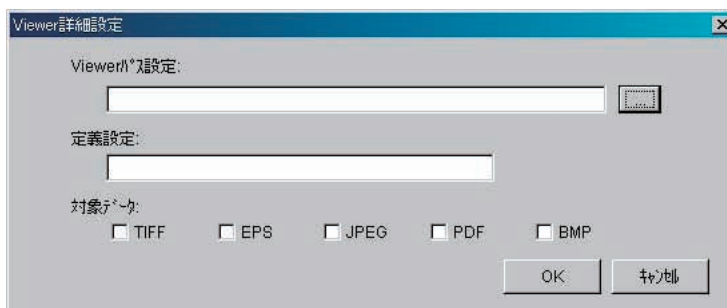
Viewer として起動させるアプリケーションの設定を行います。
「環境設定」ウィンドウの「Viewer」タブを選択します。



- **Viewer パス**
設定された Viewer のパスが表示されます。
- **データ種別**
対象データの種別が表示されます。
- **追加**
Viewer を新規に登録します。
「Viewer 詳細設定」ウィンドウが表示されます。
- **削除**
登録された Viewer を削除します。
データが選択されたときのみ使用できます。

1 パスの追加方法

- 1 「Viewer」設定タブを選択し、「追加」ボタンをクリックします。
- 2 「Viewer 詳細設定」ウィンドウが表示されます。



● Viewer パス設定

Viewer のパスを設定します。
「参照」ボタンをクリックして Viewer のパスを指定します。
直接パスを記入することはできません。

● 定義設定

画像を指定して起動させる際のテンプレート定義を設定します。

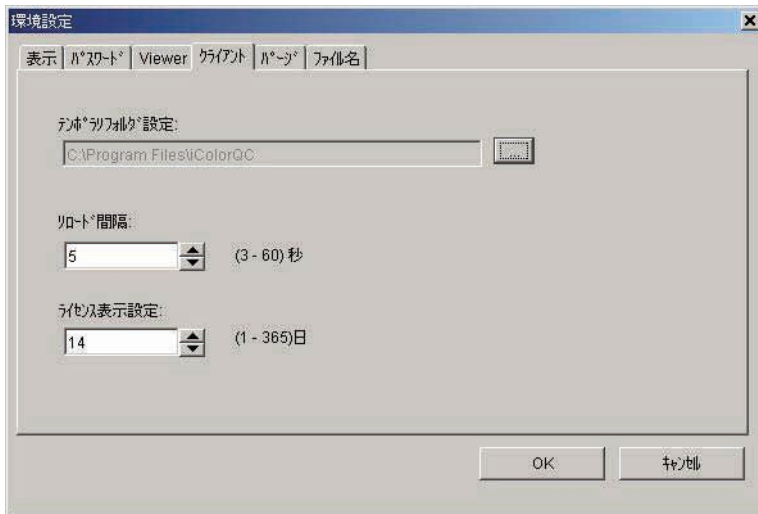
● 対象データ

Viewer を起動させる際の対象フォーマットを設定します。
すでに他の Viewer にて設定されている場合は選択できません。

- 3 Viewer パス設定の「参照」ボタンをクリックし、起動させたいアプリケーションを選択します。その他、定義と対象データを選択し、「OK」ボタンをクリックします。
- 4 Viewer リストに新たに追加されます。
※ 定義設定には、Viewer アプリケーションに画像ファイルを指定する場合のパラメータを指定します。
例えば AAA.exe というアプリケーションにファイルを指定して起動する場合、以下のコマンドを指定したとします。
AAA.exe -f ファイル名
このような場合は、定義設定には -f を入力する必要があります。

4 クライアント設定

クライアント上に、テンポラリフォルダとリロード間隔を設定します。
「環境設定」ウィンドウの「クライアント」タブを選択します。



● テンポラリフォルダ設定

クライアント上のワークフォルダを設定します。
「参照」ボタンをクリックし、フォルダ選択画面から選択します。フォルダを新規に作成することもできます。

● リロード間隔

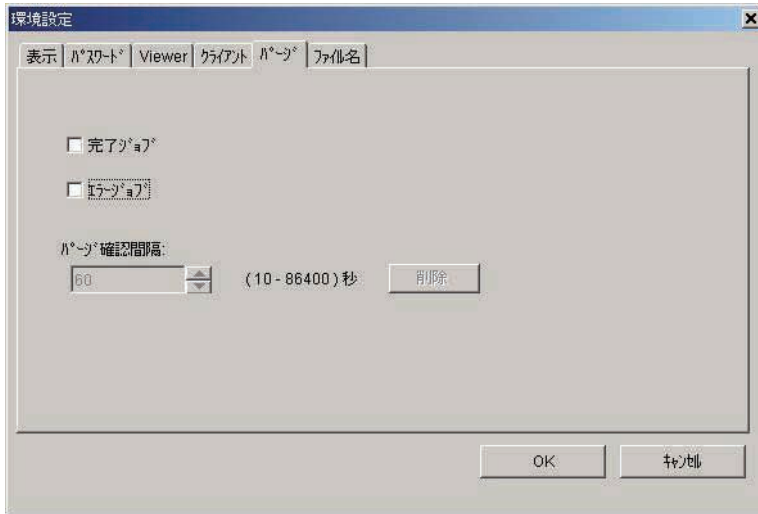
ジョブキュー表示のリロード間隔を設定します。
3秒～60秒の整数が入力可能です。
スピンドラムで1秒刻みでの増減が可能です。

● ライセンス表示設定

ソフトウェア起動時に表示されるライセンス表示の日数を設定します。

5 パージ設定

完了ジョブ、エラージョブについてパージを設定します。「環境設定」ウィンドウの「パージ」タブを選択します。



● 完了ジョブ

完了ジョブ

完了ジョブをパージする場合に選択します。

● エラージョブ

エラージョブ

エラージョブをパージする場合に選択します。

● パージ確認間隔

パージ確認間隔:
60 (10 - 86400) 秒

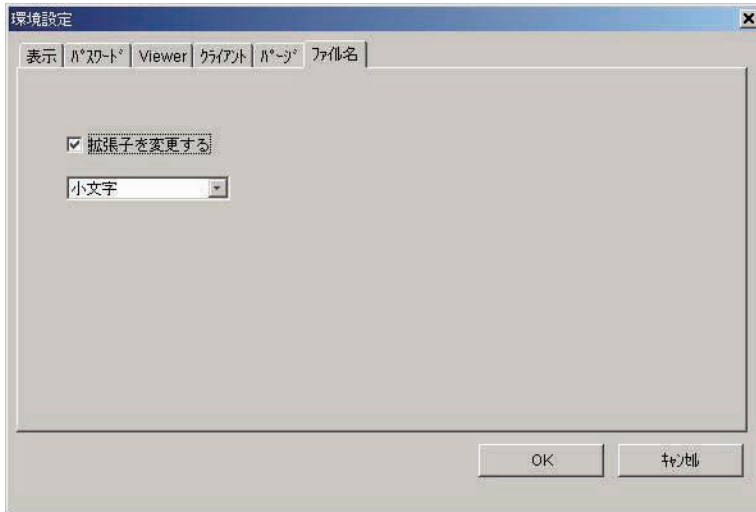
「完了ジョブ」または「エラージョブ」のパージ設定が選択された場合、ページ確認間隔を秒数で設定します。

● 「削除」ボタン

パージジョブデータが存在する場合、「削除」ボタンが有効となります。「削除」ボタンをクリックすると、メイン画面のリスト上からパージジョブデータが削除されます。

6 ファイル名

出力ファイル名の拡張子の設定を行います。
「環境設定」ウィンドウの「ファイル名」タブを選択します。



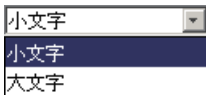
● 拡張子を変更する

拡張子を変更する

チェックマークを入れると、出力ファイルのファイル形式に応じた拡張子に変更します。

● サイズ

拡張子を、大文字にするか小文字にするかをメニューより選択します。



7

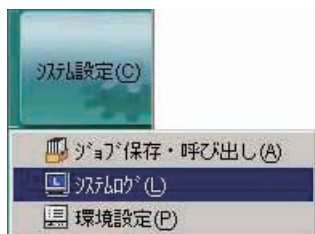
システムログ

システム全体の処理状況をリアルタイムで表示します。

- 1 「表示」メニューの「システム設定」から「システムログ」を選択します。



または、「システム設定」ボタンより「システムログ」を選択します。



- 2 「システムログ」ウィンドウが表示されます。



5

● **印刷** 

現在表示されている一画面分のログを印刷します。


● **ログ保存** 

現在表示されている一画面分のログをファイルに保存します。

● **更新** 


最新のログ一覧に更新します。

● **リストアイコン**

 は、処理内容を表示しています。

 は、注意を表示していますが、通常処理は継続して行われています。





 は、警告を表示していますが、通常処理は継続して行われています。

 は、致命的なエラー内容を表示します。通常、処理は「失敗」になります。

● **メッセージ数表示、ページ切り替えアイコンボタン**



画面の右上には、全メッセージ数とページ切り替えアイコンボタンがあります。

 は次のページへ、 は前のページへ、 は先頭ページへ、 は最終ページへ、各アイコンボタンをクリックすると切り替わります。

8

ジョブ保存・呼び出し

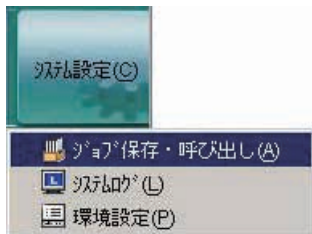
ジョブキューに溜められているジョブのデータを、別のメディアにコピーや移動して保存するためのツールです。

Archiverの対象となるジョブデータは「スプールファイル」「ジョブログ」「ジョブチケットの設定」「RIP 展開後のファイル」「出力用の PDF ファイル」「TIFF」があります。保存時には圧縮することも可能です。

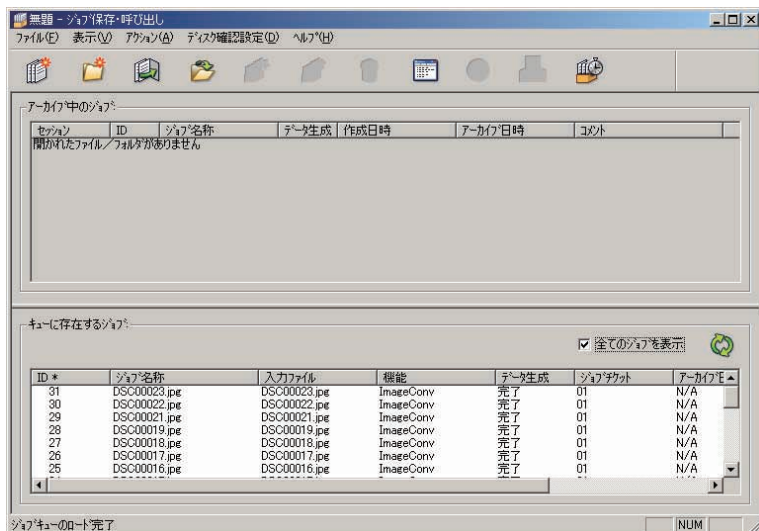
- 1 「表示」メニューの「システム設定」より「ジョブ保存・呼び出し」を選択します。



または「システム設定」ボタンより「ジョブ保存・呼び出し」を選択します。



- 2 「ジョブ保存・呼び出し」ウィンドウが表示されます。

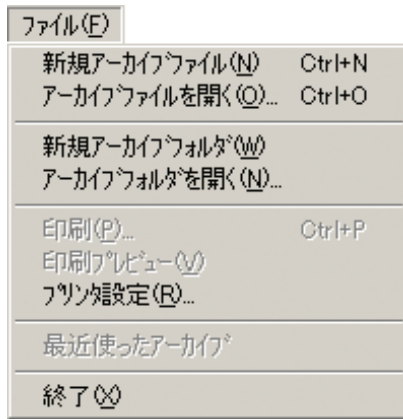


5

1 メニューバー

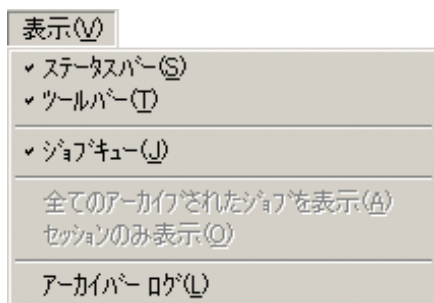
「ジョブ保存・呼び出し」ウィンドウのメニューは以下のとおりです。

● ファイルメニュー



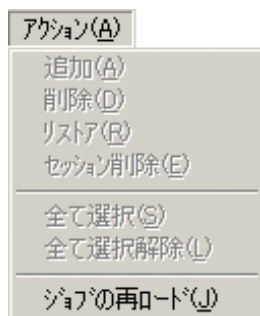
- 新規アーカイブファイル
新規にアーカイブファイルを作成します。
- アーカイブファイルを開く
アーカイブファイルを開きます。
- 新規アーカイブフォルダ
新規にアーカイブフォルダを作成します。
- アーカイブフォルダを開く
アーカイブフォルダを開きます。
- プリント設定
プリンタの設定を行います。
- 終了
アーカイバーを終了します。

● 表示メニュー



- ステータスバー
ステータスバーの表示／非表示を選択します。
- ツールバー
ツールバーの表示／非表示を選択します。
- ジョブキュー
ジョブキューの表示／非表示を選択します。
- アーカイブ ログ
「アーカイブ ログ」ウィンドウを表示します。

● アクション



- ジョブの再ロード
ジョブリストのジョブキューを再読み込みします。

● ディスク確認設定

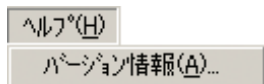
ディスク確認設定 (D)



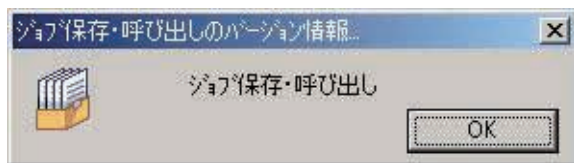
「ディスク空き容量の確認の指定」ウィンドウを開きます。



- ヘルプ



- バージョン情報表示
「バージョン情報」ウィンドウを表示します。



2 ツールバー

「ジョブ保存・呼び出し」ウィンドウのツールバーは以下のとおりです。



新しくアーカイブファイルを作成します。



新しくアーカイブフォルダを作成します。



既存のアーカイブファイルを開きます。



既存のアーカイブフォルダを開きます。



ジョブをアーカイブに追加します。



選択されたジョブを RIP サーバにリストアします。



選択されたジョブをアーカイブから削除します。



アーカイブバーログを開きます。



ジョブのアーカイブ／リストアを中止します。



現在のドキュメントを印刷します。



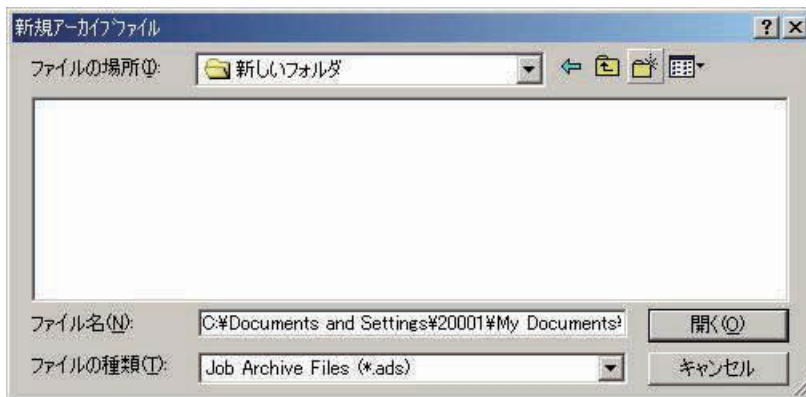
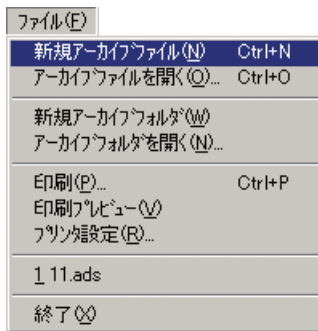
スケジュール予約タスクの新規作成、修正、削除を行います。

3 データの保存

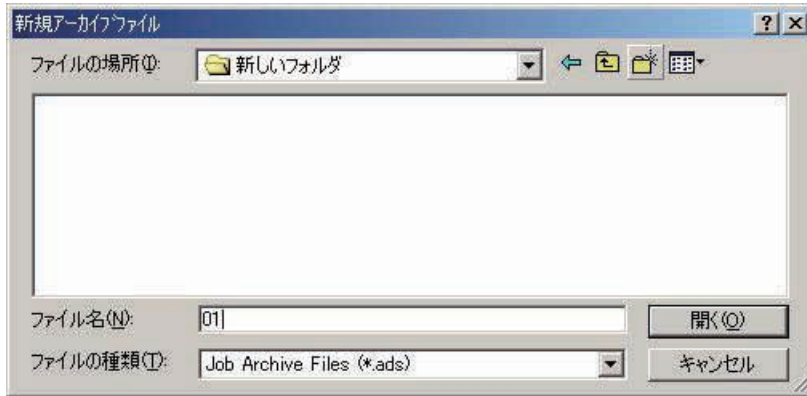
データの保存方法には、ファイルアーカイブとフォルダアーカイブの二つがあります。ファイルアーカイブは一つのファイルの中にセッションを分けて保存する方法で、ファイル自体が一つだけなので管理が容易です。しかし、アーカイブファイルのサイズが保存メディアの容量をオーバーしてしまう場合分割できないことや、後から変更を加えたい場合、ファイルをエディタで開いて編集しなければならないなど、応用が利きません。そこで、先のように後から編集したい場合や、サイズが大きくなってしまう場合などにはフォルダアーカイブを行います。

フォルダアーカイブは、セッションごとにフォルダが作られるため、後からいらなくなったセッションを削除することも容易で、また分割も簡単にできます。

- 1 「ファイル」メニューより「新規アーカイブファイル」を選択します。



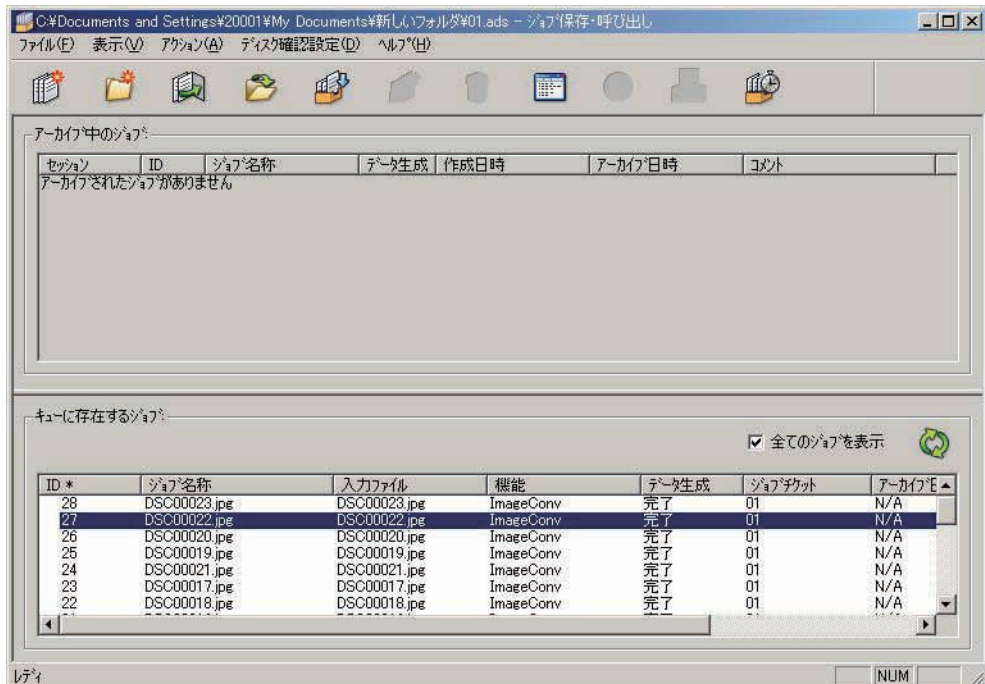
- 2 「ファイルの場所」に保存先のメディアを選択し、「ファイル（フォルダ）名」にアーカイブファイル（フォルダ）名称を入力します。
ファイル（フォルダ）名には、「××印刷様」などと入力します。



注


Archive が可能なメディアは、Windows2000 ボリュームとしてマウント可能なメディアに限定されます。

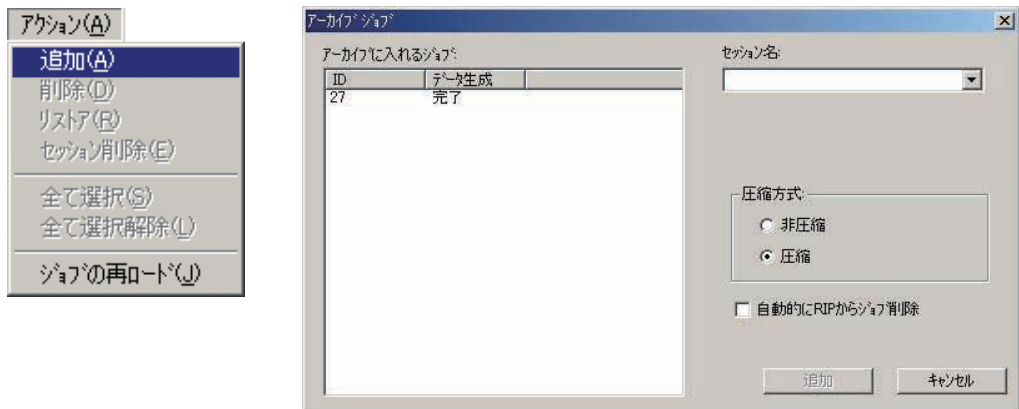
- 3 「開く」をクリックします。
- 4 ウィンドウの下部に表示されている「サーバ中のジョブ」リストより、保存したいジョブを選択します。「Shift」キー、「Ctrl」キーを使用し、複数選択することもできます。



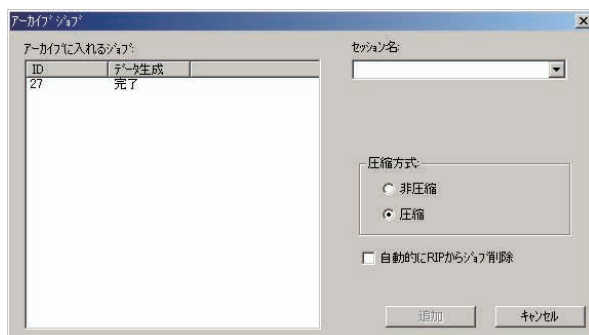
5

出力ジョブの操作

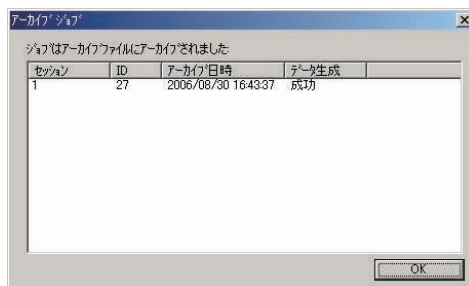
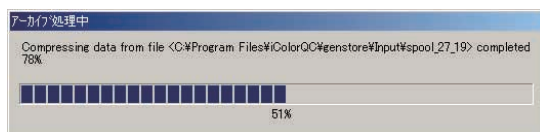
- 5 「アクション」メニューより、「追加」を選択するか、ツールバーの  「追加」アイコンをクリックします。以下の「アーカイブジョブ」ウィンドウが表示されます。




- 6 セッション名を任意に入力し、保存時のデータに対する「非圧縮／圧縮」の設定を行います。
また、アーカイブ選択したデータを、アーカイブ完了後にRIPのジョブキューから削除したい場合には、「自動的にRIPからジョブ削除」をチェックします。
セッション名には日付やジョブ内容の分かる名称を入力します。

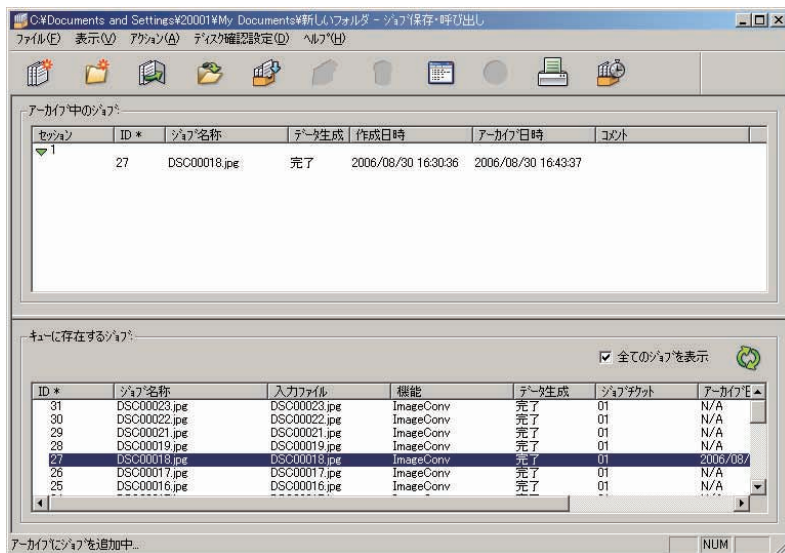


- 7 「追加」ボタンをクリックすると、アーカイブの作業が開始されます。



途中で中止したい場合は、ツールバーの  (中止) をクリックします。

8 「OK」 をクリックします。

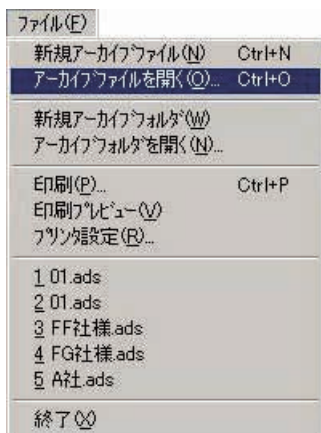


5

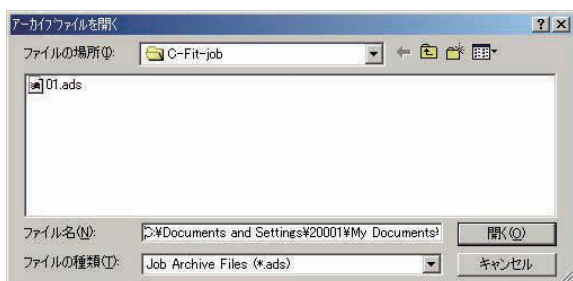
出力ジョブの操作

4 既存のアーカイブフォルダ・ファイルに追加してアーカイブする場合

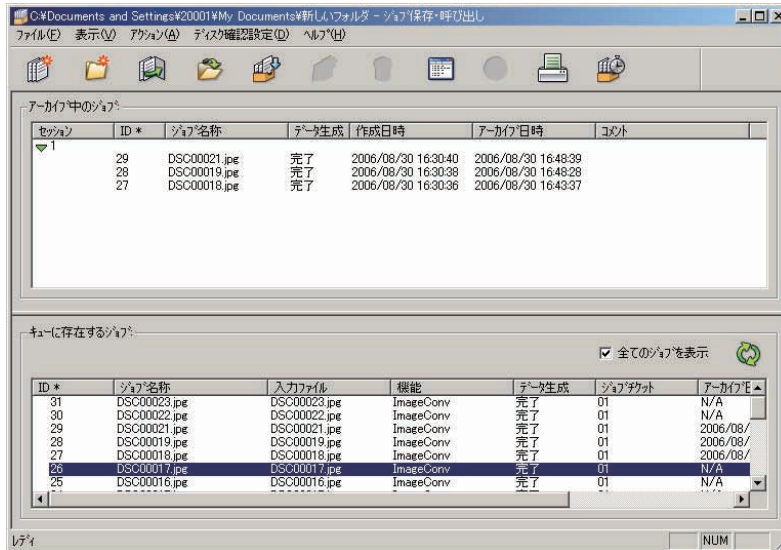
1 「ファイル」メニューより「アーカイブファイルを開く」を選択します。



2 「ファイル (フォルダ) 名」にアーカイブファイル (フォルダ) 名を入力し、「開く」をクリックします。



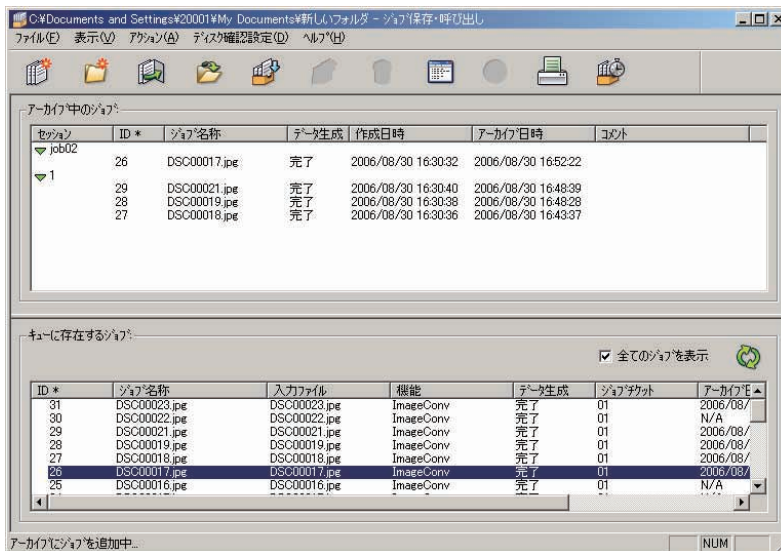
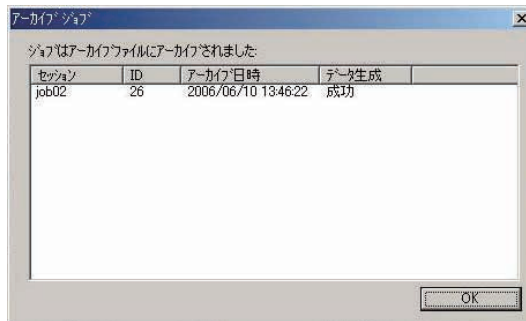
- 3 ウィンドウ上部の「アーカイブ中のジョブ」リストに、アーカイブファイル（フォルダ）に保存されているジョブの一覧が表示されます。



- 4 ウィンドウの下部に表示されている「サーバー中のジョブ」リストからアーカイブしたいファイルを選択し、追加を実行すると「アーカイブジョブ」ウィンドウが表示されます。

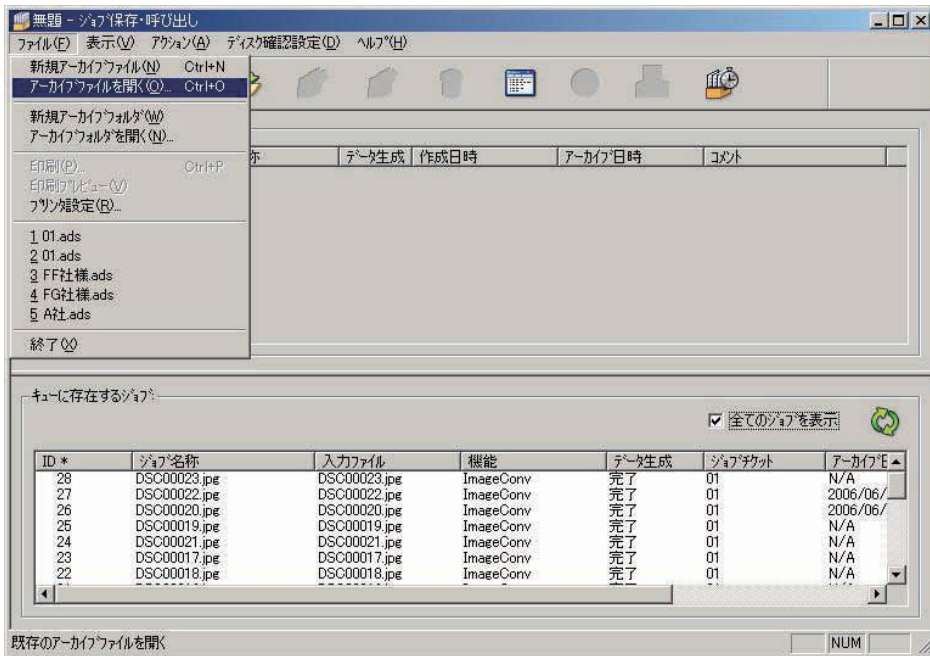


- 5 セッション名は、新しい名称を入力すると新たにセッションが加わりその下にアーカイブされます。また、セッション名にすでにあるものを選択すると、そのセッションの下にアーカイブされます。

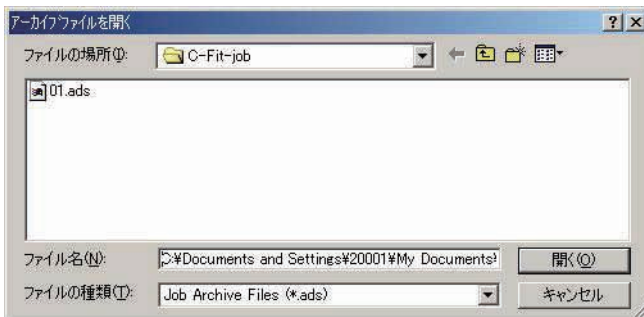


5 データのリストア方法

1 「ファイル」メニューより「アーカイブファイル（フォルダ）を開く」を選択します。

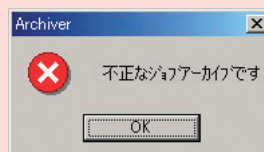


2 リストアを行うアーカイブファイル (xxxx.ads) (フォルダ) を選択します。



注

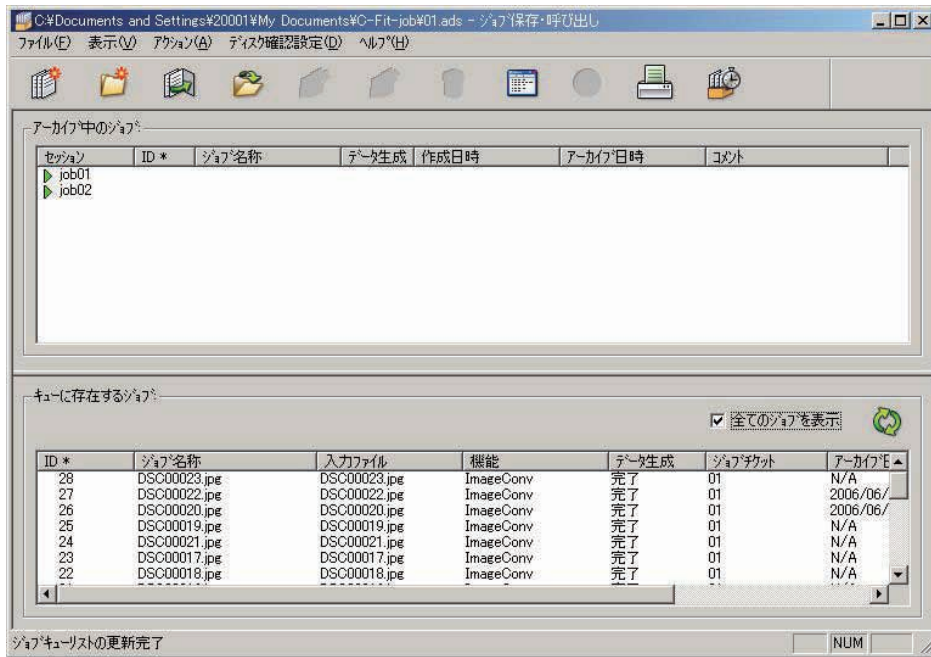
ここで選択できるのは、「アーカイブファイルを開く」の場合は「アーカイブファイル」によってアーカイブされて作られた xxx.ads ファイルのみです。同様に、「アーカイブフォルダを開く」の場合は「アーカイブフォルダ」によってアーカイブされて作られたフォルダのみです。「アーカイブフォルダ」によってアーカイブすると、フォルダの中に xxx.ads ファイルができますが、この xxx.ads ファイルは「アーカイブファイルを開く」で選択すると下図のようなエラーが出力され、選択できません。



5

出力ジョブの操作

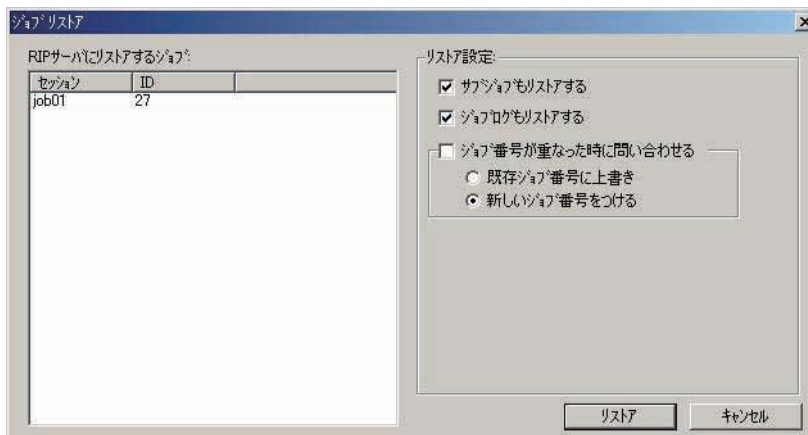
- 3 ウィンドウ上部の「アーカイブ中のジョブ」リストに、アーカイブファイル（フォルダ）に保存されているジョブの一覧が表示されます。



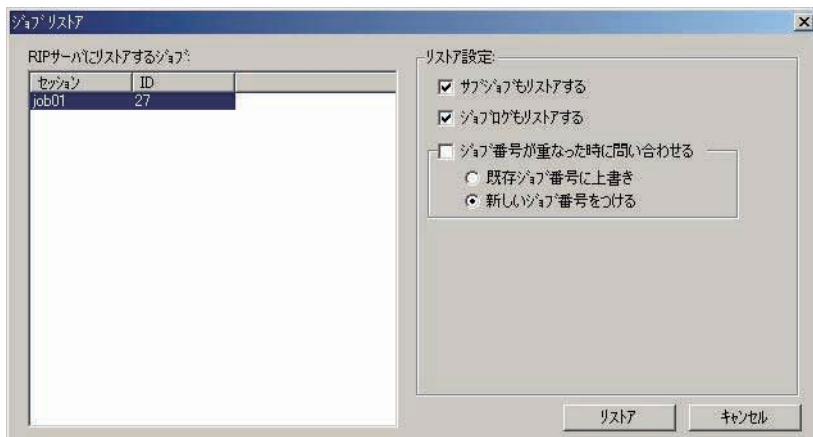
- 4 リストアを行うファイル名称を選択し、「アクション」メニューより「リストア」を選択します。



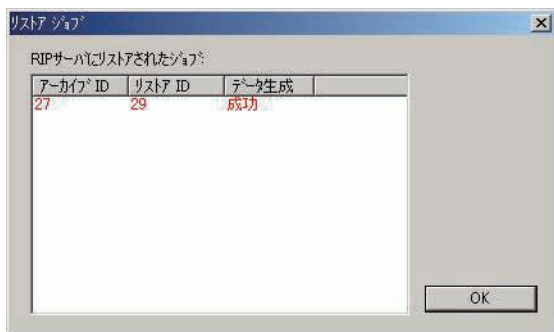
以下のジョブリストアウィンドウが表示されます。



- 5 サブジョブを同時にリストアする場合には、「サブジョブもリストアする」を、ジョブログも同時にリストアする場合には、「ジョブログもリストアする」を選択します。



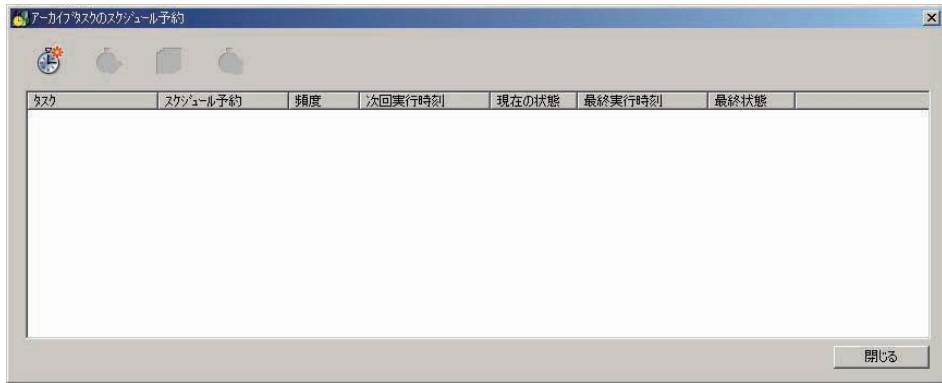
- 6 設定完了後、「リストア」をクリックします。



- 7 ジョブの ID 番号が、ジョブキュー内にすでに存在する場合には、「既存のジョブを上書き」「新しいジョブ番号でリストア」のいずれかを選択してください。

6 新規予約アーカイブ

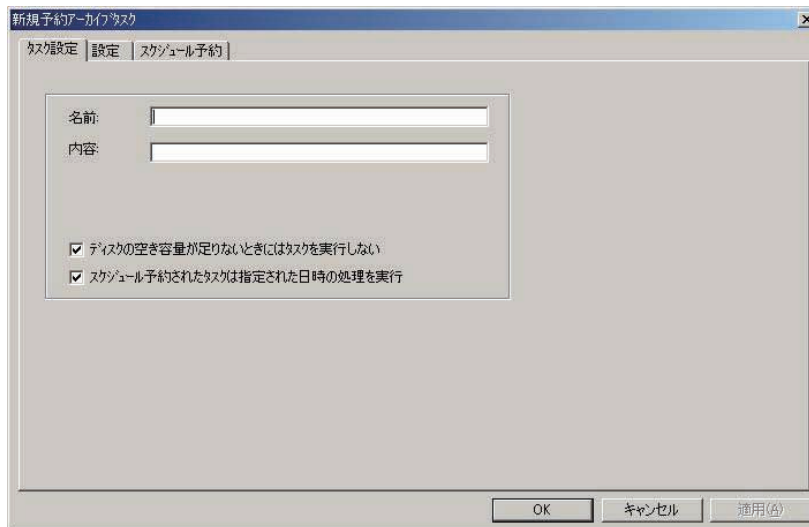
- 1 「ジョブ保存・呼び出し」画面より  「スケジューラ」アイコンをクリックし、アーカイブタスクの予約スケジュール画面を開きます。



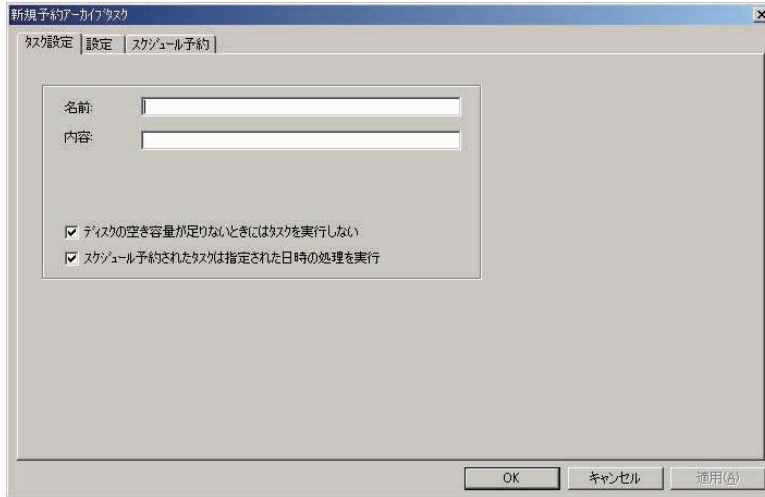
- 2 ツールバーから「新規予約アーカイブ」を選択します。



「新規予約アーカイブタスク」ウィンドウが表示されます。



■ タスク設定タブ



● 名前

任意のアーカイブの名称を登録します。

● 内容

アーカイブの内容を記載します。

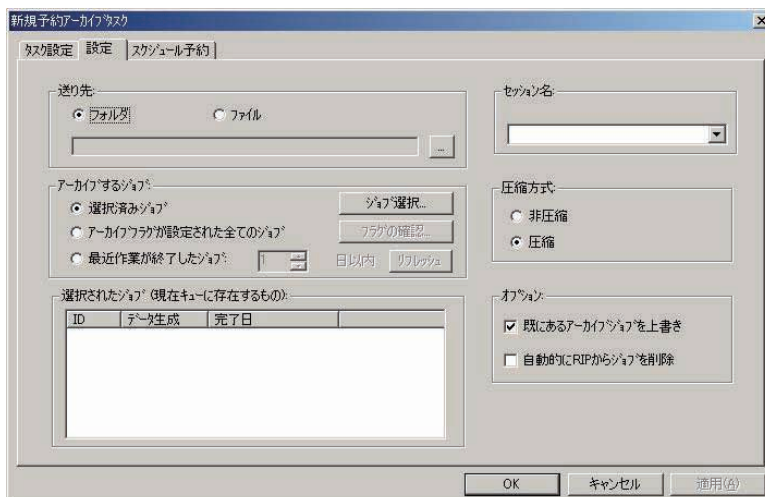
● ディスクの空き容量が足りないときにはタスクを実行しない

アーカイブの保存先ディスクの空き容量が無い場合には、処理を実行しない場合を選択します。

● スケジュール予約されたタスクは指定された日時の処理を実行

下記のスケジュール指定に従ってアーカイブ処理を実行する場合に選択します。

■ 設定タブ



● 送り先

データの保存先を選択します。ディレクトリを指定して、任意の「フォルダ」または、「アーカイブファイル」を選択してください。

● アーカイブするジョブ

アーカイブの対象ファイルを設定します。

選択済みジョブ：

アーカイバで選択したジョブをアーカイブする場合に選択します。ジョブの選択は、「ジョブの選択」ボタンをクリックして指定してください。

アーカイブフラグが設定された全てのジョブ：

ジョブチケット - ワークフロータブで、「自動アーカイブ」を選択したジョブチケットで処理したジョブをアーカイブする場合に選択します。

対象ジョブリストの確認を行う場合には、「フラグの確認」ボタンをクリックします。

ジョブプロパティで指定されていないジョブであっても「フラグの確認」画面から指定することもできます。

最近作業が終了したジョブ：

ジョブチケットの指定に関わらず、指定期間内に処理したジョブを全てアーカイブ処理します。

最新の設定を行う場合には、「リフレッシュ」をクリックします。

● 選択されたジョブ

アーカイブする指定の行われたジョブのリストが表示されます。

● セッション名

アーカイブのセッション名称（任意の名称）を選択、または登録します。

● 圧縮方式

アーカイブ時に圧縮をするかの選択をします。

● オプション

既にあるアーカイブジョブを上書き：

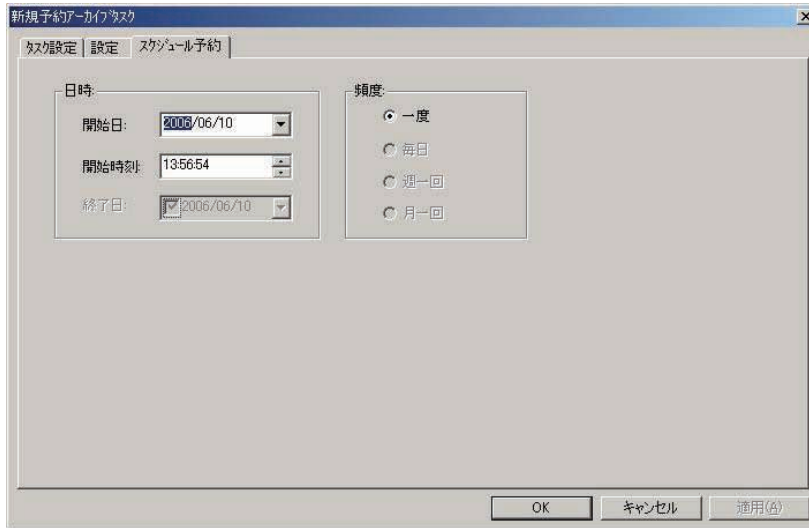
すでに保存済みのアーカイブファイルを上書きして保存する場合に選択します。

自動的に RIP からジョブを削除：

アーカイブ後にアーカイブが終了したジョブをシステムから削除する場合に選択します。（ジョブキューからも削除されます）

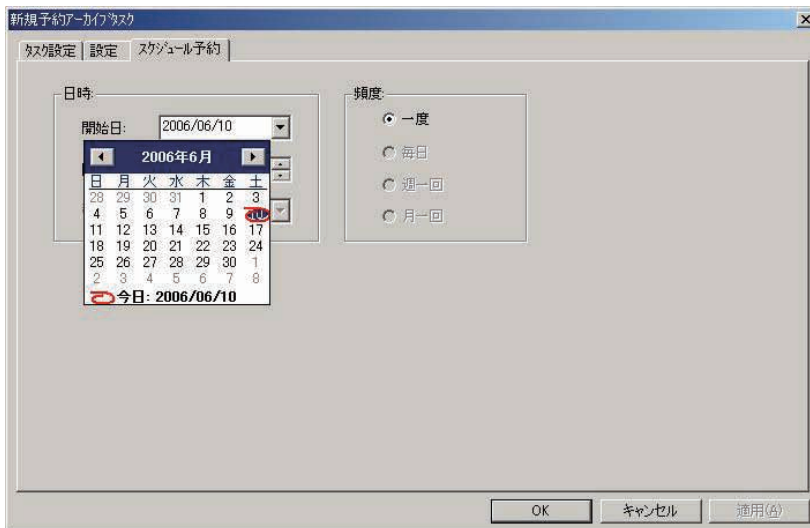
■ スケジュール予約タブ

アーカイブタスクを実行する時刻設定を行います。



● 日時

タスクを開始する日時を設定します。開始日・終了日をクリックすると以下のカレンダーが表示されます。



● 頻度

タスクを実行する頻度を設定します。

7 新規予約リストア

ツールバーから「新規予約リストア」を選択すると「新規予約リストア」画面が開きます。

■ タスク設定タブ

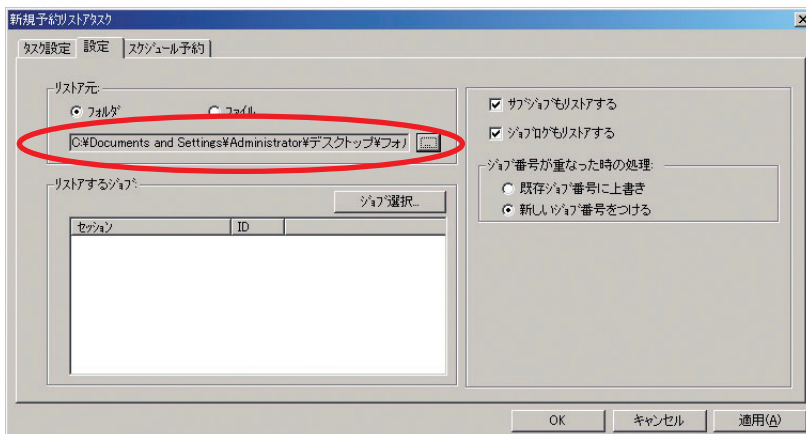
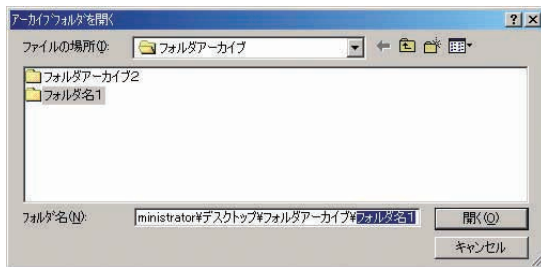
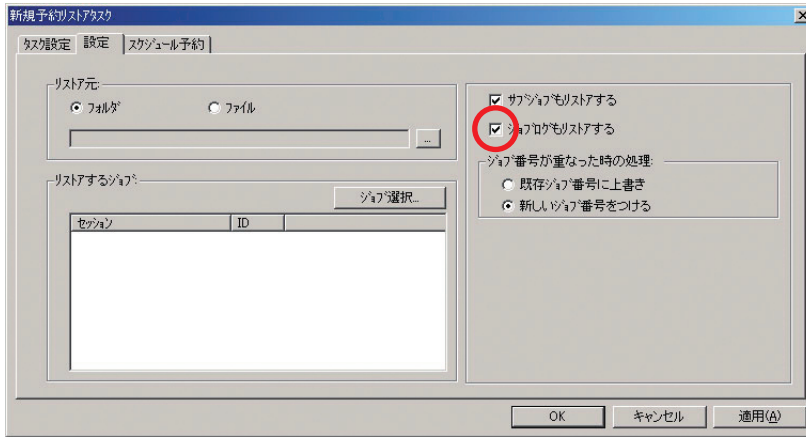
The screenshot shows a dialog box titled '新規予約リストア' (New Reservation List) with a close button (X) in the top right corner. The 'タスク設定' (Task Settings) tab is selected, and the 'スケジュール予約' (Schedule Reservation) sub-tab is also visible. The dialog contains two text input fields: '名前' (Name) and '内容' (Content). Below these fields are two checked checkboxes: 'ディスクの空き容量が足りないときはタスクを実行しない' (Do not execute task when disk free space is insufficient) and 'スケジュール予約されたタスクは指定された日時の処理を実行' (Execute task at specified time when scheduled). At the bottom, there are three buttons: 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '適用(Alt)' (Apply).

- **名前**
任意のリストアの名称を登録します。
- **内容**
リストアの内容を記載します。
- **ディスクの空き容量が足りないときにはタスクを実行しない**
リストア先のディスク空き容量が無い場合には処理を実行しない時に選択します。
- **スケジュール予約されたタスクは指定された日時の処理を実行**
下記のスケジュール指定に従ってリストア処理を実行する場合に選択します。
- **プリンタ設定**
プリンタの設定を行います。
- **終了**
アーカイバーを終了します。

■ 設定タブ

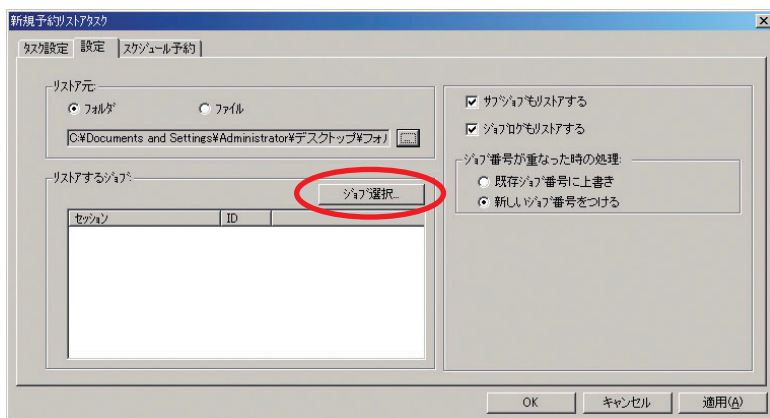
● リストア先

「ファイル」あるいは「フォルダ」を指定し、リストアするアーカイブファイル（フォルダ）を選択します。

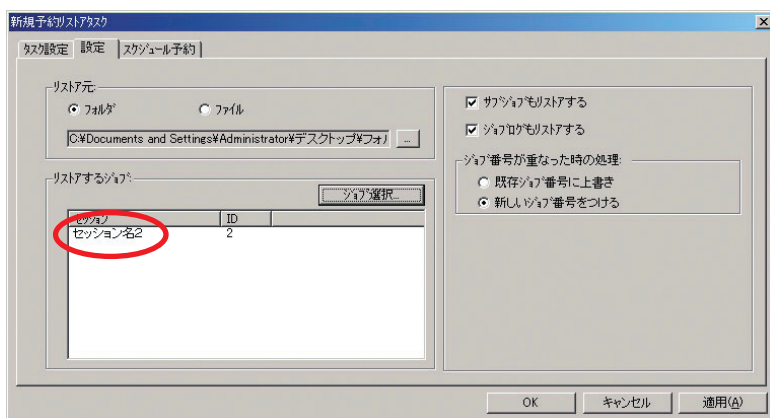
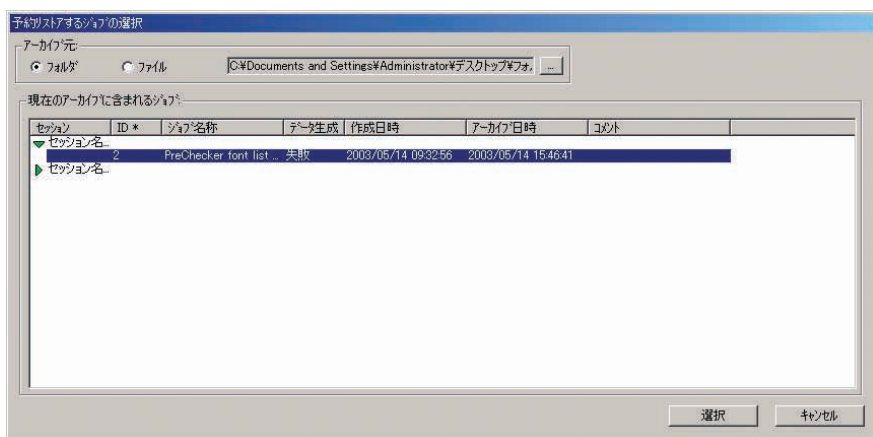


● リストアするジョブ

上でリストア元を選択した後、「ジョブ選択」ボタンをクリックし、そのファイル（フォルダ）の中でリストアするジョブを選択します。



リストアするジョブを選択します。



■ スケジュール予約タブ

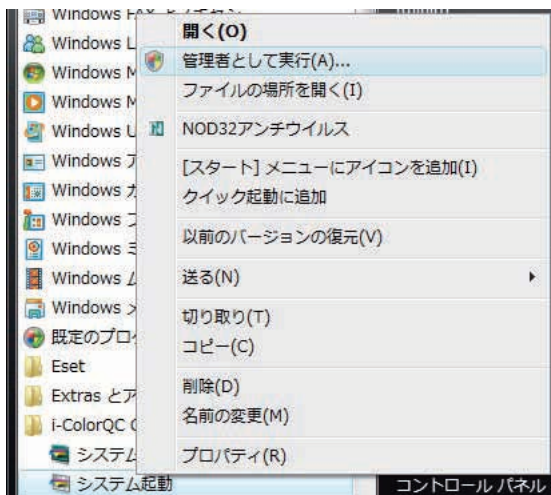
- **日時**
タスクを開始する時刻を設定します。開始日・終了日をクリックするとカレンダーが表示されます。
- **頻度**
タスクを実行する頻度を設定します。

第6章
サービス・
メンテナンス

注

Windows Vista/Windows 7 使用時に、サービスおよびメンテナンスメニューの各機能を実行する場合は、UAC を OFF にすることをお勧めします。ON にしている場合は、以下の補足手順を実行する必要があります。

補足手順: 「スタート」メニューから「i-Color QC C-Fit」を開き、「システム起動」をマウスで右クリックして、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。



6

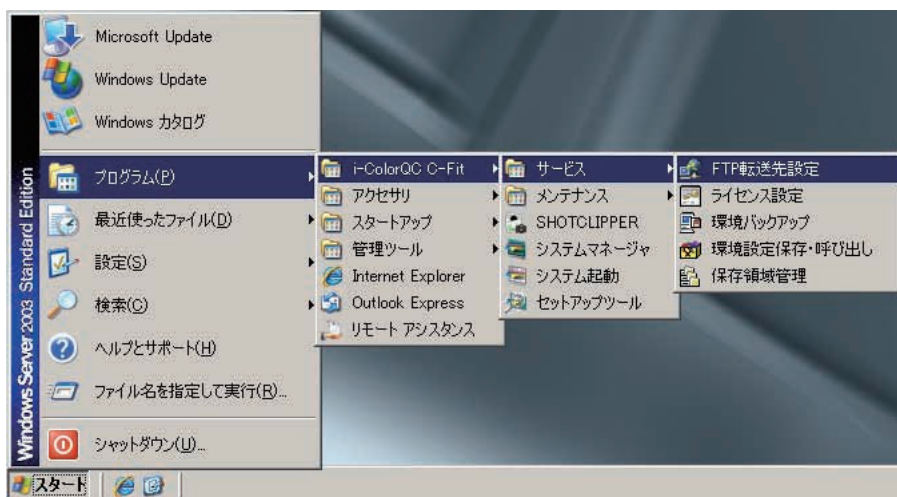
サービス・メンテナンス

1

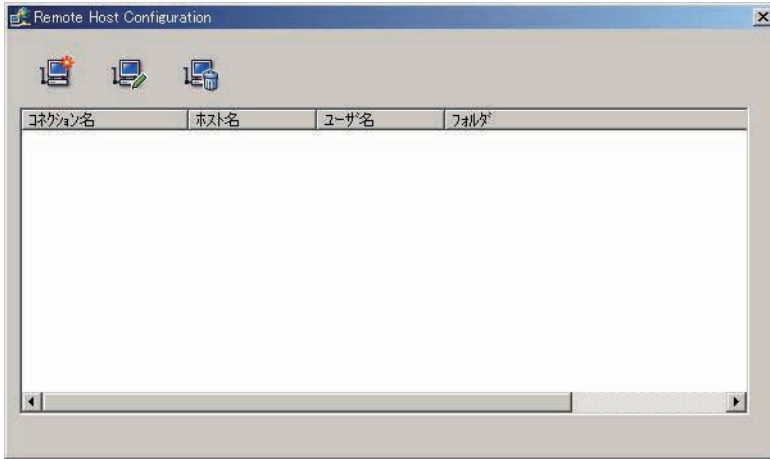
FTP 転送先設定




1

「スタート」メニューの「プログラム」より「i-ColorQC C-Fit」→「サービス」→「FTP 転送先設定」を選択します。



2 「Remote Host Configuration」 ウィンドウが表示されます。



-  新規 新規コネクションを設定します。
-  修正 内容を修正します。
-  削除 コネクション名を削除します。

3 「新規」をクリックすると「新規コネクション」ウィンドウが表示されます。



以下の項目を入力します。

- コネクション名
- ホスト名
- ユーザ名
- パスワード
- フォルダ

4 「OK」をクリックします。

2

環境バックアップ

「環境バックアップ」ツールは、お客様の i-ColorQC C-Fit 環境を保存するものです。ジョブプロパティの作成、フォントの追加、プロファイルの追加・変更などを行った際には、必ず実施してください。なお環境バックアップは、Windows Vista/Windows 7 では実施できません。

バックアップデータを戻す作業は、サービスマン作業となります。

注

バックアップを実行するときは、システムが起動していないことを確認してから実施してください。

注

バックアップされるファイルは以下のものです。

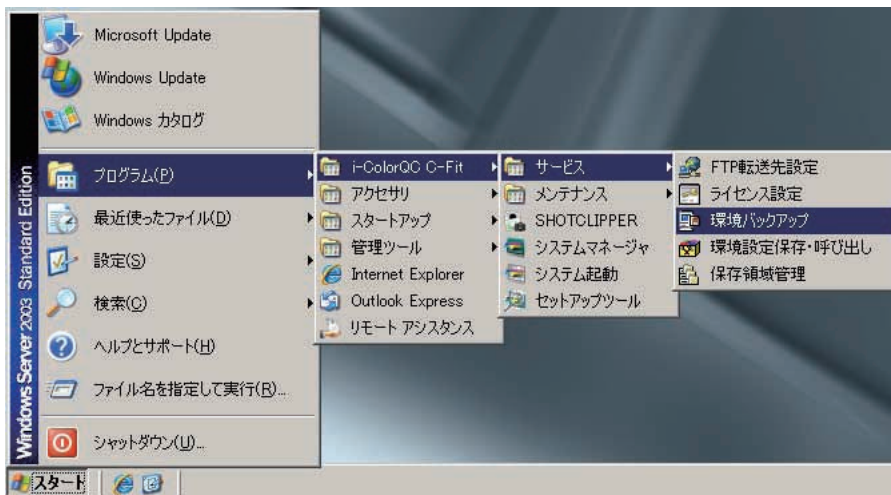
(1) ユーザー設定環境のバックアップ

- システムの監視している DB の全情報
- キャリブレーション設定・トーンカーブ設定ファイル

(2) ユーザー追加リソースのバックアップ対象

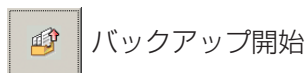
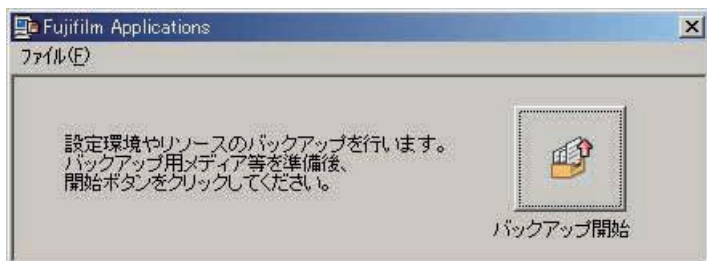
- システムが使用しているリソース
ジョブチケットも含まれます
- OS にインストールされているフォント
- OS にインストールされている ICC プロファイル

- 1 「スタート」メニューの「プログラム」より「i-ColorQC C-Fit」→「サービス」→「環境バックアップ」を選択します。



6

2 「Fujifilm Applications」 ウィンドウが表示されます。

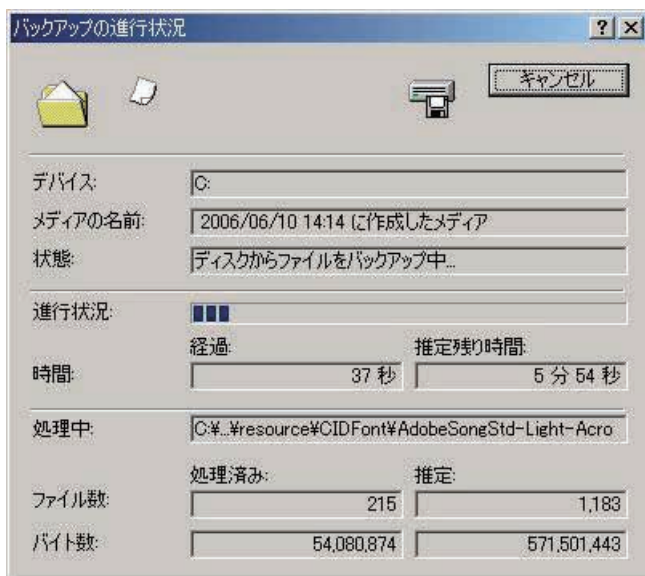


バックアップを開始します。

3 (バックアップ開始) をクリックすると「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。



4 名前を入力後、「保存」をクリックするとバックアップを開始します。



5 バックアップが終了するとメッセージが表示されます。



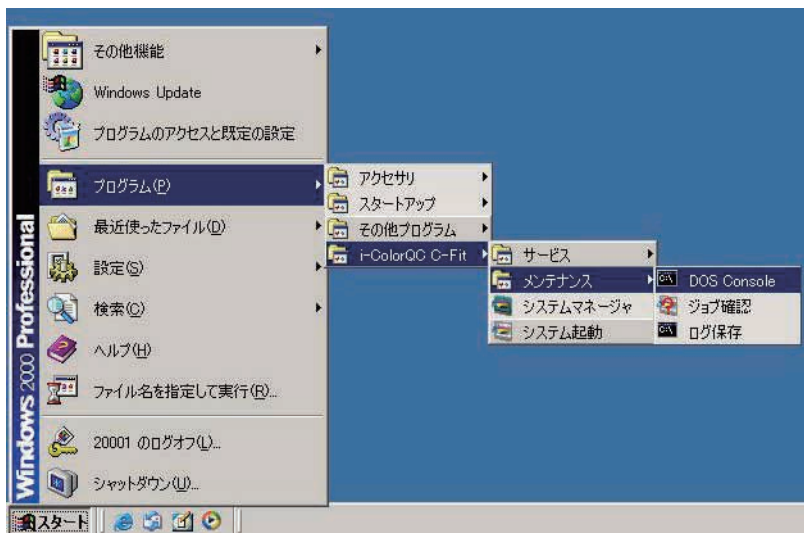
6 「OK」をクリックして終了します。

保存したデータはメディアに保存してください。

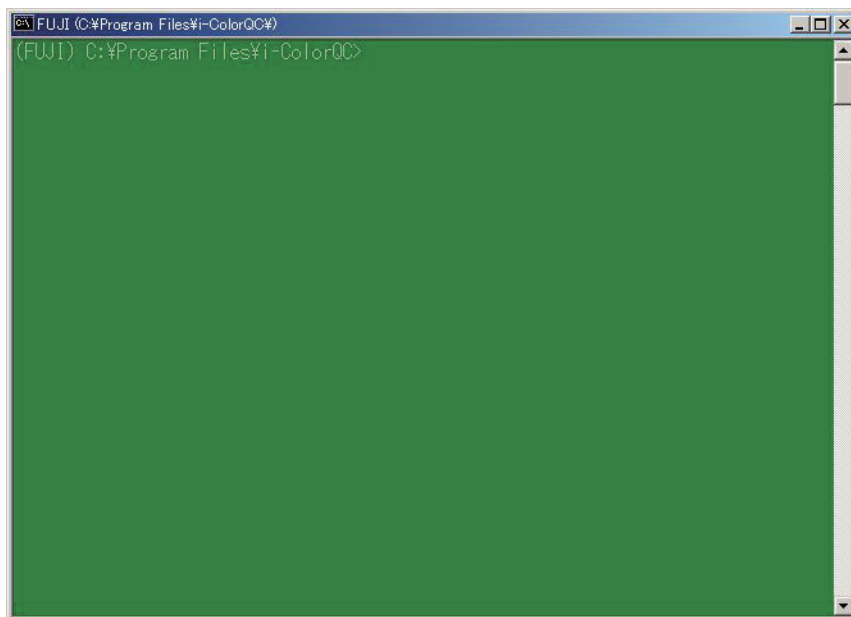
3

DOS Console

- 1 「スタート」メニューの「プログラム」より「i-ColorQC C-Fit」→「メンテナンス」→「DOS Console」を選択します。



- 2 「DOS Console」ウィンドウが表示されます。

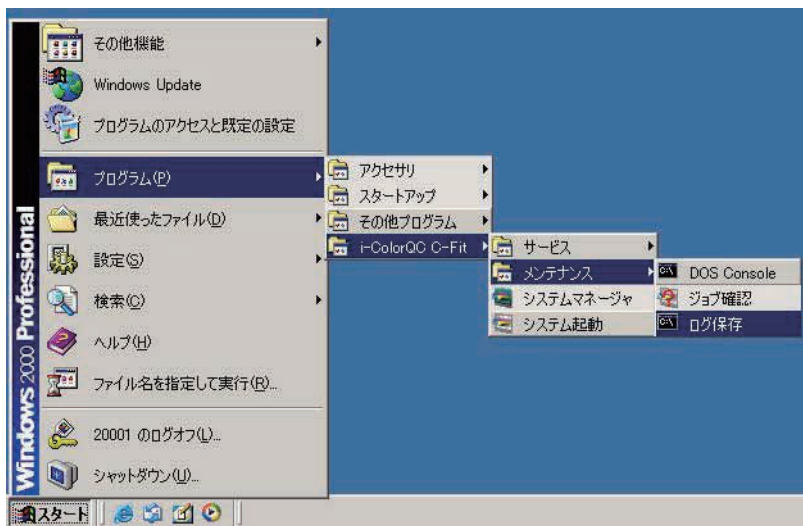


6

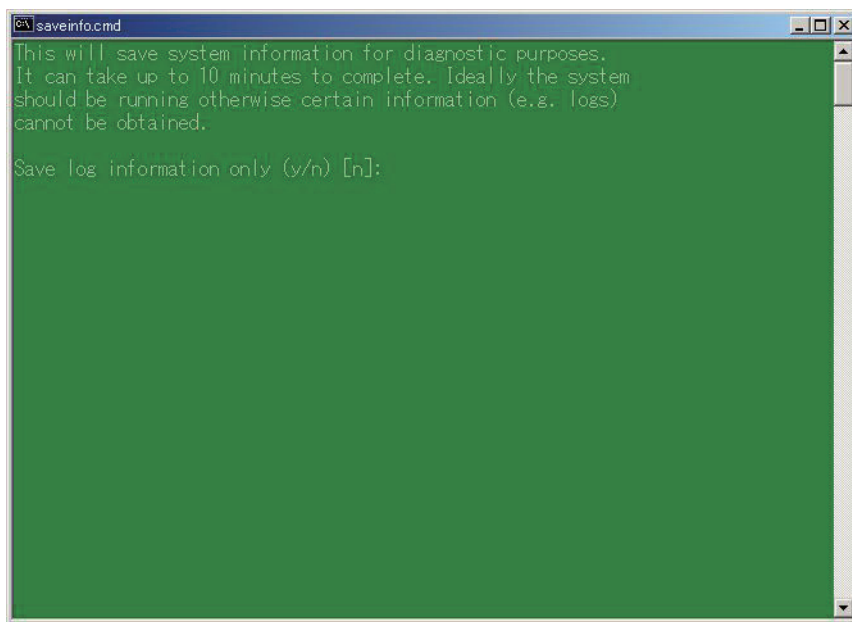
4

ログ保存

- 1 「スタート」メニューの「プログラム」より「i-ColorQC C-Fit」→「メンテナンス」→「ログ保存」を選択します。



- 2 「saveinfo.cmd」ウィンドウが表示されます。



6

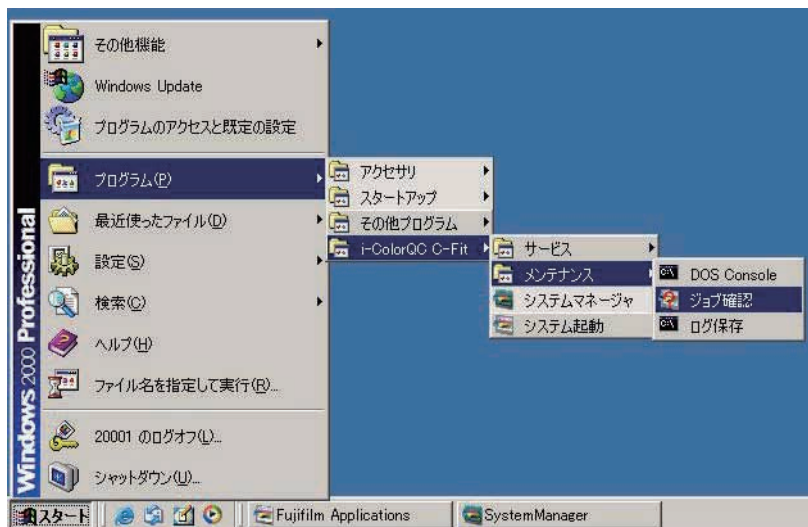
5

ジョブ確認

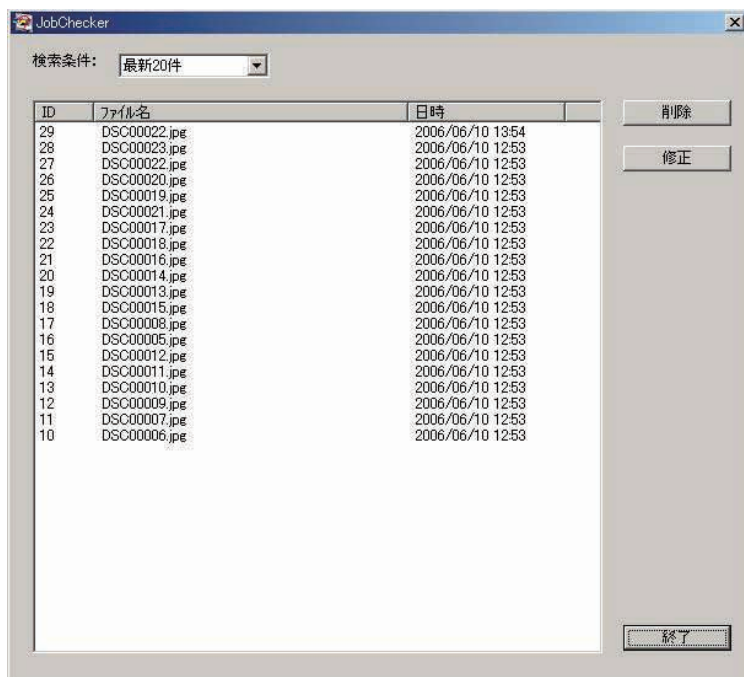
「ジョブ確認」ツールは、C-Fit SystemManeger を起動することなく、データベース中に登録されているジョブを一覧表示で確認し、ジョブの削除、情報表示を行うものです。

サーバーで「i-ColorQC C-Fit」がシステム起動している場合にのみ使用できます。SystemManeger が通信エラーにより起動できない場合などに使用できます。

- 1 「スタート」メニューの「プログラム」より「i-ColorQC C-Fit」→「メンテナンス」→「ジョブ確認」を選択します。



- 2 「ジョブ確認」ウィンドウが表示されます。



6

● 検索条件



検索条件（最新から N 件）を指定すると、現在データベース中に登録されているジョブの「ID」、「ファイル名」、「日時」の一覧が表示されます。

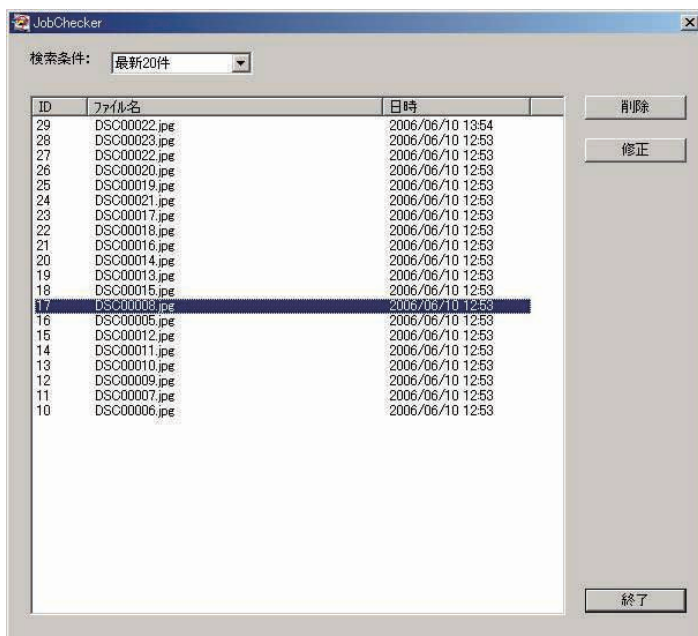
● ソート

ID	ファイル名	日時
----	-------	----

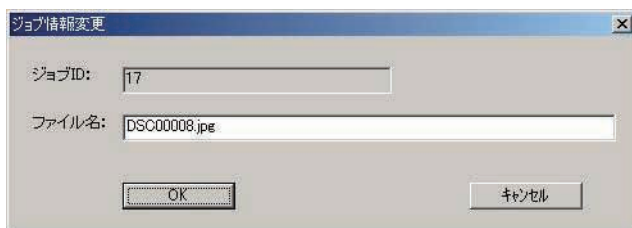
「ID」、「ファイル名」、「日時」のカラムをクリックすると、表示情報がソートされます。

● ジョブ情報修正

一覧表示より、修正したいジョブを選択します。



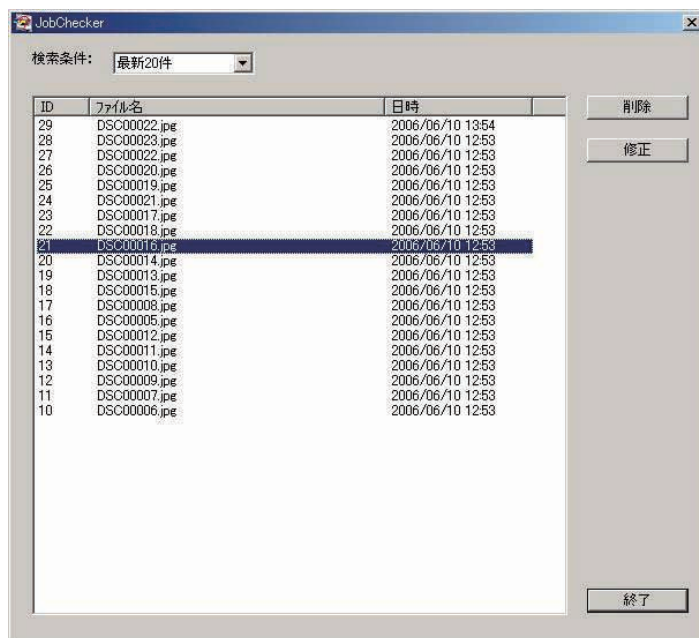
「修正」をクリックすると、「ジョブ情報変更ダイアログ」が表示されます。



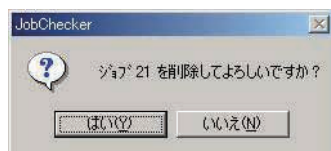
ファイル名を修正することができます。

● ジョブ削除

一覧表示より、削除したいジョブを選択します。



「削除」をクリックすると、削除確認のメッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、指定したジョブが削除されます。

● 修正情報保存

「終了」をクリックすると、メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、削除や修正したジョブ情報をファイルに保存し、「ジョブ確認」を終了します。

「いいえ」をクリックすると、削除・修正情報を保存しないで「ジョブ確認」を終了します。

起動フォルダに「jobcheckYYYYMMDDhhmmss.dat」というバイナリファイルを作成します。

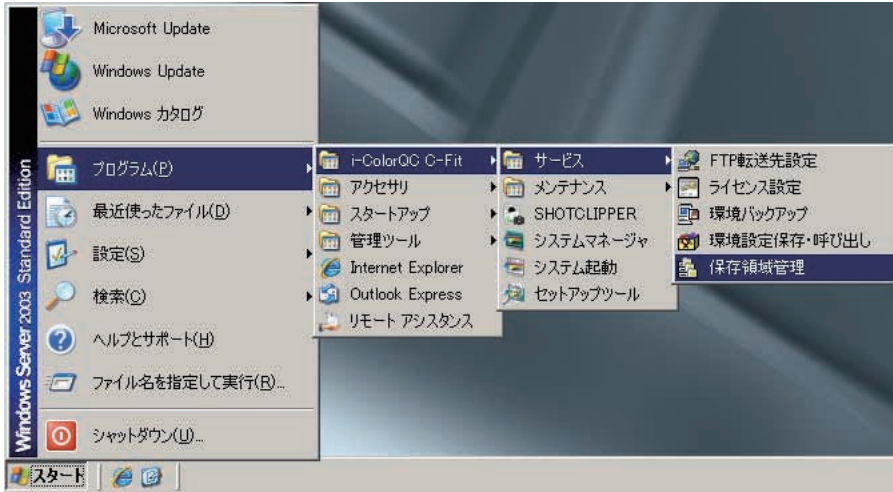
SystemManeger が起動できなくなった場合の解析用のバイナリファイルとなります。

6

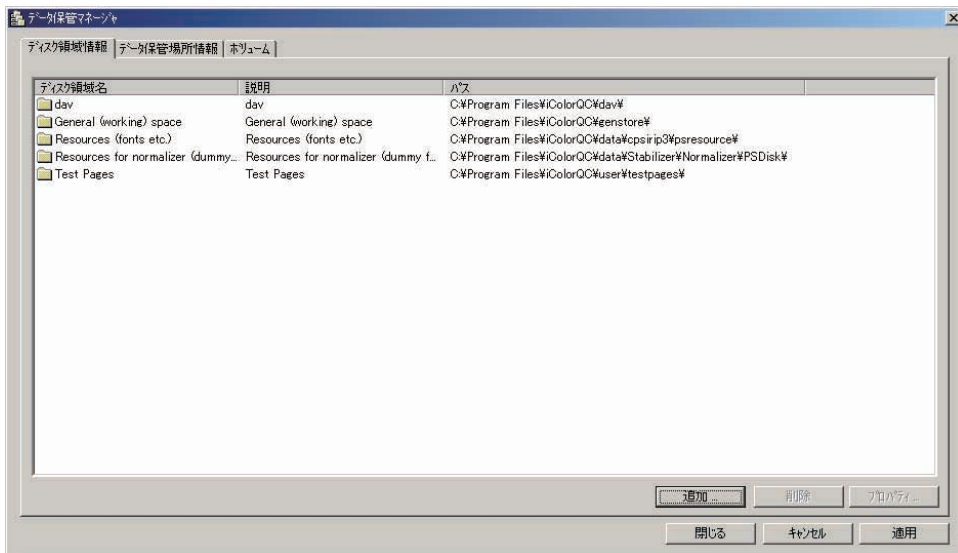
保存領域管理

ここでは dav の保存領域の設定変更を説明します。
その他の保存領域についても同様の手順で設定することができます。

- 1 「スタート」メニューの「プログラム」より「i-ColorQC C-Fit」→「サービス」→「保存領域管理」を選択します。



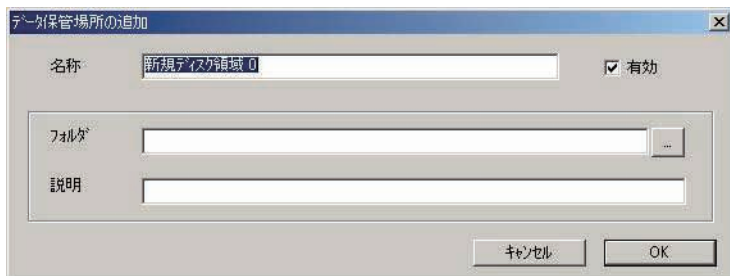
- 2 「データ保管マネージャ」ウィンドウが表示されます。



デフォルトでは、dav という名称でパスが指定されています。

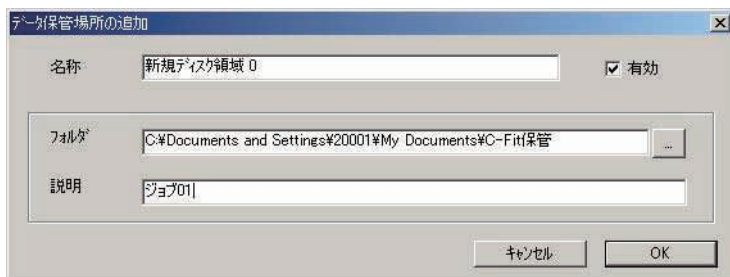
6

3 「追加」 をクリックし、領域名を追加します。

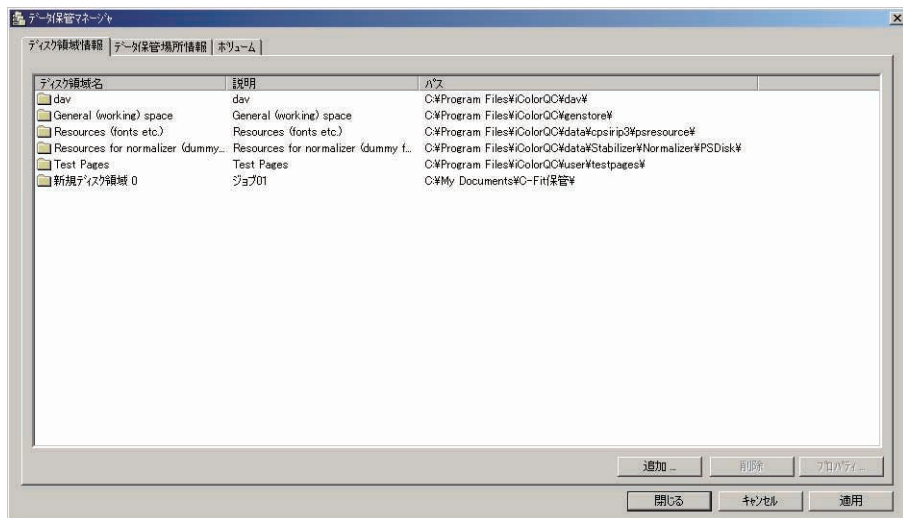


「フォルダ」に任意の名称を指定します。
フォルダの [...] ボタンをクリックして任意のディレクトリを指定し、「OK」をクリックします。

説明：任意のコメントを入力します。

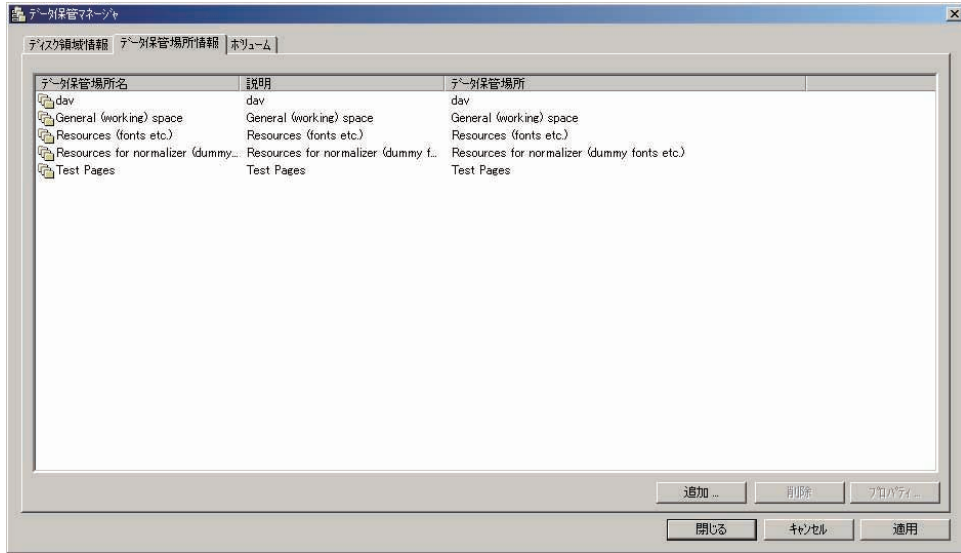


4 「OK」 をクリックします。



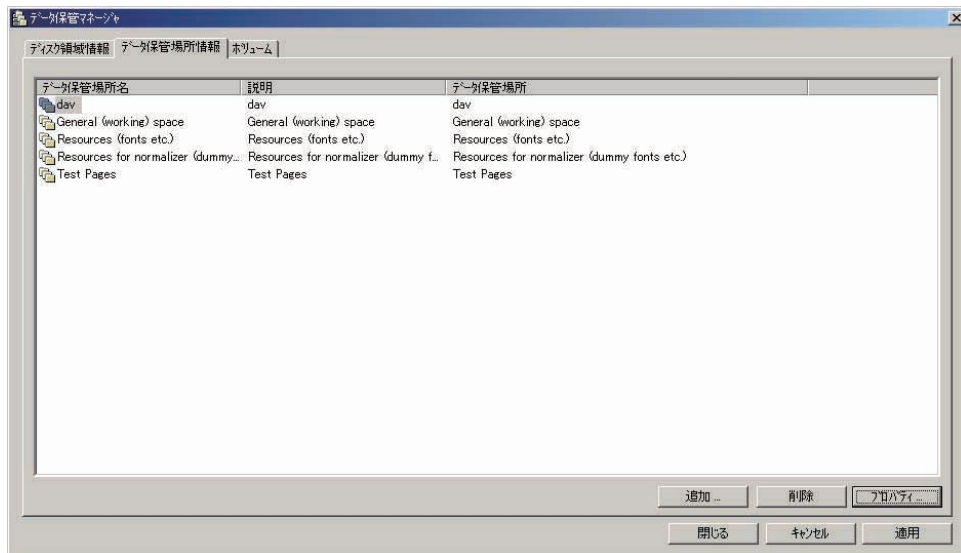
* この追加だけでは、WebDAV 領域としての使用はできません。
引き続き次ページからのデータ保管場所情報の追加を行ってください。

5 「データ保管場所情報」を選択します。



WebDAVは、デフォルトでdavという名称で登録されており、ディスク領域情報でdavとして登録されたフォルダが有効となっています。

6 davを選択し、「プロパティ」をクリックして、「データ保管場所設定」ウィンドウを表示します。

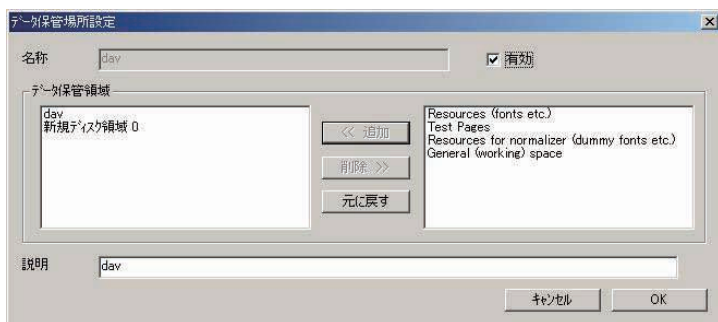


6

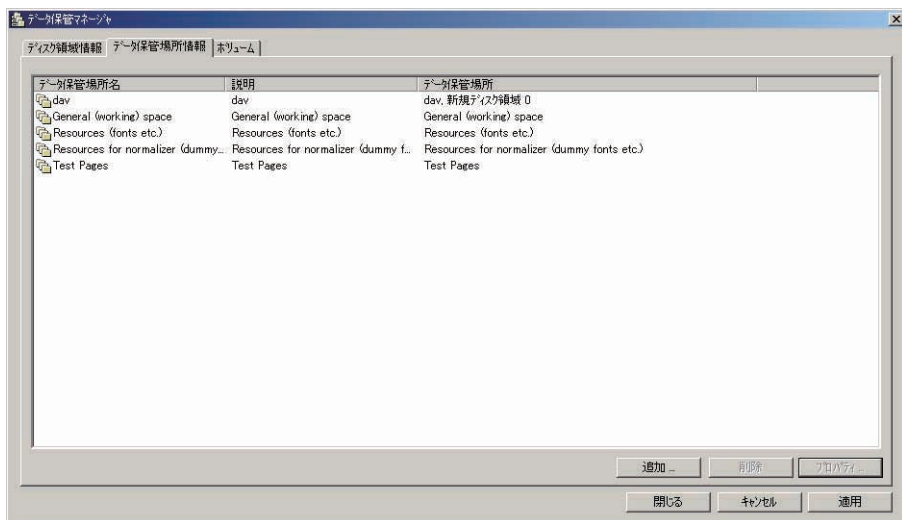
- 7 右リスト欄にディスク領域情報で追加した名称が表示されますので、ここでは、「新規ディスク領域 0」を選択し「追加」をクリックします。



- 8 左リスト欄に選択したディスク領域情報が表示されます。



- 9 「OK」をクリックすると dav にディスク領域情報が追加されます。



- 10 「適用」または「閉じる」をクリックし、DAV の設定を完了します。

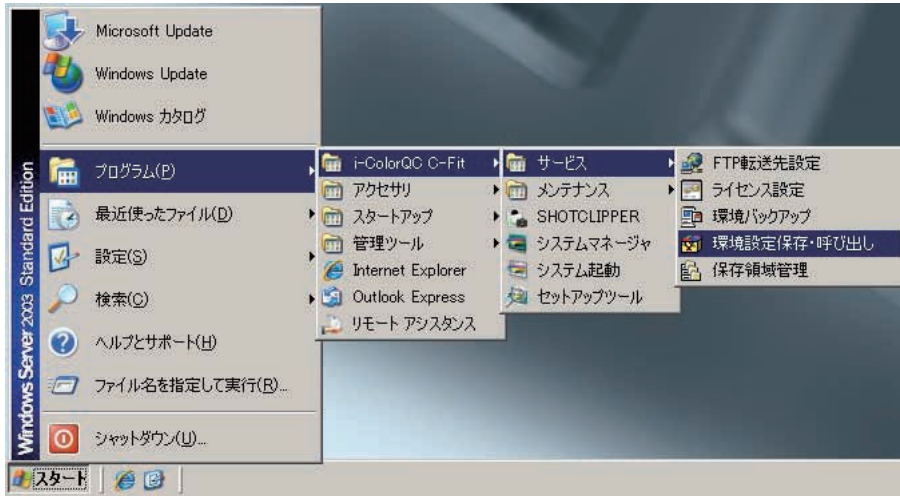
StartSystem が起動していた場合は、再起動を行ってください。
再起動しないと、設定した領域への DAV アクセスはできません。

7

環境設定保存・呼び出し

「環境設定保存・呼び出し」ツールを使用すると、C-Fitに登録しているジョブチケットを外部に保存することができます。また、外部に保存しているジョブチケットをC-Fitに登録することもできます。

- 1 「スタート」メニューの「プログラム」より「i-ColorQC C-Fit」→「サービス」→「環境設定保存・呼び出し」を選択します。



- 2 「環境設定保存・呼び出し」ウィンドウが表示されます。

* 「環境設定保存・呼び出し」ツールの詳細については、「C-Fit リストアツールユーザーガイド」を参照してください。

6

第7章
制限事項
トラブル対応

1

制限事項

本製品には、以下の制限があります。

- デジタルカメラ撮影画像に含まれる Exif 情報は、EPS 出力、JPEG 出力の場合は保持されますが、TIFF 出力の場合は保持されません。

7

トラブル対応

現象	予想される原因	確認	対応
インストールできない	ディスクの空き容量が不足している	インストール先のディスク容量を確認してください	他パーティションにインストールしてください。 もしくは、インストールフォルダ上の不要なファイルを削除してください。
	Windows2000の場合 ServicePack4 がインストールされていない	マイコンピュータを右クリックし、プロパティを選択し、システムのプロパティ画面を表示してください システムの項目に Service Pack4 の記述があるか確認してください	Service Pack4 をインストールし、再度 C-Fit をインストールしてください。
WebServer インストールで失敗する	Web サーバーがすでにインストールされている	「コントロールパネル」 → 「管理ツール」 → 「サービス」でサービス画面を起動してください Apache、もしくは IIS が登録されていないことを確認してください	Apache、もしくは IIS が登録されている場合は、Uninstall して、その後、C-Fit を再インストールしてください。
StartSystem が起動しない	IP アドレスが設定されていない	IP アドレスが設定されていることを確認してください	IP アドレスが設定されていない場合は、IP アドレスを設定してください。
SystemManager が「サーバーとの接続に失敗しました」で起動しない	サーバーが起動していない	サーバー PC 上で StartSystem が起動しているかを確認してください	StartSystem が起動していない場合、StartSystem を起動してください。
	Apache2 が起動していない	「コントロールパネル」 → 「管理ツール」 → 「サービス」でサービス画面を起動し、Apache2 の状態が「開始」となっているか確認してください	Apache2 が存在しない場合、WebServer インストールを参照してください。
SystemManager が「サーバーとの接続に失敗しました」で起動しない	Apache2 の設定不良	インストールフォルダ /web/ apache2/conf にある httpd.conf をエディタで開き、以下の設定を確認してください ① ServerRoot がインストールフォルダ /web/apache とになっている ② ServerAdmin が admin とになっている	①～②の通りでなければ、インストールに失敗しています。 WebServer インストールを参照してください。

現象	予想される原因	確認	対応
SystemManagerが「XMLの解析に失敗しました」というメッセージが表示される	未対応文字がDBに登録された	dbviewerもしくはdbfutilを使い、DB中の名称、コメントを確認し、特殊文字が混入されていないことを確認してください 特殊文字：<, >, ?, &, ShiftJISの0x8540～	特殊文字が混入していた場合、特殊文字を削除してください。
画像色変換に失敗する	ライセンス無し	ジョブログに「ライセンスがありません」と表示されているか確認してください	ライセンスを登録してください。
	未対応フォーマット	ジョブログに「未対応の画像フォーマットのファイルが入力されました。」と表示されているか確認してください	入力画像が対応フォーマットであるはずの場合は、下記の画像データ不良を参照してください。
	画像データ不良	Photoshopで入力データを開いてください	開けなかった場合は、入力画像が不良データであり、処理不良です。 開けた場合は、下記の環境不良を参照してください。
	環境不良	ディスクフルである場合、ジョブ削除などで容量を確保してください ディスクフルでなければ、下記の処理不良を参照してください	ディスクフルである場合、ジョブ削除などで容量を確保してください。 ディスクフルでなければ、下記の処理不良を参照してください。
	処理不良	ジョブログのエラーメッセージを確認してください	エラー内容に従った措置を実施してください。 もしくは、ジョブチケット条件を変更し、再度実行してください。 処理不可の場合、下記のプロファイル不良を参照してください。
	プロファイル不良	ジョブチケットのプロファイル条件を変更し、他のプロファイルで再実行してください	ICCプロファイルが不正の可能性があります。 正しいICCプロファイルを使用してください。
PDF色変換に失敗する	ライセンス無し	ジョブログに「ライセンスがありません」と表示されているか確認してください	ライセンスがない場合は、仕様通りです。 ライセンスがある場合は、 dongle不良、もしくはライセンスコード不良です。

7

トラブル対応

現象	予想される原因	確認	対応
PDF 色変換に失敗する	未対応フォーマット	ジョブログに「未対応の画像フォーマットのファイルが入力されました。」と表示されているか確認してください	入力画像が対応フォーマットの場合、もしくは「パースエラー」の場合は、下記のPDFデータ不良を参照してください。
	PDF データ不良	Acrobat で入力データを開いてください	開けなかった場合は、入力PDFが不良データであり、処理不可です
	未対応 PDF	Acrobat で入力データを開き、文書のプロパティ → 概要 で、PDF 変換アプリケーションとバージョンを確認してください	対応アプリケーション、バージョンでない場合は、制限です。対応している場合は、下記の環境不良を参照してください。
	環境不良	ディスク容量に空きはあるか、またはジョブログに「ファイルの書き込みに失敗した」のメッセージがあるか確認してください	ディスクフルである場合、ジョブ削除などで容量を確保してください。 ディスクフルでない場合、下記の処理不良を参照してください。
	処理不良	ジョブログのエラーメッセージを確認してください	エラー内容に従った措置を実施してください。 もしくは、ジョブチケット条件を変更し、再度実行してください。 処理不可の場合、下記のプロファイル不良を参照してください。
	プロファイル不良	ジョブチケットのプロファイル条件を変更し、他のプロファイルで再実行してください	ICC プロファイルが不正の可能性があります。 正しいICC プロファイルを使用してください。

※ 其他のご質問・ご不明な点に関しては、販売店へお問い合わせください。

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号

FUJIFILM

富士フイルム グラフィックシステムズ株式会社

本社	〒101-8452	東京都千代田区神田錦町三丁目13番地 竹橋安田ビル	03 (5259) 2310
大阪支社	〒541-0051	大阪市中央区備後町三丁目5番11号 富士フイルム大阪ビル	06 (6205) 6391
中部支社	〒460-0008	名古屋市中区栄二丁目12番12号 白川第二ビル別館	052 (201) 8171
北海道支店	〒060-0001	札幌市中央区北一条西七丁目1番地1 三井住友海上札幌ビル	011 (221) 5471
東北支店	〒983-0862	仙台市宮城野区二十人町99 富士フイルム仙台ビル	022 (292) 6511
中国支店	〒730-0045	広島市中区鞆見町4番22号 MKD1ビル	082 (249) 7155
九州支店	〒812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フイルム福岡ビル	092 (261) 7227
長野営業所	〒380-0823	長野市南千歳一丁目15番地3 TSビル	026 (224) 2061
静岡営業所	〒422-8067	静岡市駿河区南町18番1号 サウスポット静岡	054 (286) 1700
金沢営業所	〒921-8025	金沢市増泉四丁目3番1号	076 (243) 9561
高松営業所	〒761-8071	高松市伏石町2005番地17	087 (869) 8011
岡山営業所	〒700-0904	岡山市北区柳町一丁目12番1号 三井住友海上岡山柳町ビル	086 (226) 2922
沖縄営業所	〒903-0117	中頭郡西原町字翁長834番地	098 (946) 9797